

平成 30 年度
蒲郡市 市民意識調査
調査結果報告書

平成 31 年 2 月

蒲 郡 市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	1
II 調査結果	2
(1) 回答者属性	2
(2) 蒲郡市の住みやすさ・印象について	9
(3) 日常生活や地域活動等の実態について	22
(4) 暮らしの満足度と今後のまちづくりの重要度	29
(5) これからのまちづくり	66
(6) 子育て支援について	84
(7) 健康づくりについて	97
(8) 災害対策について	131
これからのまちづくりに関する主な意見	196
III 調査票	199

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第四次蒲郡市総合計画」の取り組みについて市民から評価を受けるとともに意見を伺い、現在の生活環境や今後のまちづくりに活かすことを目的として実施したものです。

2 調査対象

蒲郡市在住の18歳以上を無作為抽出

3 調査期間

平成30年8月7日から平成30年8月27日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
2,000通	778通	38.9%

6 調査結果の表示方法

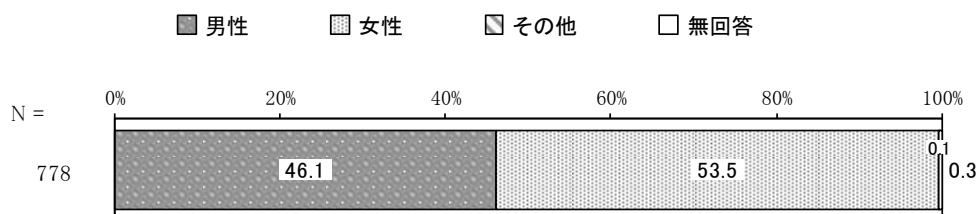
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果

(1) 回答者属性

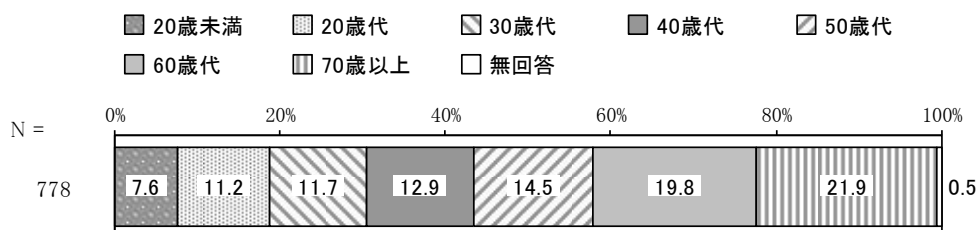
問1 あなたの性別は（○は1つだけ）

「男性」の割合が46.1%、「女性」の割合が53.5%となっています。



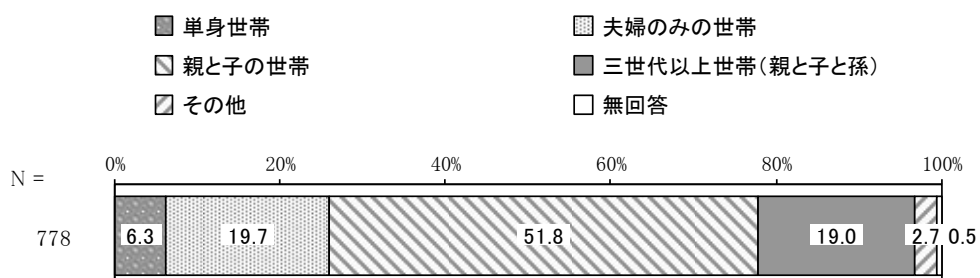
問2 あなたの年齢は（平成30年8月1日現在の満年齢）（○は1つだけ）

「70歳以上」の割合が21.9%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が19.8%、「50歳代」の割合が14.5%となっています。



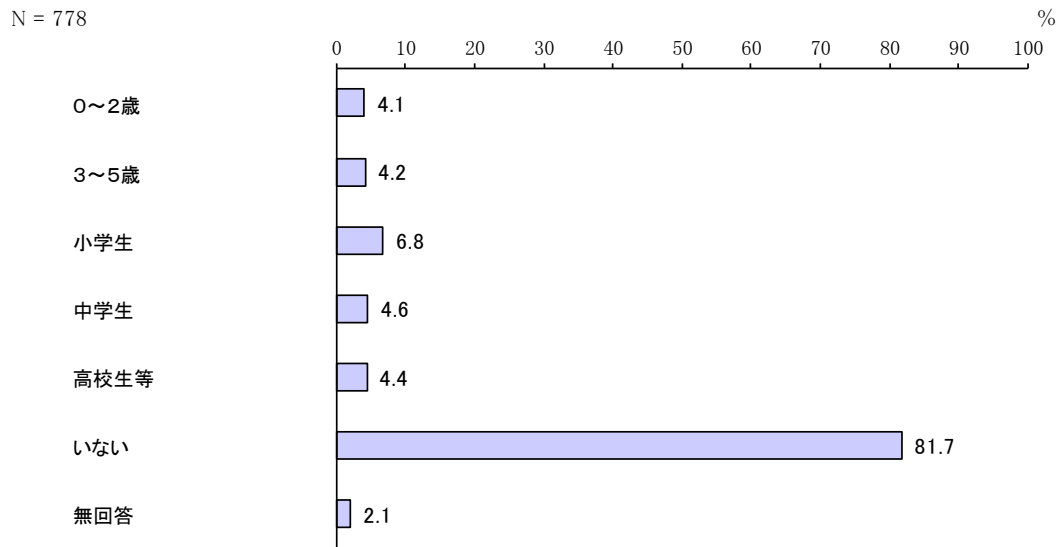
問3 あなたの家族構成は（○は1つだけ）

「親と子の世帯」の割合が51.8%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」の割合が19.7%、「三世代以上世帯（親と子と孫）」の割合が19.0%となっています。



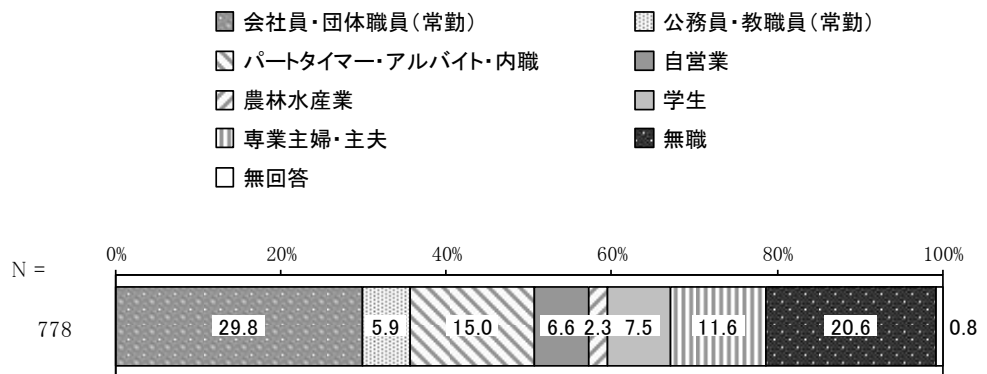
問4 あなたに18歳未満の子どもはいますか（該当する項目に○）

「いない」の割合が81.7%と最も高く、次いで「小学生」の割合が6.8%、「中学生」の割合が4.6%となっています。



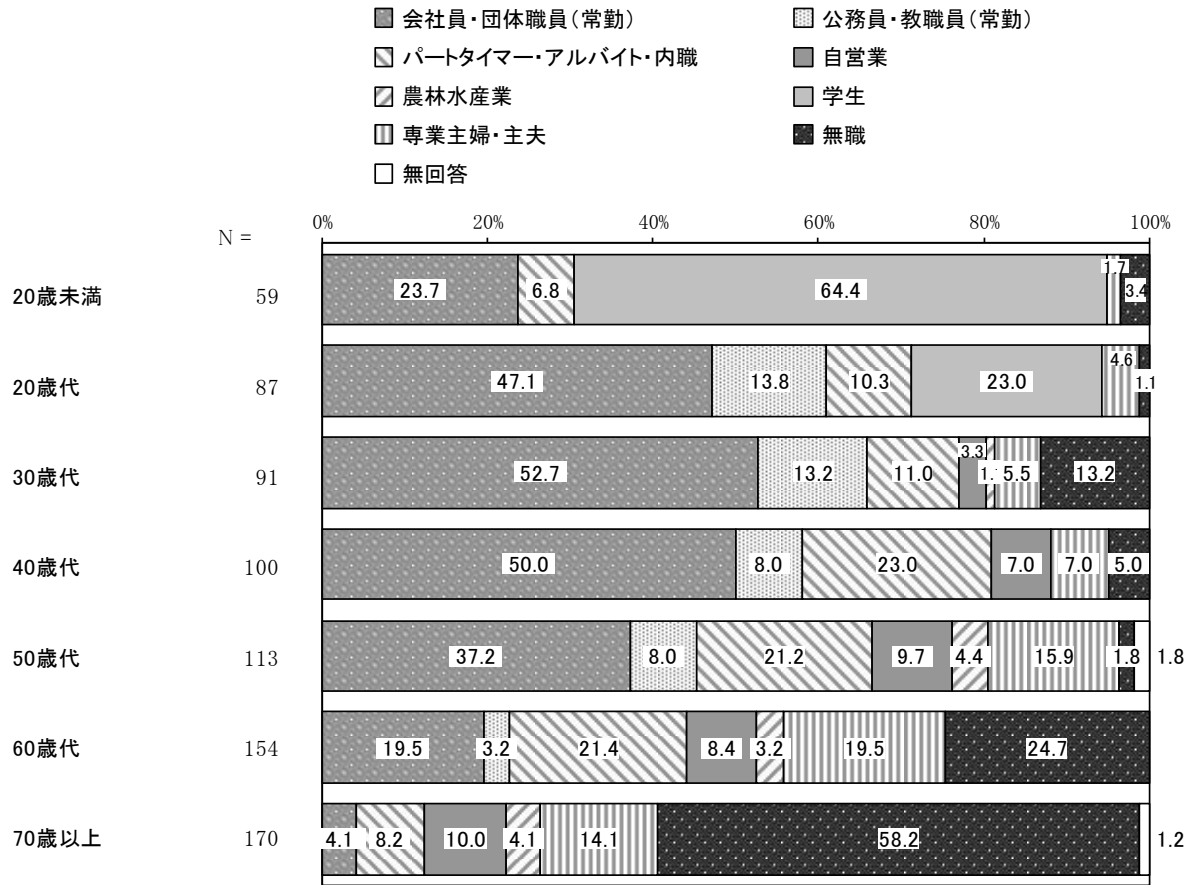
問5 あなたの職業は（○は1つだけ）

「会社員・団体職員（常勤）」の割合が29.8%と最も高く、次いで「無職」の割合が20.6%、「パートタイマー・アルバイト・内職」の割合が15.0%となっています。



【年齢別】

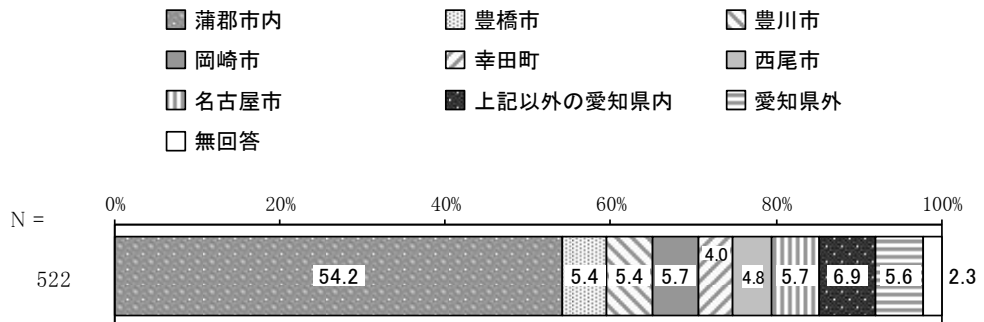
年齢別でみると、70歳以上で「無職」の割合が高く、約6割となっています。また、20歳代から40歳代で「会社員・団体職員（常勤）」の割合が高く、約5割となっています。



問5で「会社員・団体職員（常勤）」～「学生」と答えた方にお聞きします

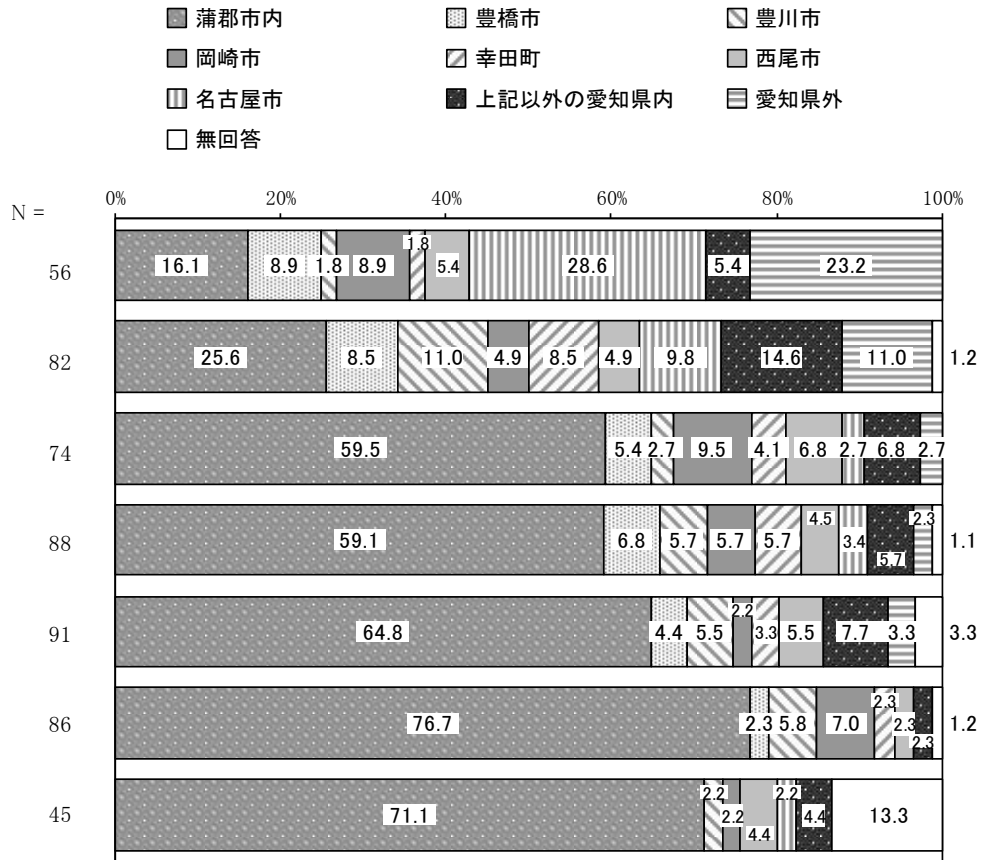
問5-1 あなたの通勤（就業）・通学先は（○は1つだけ）

「蒲郡市内」の割合が54.2%と最も高く、次いで「愛知県内（1～7以外の愛知県内）」の割合が6.9%、「岡崎市」、「名古屋市」の割合が5.7%となっています。



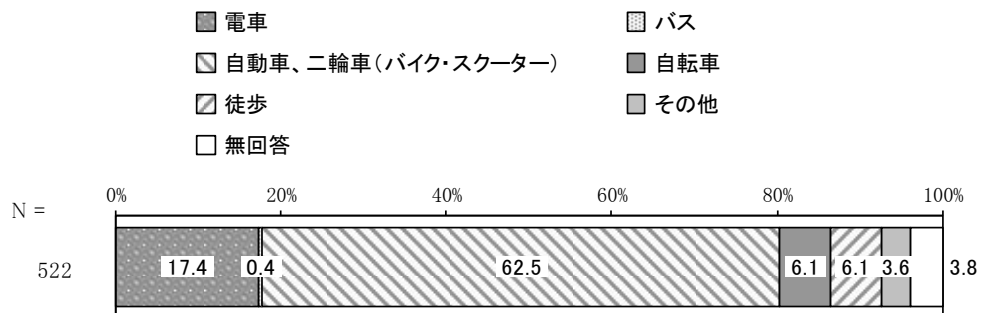
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「蒲郡市内」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、20歳未満で「名古屋市」「愛知県外」の割合が高くなっています。



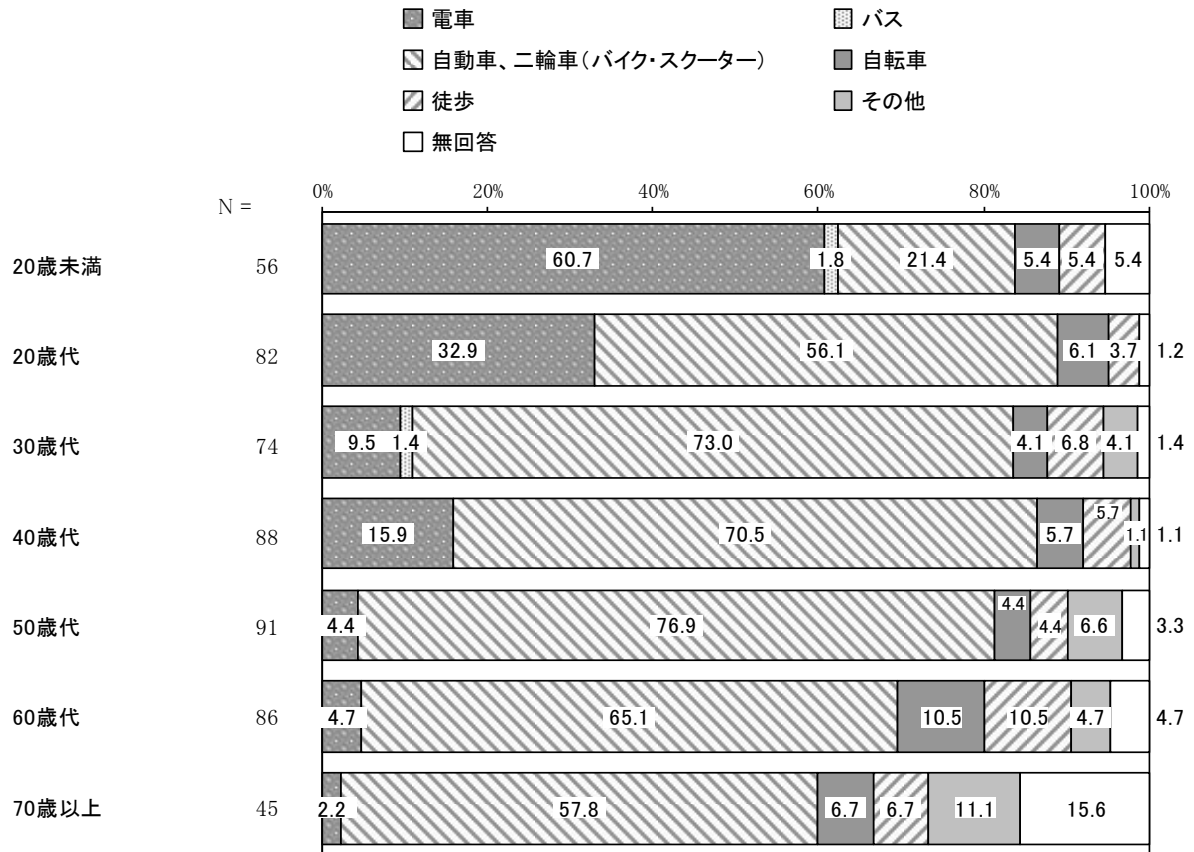
問5-2 あなたの通勤・通学の際の主な交通手段は（○は1つだけ）

「自動車、二輪車（バイク・スクーター）」の割合が62.5%と最も高く、次いで「電車」の割合が17.4%、「自転車」の割合が6.1%となっています。



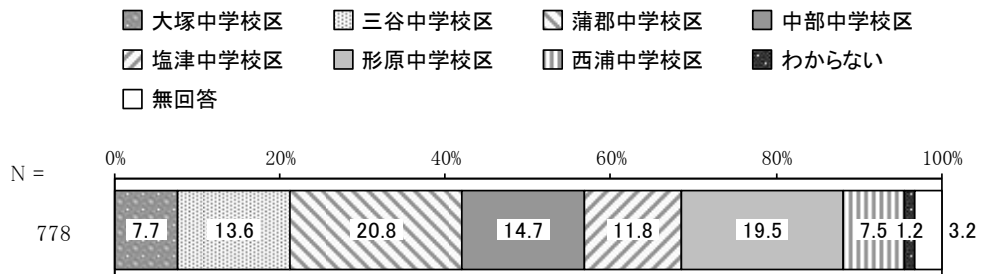
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「電車」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、50歳代で「自動車、二輪車（バイク・スクーター）」の割合が高く、7割台半ばとなっています。



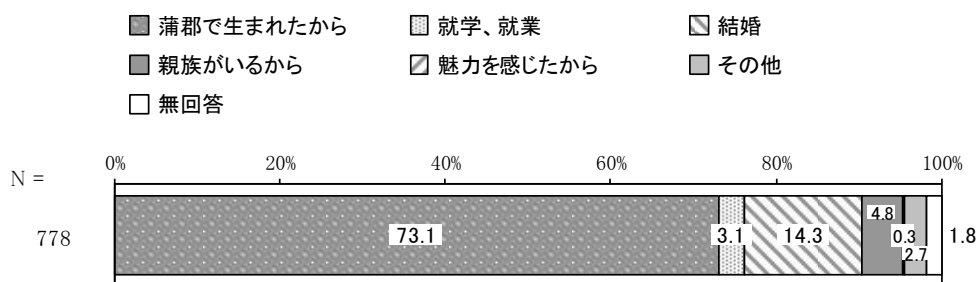
問6 あなたの居住地区(中学校区)は

「蒲郡中学校区」の割合が20.8%と最も高く、次いで「形原中学校区」の割合が19.5%、「中部中学校区」の割合が14.7%となっています。



問7 蒲郡市に住むことになったきっかけは（〇は1つだけ）

「蒲郡で生まれたから」の割合が73.1%と最も高く、次いで「結婚」の割合が14.3%、「親族がいるから」の割合が4.8%となっています。



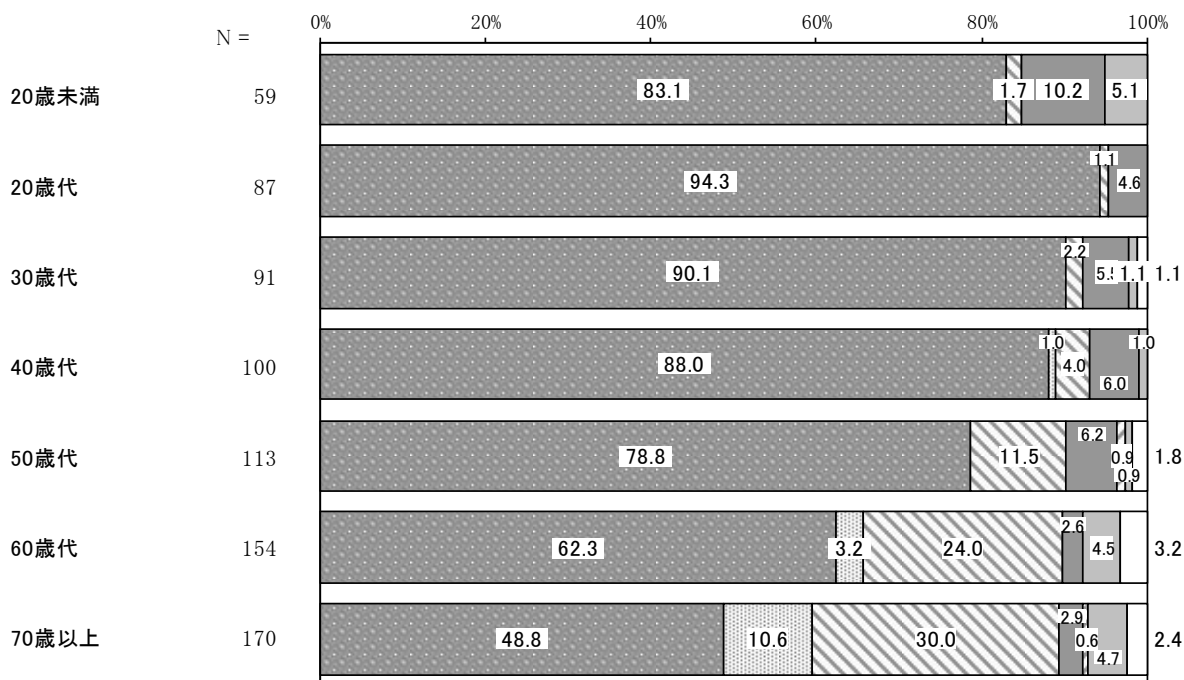
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「蒲郡で生まれたから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「結婚」の割合が高くなっています。



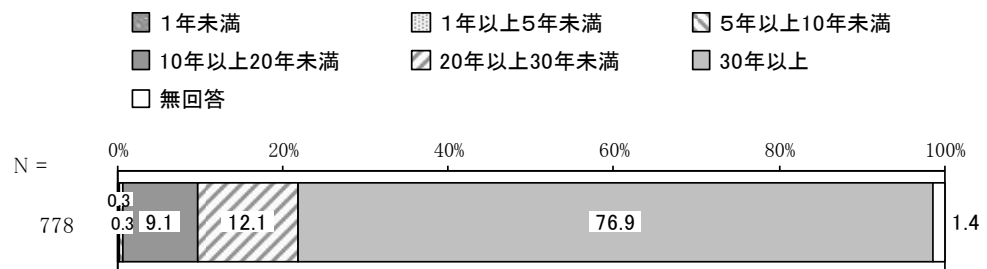
【年齢別】

年齢別でみると、20歳代以上で年齢が低くなるにつれ「蒲郡で生まれたから」の割合が高くなっています。また、他の年齢に比べ、60歳代以上で「結婚」の割合が高くなっています。



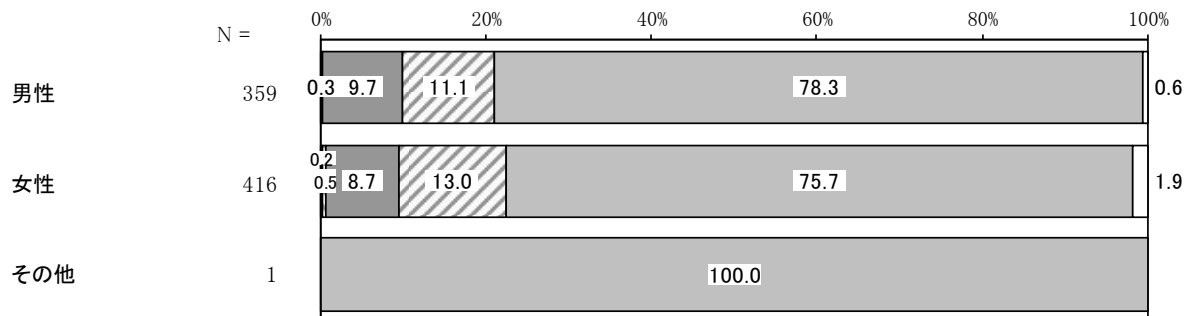
問8 蒲郡市における居住歴は（○は1つだけ）

「30年以上」の割合が76.9%と最も高く、次いで「20年以上30年未満」の割合が12.1%、「10年以上20年未満」の割合が9.1%となっています。



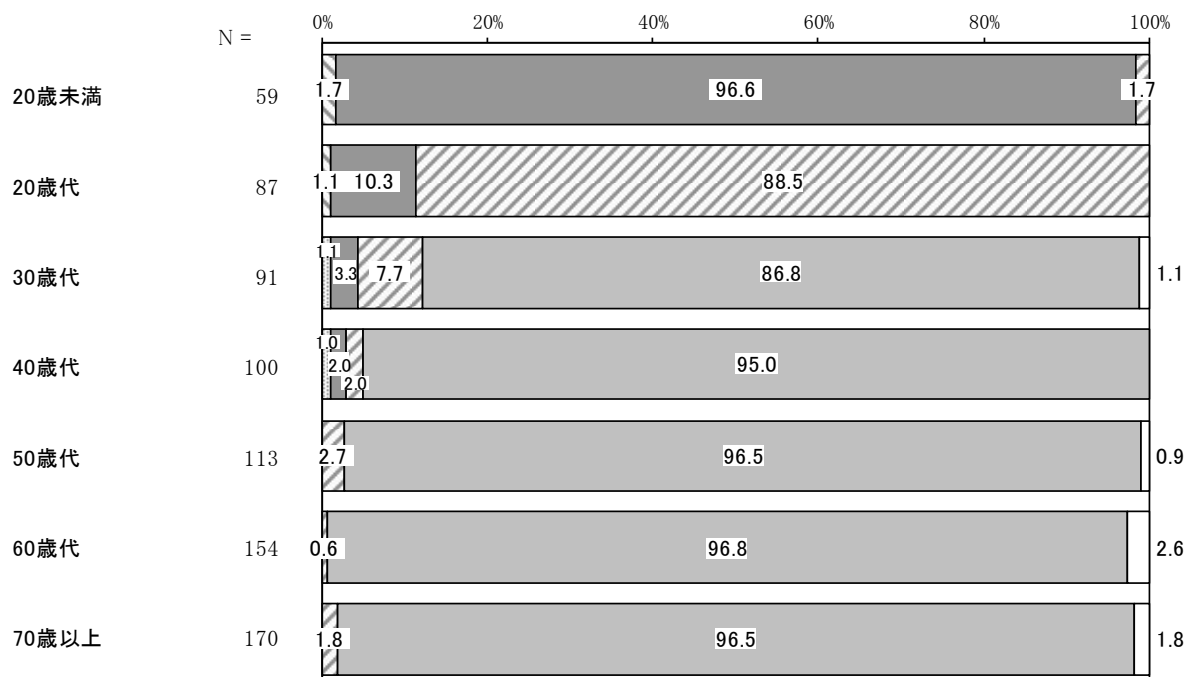
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、20歳未満で「10年以上20年未満」の割合が、20歳代で「20年以上30年未満」の割合が高くなっています。

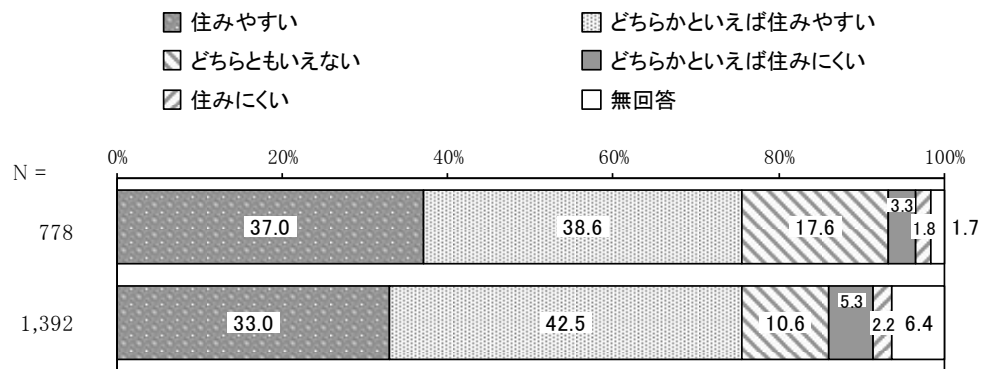


(2) 蒲郡市の住みやすさ・印象について

問9 あなたは、蒲郡市は住みやすいまちだと思いますか。(○は1つだけ)

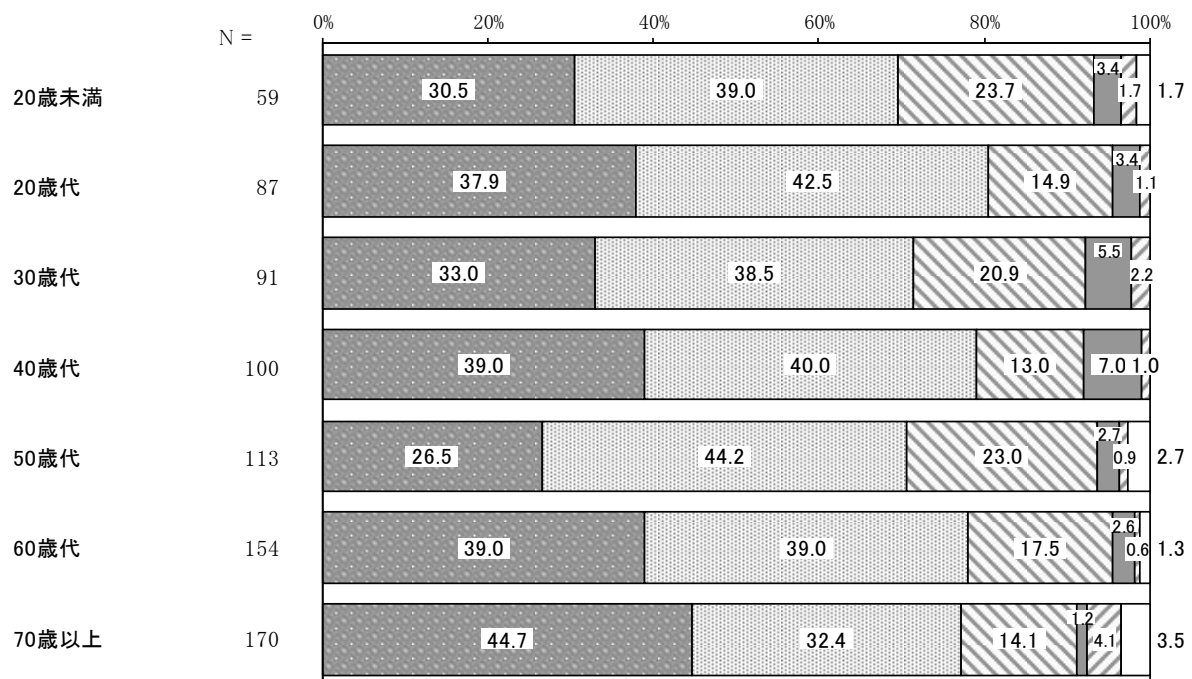
「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた“住みやすい”の割合が75.6%、「どちらともいえない」の割合が17.6%、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」をあわせた“住みにくい”の割合が5.1%となっています。

平成21年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合が増加しています。



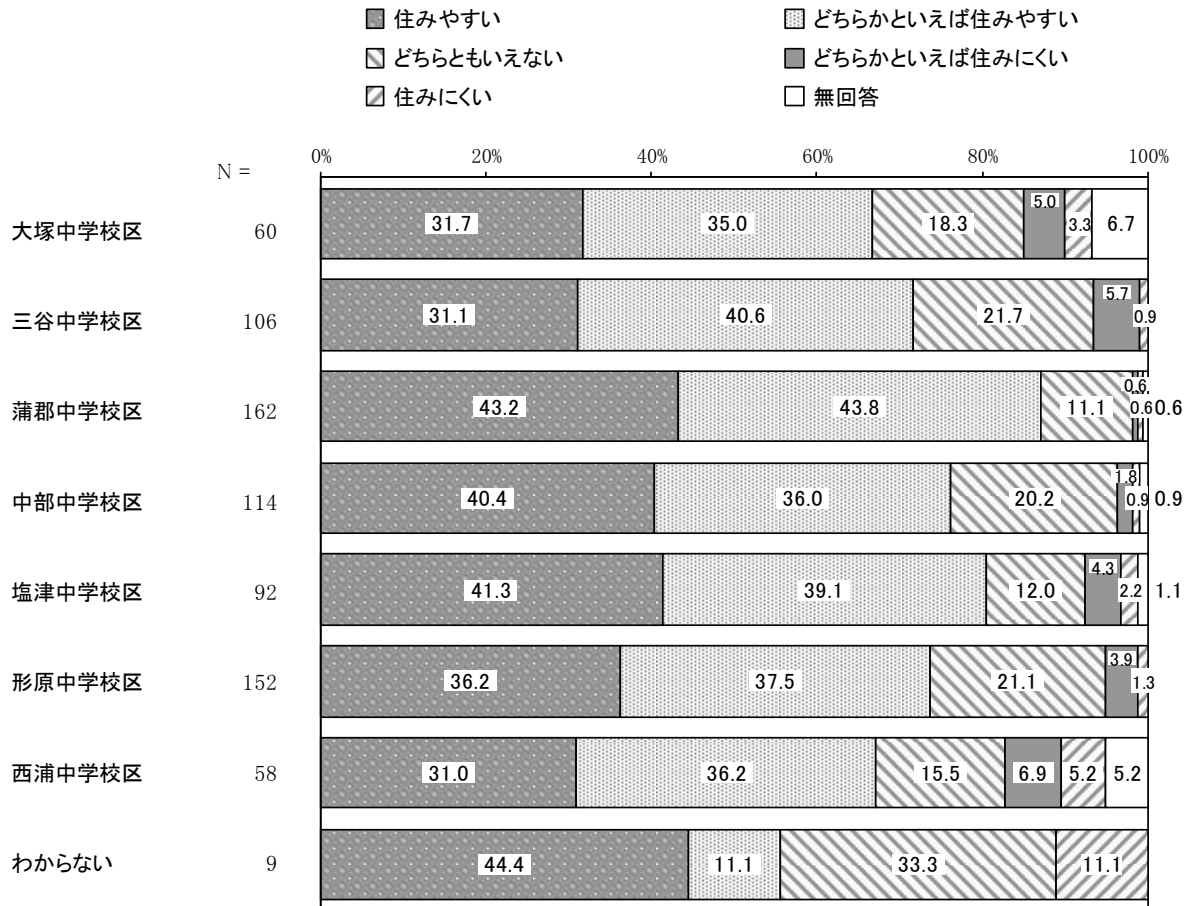
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代、40歳代、60歳代以上で“住みやすい”の割合が高くなっています。



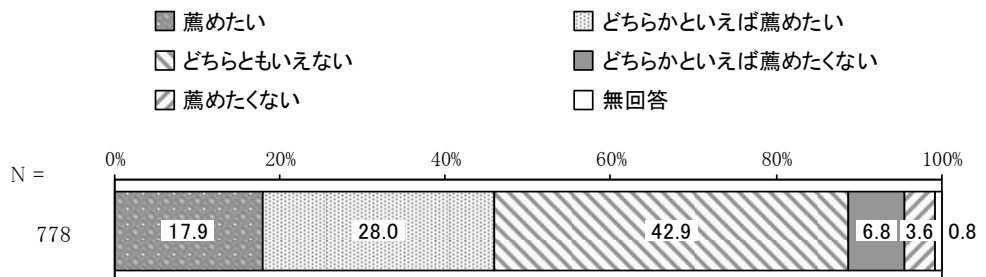
【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、蒲郡中学校区で“住みやすい”の割合が高くなっています。また、西浦中学校区で“住みにくい”の割合が高くなっています。



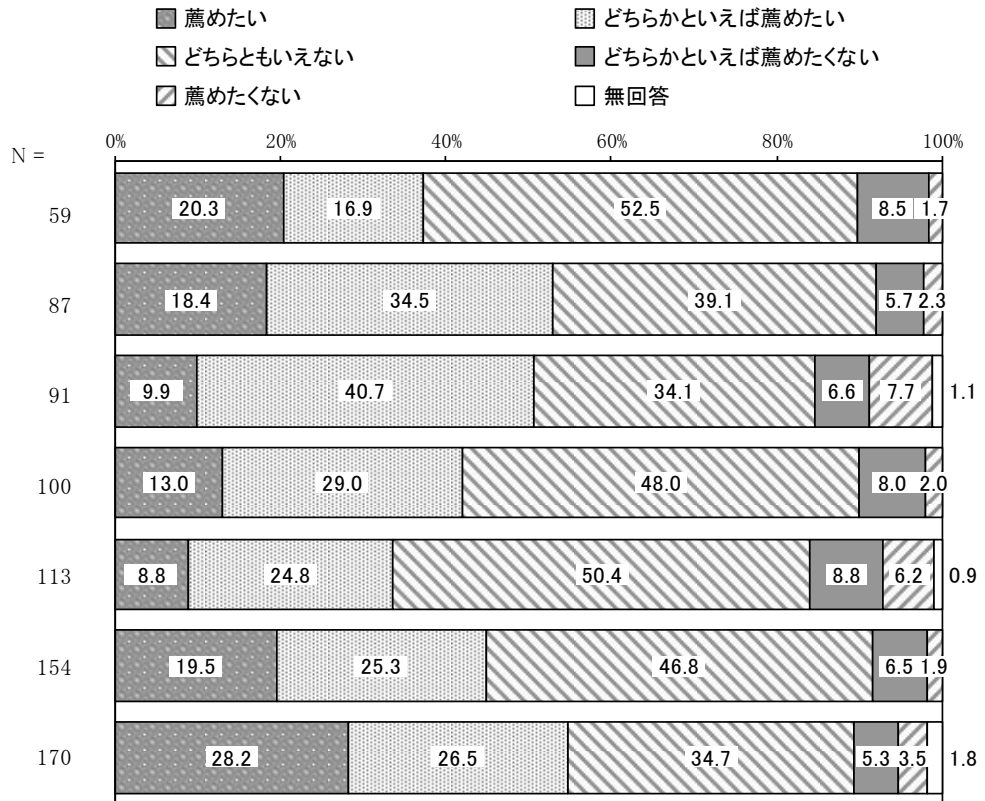
問10 あなたは、知人に住む場所として蒲郡市を薦めますか。(○は1つだけ)

「薦めたい」と「どちらかといえば薦めたい」をあわせた“薦めたい”の割合が45.9%、「どちらともいえない」の割合が42.9%、「どちらかといえば薦めたくない」と「薦めたくない」をあわせた“薦めたくない”の割合が10.4%となっています。



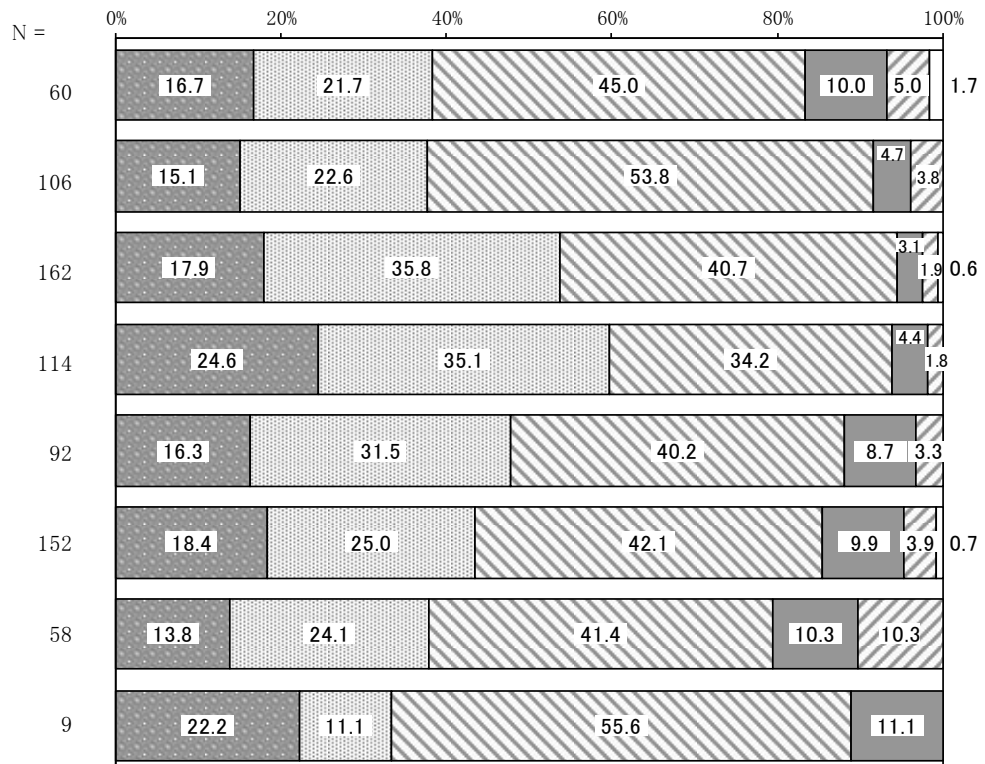
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代、30歳代で“薦めたい”の割合が高く、5割を超えています。また、30歳代、50歳代で“薦めたくない”の割合が高く、1割台半ばとなっています



【中学校区別】

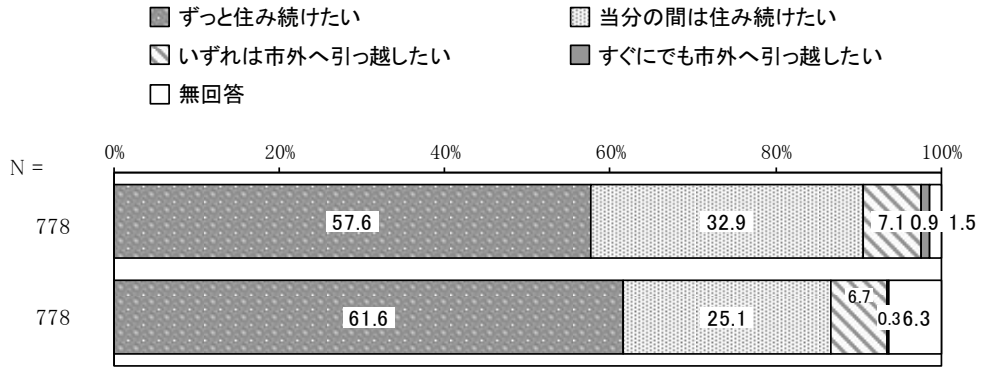
中学校区別でみると、他に比べ、中部中学校区で“薦めたい”の割合が高く、約6割となっています。また、西浦中学校区で“薦めたくない”の割合が高く、約2割となっています。



問 11 あなたは、これからも蒲郡市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

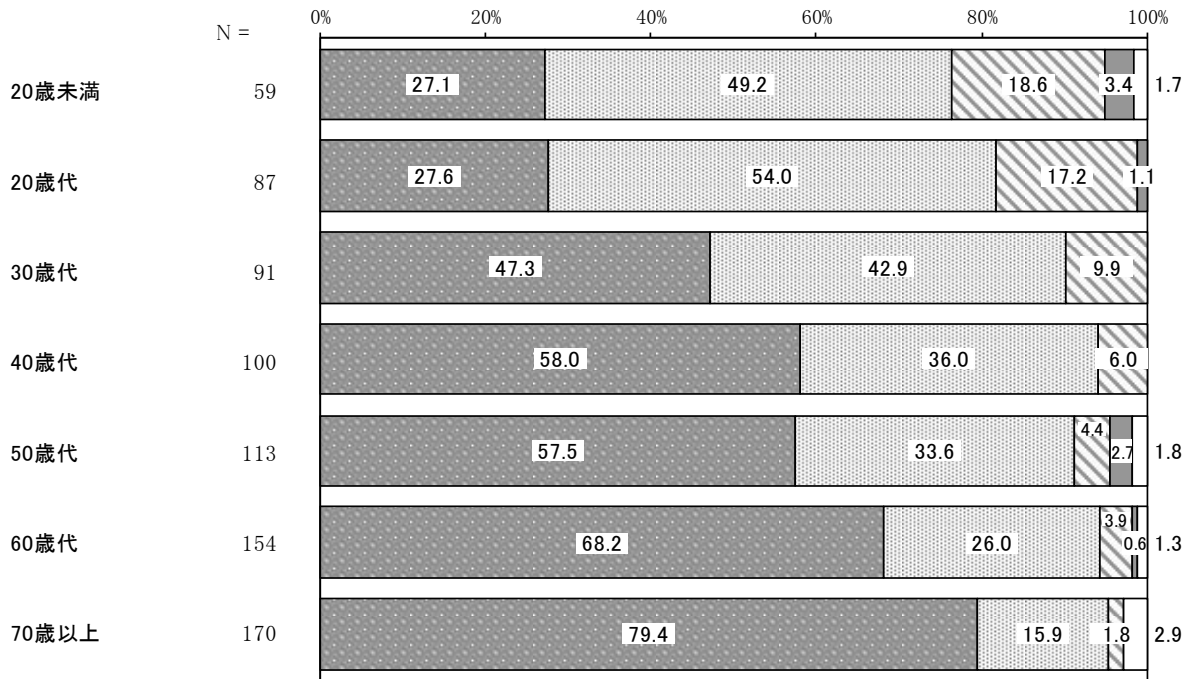
「ずっと住み続けたい」と「当分の間は住み続けたい」をあわせた“住み続けたい”の割合が90.5%、「いずれは市外へ引っ越したい」と「すぐにでも市外へ引っ越したい」をあわせた“引っ越したい”の割合が8.0%となっています。

平成21年度調査と比較すると、「当分の間は住み続けたい」の割合が増加しています。



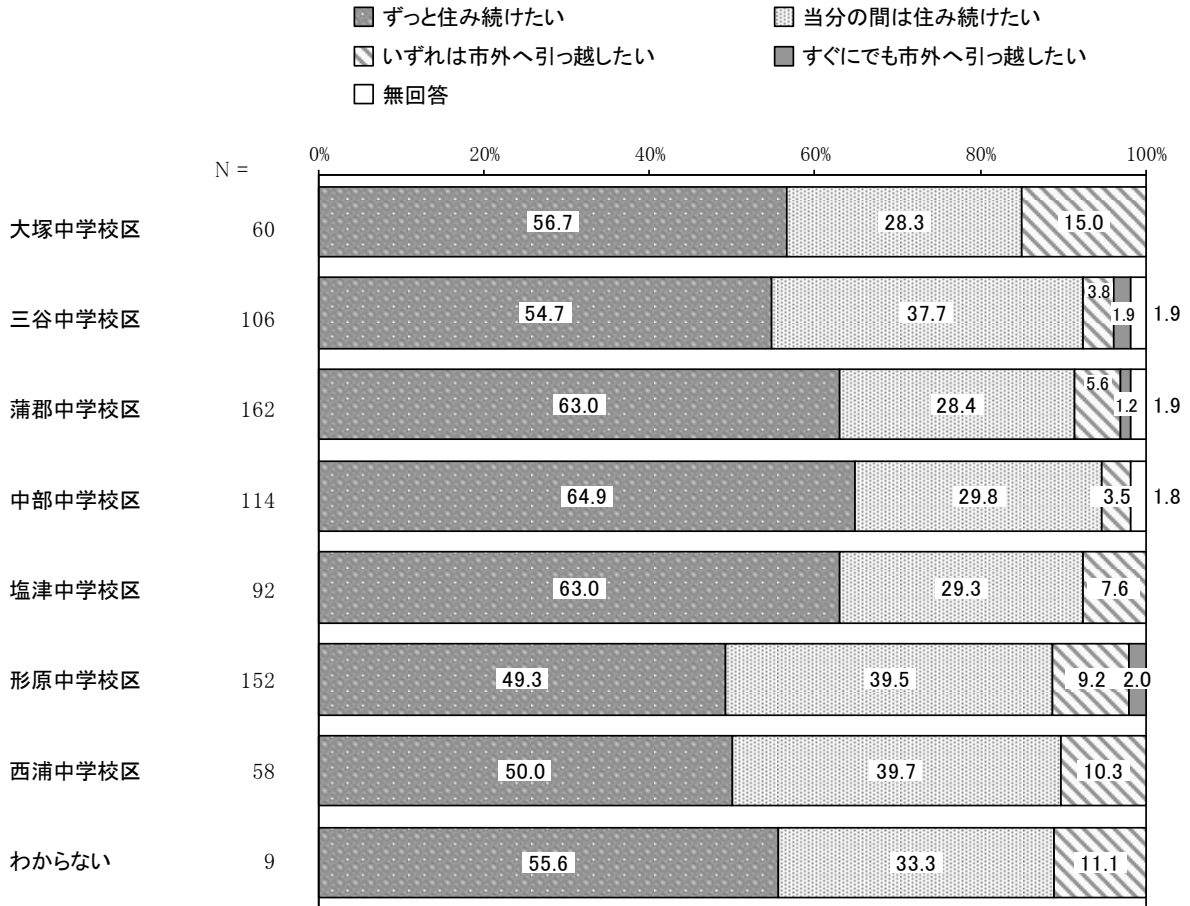
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「ずっと住み続けたい」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、20歳未満、20歳代で「いずれは市外へ引っ越したい」の割合が高く、約2割となっています。



【中学校区別】

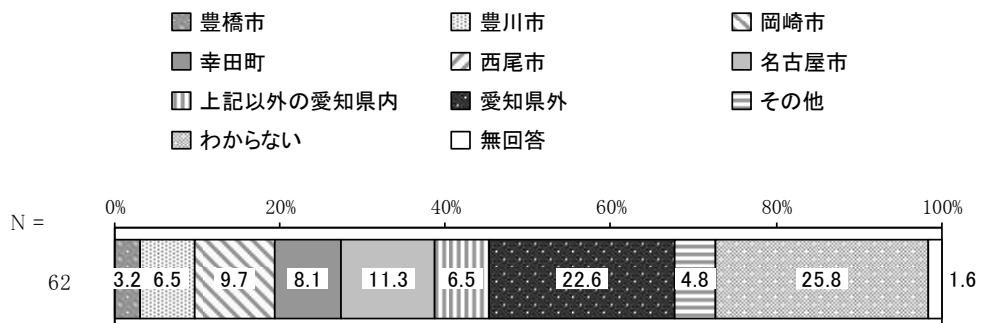
中学校区別でみると、他に比べ、中部中学校区で“住み続けたい”の割合が高く、9割台半ばとなっています。また、大塚中学校区で“引っ越したい”の割合が高く、1割台半ばとなっています。



問 11 で「いずれは市外へ引っ越したい」、「すぐにも市外へ引っ越したい」と答えた方にお聞きします

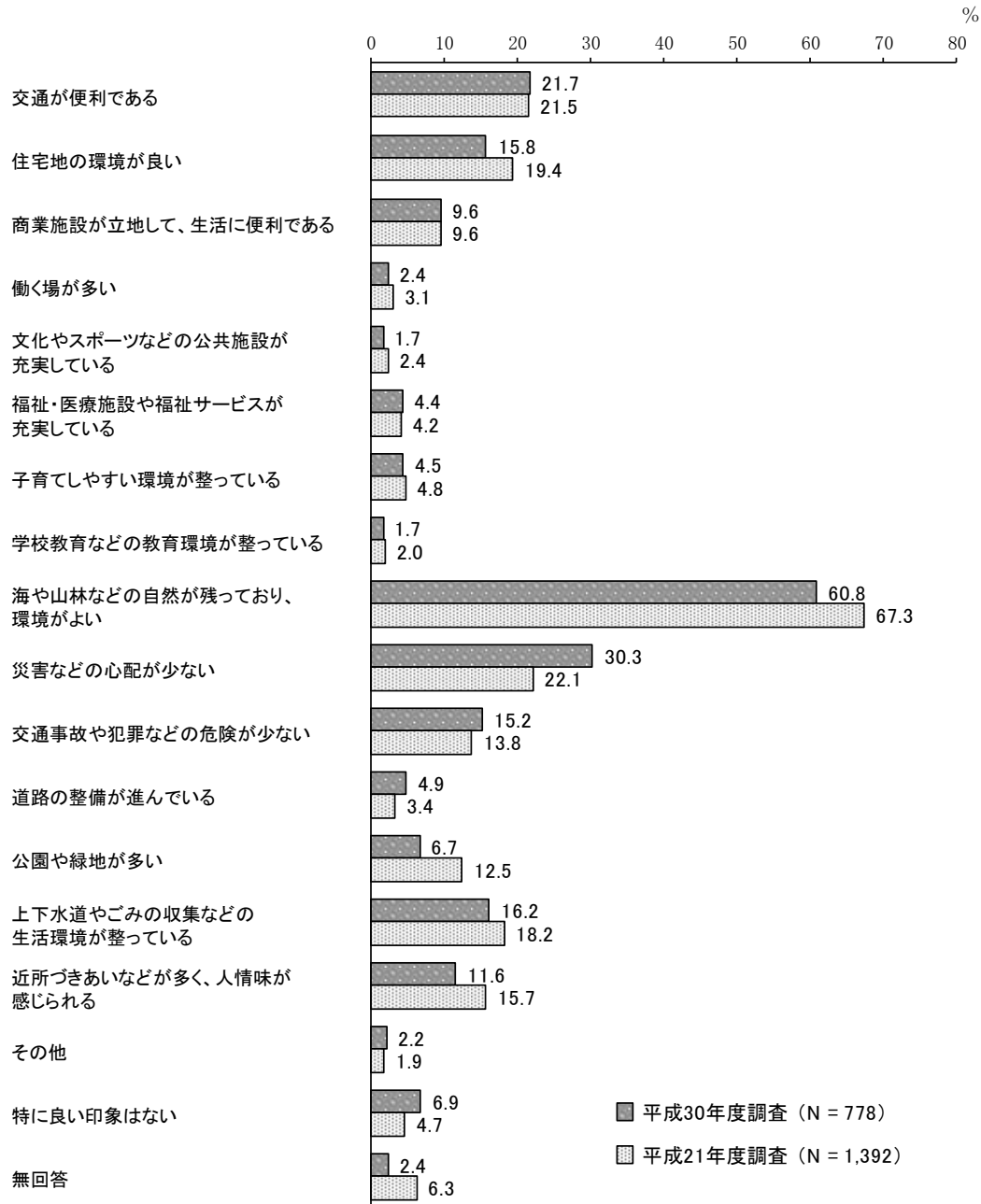
問 11-1 どちらへ引っ越したいと思いますか。(○は1つだけ)

「わからない」の割合が25.8%と最も高く、次いで「愛知県外」の割合が22.6%、「名古屋市」の割合が11.3%となっています。



問 12 あなたは、蒲郡市に対しどのような良い印象をお持ちですか。(〇は3つまで)

「海や山林などの自然が残っており、環境がよい」の割合が60.8%と最も高く、次いで「災害などの心配が少ない」の割合が30.3%、「交通が便利である」の割合が21.7%となっています。
 平成21年度調査と比較すると、「災害などの心配が少ない」の割合が大幅に増加し、「海や山林などの自然が残っており、環境がよい」「公園や緑地が多い」の割合が大幅に減少しています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、60歳代以上で「災害などの心配が少ない」の割合が高く、約4割となっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	交通が便利である	住宅地の環境が良い	商業施設が立地して、 生活に便利である	働く場が多い	文化やスポーツなどの 公共施設が充実している	福祉・医療施設や福祉 サービスが充実している	子育てしやすい環境が 整っている	学校教育などの 教育環境が整っている	海や山林などの自然が 残っており、環境が良い
20歳未満	59	16.9	13.6	11.9	1.7	—	—	—	1.7	52.5
20歳代	87	27.6	20.7	11.5	1.1	2.3	1.1	4.6	—	59.8
30歳代	91	22.0	16.5	9.9	—	1.1	1.1	11.0	3.3	59.3
40歳代	100	24.0	21.0	6.0	2.0	1.0	1.0	8.0	4.0	66.0
50歳代	113	15.9	8.8	8.0	2.7	2.7	2.7	3.5	—	62.8
60歳代	154	23.4	16.2	11.0	4.5	1.3	6.5	3.9	1.3	66.9
70歳以上	170	21.2	15.3	10.0	2.9	2.4	10.0	1.8	1.8	55.3

区分	災害などの心配が少ない	交通事故や犯罪などの 危険が少ない	道路の整備が進んでいる	公園や緑地が多い	上下水道やごみの収集 などの生活環境が整って いる	近所つきあいなどが多く、 人情味を感じられる	その他	特に良い印象はない	無回答
20歳未満	15.3	13.6	8.5	8.5	5.1	10.2	1.7	20.3	3.4
20歳代	23.0	10.3	6.9	8.0	3.4	9.2	3.4	8.0	4.6
30歳代	27.5	14.3	4.4	13.2	7.7	9.9	2.2	9.9	1.1
40歳代	21.0	18.0	4.0	6.0	8.0	12.0	4.0	5.0	—
50歳代	24.8	21.2	4.4	4.4	11.5	11.5	0.9	8.8	3.5
60歳代	39.6	14.9	2.6	4.5	20.1	11.7	1.3	3.9	1.3
70歳以上	41.8	13.5	5.3	5.9	35.9	14.1	2.4	2.9	2.4

【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、蒲郡中学校区で「交通が便利である」の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、塩津中学校区で「商業施設が立地して、生活に便利である」の割合が、西浦中学校区で「近所づきあいなどが多く、人情味が感じられる」の割合が高く、約2割となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	交通が便利である	住宅地の環境が良い	商業施設が立地して、生活に便利である	働く場が多い	文化やスポーツなどの公共施設が充実している	福祉・医療施設や福祉サービスが充実している	子育てしやすい環境が整っている	学校教育などの教育環境が整っている	海や山林などの自然が残っており、環境が良い
大塚中学校区	60	15.0	21.7	3.3	5.0	3.3	5.0	6.7	1.7	65.0
三谷中学校区	106	12.3	16.0	8.5	1.9	2.8	4.7	3.8	—	64.2
蒲郡中学校区	162	36.4	14.8	9.3	1.9	1.2	4.9	3.7	1.9	59.9
中部中学校区	114	30.7	14.9	11.4	1.8	1.8	6.1	7.9	2.6	63.2
塩津中学校区	92	22.8	17.4	19.6	3.3	—	5.4	4.3	2.2	56.5
形原中学校区	152	13.8	13.8	9.9	3.3	2.6	2.6	3.3	1.3	57.9
西浦中学校区	58	6.9	12.1	1.7	1.7	—	—	3.4	3.4	65.5
わからない	9	11.1	22.2	—	—	—	11.1	11.1	—	77.8

区分	災害などの心配が少ない	交通事故や犯罪などの危険が少ない	道路の整備が進んでいる	公園や緑地が多い	上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている	近所づきあいなどが多く、人情味が感じられる	その他	特に良い印象はない	無回答
大塚中学校区	30.0	16.7	5.0	8.3	16.7	16.7	—	5.0	—
三谷中学校区	27.4	11.3	6.6	9.4	17.9	12.3	3.8	6.6	2.8
蒲郡中学校区	30.9	18.5	4.3	7.4	14.8	9.9	2.5	6.2	1.9
中部中学校区	32.5	14.0	4.4	7.0	14.0	10.5	3.5	2.6	1.8
塩津中学校区	22.8	9.8	9.8	3.3	12.0	9.8	2.2	10.9	3.3
形原中学校区	34.9	17.1	3.3	5.9	15.1	11.2	2.0	9.2	2.0
西浦中学校区	32.8	17.2	—	3.4	13.8	20.7	—	12.1	—
わからない	—	22.2	—	22.2	44.4	—	—	—	11.1

【住みやすさ別】

住みやすさ別でみると、他に比べ、住みやすいで「住宅地の環境が良い」「商業施設が立地して、生活に便利である」の割合が、住みにくいで「上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている」の割合が高くなっています。また、住みやすい、どちらかといえば住みやすいで「海や山林などの自然が残っており、環境がよい」「災害などの心配が少ない」の割合が高くなっています。

単位：％

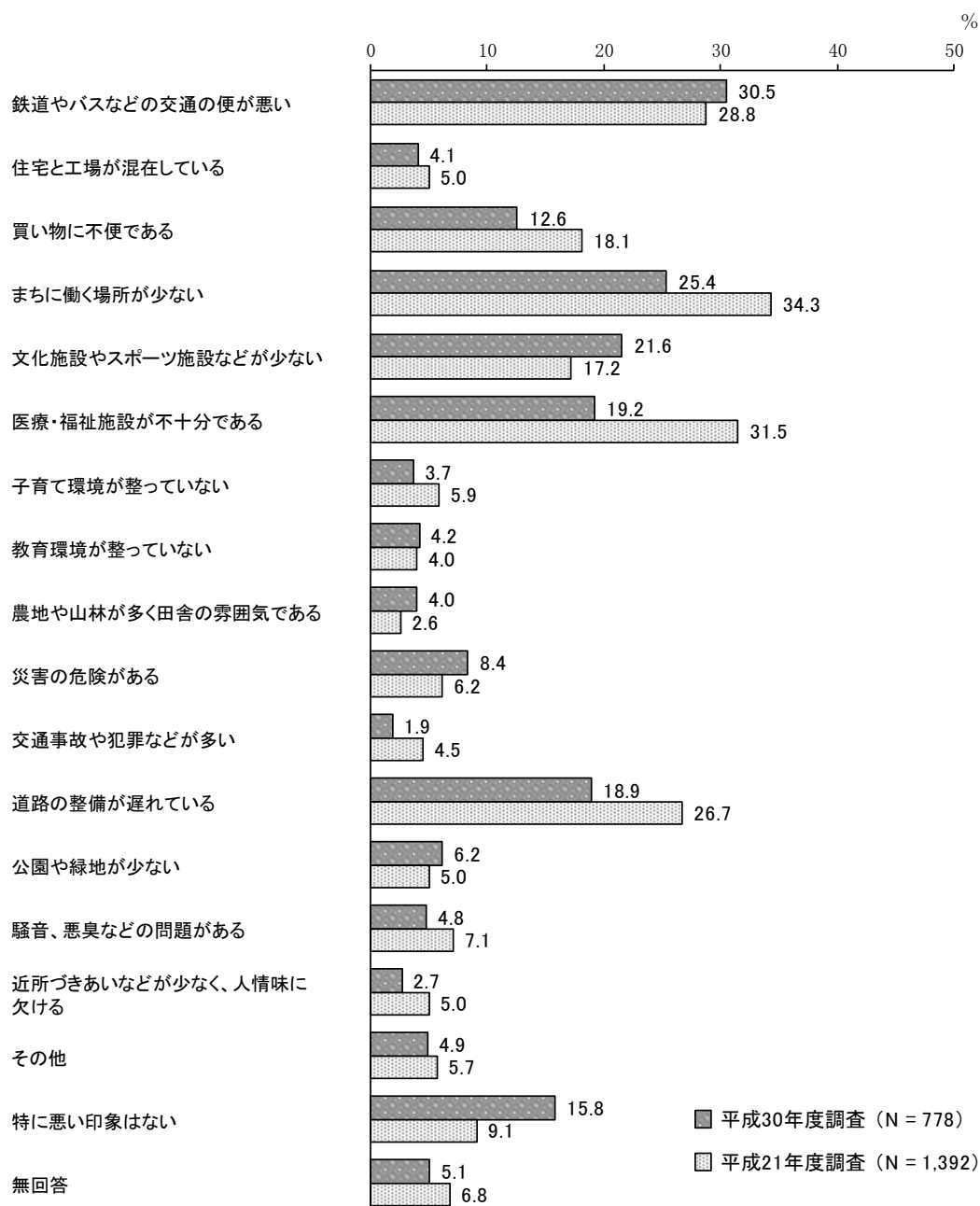
区分	有効回答数 (件)	交通が便利である	住宅地の環境が良い	商業施設が立地して、生活に便利である	働く場が多い	文化やスポーツなどの公共施設が充実している	福祉・医療施設や福祉サービスが充実している	子育てしやすい環境が整っている	学校教育などの教育環境が整っている	海や山林などの自然が残っており、環境がよい
住みやすい	288	32.3	24.3	14.9	2.8	2.4	5.2	6.3	2.8	62.8
どちらかといえば住みやすい	300	18.3	14.3	9.3	2.7	1.3	4.7	3.3	1.7	65.0
どちらともいえない	137	10.2	5.1	1.5	0.7	0.7	3.6	2.9	—	54.0
どちらかといえば住みにくい	26	3.8	3.8	3.8	3.8	—	—	—	—	50.0
住みにくい	14	35.7	7.1	7.1	—	7.1	—	7.1	—	42.9

区分	災害などの心配が少ない	交通事故や犯罪などの危険が少ない	道路の整備が進んでいる	公園や緑地が多い	上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている	近所づきあいなどが多く、人情味を感じられる	その他	特に良い印象はない	無回答
住みやすい	31.6	14.2	5.2	6.6	18.4	12.5	2.4	1.0	3.5
どちらかといえば住みやすい	33.3	16.7	5.3	5.3	15.3	13.3	1.7	6.0	1.0
どちらともいえない	26.3	13.1	4.4	10.2	14.6	6.6	2.9	18.2	2.2
どちらかといえば住みにくい	19.2	23.1	3.8	7.7	7.7	3.8	3.8	15.4	3.8
住みにくい	14.3	14.3	—	—	28.6	7.1	—	7.1	—

問 13 あなたは、蒲郡市に対しどのような悪い印象をお持ちですか。（〇は3つまで）

「鉄道やバスなどの交通の便が悪い」の割合が30.5%と最も高く、次いで「まちに働く場所が少ない」の割合が25.4%、「文化施設やスポーツ施設などが少ない」の割合が21.6%となっています。

平成21年度調査と比較すると、「特に悪い印象はない」の割合が大幅に増加し、「買い物に不便である」「まちに働く場所が少ない」「医療・福祉施設が不十分である」「道路の整備が遅れている」の割合が大幅に減少しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、40歳代で「鉄道やバスなどの交通の便が悪い」「まちに働く場所が少ない」の割合が高く、約4割となっています。また、30歳代から50歳代で「医療・福祉施設が不十分である」の割合が高く、2割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	鉄道やバスなどの交通の 便が悪い	住宅と工場が混在して いる	買い物に不便である	まちに働く場所が少ない	文化施設やスポーツ施設 などが少ない	医療・福祉施設が不十分で ある	子育て環境が整って いない	教育環境が整っていない	農地や山林が多く田舎の 雰囲気である
20歳未満	59	32.2	3.4	13.6	18.6	33.9	11.9	3.4	6.8	5.1
20歳代	87	34.5	5.7	13.8	26.4	31.0	13.8	3.4	5.7	1.1
30歳代	91	33.0	5.5	15.4	23.1	15.4	26.4	7.7	4.4	4.4
40歳代	100	41.0	4.0	17.0	37.0	28.0	25.0	4.0	10.0	1.0
50歳代	113	29.2	3.5	13.3	22.1	23.0	23.0	5.3	3.5	3.5
60歳代	154	21.4	3.9	10.4	23.4	17.5	18.8	3.2	0.6	7.1
70歳以上	170	29.4	3.5	9.4	25.9	15.3	15.3	1.2	2.9	4.1

区分	災害の危険がある	交通事故や犯罪などが 多い	道路の整備が遅れている	公園や緑地が少ない	騒音、悪臭などの問題が ある	近所つきあいなどが 少なく、人情味に欠ける	その他	特に悪い印象はない	無回答
20歳未満	10.2	6.8	13.6	3.4	6.8	1.7	1.7	20.3	1.7
20歳代	16.1	—	8.0	3.4	9.2	—	8.0	13.8	4.6
30歳代	8.8	4.4	18.7	4.4	4.4	3.3	8.8	13.2	4.4
40歳代	9.0	3.0	17.0	10.0	3.0	—	8.0	7.0	3.0
50歳代	6.2	—	23.0	3.5	1.8	4.4	2.7	15.9	7.1
60歳代	6.5	1.3	23.4	7.1	4.5	0.6	2.6	20.8	5.8
70歳以上	6.5	1.2	21.2	8.2	4.7	6.5	4.1	17.6	5.3

【中学校区別】

中学校区別で見ると、他に比べ、西浦中学校区で「鉄道やバスなどの交通の便が悪い」の割合が、大塚中学校区で「買い物に不便である」の割合が高く、4割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	鉄道やバスなどの交通の 便が悪い	住宅と工場が混在して いる	買い物に不便である	まちに働く場所が少ない	文化施設やスポーツ施設 などが少ない	医療・福祉施設が不十分で ある	子育て環境が整って いない	教育環境が整っていない	農地や山林が多く田舎の 雰囲気である
大塚中学校区	60	40.0	3.3	43.3	21.7	15.0	8.3	5.0	1.7	8.3
三谷中学校区	106	30.2	4.7	13.2	27.4	23.6	20.8	4.7	3.8	2.8
蒲郡中学校区	162	21.0	3.7	6.2	28.4	27.2	22.2	5.6	3.7	3.1
中部中学校区	114	28.9	1.8	7.9	21.1	27.2	18.4	3.5	6.1	6.1
塩津中学校区	92	29.3	6.5	7.6	20.7	26.1	22.8	2.2	4.3	3.3
形原中学校区	152	34.9	5.3	7.9	25.0	17.1	21.7	3.3	4.6	2.6
西浦中学校区	58	44.8	1.7	27.6	34.5	12.1	10.3	1.7	6.9	3.4
わからない	9	11.1	—	22.2	44.4	—	—	—	—	11.1

区分	災害の危険がある	交通事故や犯罪などが 多い	道路の整備が遅れている	公園や緑地が少ない	騒音、悪臭などの問題が ある	近所つきあいなどが 少なく、人情味に欠ける	その他	特に悪い印象はない	無回答
大塚中学校区	5.0	3.3	21.7	6.7	10.0	1.7	1.7	10.0	6.7
三谷中学校区	7.5	0.9	19.8	1.9	4.7	0.9	8.5	6.6	5.7
蒲郡中学校区	8.6	2.5	17.9	6.2	4.9	4.9	5.6	17.9	3.7
中部中学校区	6.1	2.6	21.9	7.9	4.4	1.8	5.3	22.8	—
塩津中学校区	14.1	2.2	16.3	12.0	5.4	2.2	2.2	15.2	4.3
形原中学校区	8.6	1.3	17.8	3.9	3.3	2.6	5.3	18.4	5.9
西浦中学校区	5.2	—	20.7	5.2	3.4	1.7	1.7	13.8	8.6
わからない	22.2	—	22.2	—	—	11.1	11.1	11.1	11.1

【住みやすさ別】

住みやすさ別でみると、他に比べ、どちらかといえば住みにくいで「鉄道やバスなどの交通の便が悪い」「まちに働く場所が少ない」「医療・福祉施設が不十分である」の割合が高くなっています。

単位：％

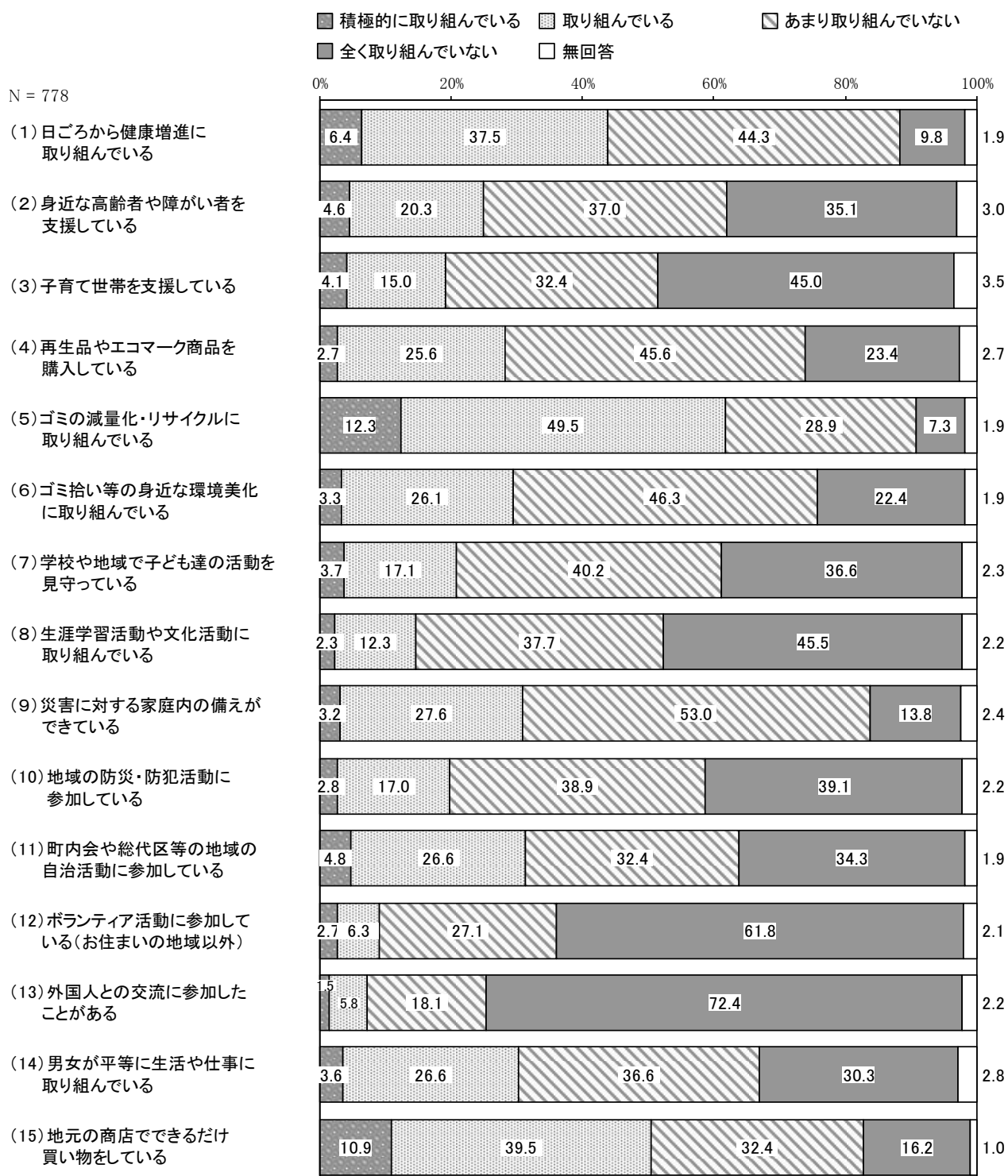
区分	有効回答数 (件)	鉄道やバスなどの交通の便が悪い	住宅と工場が混在している	買い物に不便である	まちに働く場所が少ない	文化施設やスポーツ施設などが少ない	医療・福祉施設が不十分である	子育て環境が整っていない	教育環境が整っていない	農地や山林が多く田舎の雰囲気である
住みやすい	288	25.0	2.8	9.7	24.3	19.4	16.3	3.8	3.5	3.5
どちらかといえば住みやすい	300	32.3	3.7	11.0	25.3	24.0	20.0	2.7	6.0	3.3
どちらともいえない	137	31.4	6.6	16.1	24.1	22.6	21.9	4.4	2.2	8.0
どちらかといえば住みにくい	26	53.8	11.5	26.9	46.2	23.1	30.8	7.7	3.8	—
住みにくい	14	35.7	7.1	28.6	7.1	21.4	14.3	7.1	7.1	—

区分	災害の危険がある	交通事故や犯罪などが多い	道路の整備が遅れている	公園や緑地が少ない	騒音、悪臭などの問題がある	近所づきあいなどが少なく、人情味に欠ける	その他	特に悪い印象はない	無回答
住みやすい	8.0	2.8	16.3	5.2	4.5	2.4	3.8	22.9	3.1
どちらかといえば住みやすい	7.0	1.7	20.0	6.3	4.7	2.3	4.7	14.7	5.0
どちらともいえない	11.7	0.7	19.7	7.3	5.8	3.6	5.1	9.5	7.3
どちらかといえば住みにくい	11.5	—	23.1	11.5	—	—	11.5	—	7.7
住みにくい	—	—	28.6	—	14.3	7.1	21.4	—	21.4

(3) 日常生活や地域活動等の実態について

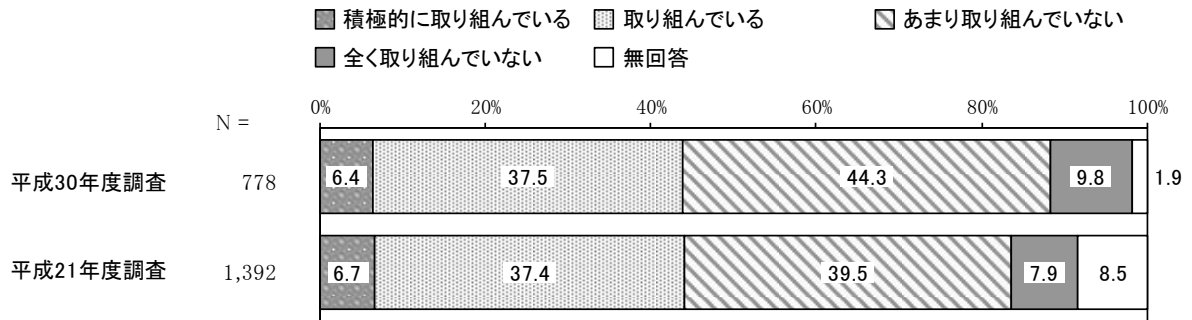
問 14 あなたの日常生活や地域活動等への参加状況についてお答えください。
 (1)～(15)それぞれの項目について、あなたのお考えや行動に最も近いものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

(5) ゴミの減量化・リサイクルに取り組んでいる、(15) 地元の商店でできるだけ買い物をしていて「積極的に取り組んでいる」と「取り組んでいる」をあわせた“取り組んでいる”の割合が高く、5割を超えています。一方、(12) ボランティア活動に参加している（お住まいの地域以外）、(13) 外国人との交流に参加したことがあるで「あまり取り組んでいない」と「全く取り組んでいない」をあわせた“取り組んでいない”の割合が高く、約9割となっています。



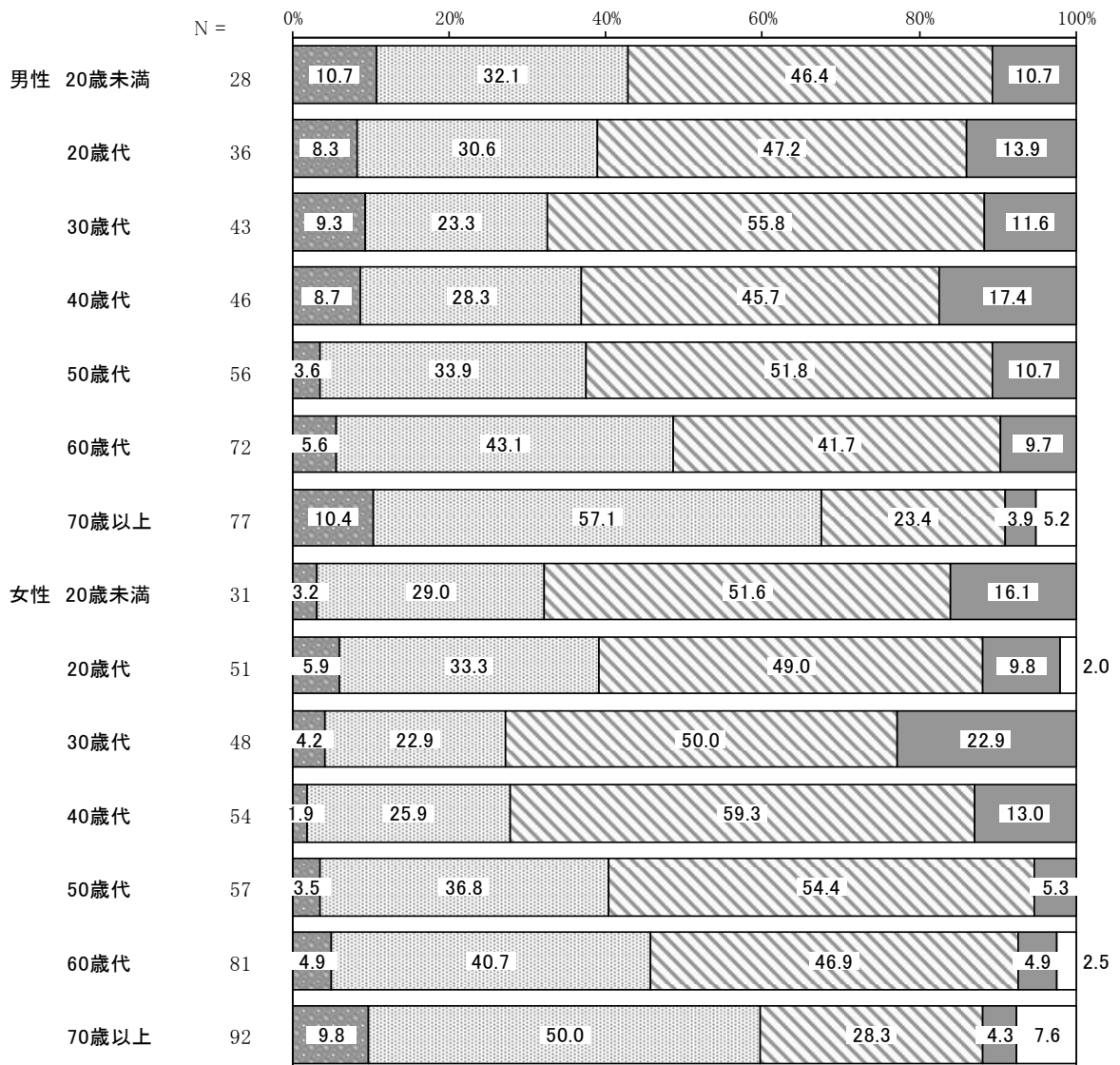
(1) 日ごろから健康増進に取り組んでいる

平成21年度調査と比較すると、“取り組んでいない”の割合が増加しています。



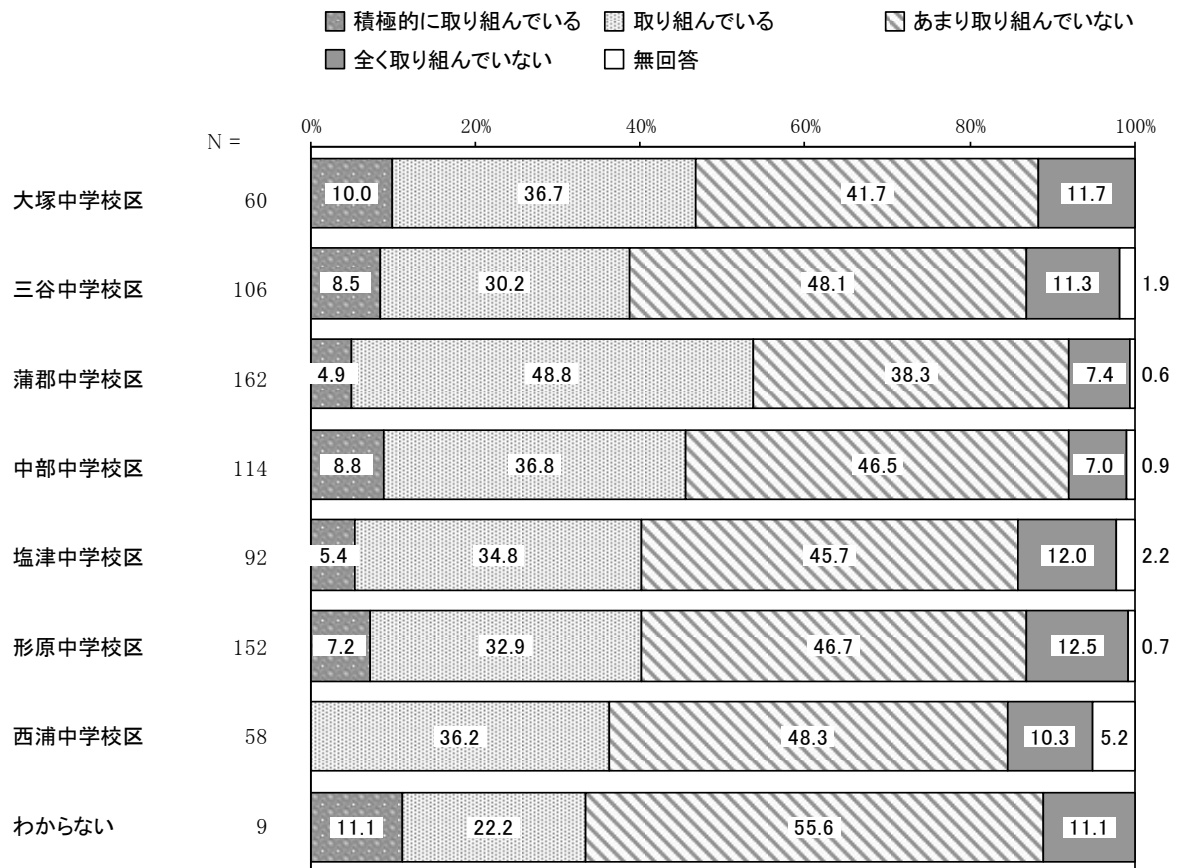
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、男女ともに70歳以上で“取り組んでいる”の割合が高くなっています。また、男性の30歳代、女性の30歳代、40歳代で“取り組んでいない”の割合が高くなっています。



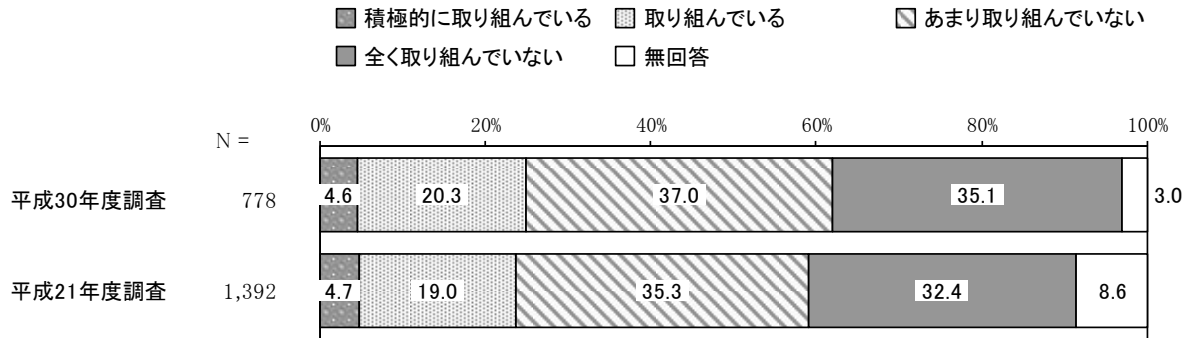
【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、蒲郡中学校区で“取り組んでいる”の割合が高くなっています。



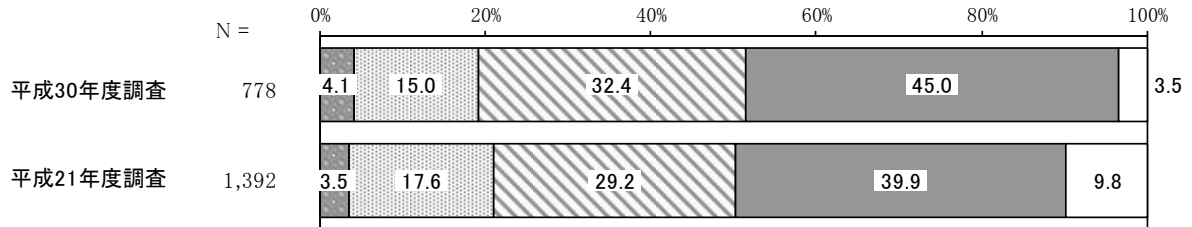
(2) 身近な高齢者や障がい者を支援している

平成 21 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



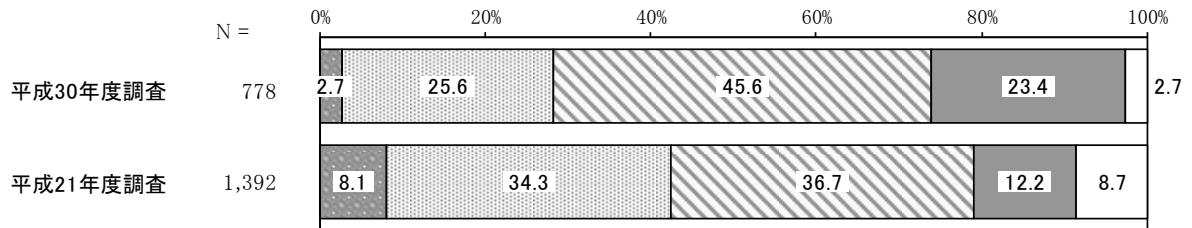
(3) 子育て世帯を支援している

平成 21 年度調査と比較すると、“取り組んでいない”の割合が増加しています。



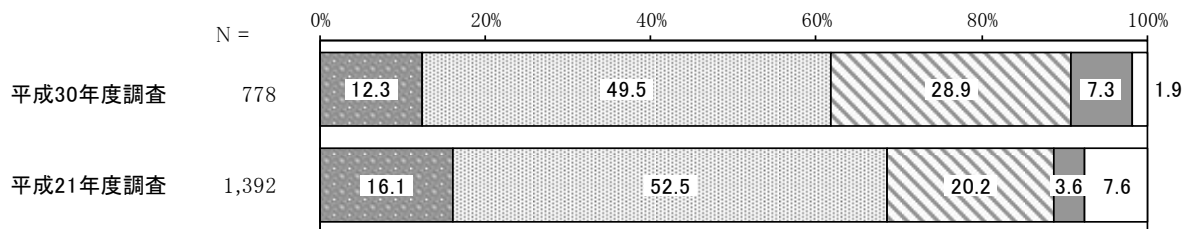
(4) 再生品やエコマーク商品を購入している

平成 21 年度調査と比較すると、“取り組んでいる”の割合が減少し、“取り組んでいない”の割合が増加しています。



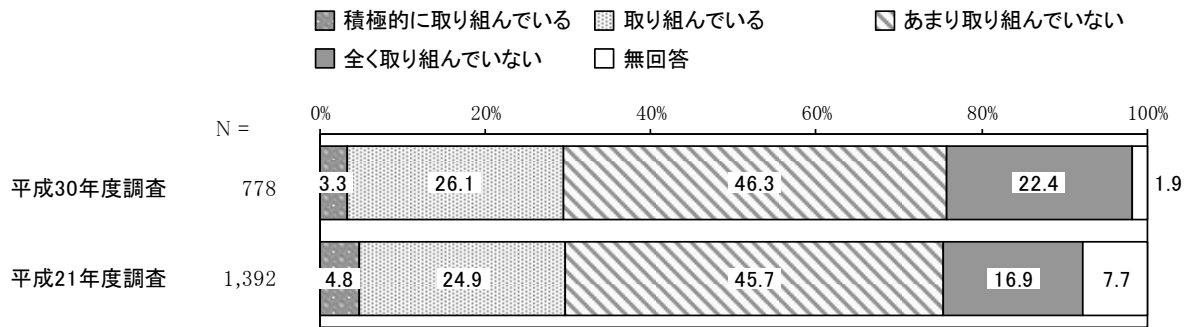
(5) ゴミの減量化・リサイクルに取り組んでいる

平成 21 年度調査と比較すると、“取り組んでいる”の割合が減少し、“取り組んでいない”の割合が増加しています。



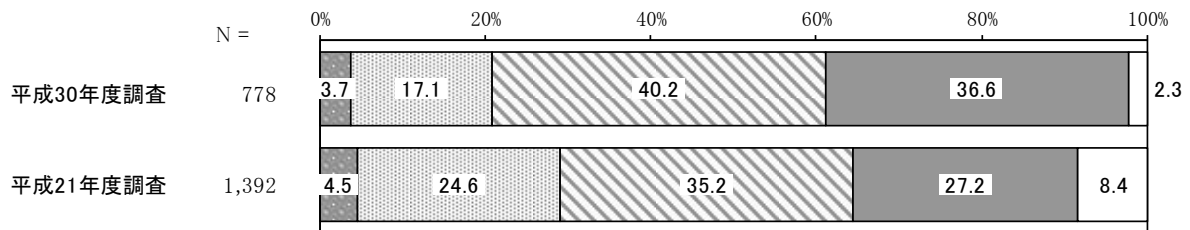
(6) ゴミ拾い等の身近な環境美化に取り組んでいる

平成 21 年度調査と比較すると、“取り組んでいない”の割合が増加しています。



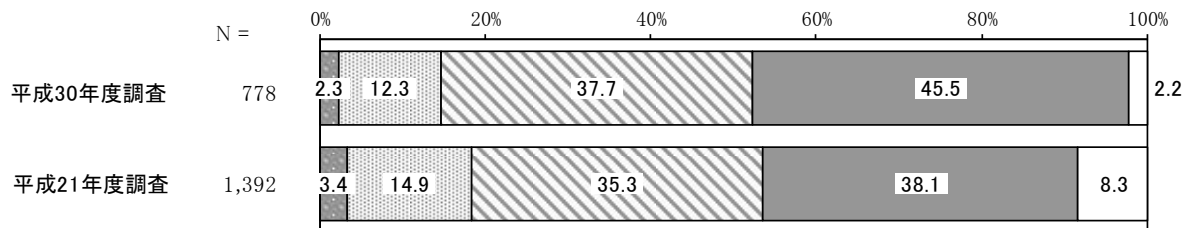
(7) 学校や地域で子ども達の活動を見守っている

平成 21 年度調査と比較すると、“取り組んでいる”の割合が減少し、“取り組んでいない”の割合が増加しています。



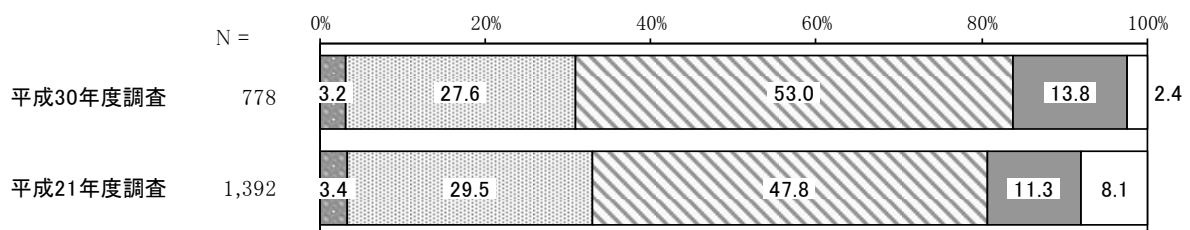
(8) 生涯学習活動や文化活動に取り組んでいる

平成 21 年度調査と比較すると、“取り組んでいない”の割合が増加しています。



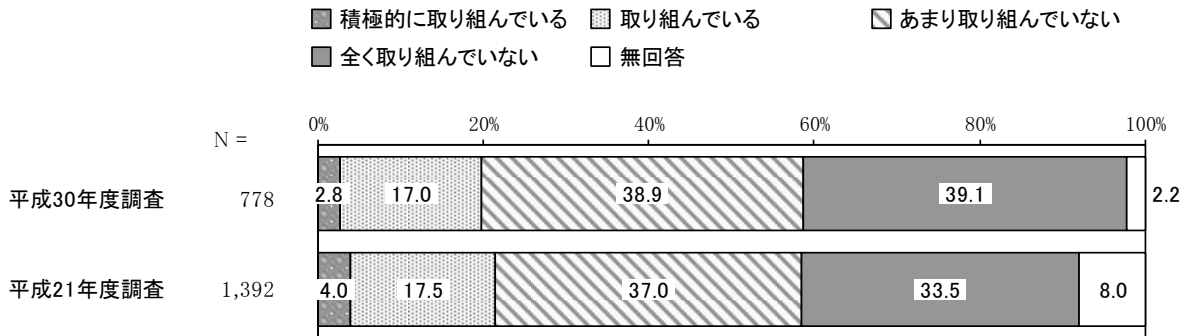
(9) 災害に対する家庭内の備えができている

平成 21 年度調査と比較すると、“取り組んでいない”の割合が増加しています。



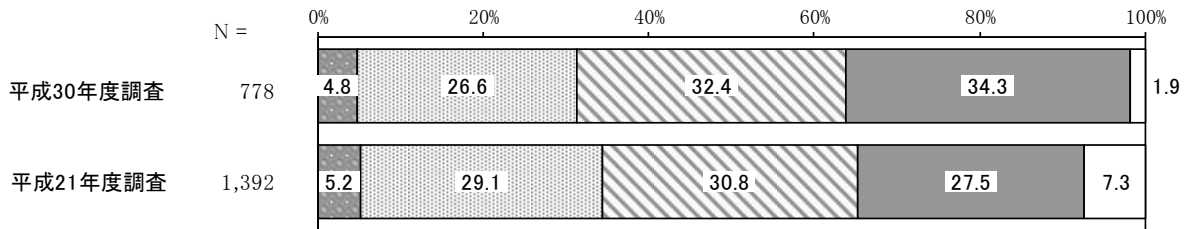
(10) 地域の防災・防犯活動に参加している

平成 21 年度調査と比較すると、“取り組んでいない”の割合が増加しています。



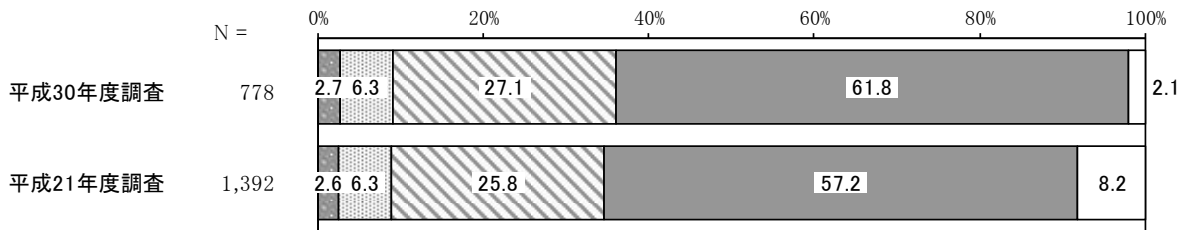
(11) 町内会や総代区等の地域の自治活動に参加している

平成 21 年度調査と比較すると、“取り組んでいない”の割合が増加しています。



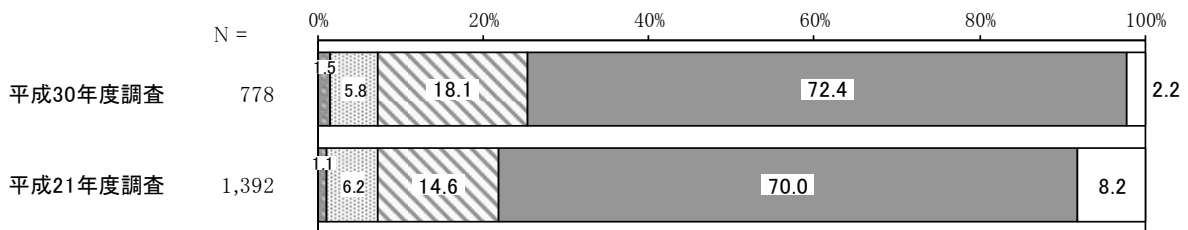
(12) ボランティア活動に参加している（お住まいの地域以外）

平成 21 年度調査と比較すると、“取り組んでいない”の割合が増加しています。



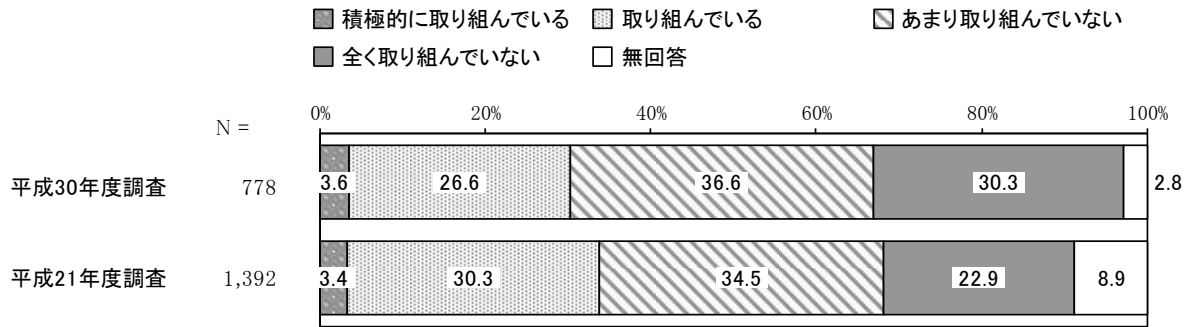
(13) 外国人との交流に参加したことがある

平成 21 年度調査と比較すると、“取り組んでいない”の割合が増加しています。



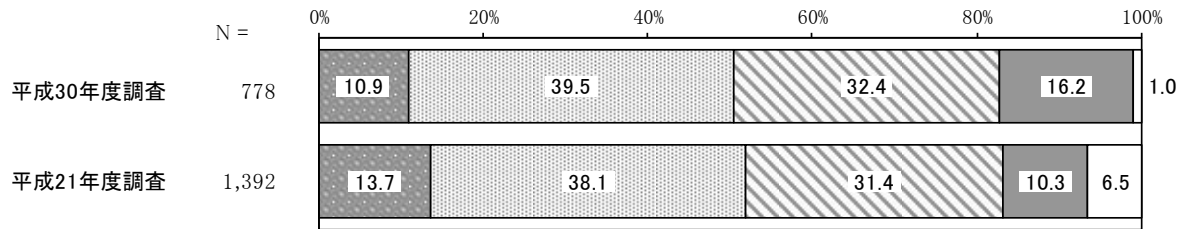
(14) 男女が平等に生活や仕事に取り組んでいる

平成 21 年度調査と比較すると、“取り組んでいない”の割合が増加しています。



(15) 地元の商店でできるだけ買い物をしている

平成 21 年度調査と比較すると、“取り組んでいない”の割合が増加しています。



(4) 暮らしの満足度と今後のまちづくりの重要度

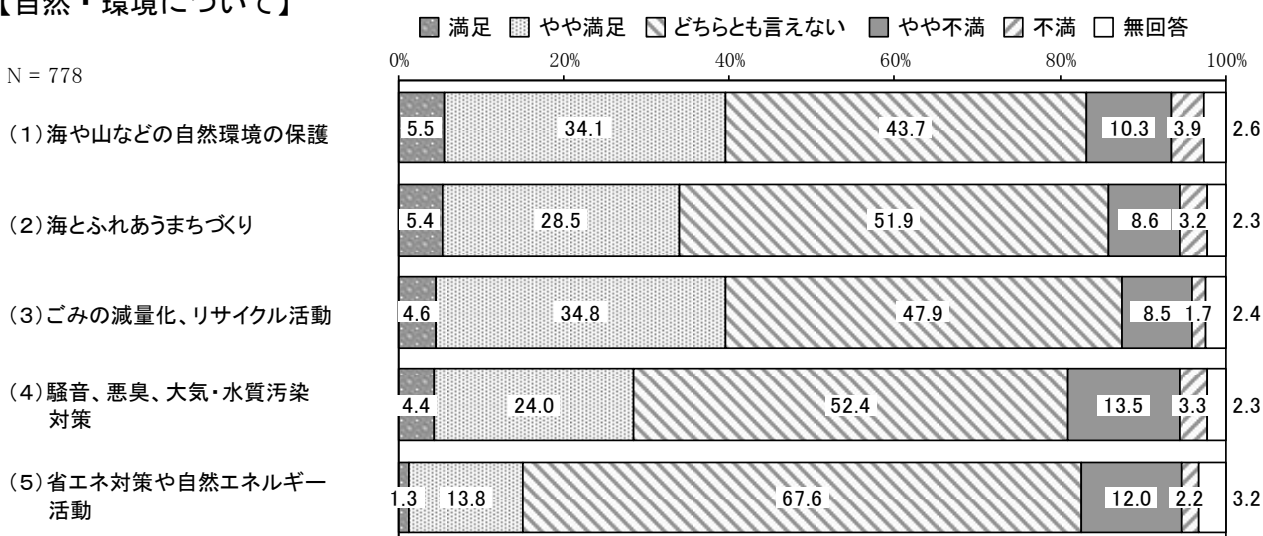
問 15 あなたは、これまでの蒲郡市における(1)～(39)の現状について、どの程度満足していますか。また、今後の蒲郡市のまちづくりにおいて、どれくらい重要であると思いますか。各項目の「満足度」と「重要度」それぞれの欄に、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

①満足度

(1) 海や山などの自然環境の保護、(3) ごみの減量化、リサイクル活動、(13) 下水処理対策、(22) 消防・救急体制で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高く、約4割となっています。一方、(11) 公共交通の利便性で「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約4割となっています。

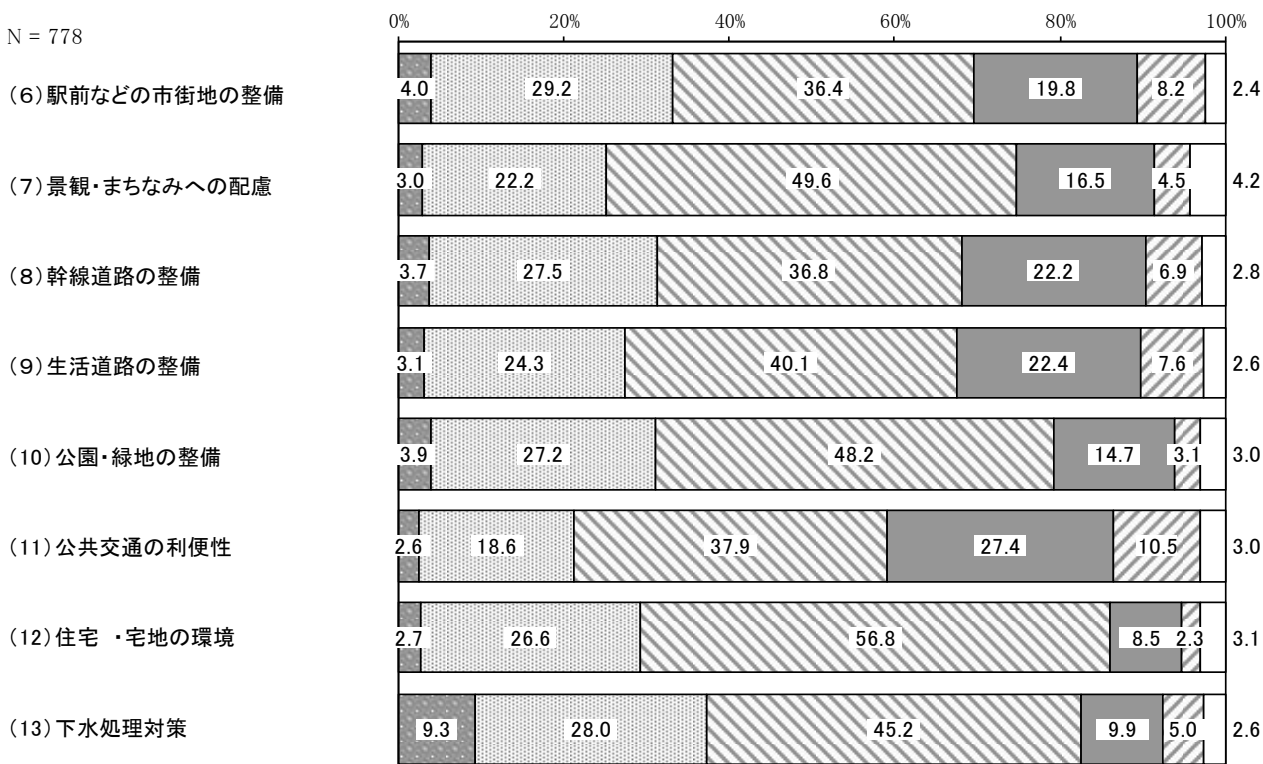
【自然・環境について】

N = 778



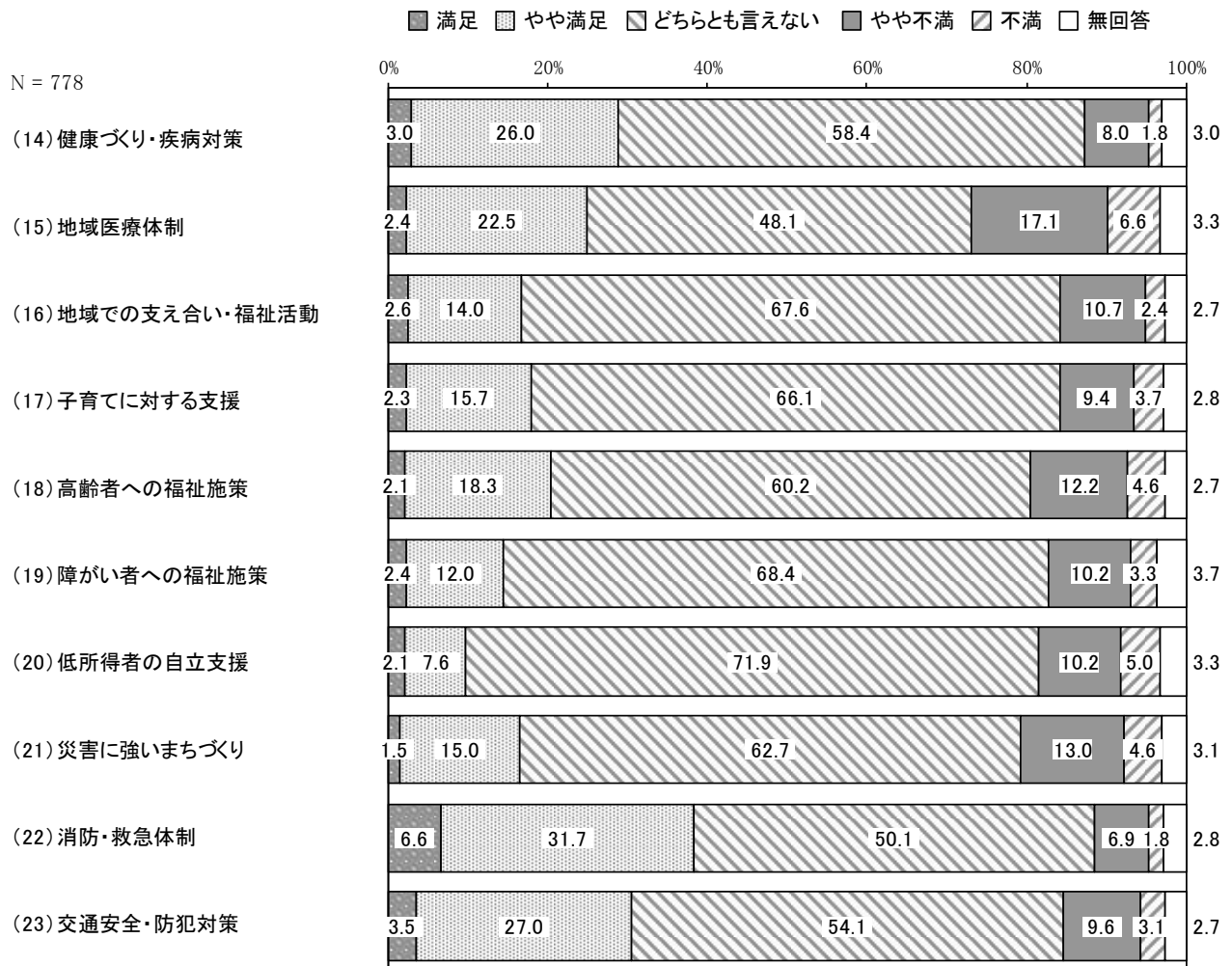
【基盤整備・交通について】

N = 778



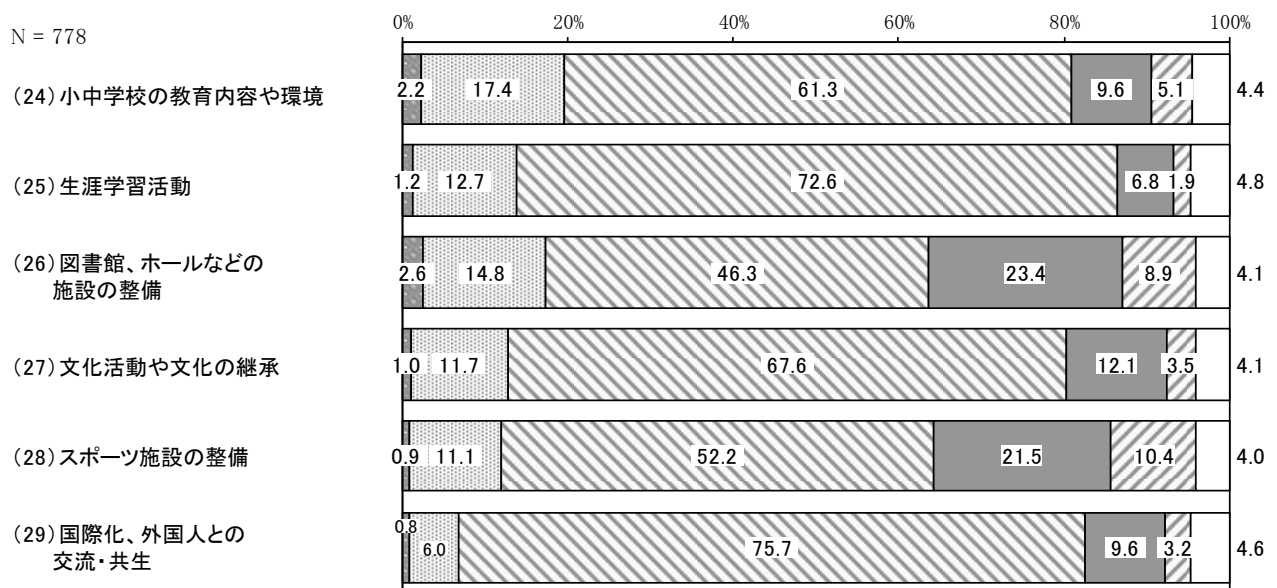
【安全・安心について】

N = 778



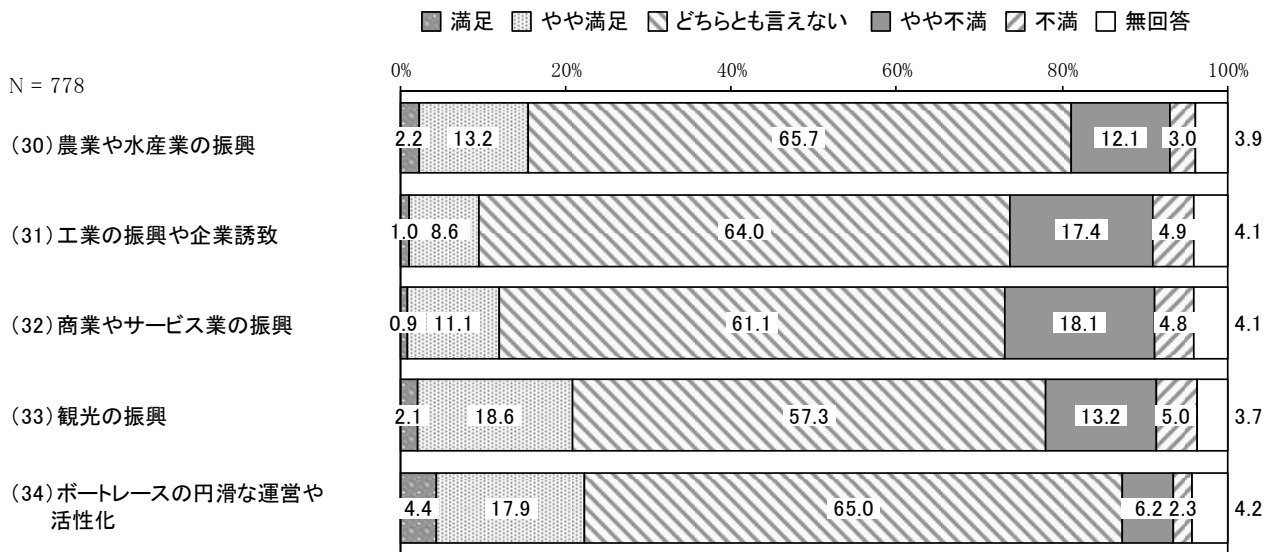
【教育・文化について】

N = 778



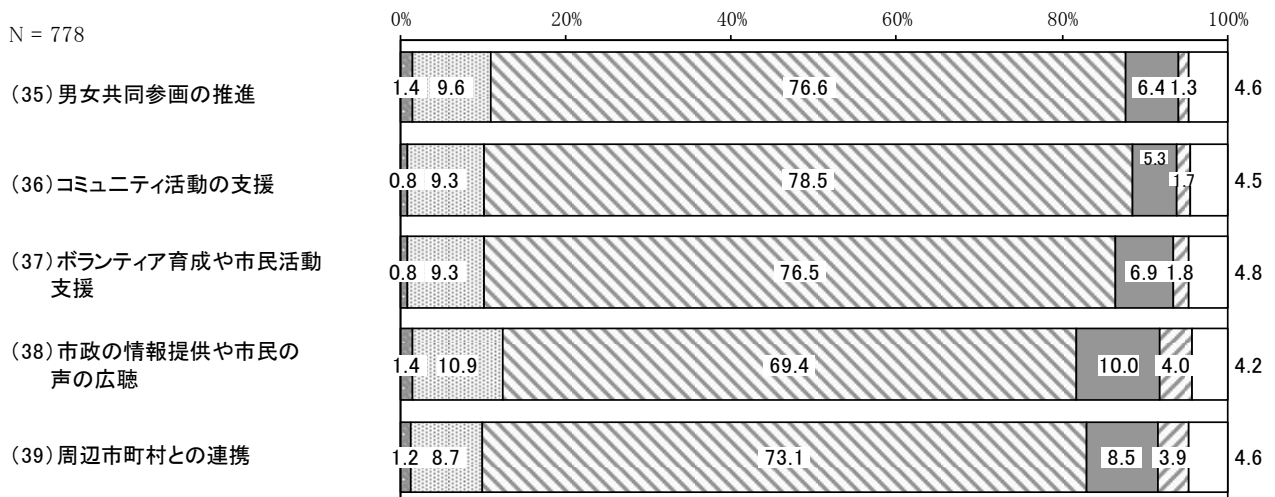
【産業について】

N = 778



【その他】

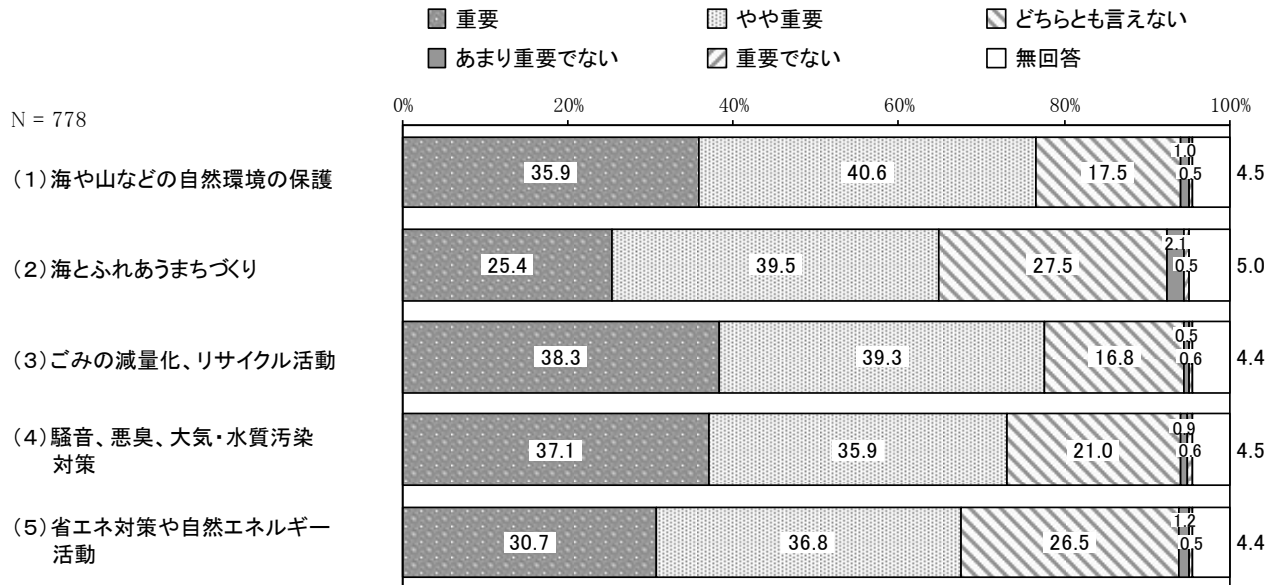
N = 778



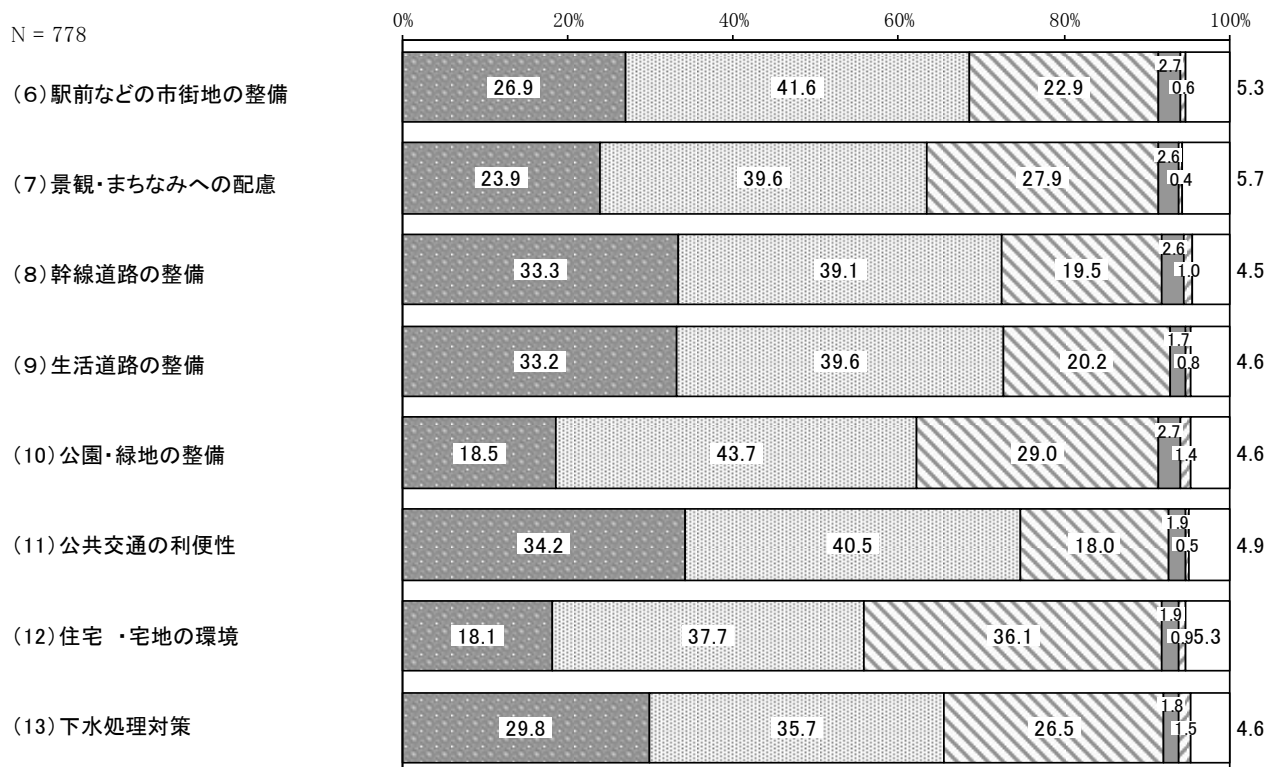
②重要度

(3) ごみの減量化、リサイクル活動で「重要」と「やや重要」をあわせた“重要”の割合が高く、約8割となっています。一方、(34) ボートレースの円滑な運営や活性化で「あまり重要でない」と「重要でない」をあわせた“重要でない”の割合が高く、約1割となっています。

【自然・環境について】



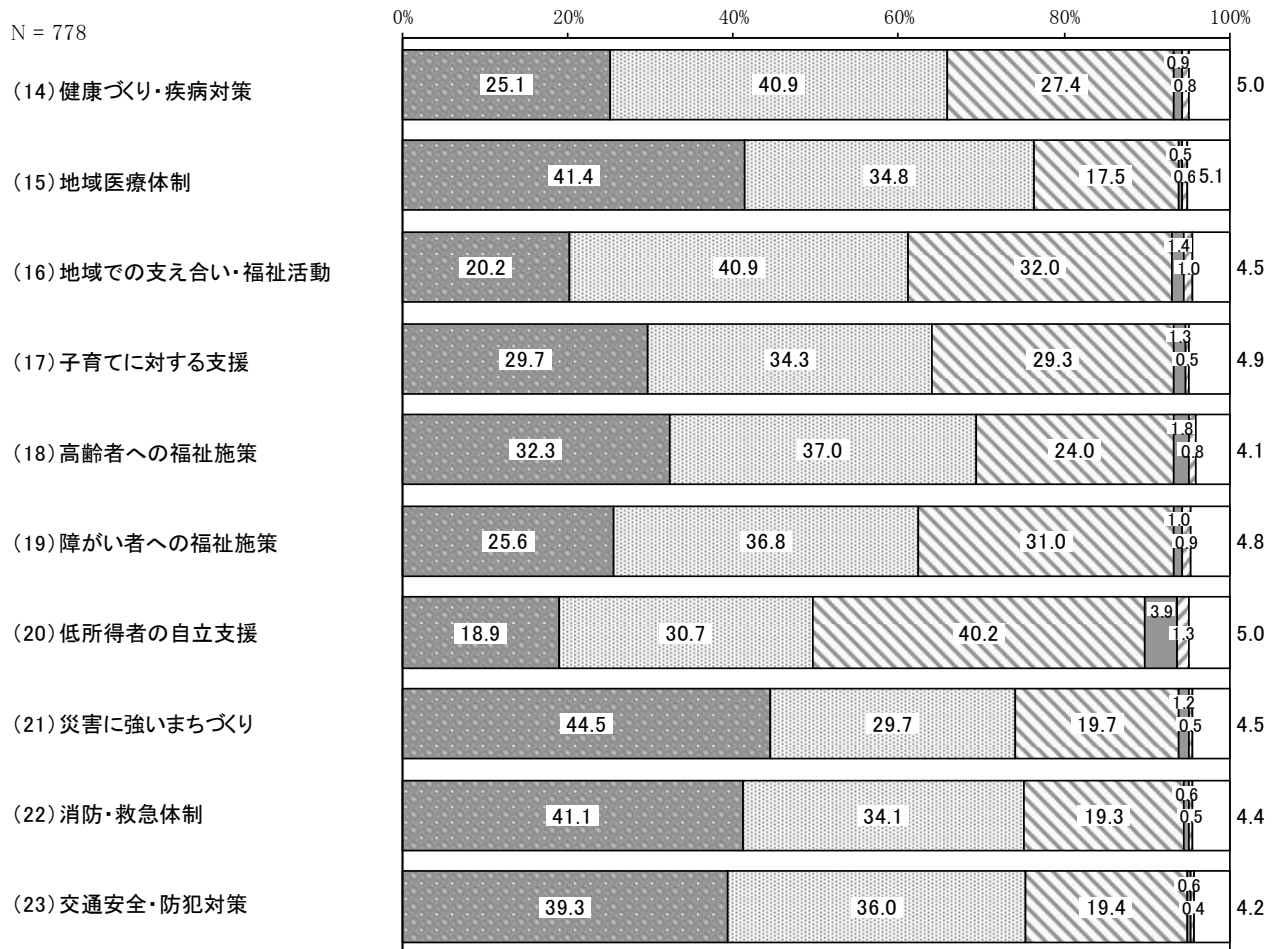
【基盤整備・交通について】



【安全・安心について】

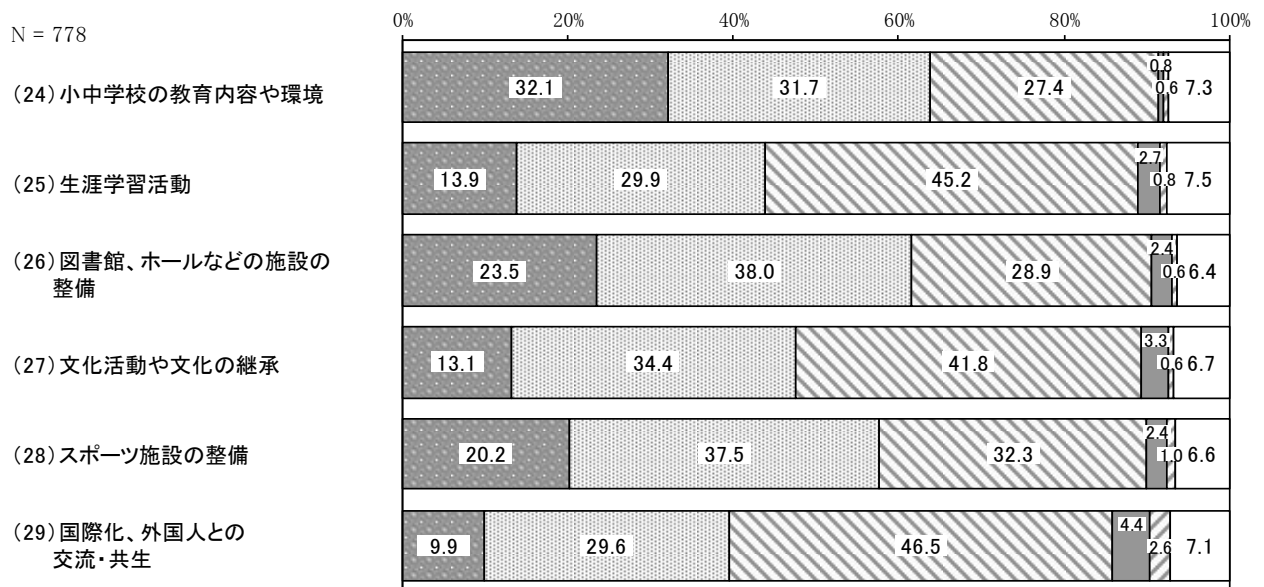
重要
 やや重要
 どちらとも言えない
 あまり重要でない
 重要でない
 無回答

N = 778

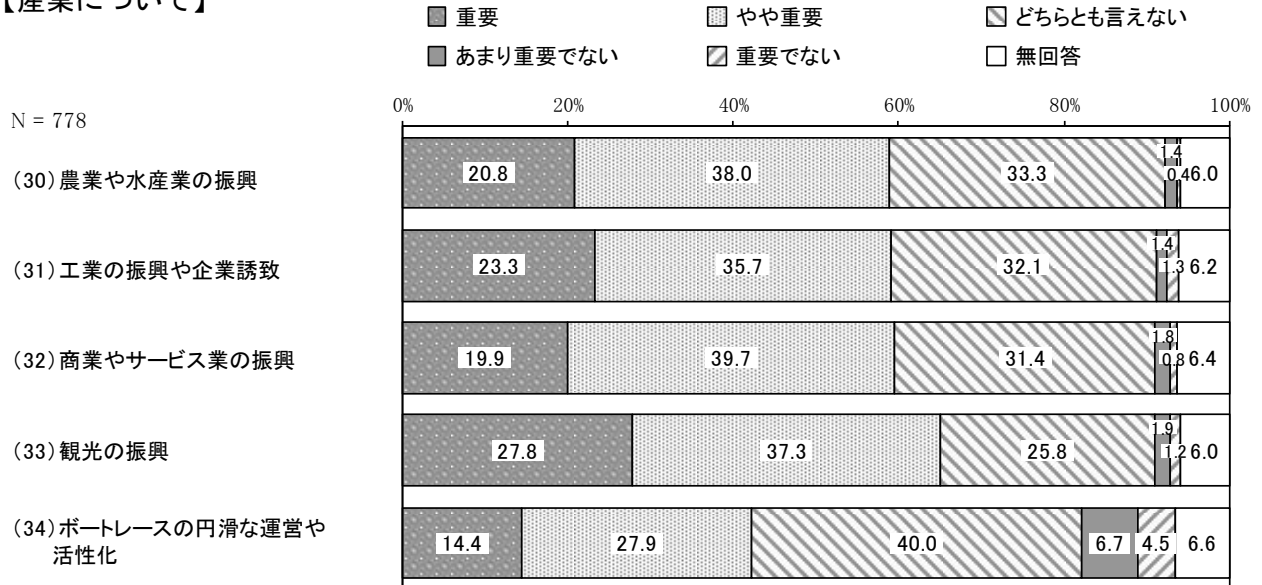


【教育・文化について】

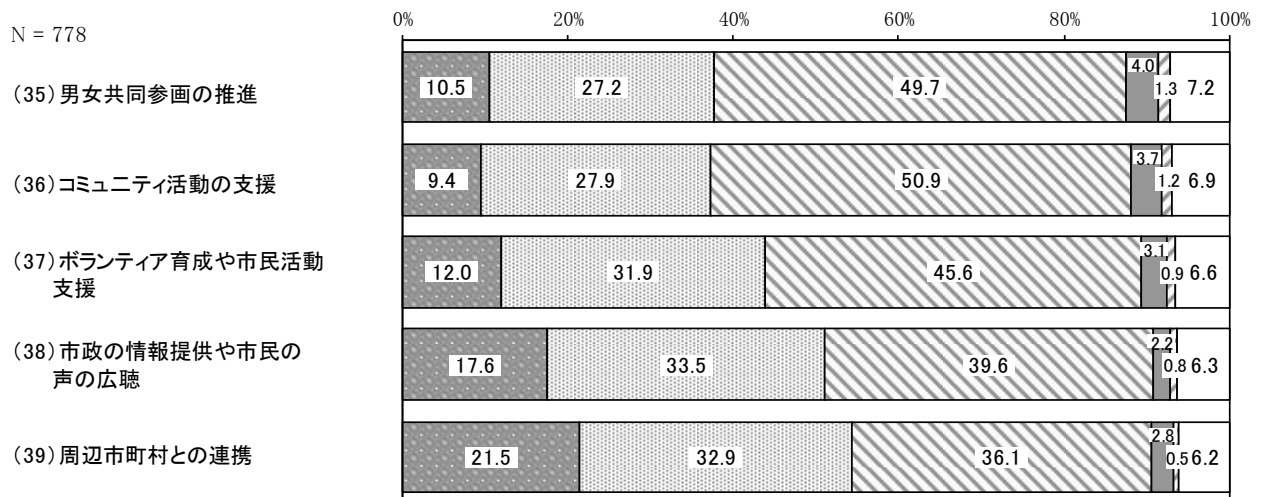
N = 778



【産業について】



【その他】



<ポートフォリオによる分析>

蒲郡市の施策に関する各項目の満足度及び重要度について、下記の方法により5段階の得点をつけ、平均得点を算出しました。この評点を指標として、満足度と重要度の分析を行いました。なお、平均得点は、+2に近いほど満足度または重要度が高いことを示し、逆に-2に近いほど満足度が低い（不満度が高い）、または重要度が低いことを示しています。

【満足度・重要度の平均得点の算出方法】

満足度	重要度	得点（評点）
満足	重要	+2点
やや満足	やや重要	+1点
どちらとも言えない	どちらとも言えない	0点
やや不満	あまり重要でない	-1点
不満	重要でない	-2点

■満足度の平均得点

$$\begin{aligned} &= \{ \text{「満足」の回答数} \times (+2 \text{点}) + \text{「やや満足」の回答数} \times (+1 \text{点}) \\ &+ \text{「どちらとも言えない」の回答数} \times (0 \text{点}) \\ &+ \text{「やや不満」の回答数} \times (-1 \text{点}) + \text{「不満」の回答数} \times (-2 \text{点}) \} \\ &\div \text{総回答数} \end{aligned}$$

■重要度の平均得点

$$\begin{aligned} &= \{ \text{「重要」の回答数} \times (+2 \text{点}) + \text{「やや重要」の回答数} \times (+1 \text{点}) \\ &+ \text{「どちらとも言えない」の回答数} \times (0 \text{点}) \\ &+ \text{「あまり重要でない」の回答数} \times (-1 \text{点}) + \text{「重要でない」の回答数} \times (-2 \text{点}) \} \\ &\div \text{総回答数} \end{aligned}$$

①施策に対する満足度

- ・満足度が高いのは、「消防・救急体制」「交通安全・防犯対策」等の安心・安全な暮らしに係る項目と「ごみの減量化、リサイクル活動」「海や山などの自然環境の保護」「海とふれあうまちづくり」等の環境にかかわる項目です。
- ・満足度が低いのは、「スポーツ施設の整備」「公共交通の利便性」「図書館、ホールなどの施設の整備」等のハード面にかかわる項目と、「工業の振興や企業誘致」「商業やサービス業の振興」等の産業にかかわる項目です。
- ・平成21年度調査と比較すると、「消防・救急体制」「海や山などの自然環境の保護」「下水処理対策」等の項目で満足度の順位が上がっています。一方、「スポーツ施設の整備」「図書館、ホールなどの施設の整備」「国際化、外国人との交流・共生」等の項目で満足度の順位が下がっています。

満足度 トップ10

平成30年度調査			平成21年度調査		
順位	施策項目	満足度	順位	施策項目	満足度
1	消防・救急体制	0.35	1	ごみの減量化、リサイクル活動	0.32
2	ごみの減量化、リサイクル活動	0.33	2	自然環境保護	0.29
3	海や山などの自然環境の保護	0.28	3	市街地整備	0.28
4	下水処理対策	0.27	4	消防・救急体制	0.26
5	海とふれあうまちづくり	0.25	5	海とふれあうまちづくり	0.20
6	健康づくり・疾病対策	0.21	6	公園・緑地整備	0.17
7	住宅・宅地の環境	0.19	7	下水処理対策	0.12
	交通安全・防犯対策		8	住宅・宅地環境	0.11
9	ボートレースの円滑な運営や活性化	0.17		競艇の円滑な運営・活性化	
10	公園・緑地の整備	0.15			

満足度 ワースト10

平成30年度調査			平成21年度調査		
順位	施策項目	満足度	順位	施策項目	満足度
1	スポーツ施設の整備	-0.31	1	地域医療体制	-0.34
2	公共交通の利便性	-0.25	2	公共交通の利便性	-0.32
3	図書館、ホールなどの施設の整備	-0.22	3	工業振興、企業誘致	-0.29
4	工業の振興や企業誘致	-0.17	4	幹線道路整備	-0.25
5	商業やサービス業の振興	-0.15		商業・サービス業振興	
6	国際化、外国人との交流・共生	-0.09	6	低所得者自立支援	-0.23
	低所得者の自立支援		7	省エネ対策、自然エネルギー活用	-0.18
8	生活道路の整備	-0.07	8	生活道路整備	-0.18
9	周辺市町村との連携	-0.05	9	スポーツ施設整備	-0.12
	文化活動や文化の継承		10	周辺市町村との連携について	-0.12

②施策に対する重要度の評価

- ・重要度が高い項目は、「地域医療体制」「災害に強いまちづくり」「消防・救急体制」等の安心・安全にかかわる項目と「ごみの減量化、リサイクル活動」「海や山などの自然環境の保護」等の環境にかかわる項目です。
- ・重要度が低い項目は、「国際化、外国人との交流・共生」「コミュニティ活動の支援」「ボランティア育成や市民活動支援」等の地域活動にかかわる項目、「文化活動、文化の継承」など生涯学習にかかわる項目です。
- ・平成21年度調査と比較すると、「災害に強いまちづくり」「交通安全・防犯対策」「海や山などの自然環境の保護」等の項目で重要度の順位が上がっています。一方、「ボートレースの円滑な運営や活性化」「低所得者の自立支援」「市政の情報提供や市民の声の広聴」等の項目で重要度の順位が下がっています。

重要度 トップ10

平成30年度調査			平成21年度調査		
順位	施策項目	重要度	順位	施策項目	重要度
1	地域医療体制	1.22	1	地域医療体制	1.50
	災害に強いまちづくり		2	ごみの減量化、リサイクル活動	1.39
3	消防・救急体制	1.20	3	公害対策	1.33
4	ごみの減量化、リサイクル活動	1.19	4	自然環境保護	1.31
5	交通安全・防犯対策	1.18		消防・救急体制	
6	海や山などの自然環境の保護	1.15	6	省エネ対策、自然エネルギー活用	1.27
7	騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	1.13	7	交通安全、防犯対策	1.26
8	公共交通の利便性	1.11	8	災害に強いまちづくり	1.24
9	生活道路の整備	1.08	9	高齢者福祉対策	1.19
10	幹線道路の整備	1.06	10	健康づくり、疾病対策	1.13

重要度 ワースト10

平成30年度調査			平成21年度調査		
順位	施策項目	重要度	順位	施策項目	重要度
1	国際化、外国人との交流・共生	0.43	1	国際化、外国人との交流・共生	0.31
2	ボートレースの円滑な運営や活性化	0.44	2	男女共同参画推進	0.33
	コミュニティ活動の支援		3	コミュニティ活動支援	0.35
4	男女共同参画の推進	0.45	4	文化活動、文化の承継	0.53
5	ボランティア育成や市民活動支援	0.54	5	競艇の円滑な運営・活性化	0.55
6	生涯学習活動	0.58	6	ボランティア育成、市民活動支援	0.56
7	文化活動や文化の継承	0.60	7	生涯学習活動	0.57
8	低所得者の自立支援	0.65		スポーツ施設整備	
9	市政の情報提供や市民の声の広聴	0.69	9	文化施設整備	0.67
10	住宅・宅地の環境	0.74	10	住宅・宅地環境	0.78

■施策に対する満足度と重要度の評価

- ・蒲郡市の施策に対する市民の満足度の平均得点を縦軸、重要度の平均得点を横軸として散布図を作成しました。
- ・39項目全体の満足度の平均得点は0.03となっています。図に示してある平均得点の線よりも左側にある項目は、平均得点よりも満足度が低い項目（相対的に満足度が低い施策項目）であり、逆に右側にある項目は平均得点よりも満足度が高い項目（相対的に満足度が高い施策項目）です。
- ・一方、39項目全体の重要度の平均得点は0.87となっています。図に示したる平均得点の先よりも下側にある項目は、平均得点よりも重要度が低い項目（相対的に重要度が低い施策項目）であり、逆に上側にある項目は平均得点よりも重要度が高い（相対的に重要度が高い施策項目）です。
- ・着目すべきは、満足度が低く重要度が高い項目、すなわち、当該項目について重要と考えているにもかかわらず、現状において満足していない人が多い施策項目であり、図の左上の領域に該当する項目です。
- ・下表は、この領域に属する15項目（満足度が低く、重要度が高い）の「重要度と満足度の差が大きい項目」を整理した表です。
- ・平成21年度調査と比較すると、「公共交通の利便性」「災害に強いまちづくり」「生活道路の整備」等の項目で優先度の順位が上がっています。

満足度と重要度の評価（施策の優先度） トップ15

平成30年度調査

平成21年度調査

順位	施策項目	優先度※	満足度	重要度	順位	施策項目	優先度※
1	公共交通の利便性	1.36	-0.25	1.11	1	地域医療体制	1.84
2	災害に強いまちづくり	1.26	-0.04	1.22	2	省エネ対策、自然エネルギー活用	1.45
3	地域医療体制	1.25	-0.03	1.22	3	公害対策	1.42
4	生活道路の整備	1.15	-0.07	1.08	4	公共交通の利便性	1.39
5	スポーツ施設の整備	1.10	-0.31	0.79	5	幹線道路整備	1.32
6	図書館、ホールなどの施設の整備	1.09	-0.22	0.87		災害に強いまちづくり	1.32
7	幹線道路の整備	1.07	-0.01	1.06	7	高齢者福祉対策	1.30
8	高齢者への福祉施策	1.01	0.01	1.02	8	生活道路整備	1.28
9	省エネ対策や自然エネルギー活動	1.00	0.00	1.00	9	工業振興、企業誘致	1.17
	工業の振興や企業誘致	1.00	-0.17	0.83	10	子育て支援	1.16
11	騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	1.00	0.13	1.13	11	交通安全、防犯対策	1.15
12	交通安全・防犯対策	0.99	0.19	1.18	12	障がい者福祉対策	1.13
	小中学校の教育内容や環境	0.99	0.02	1.01	13	地域での支え合い、福祉活動	1.12
14	商業やサービス業の振興	0.96	-0.15	0.81	14	商業・サービス業振興	1.10
15	駅前などの市街地の整備	0.95	0.01	0.96	15	ごみの減量化、リサイクル活動	1.07
	観光の振興	0.95	-0.01	0.94		健康づくり、疾病対策	1.07

※優先度＝重要度の得点から満足度の得点を引いたもの

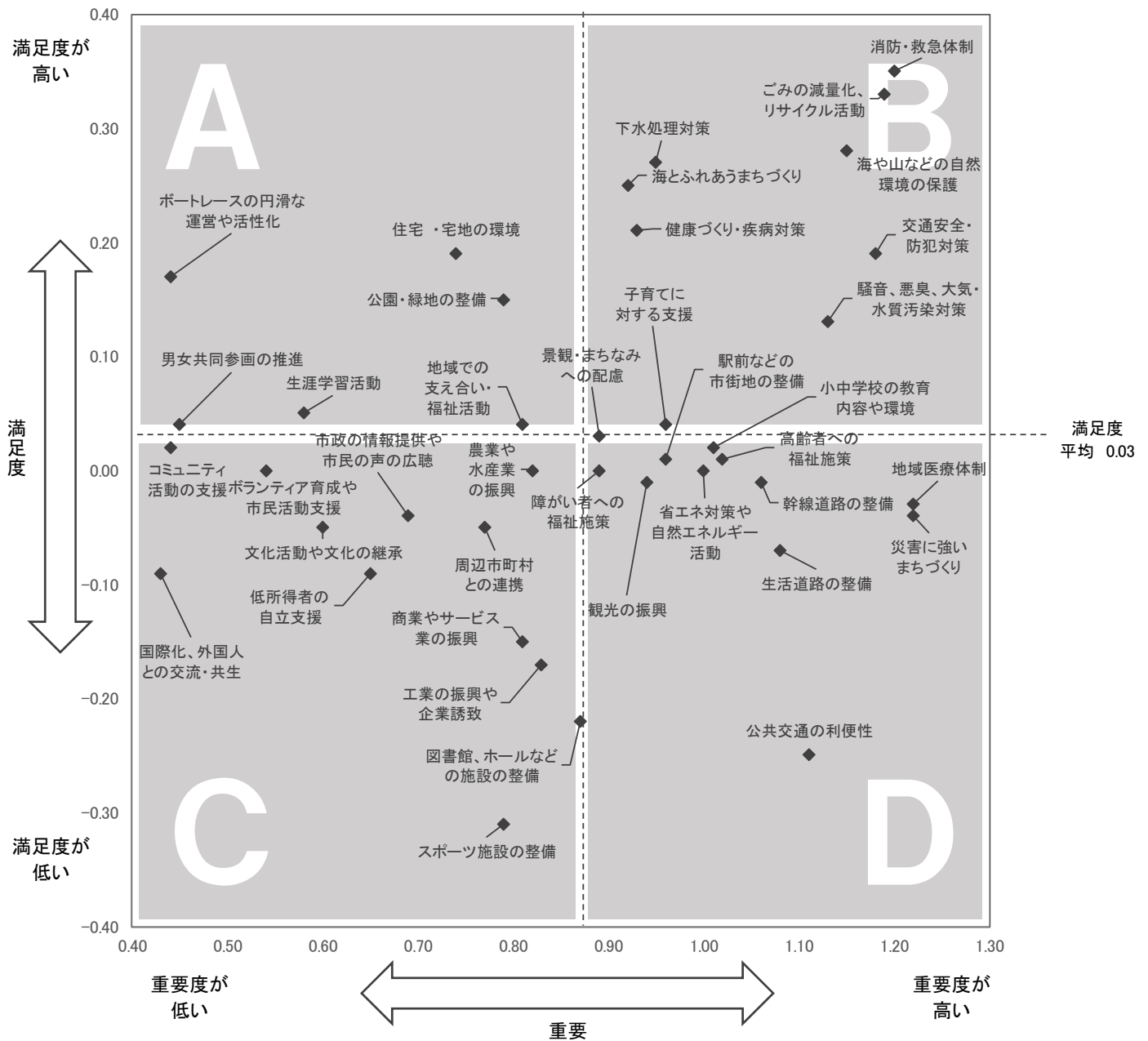
【優先度の高い施策項目】

- ・全体では、「公共交通の利便性」「生活道路の整備」「幹線道路の整備」などの交通環境にかかわる項目、「災害に強いまちづくり」「地域医療体制」などの安心・安全な暮らしにかかわる項目、「高齢者への福祉施策」「障がい者への福祉施策」などの福祉にかかわる項目などが、優先度が高くなっています。
- ・一方で「コミュニティ活動の支援」「国際化、外国人との交流・共生」「ボランティア育成や市民活動支援」といった市民参加によるまちづくりにかかわる項目、「男女共同参画の推進」「生涯学習活動」「などについては優先度が低くなっています。

【校區別】

- ・いずれの校区でも「災害に強いまちづくり」「地域医療体制」「生活道路の整備」は優先施策として挙げられている。
- ・塩津中学校区では「高齢者への福祉施策」が7位、「子育てに対する支援」が8位と福祉政策の優先度が高くなっている。
- ・形原中学校区では「下水処理対策」が8位、西浦中学校区では「海や山などの自然環境の保護」が6位、「農業や水産業の振興」が8位となっており、生活環境や産業振興などの課題が挙げられている。

重要度
平均 0.87



A：維持施策項目 満足度が高く、重要度は低い

このままの状態を保つことが求められている。

B：重点維持施策項目 満足度が高く、重要度も高い

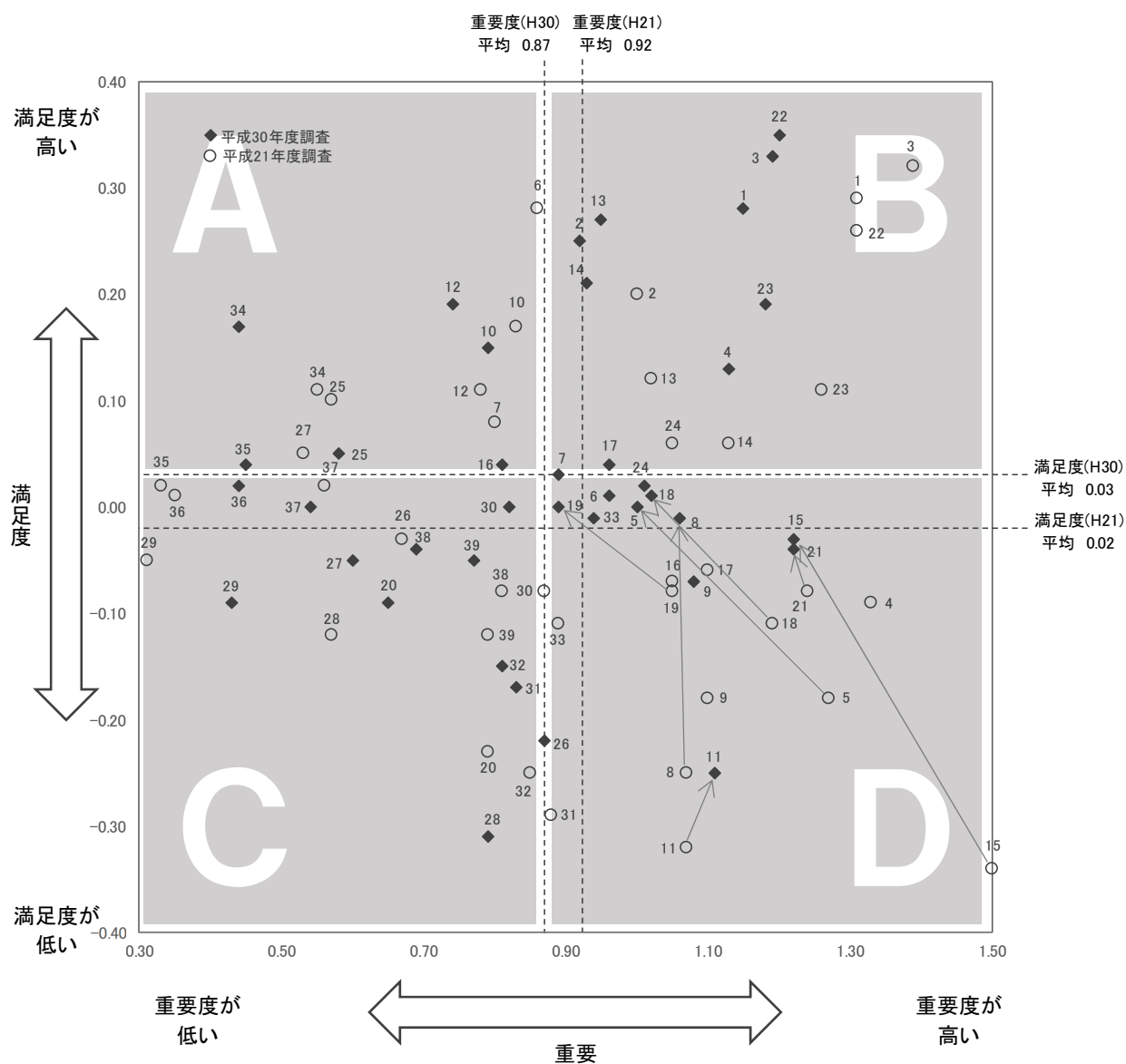
おおむね満足が得られているが、引き続き維持していくことが求められている。

C：ウォッチング施策項目 満足度が低く、重要度も低い

推移を注目していくことが求められている。喫緊性は高くないものの、生活の質を高めるなどのために、満足度を上げていくことが求められているもの。

D：重点改善施策項目 満足度が低く重要度が高い

最優先で改善が求められている。



- ・「5 省エネ対策や自然エネルギー活動」「8 幹線道路の整備」「9 生活道路の整備」「11 公共交通の利便性」「15 地域医療体制」「18 高齢者への福祉施策」「19 障がい者への福祉施策」「21 災害に強いまちづくり」の8つの施策項目が、平成21年度調査、平成30年度調査ともに、D：重点改善施策項目となっています。

		平成30年度調査				
		A：維持施策項目	B：重点維持施策項目	C：ウォッチング施策項目	D：重点改善施策項目	計
平成21年度調査	A：維持施策項目	5	—	3	2	10
	B：重点維持施策項目	—	7	—	1	8
	C：ウォッチング施策項目	—	—	9	1	10
	D：重点改善施策項目	1	2		8	11
	計	6	9	12	12	39

施策項目		平成 30 年度 調査	平成 21 年度 調査
1	海や山などの自然環境の保護	B	B
2	海とふれあうまちづくり	B	B
3	ごみの減量化、リサイクル活動	B	B
4	騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	B	D
5	省エネ対策や自然エネルギー活動	D	D
6	駅前などの市街地の整備	D	A
7	景観・まちなみへの配慮	D	A
8	幹線道路の整備	D	D
9	生活道路の整備	D	D
10	公園・緑地の整備	A	A
11	公共交通の利便性	D	D
12	住宅・宅地の環境	A	A
13	下水処理対策	B	B
14	健康づくり・疾病対策	B	B
15	地域医療体制	D	D
16	地域での支え合い・福祉活動	A	D
17	子育てに対する支援	B	D
18	高齢者への福祉施策	D	D
19	障がい者への福祉施策	D	D
20	低所得者の自立支援	C	C
21	災害に強いまちづくり	D	D
22	消防・救急体制	B	B
23	交通安全・防犯対策	B	B
24	小中学校の教育内容や環境	D	B
25	生涯学習活動	A	A
26	図書館、ホールなどの施設の整備	C	C
27	文化活動や文化の継承	C	A
28	スポーツ施設の整備	C	C
29	国際化、外国人との交流・共生	C	C
30	農業や水産業の振興	C	C
31	工業の振興や企業誘致	C	C
32	商業やサービス業の振興	C	C
33	観光の振興	D	C
34	ボートレースの円滑な運営や活性化	A	A
35	男女共同参画の推進	A	A
36	コミュニティ活動の支援	C	A
37	ボランティア育成や市民活動支援	C	A
38	市政の情報提供や市民の声の広聴	C	C
39	周辺市町村との連携	C	C

小学校区別 施策の優先度の順位

施策項目	全体 点数・順位	全体 順位	大塚中学校区 順位	三谷中学校区 順位	蒲郡中学校区 順位	中部中学校区 順位	塩津中学校区 順位	形原中学校区 順位	西浦中学校区 順位							
公共交通の利便性	1.36	1	1.66	1	1.45	1	1.04	12	1.25	2	1.30	3	1.59	1	1.77	1
災害に強いまちづくり	1.26	2	1.07	5	1.36	2	1.37	1	1.23	3	1.33	2	1.28	3	1.05	8
地域医療体制	1.25	3	1.05	6	1.27	3	1.30	2	1.29	1	1.37	1	1.29	2	1.16	4
生活道路の整備	1.15	4	1.36	2	1.10	4	1.16	5	1.10	6	1.18	6	1.23	5	1.16	5
スポーツ施設の整備	1.10	5	0.94	9	0.97	13	1.30	2	1.09	7	1.24	5	1.05	9	0.85	19
図書館、ホールなどの施設の整備	1.09	6	0.59	31	1.08	5	1.17	4	1.10	5	1.27	4	1.26	4	0.71	26
幹線道路の整備	1.07	7	1.21	4	1.01	9	1.03	13	0.99	14	1.07	11	1.21	6	1.18	3
高齢者への福祉施策	1.01	8	0.83	12	1.06	6	1.01	15	1.07	8	1.17	7	0.97	13	0.98	10
省エネ対策や自然エネルギー活動	1.00	9	0.92	10	0.96	14	1.14	6	1.15	4	1.00	16	0.87	21	1.05	8
工業の振興や企業誘致	1.00	9	0.70	20	0.91	17	1.10	9	1.00	12	1.05	12	1.00	11	1.19	2
騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	1.00	11	1.24	3	0.98	11	1.12	8	0.99	13	0.98	18	0.89	18	0.90	14
交通安全・防犯対策	0.99	12	1.00	7	1.05	7	1.08	10	1.04	9	1.03	13	0.95	14	0.83	20
小中学校の教育内容や環境	0.99	12	0.95	8	0.93	16	0.89	19	1.01	11	1.10	10	1.18	7	0.89	16
商業やサービス業の振興	0.96	14	0.79	13	0.91	17	1.13	7	0.98	15	0.85	24	1.00	11	0.91	13
駅前などの市街地の整備	0.95	15	0.76	15	0.88	22	1.02	14	1.04	9	1.10	9	0.91	15	0.95	11
観光の振興	0.95	15	0.74	17	1.03	8	1.06	11	0.86	22	0.98	18	1.03	10	0.80	23
子育てに対する支援	0.92	17	0.78	14	0.98	11	0.95	18	0.93	17	1.11	8	0.91	16	0.82	22
障がい者への福祉施策	0.89	18	0.68	23	1.00	10	0.97	16	0.87	20	1.00	16	0.88	20	0.88	17
海や山などの自然環境の保護	0.87	19	0.70	20	0.85	23	0.88	21	0.90	18	1.03	13	0.80	25	1.09	6
景観・まちなみへの配慮	0.86	20	0.56	32	0.95	15	0.86	23	0.97	16	1.03	13	0.82	23	0.78	24
ごみの減量化、リサイクル活動	0.86	21	0.92	10	0.76	25	0.97	16	0.84	25	0.81	25	0.87	22	0.94	12
消防・救急体制	0.85	22	0.75	16	0.89	21	0.88	20	0.87	20	0.90	21	0.90	17	0.62	29
周辺市町村との連携	0.82	23	0.64	27	0.89	19	0.80	26	0.87	19	0.89	22	0.82	24	0.88	17
農業や水産業の振興	0.82	24	0.70	22	0.73	27	0.87	22	0.85	23	0.67	32	0.89	19	1.07	7
地域での支え合い・福祉活動	0.77	25	0.56	32	0.83	24	0.86	23	0.85	23	0.75	28	0.70	29	0.90	15
低所得者の自立支援	0.74	26	0.71	19	0.89	19	0.83	25	0.63	33	0.77	26	0.61	31	0.83	20
市政の情報提供や市民の声の広聴	0.73	27	0.65	26	0.65	28	0.74	28	0.84	26	0.72	30	0.75	27	0.68	27
健康づくり・疾病対策	0.72	28	0.53	34	0.76	25	0.79	27	0.81	27	0.73	29	0.76	26	0.50	33
下水処理対策	0.68	29	0.73	18	0.31	38	0.53	36	0.63	32	0.77	26	1.09	8	0.61	30
海とふれあいまちづくり	0.67	30	0.66	25	0.60	30	0.69	30	0.68	29	0.65	33	0.69	30	0.74	25
文化活動や文化の継承	0.65	31	0.23	39	0.60	30	0.70	29	0.68	28	0.87	23	0.75	27	0.51	32
公園・緑地の整備	0.64	32	0.68	24	0.58	32	0.62	32	0.61	34	0.98	18	0.61	31	0.63	28
住宅・宅地の環境	0.55	33	0.63	28	0.60	29	0.54	35	0.68	29	0.59	35	0.44	36	0.55	31
ボランティア育成や市民活動支援	0.54	34	0.63	28	0.48	33	0.58	33	0.65	31	0.55	36	0.47	35	0.47	34
生涯学習活動	0.53	35	0.33	37	0.45	34	0.56	34	0.56	35	0.69	31	0.57	33	0.38	36
国際化、外国人との交流・共生	0.52	36	0.48	35	0.40	36	0.64	31	0.50	37	0.62	34	0.49	34	0.40	35
コミュニティ活動の支援	0.42	37	0.41	36	0.39	37	0.47	38	0.53	36	0.44	38	0.30	37	0.37	37
男女共同参画の推進	0.41	38	0.61	30	0.41	35	0.48	37	0.50	37	0.53	37	0.23	39	0.34	38
ポर्टレースの円滑な運営や活性化	0.27	39	0.25	38	0.22	39	0.34	39	0.22	39	0.41	39	0.29	38	0.22	39

※優先度 = 重要度 - 満足度

※ 濃い網掛けは、優先順位が1～10位の施策、薄い網掛けは優先順位が11～15位の施策

(参考) 満足度の集計結果

	満足		やや満足		どちらとも言えない		やや不満		不満		無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1. 自然・環境について												
海や山などの自然環境の保護	43	5.5	265	34.1	340	43.7	80	10.3	30	3.9	20	2.6
海とふれあうまちづくり	42	5.4	222	28.5	404	51.9	67	8.6	25	3.2	18	2.3
ごみの減量化、リサイクル活動	36	4.6	271	34.8	373	47.9	66	8.5	13	1.7	19	2.4
騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	34	4.4	187	24.0	408	52.4	105	13.5	26	3.3	18	2.3
省エネ対策や自然エネルギー活動	10	1.3	107	13.8	526	67.6	93	12.0	17	2.2	25	3.2
2. 基盤整備・交通について												
駅前などの市街地の整備	31	4.0	227	29.2	283	36.4	154	19.8	64	8.2	19	2.4
景観・まちなみへの配慮	23	3.0	173	22.2	386	49.6	128	16.5	35	4.5	33	4.2
幹線道路の整備	29	3.7	214	27.5	286	36.8	173	22.2	54	6.9	22	2.8
生活道路の整備	24	3.1	189	24.3	312	40.1	174	22.4	59	7.6	20	2.6
公園・緑地の整備	30	3.9	212	27.2	375	48.2	114	14.7	24	3.1	23	3.0
公共交通の利便性	20	2.6	145	18.6	295	37.9	213	27.4	82	10.5	23	3.0
住宅・宅地の環境	21	2.7	207	26.6	442	56.8	66	8.5	18	2.3	24	3.1
下水処理対策	72	9.3	218	28.0	352	45.2	77	9.9	39	5.0	20	2.6
3. 安全・安心について												
健康づくり・疾病対策	23	3.0	202	26.0	454	58.4	62	8.0	14	1.8	23	3.0
地域医療体制	19	2.4	175	22.5	374	48.1	133	17.1	51	6.6	26	3.3
地域での支え合い・福祉活動	20	2.6	109	14.0	526	67.6	83	10.7	19	2.4	21	2.7
子育てに対する支援	18	2.3	122	15.7	514	66.1	73	9.4	29	3.7	22	2.8
子育てに対する支援	18	2.3	122	15.7	514	66.1	73	9.4	29	3.7	22	2.8
高齢者への福祉施策	16	2.1	142	18.3	468	60.2	95	12.2	36	4.6	21	2.7
障がい者への福祉施策	19	2.4	93	12.0	532	68.4	79	10.2	26	3.3	29	3.7
低所得者の自立支援	16	2.1	59	7.6	559	71.9	79	10.2	39	5.0	26	3.3
災害に強いまちづくり	12	1.5	117	15.0	488	62.7	101	13.0	36	4.6	24	3.1
消防・救急体制	51	6.6	247	31.7	390	50.1	54	6.9	14	1.8	22	2.8
交通安全・防犯対策	27	3.5	210	27.0	421	54.1	75	9.6	24	3.1	21	2.7
4. 教育・文化について												
小中学校の教育内容や環境	17	2.2	135	17.4	477	61.3	75	9.6	40	5.1	34	4.4
生涯学習活動	9	1.2	99	12.7	565	72.6	53	6.8	15	1.9	37	4.8
図書館、ホールなどの施設の整備	20	2.6	115	14.8	360	46.3	182	23.4	69	8.9	32	4.1
文化活動や文化の継承	8	1.0	91	11.7	526	67.6	94	12.1	27	3.5	32	4.1
スポーツ施設の整備	7	0.9	86	11.1	406	52.2	167	21.5	81	10.4	31	4.0
国際化、外国人との交流・共生	6	0.8	47	6.0	589	75.7	75	9.6	25	3.2	36	4.6
5. 産業について												
農業や水産業の振興	17	2.2	103	13.2	511	65.7	94	12.1	23	3.0	30	3.9
工業の振興や企業誘致	8	1.0	67	8.6	498	64.0	135	17.4	38	4.9	32	4.1
商業やサービス業の振興	7	0.9	86	11.1	475	61.1	141	18.1	37	4.8	32	4.1
観光の振興	16	2.1	145	18.6	446	57.3	103	13.2	39	5.0	29	3.7
ボートレースの円滑な運営や活性化	34	4.4	139	17.9	506	65.0	48	6.2	18	2.3	33	4.2
6. その他												
男女共同参画の推進	11	1.4	75	9.6	596	76.6	50	6.4	10	1.3	36	4.6
コミュニティ活動の支援	6	0.8	72	9.3	611	78.5	41	5.3	13	1.7	35	4.5
ボランティア育成や市民活動支援	6	0.8	72	9.3	595	76.5	54	6.9	14	1.8	37	4.8
市政の情報提供や市民の声の広聴	11	1.4	85	10.9	540	69.4	78	10.0	31	4.0	33	4.2
周市町村との連携	9	1.2	68	8.7	569	73.1	66	8.5	30	3.9	36	4.6

(参考) 重要度の集計結果

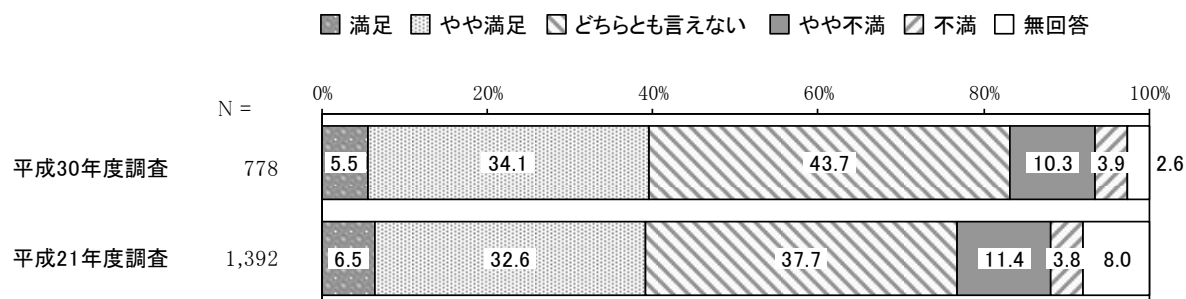
	重要		やや重要		どちらとも言えない		あまり重要でない		重要でない		無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1. 自然・環境について												
海や山などの自然環境の保護	279	35.9	316	40.6	136	17.5	8	1.0	4	0.5	35	4.5
海とふれあうまちづくり	198	25.4	307	39.5	214	27.5	16	2.1	4	0.5	39	5.0
ごみの減量化、リサイクル活動	298	38.3	306	39.3	131	16.8	4	0.5	5	0.6	34	4.4
騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	289	37.1	279	35.9	163	21.0	7	0.9	5	0.6	35	4.5
省エネ対策や自然エネルギー活動	239	30.7	286	36.8	206	26.5	9	1.2	4	0.5	34	4.4
2. 基盤整備・交通について												
駅前などの市街地の整備	209	26.9	324	41.6	178	22.9	21	2.7	5	0.6	41	5.3
景観・まちなみへの配慮	186	23.9	308	39.6	217	27.9	20	2.6	3	0.4	44	5.7
幹線道路の整備	259	33.3	304	39.1	152	19.5	20	2.6	8	1.0	35	4.5
生活道路の整備	258	33.2	308	39.6	157	20.2	13	1.7	6	0.8	36	4.6
公園・緑地の整備	144	18.5	340	43.7	226	29.0	21	2.7	11	1.4	36	4.6
公共交通の利便性	266	34.2	315	40.5	140	18.0	15	1.9	4	0.5	38	4.9
住宅・宅地の環境	141	18.1	293	37.7	281	36.1	15	1.9	7	0.9	41	5.3
下水処理対策	232	29.8	278	35.7	206	26.5	14	1.8	12	1.5	36	4.6
3. 安全・安心について												
健康づくり・疾病対策	195	25.1	318	40.9	213	27.4	7	0.9	6	0.8	39	5.0
地域医療体制	322	41.4	271	34.8	136	17.5	4	0.5	5	0.6	40	5.1
地域での支え合い・福祉活動	157	20.2	318	40.9	249	32.0	11	1.4	8	1.0	35	4.5
子育てに対する支援	231	29.7	267	34.3	228	29.3	10	1.3	4	0.5	38	4.9
子育てに対する支援	251	32.3	288	37.0	187	24.0	14	1.8	6	0.8	32	4.1
高齢者への福祉施策	199	25.6	286	36.8	241	31.0	8	1.0	7	0.9	37	4.8
障がい者への福祉施策	147	18.9	239	30.7	313	40.2	30	3.9	10	1.3	39	5.0
低所得者の自立支援	346	44.5	231	29.7	153	19.7	9	1.2	4	0.5	35	4.5
災害に強いまちづくり	320	41.1	265	34.1	150	19.3	5	0.6	4	0.5	34	4.4
消防・救急体制	306	39.3	280	36.0	151	19.4	5	0.6	3	0.4	33	4.2
交通安全・防犯対策	195	25.1	318	40.9	213	27.4	7	0.9	6	0.8	39	5.0
4. 教育・文化について												
小中学校の教育内容や環境	250	32.1	247	31.7	213	27.4	6	0.8	5	0.6	57	7.3
生涯学習活動	108	13.9	233	29.9	352	45.2	21	2.7	6	0.8	58	7.5
図書館、ホールなどの施設の整備	183	23.5	296	38.0	225	28.9	19	2.4	5	0.6	50	6.4
文化活動や文化の継承	102	13.1	268	34.4	325	41.8	26	3.3	5	0.6	52	6.7
スポーツ施設の整備	157	20.2	292	37.5	251	32.3	19	2.4	8	1.0	51	6.6
国際化、外国人との交流・共生	77	9.9	230	29.6	362	46.5	34	4.4	20	2.6	55	7.1
5. 産業について												
農業や水産業の振興	162	20.8	296	38.0	259	33.3	11	1.4	3	0.4	47	6.0
工業の振興や企業誘致	181	23.3	278	35.7	250	32.1	11	1.4	10	1.3	48	6.2
商業やサービス業の振興	155	19.9	309	39.7	244	31.4	14	1.8	6	0.8	50	6.4
観光の振興	216	27.8	290	37.3	201	25.8	15	1.9	9	1.2	47	6.0
ボートレースの円滑な運営や活性化	112	14.4	217	27.9	311	40.0	52	6.7	35	4.5	51	6.6
6. その他												
男女共同参画の推進	82	10.5	212	27.2	387	49.7	31	4.0	10	1.3	56	7.2
コミュニティ活動の支援	73	9.4	217	27.9	396	50.9	29	3.7	9	1.2	54	6.9
ボランティア育成や市民活動支援	93	12.0	248	31.9	355	45.6	24	3.1	7	0.9	51	6.6
市政の情報提供や市民の声の広聴	137	17.6	261	33.5	308	39.6	17	2.2	6	0.8	49	6.3
周辺市町村との連携	167	21.5	256	32.9	281	36.1	22	2.8	4	0.5	48	6.2

● 前回調査との比較

<満足度>

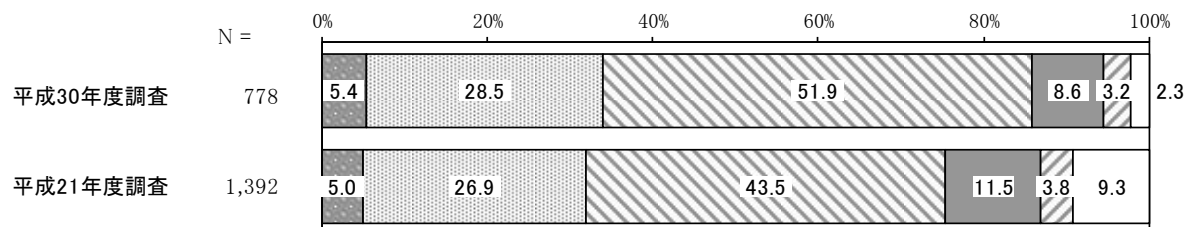
(1) 海や山などの自然環境の保護

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



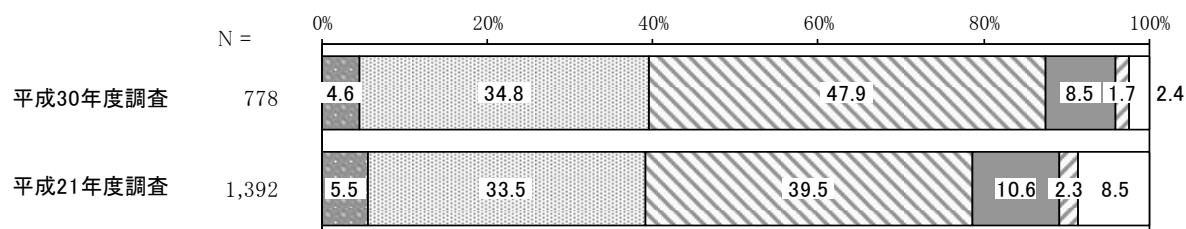
(2) 海とふれあうまちづくり

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



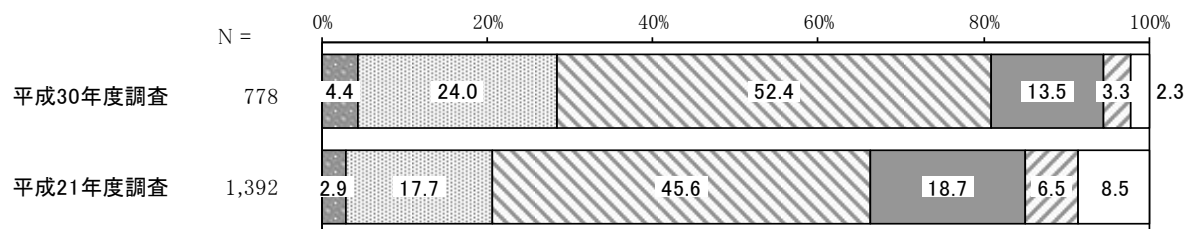
(3) ごみの減量化、リサイクル活動

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



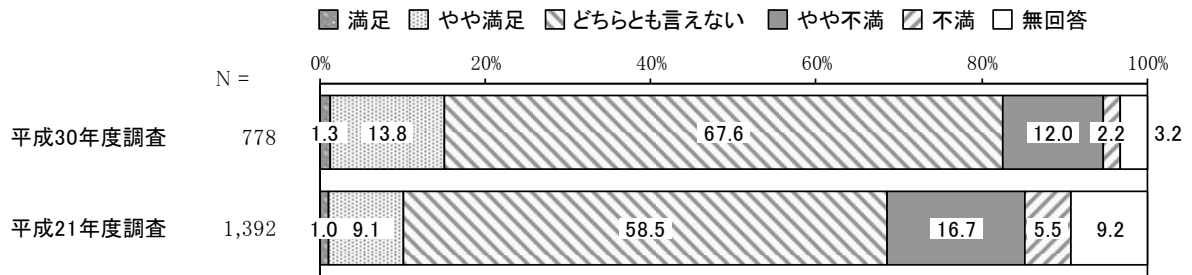
(4) 騒音、悪臭、大気・水質汚染対策

平成 21 年度調査と比較すると、「満足」「どちらとも言えない」の割合が増加し、「不満」の割合が減少しています。



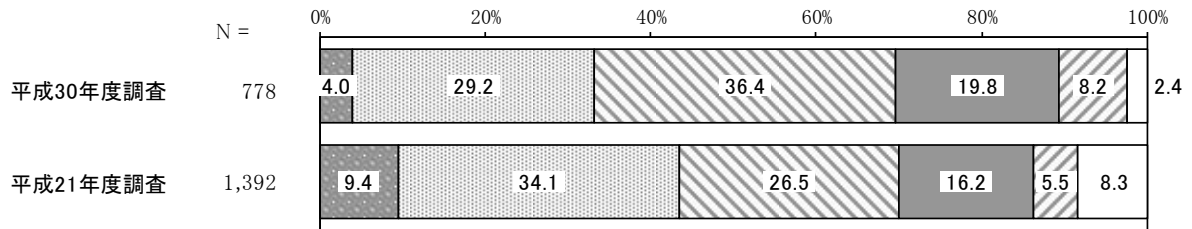
(5) 省エネ対策や自然エネルギー活動

平成21年度調査と比較すると、“満足”「どちらとも言えない」の割合が増加し、“不満”の割合が減少しています。



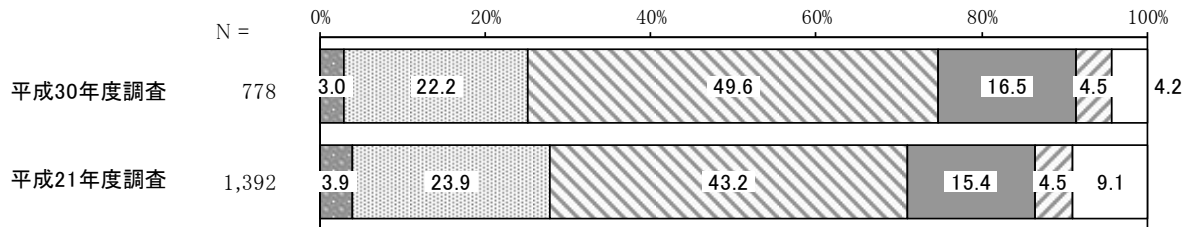
(6) 駅前などの市街地の整備

平成21年度調査と比較すると、“満足”の割合が減少し、「どちらとも言えない」「不満」の割合が増加しています。



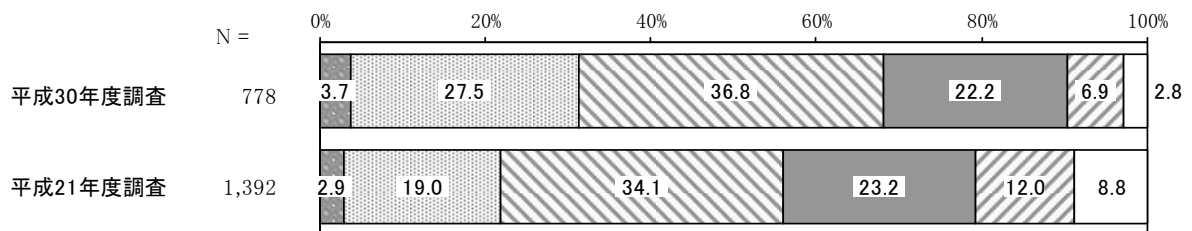
(7) 景観・まちなみへの配慮

平成21年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



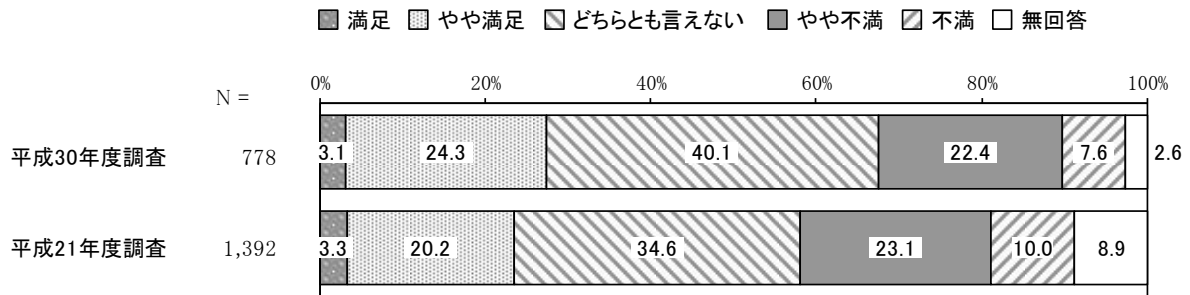
(8) 幹線道路の整備

平成21年度調査と比較すると、“満足”の割合が増加し、“不満”の割合が減少しています。



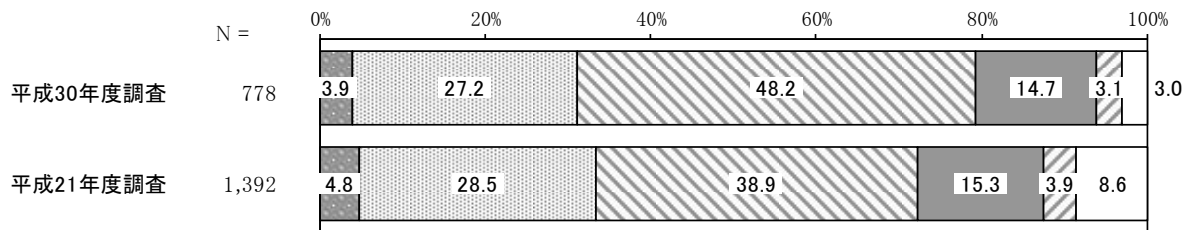
(9) 生活道路の整備

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



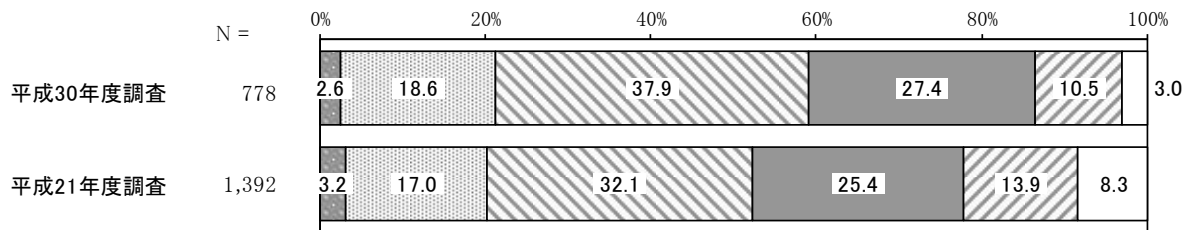
(10) 公園・緑地の整備

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



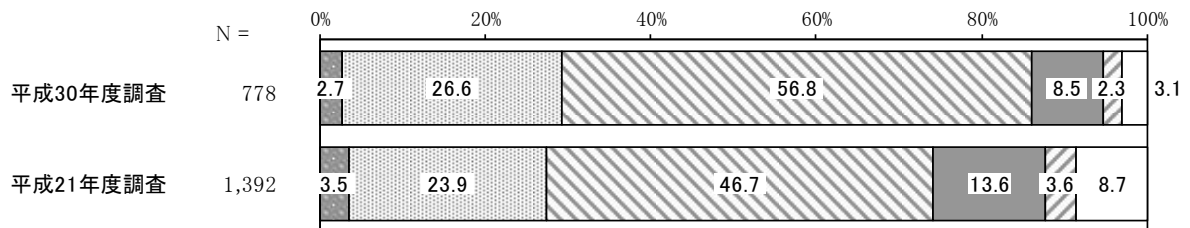
(11) 公共交通の利便性

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



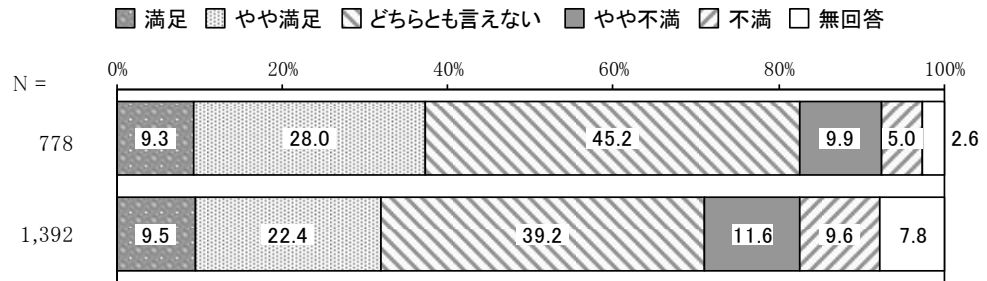
(12) 住宅・宅地の環境

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加し、「不満」の割合が減少しています。



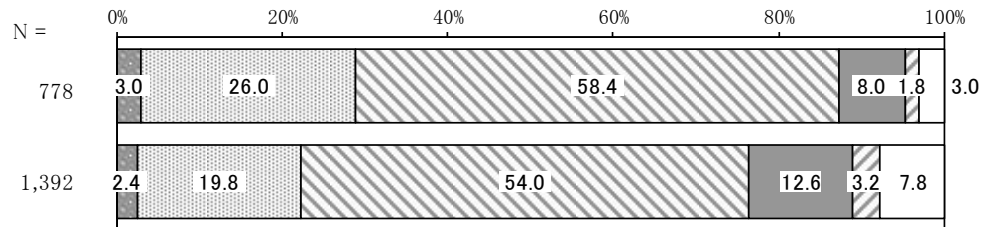
(13) 下水処理対策

平成 21 年度調査と比較すると、“満足”「どちらとも言えない」の割合が増加し、“不満”の割合が減少しています。



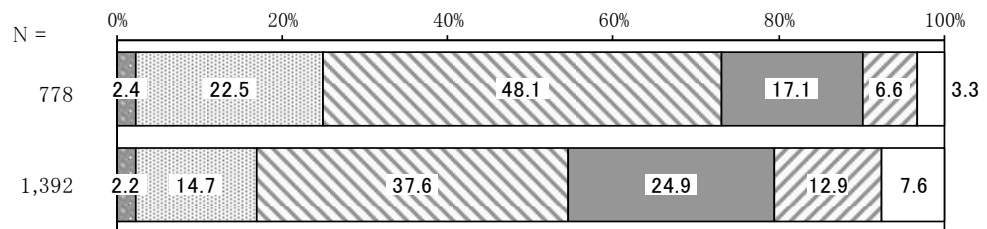
(14) 健康づくり・疾病対策

平成 21 年度調査と比較すると、“満足”の割合が増加し、“不満”の割合が減少しています。



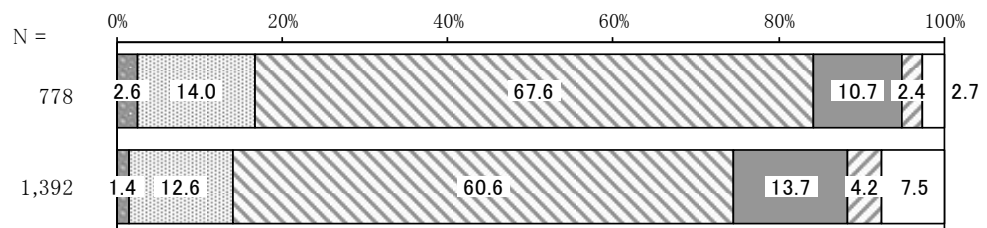
(15) 地域医療体制

平成 21 年度調査と比較すると、“満足”「どちらとも言えない」の割合が増加し、“不満”の割合が減少しています。



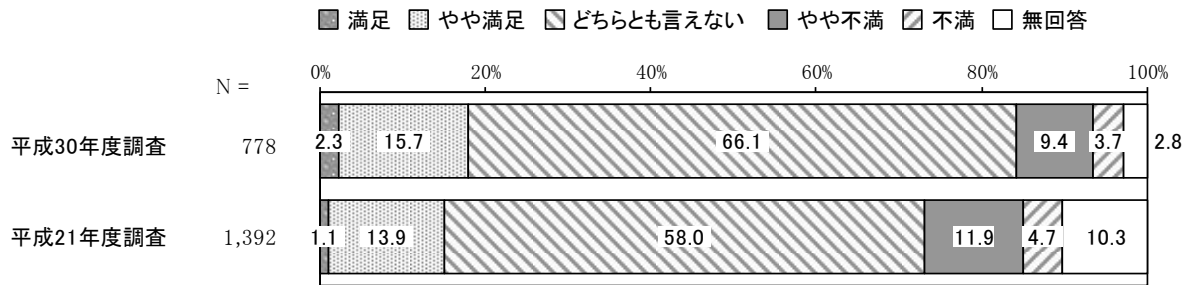
(16) 地域での支え合い・福祉活動

平成 21 年度調査と比較すると、“どちらとも言えない”の割合が増加しています。



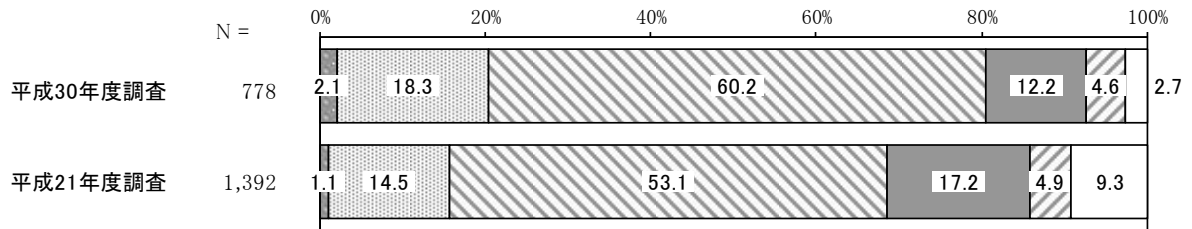
(17) 子育てに対する支援

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



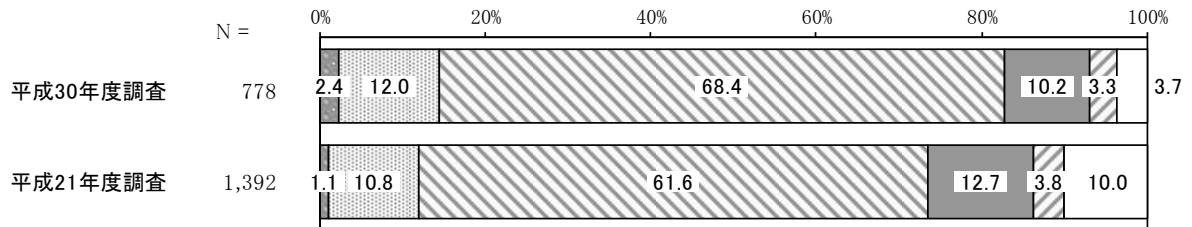
(18) 高齢者への福祉施策

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加し、「不満」の割合が減少しています。



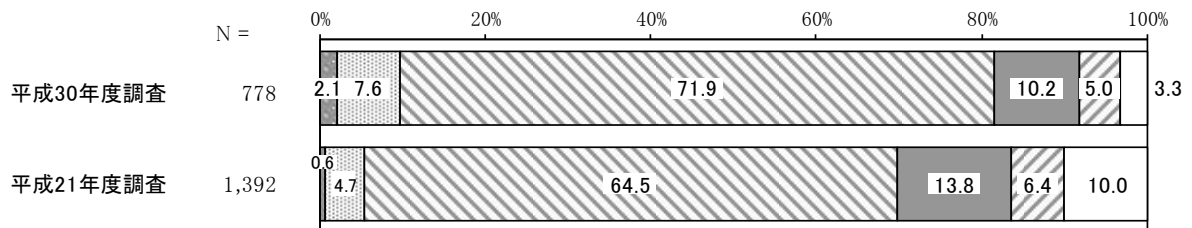
(19) 障がい者への福祉施策

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



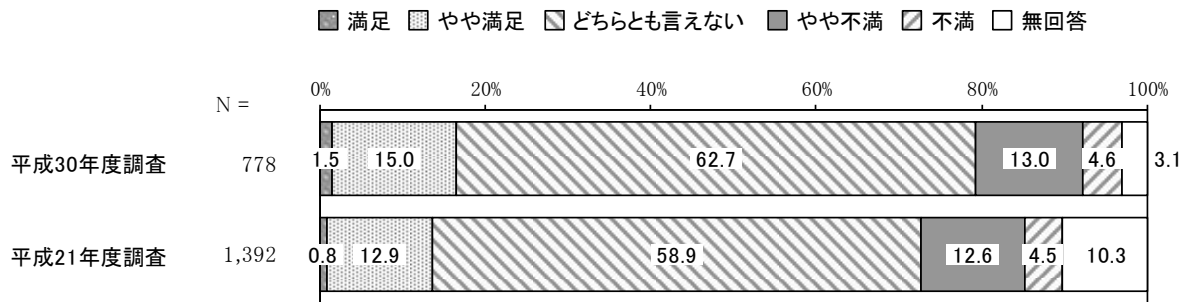
(20) 低所得者の自立支援

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加し、「不満」の割合が減少しています。



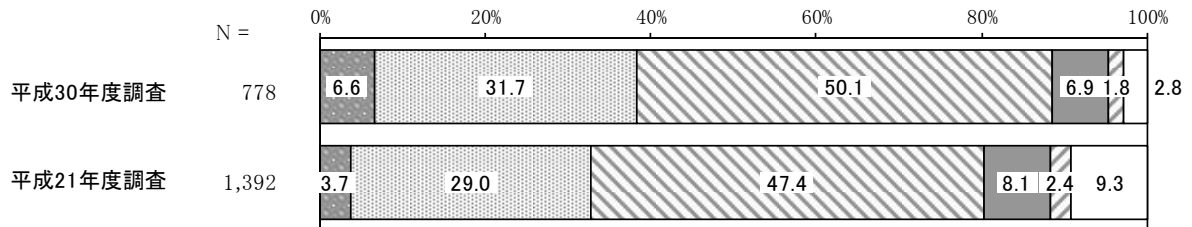
(21) 災害に強いまちづくり

平成 21 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



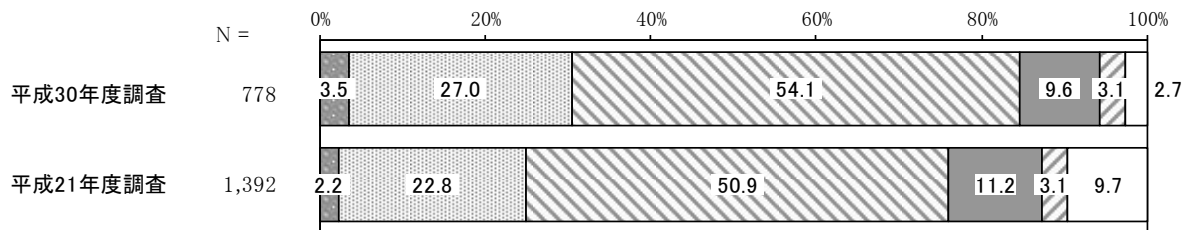
(22) 消防・救急体制

平成 21 年度調査と比較すると、“満足”の割合が増加しています。



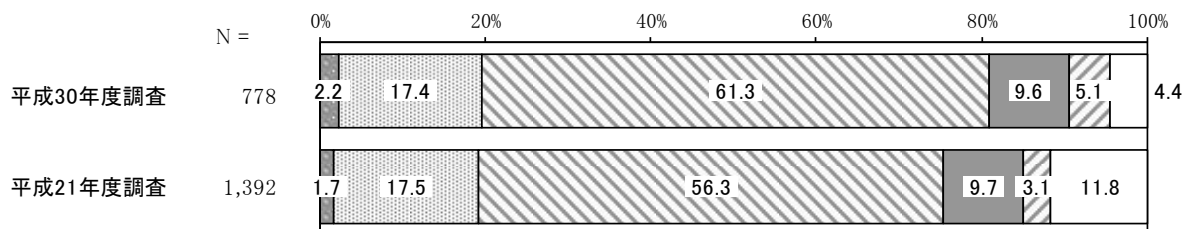
(23) 交通安全・防犯対策

平成 21 年度調査と比較すると、“満足”の割合が増加しています。



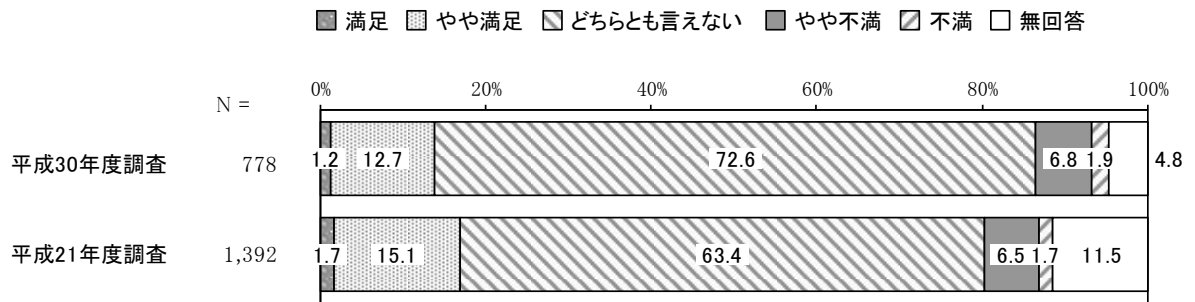
(24) 小中学校の教育内容や環境

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



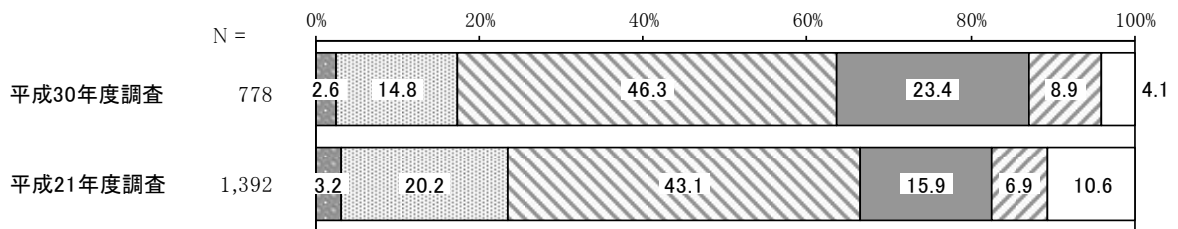
(25) 生涯学習活動

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



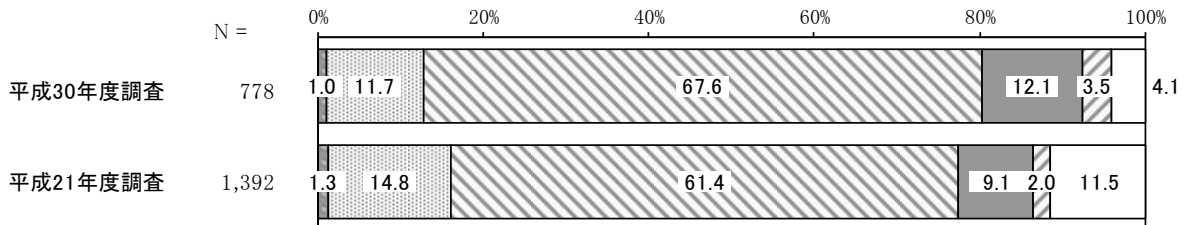
(26) 図書館、ホールなどの施設の整備

平成 21 年度調査と比較すると、“満足”の割合が減少し、“不満”の割合が増加しています。



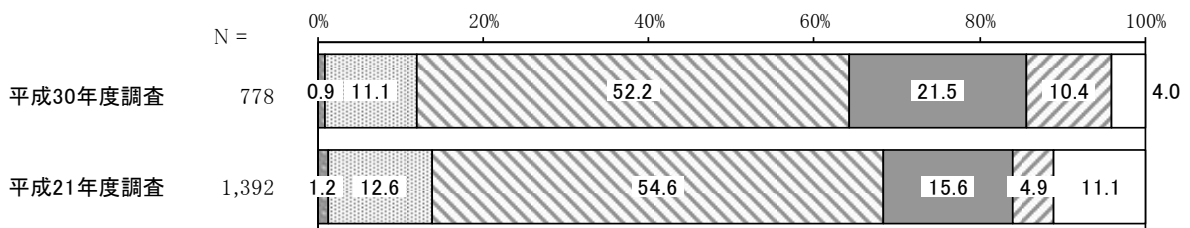
(27) 文化活動や文化の継承

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



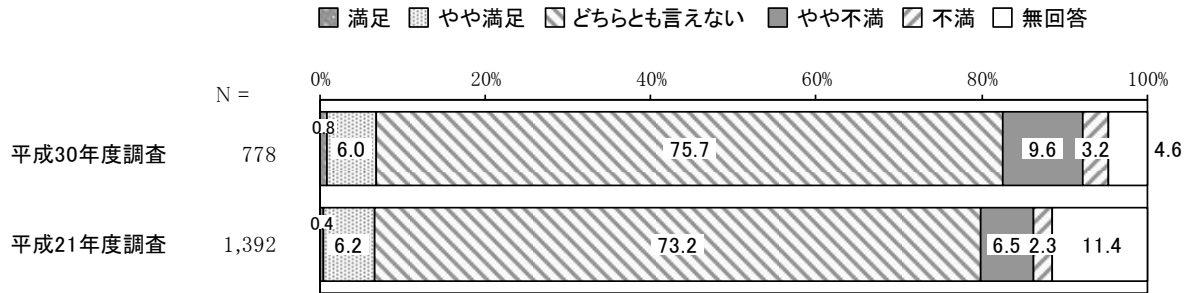
(28) スポーツ施設の整備

平成 21 年度調査と比較すると、“不満”の割合が増加しています。



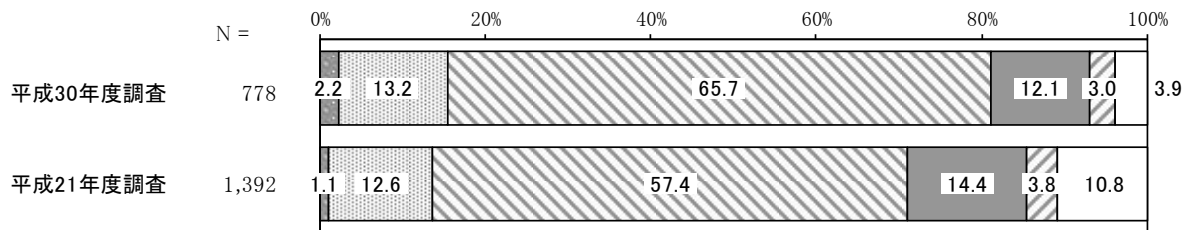
(29) 国際化、外国人との交流・共生

平成 21 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



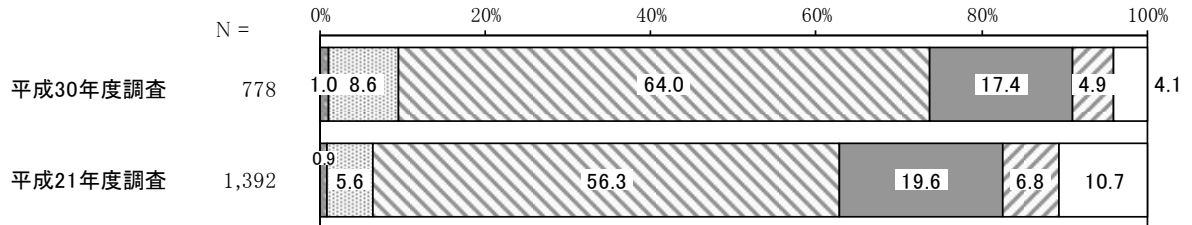
(30) 農業や水産業の振興

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



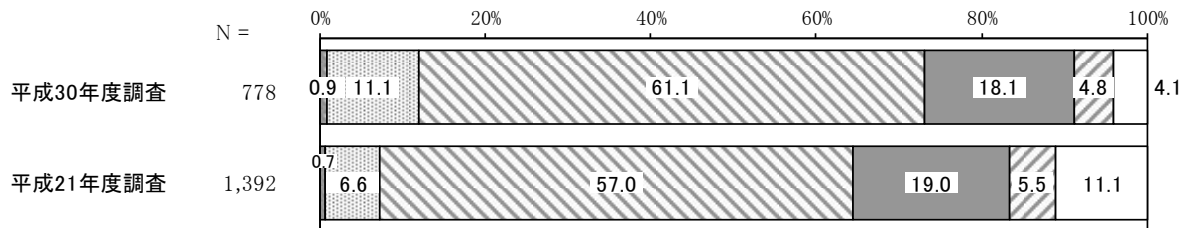
(31) 工業の振興や企業誘致

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



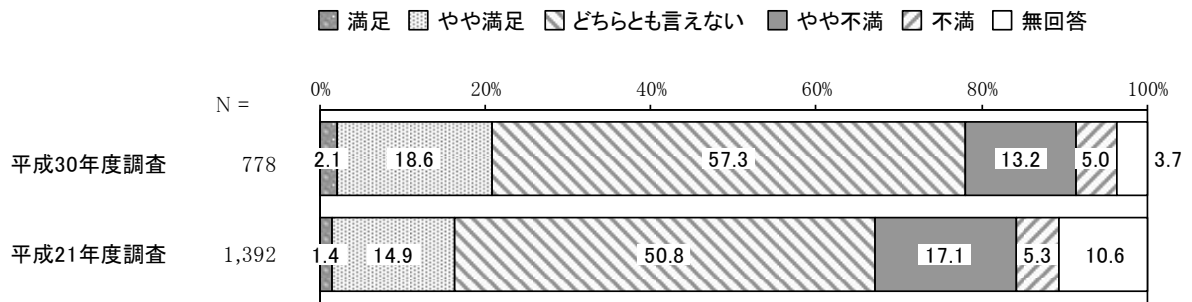
(32) 商業やサービス業の振興

平成 21 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



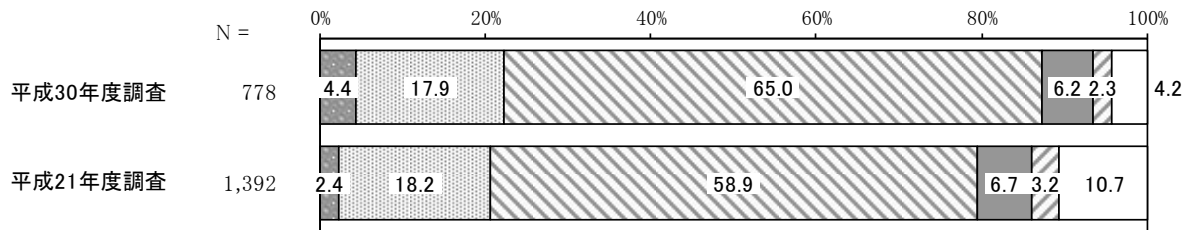
(33) 観光の振興

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



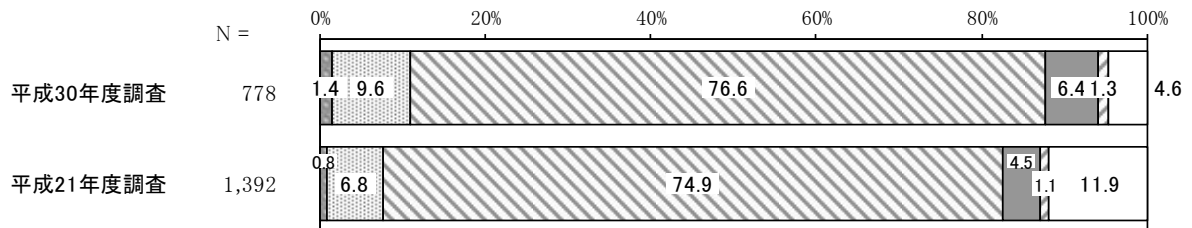
(34) ボートレースの円滑な運営や活性化

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



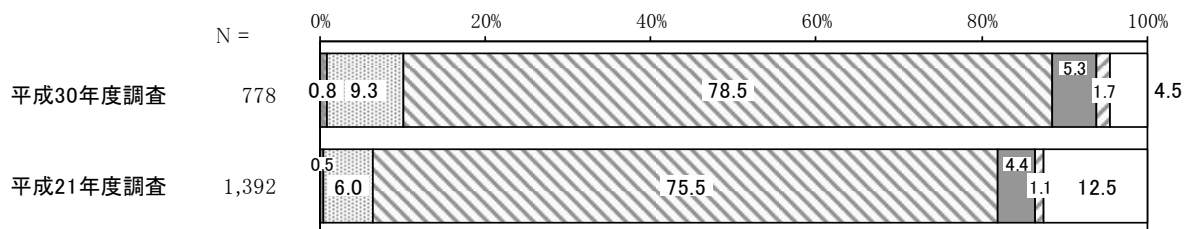
(35) 男女共同参画の推進

平成 21 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



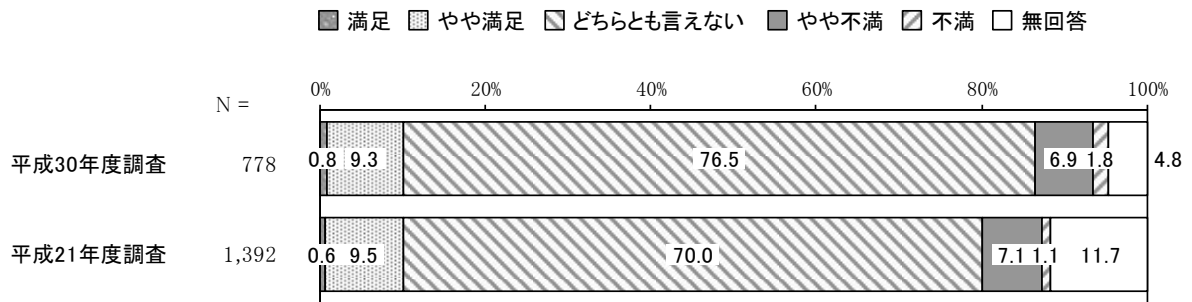
(36) コミュニティ活動の支援

平成 21 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



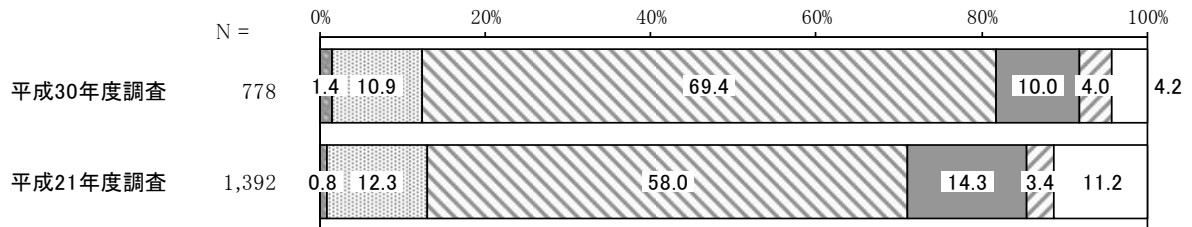
(37) ボランティア育成や市民活動支援

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



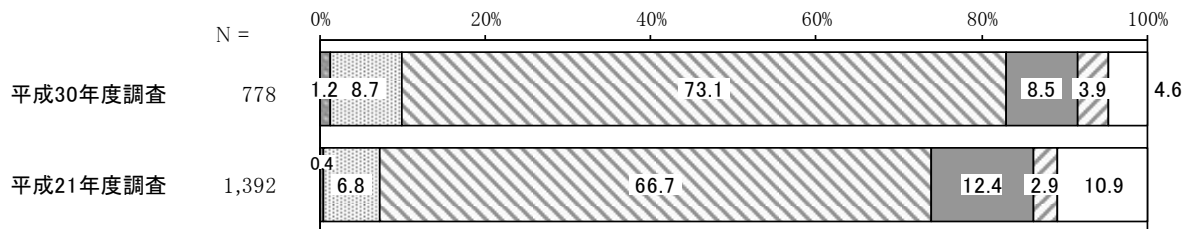
(38) 市政の情報提供や市民の声の広聴

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



(39) 周辺市町村との連携

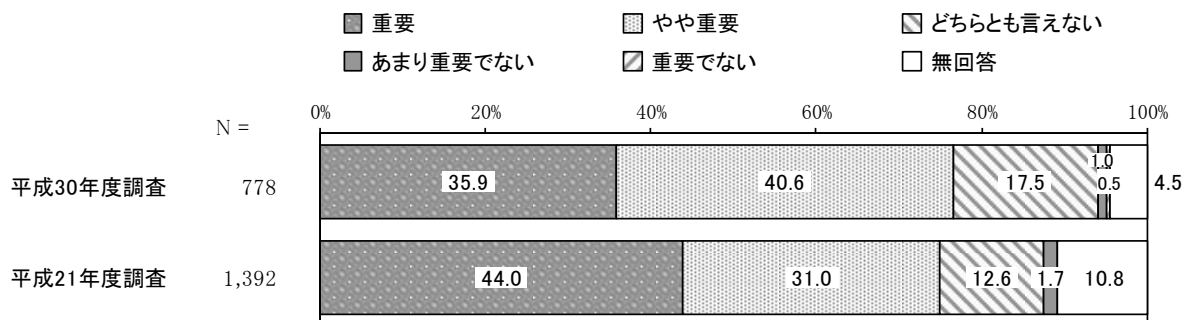
平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



<重要度>

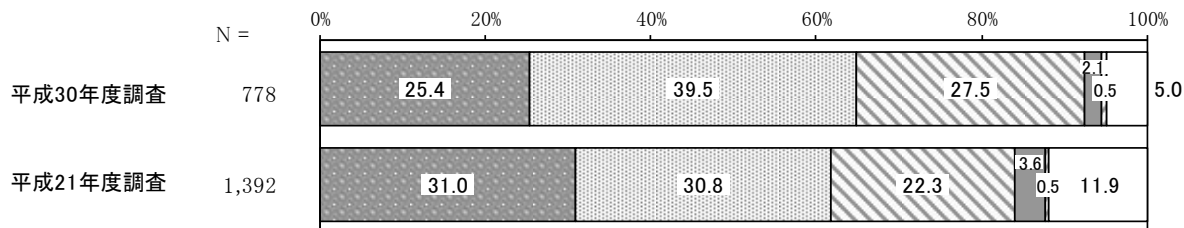
(1) 海や山などの自然環境の保護

平成 21 年度調査と比較すると、「重要」の割合が減少し、「やや重要」の割合が増加しています。



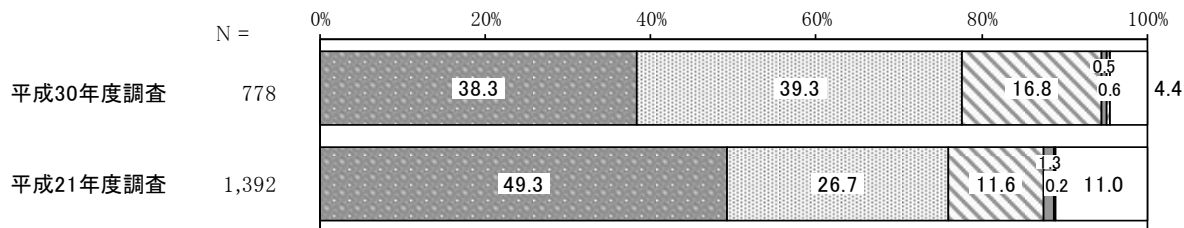
(2) 海とふれあうまちづくり

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」「どちらとも言えない」の割合が増加し、「重要」の割合が減少しています。



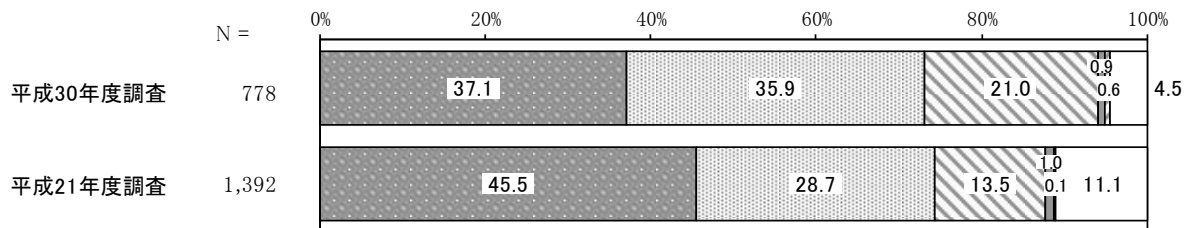
(3) ごみの減量化、リサイクル活動

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」「どちらとも言えない」の割合が増加し、「重要」の割合が減少しています。



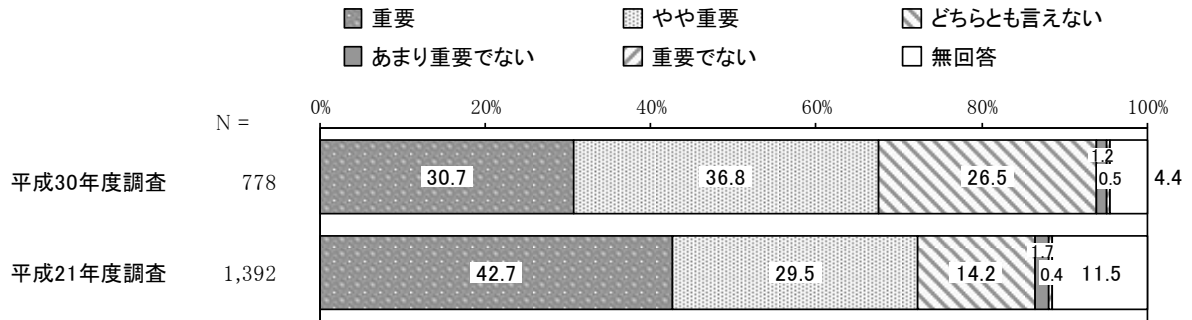
(4) 騒音、悪臭、大気・水質汚染対策

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」「どちらとも言えない」の割合が増加し、「重要」の割合が減少しています。



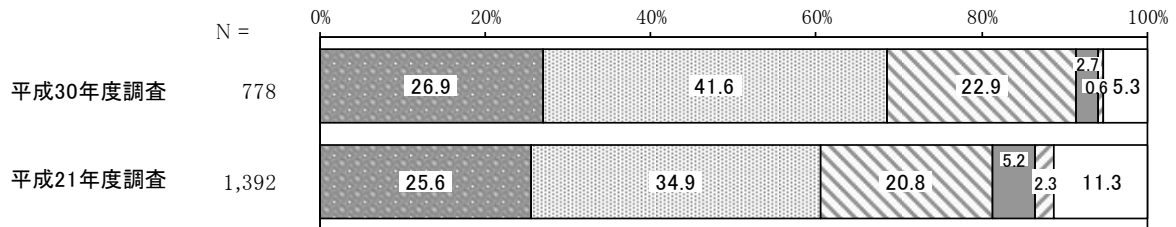
(5) 省エネ対策や自然エネルギー活動

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」「どちらとも言えない」の割合が増加し、「重要」の割合が減少しています。



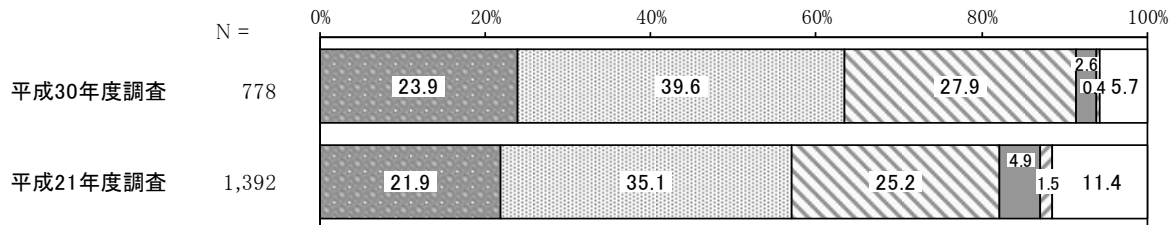
(6) 駅前などの市街地の整備

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



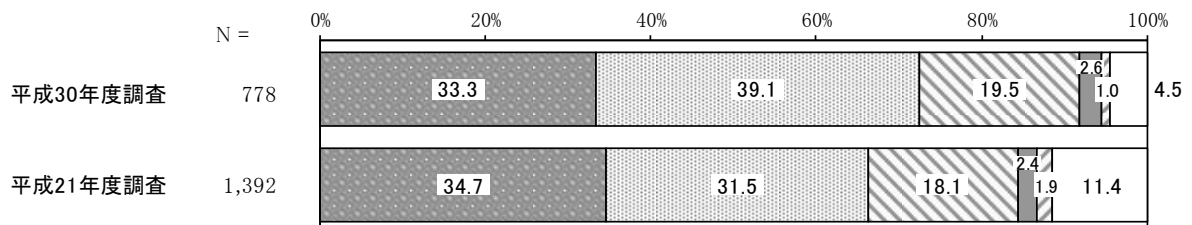
(7) 景観・まちなみへの配慮

平成 21 年度調査と比較すると、「重要」の割合が増加しています。



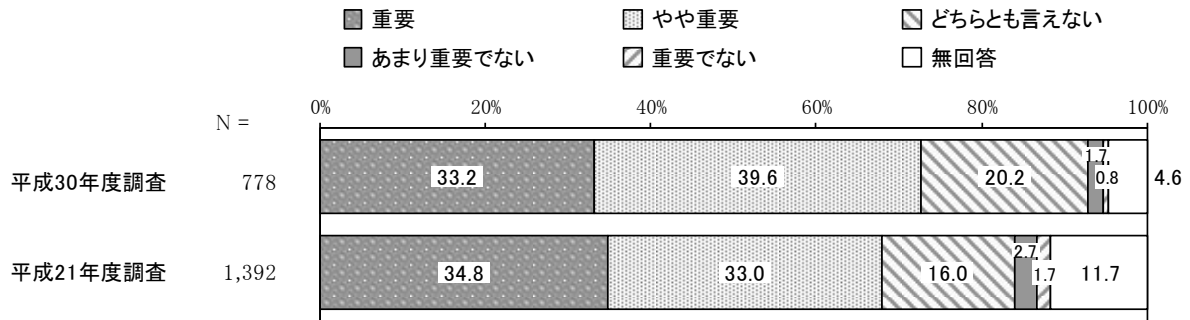
(8) 幹線道路の整備

平成 21 年度調査と比較すると、「重要」の割合が増加しています。



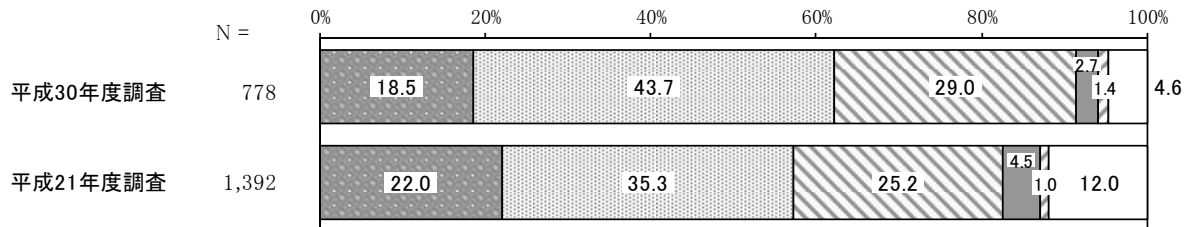
(9) 生活道路の整備

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



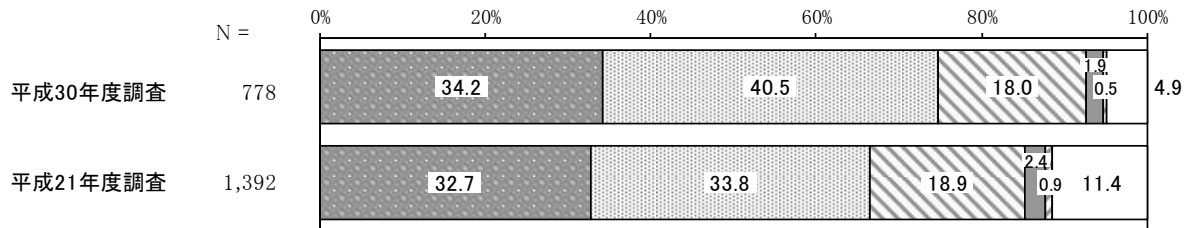
(10) 公園・緑地の整備

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



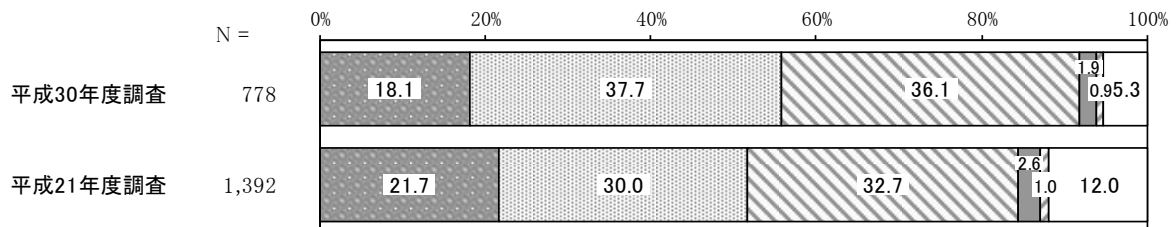
(11) 公共交通の利便性

平成 21 年度調査と比較すると、「重要」の割合が増加しています。



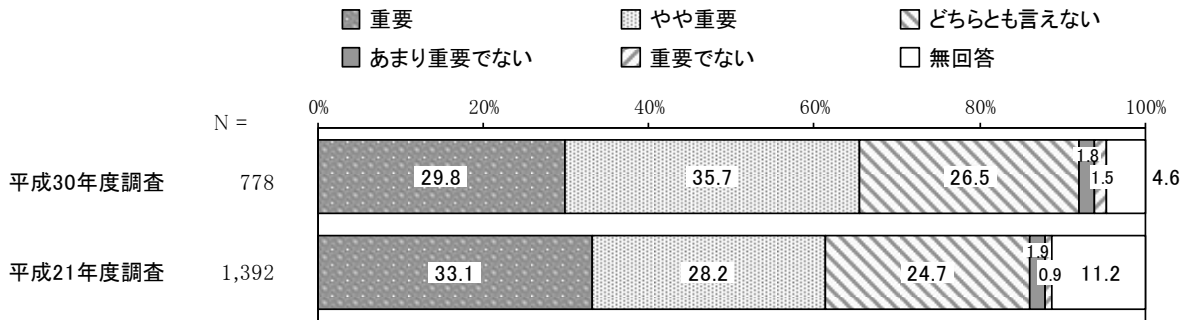
(12) 住宅・宅地の環境

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



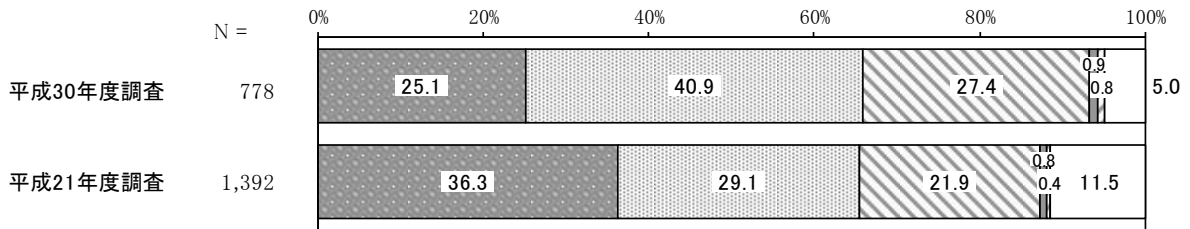
(13) 下水処理対策

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



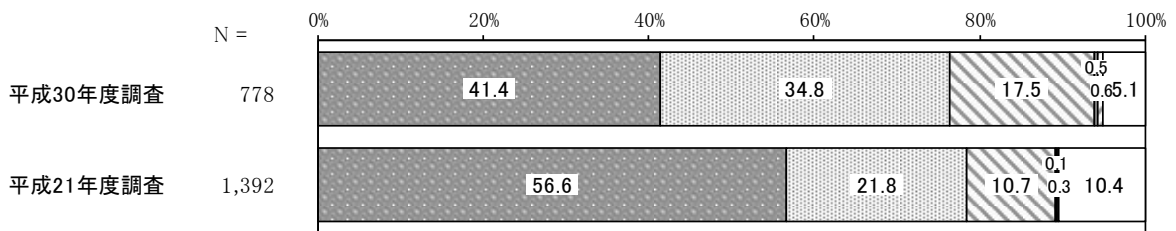
(14) 健康づくり・疾病対策

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」「どちらとも言えない」の割合が増加し、「重要」の割合が減少しています。



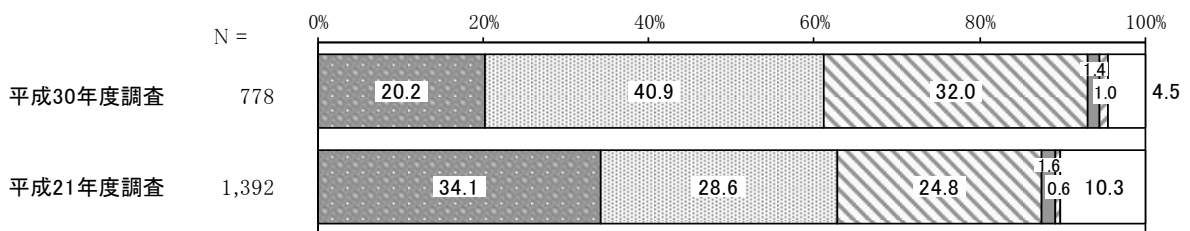
(15) 地域医療体制

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」「どちらとも言えない」の割合が増加し、「重要」の割合が減少しています。



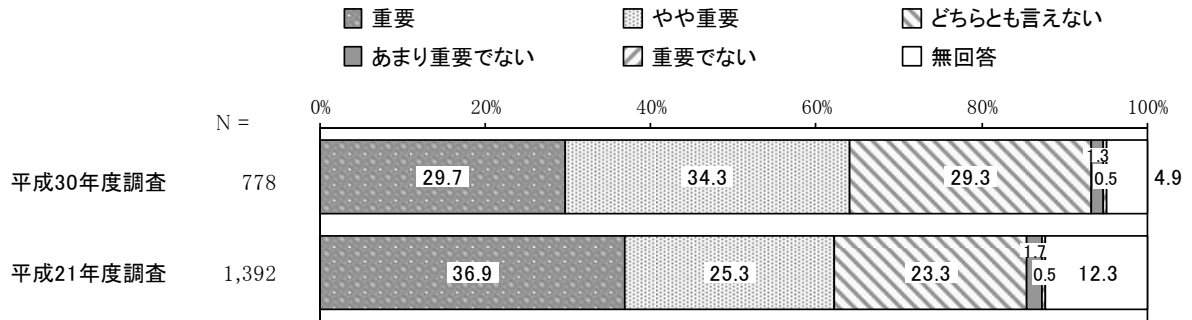
(16) 地域での支え合い・福祉活動

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」「どちらとも言えない」の割合が増加し、「重要」の割合が減少しています。



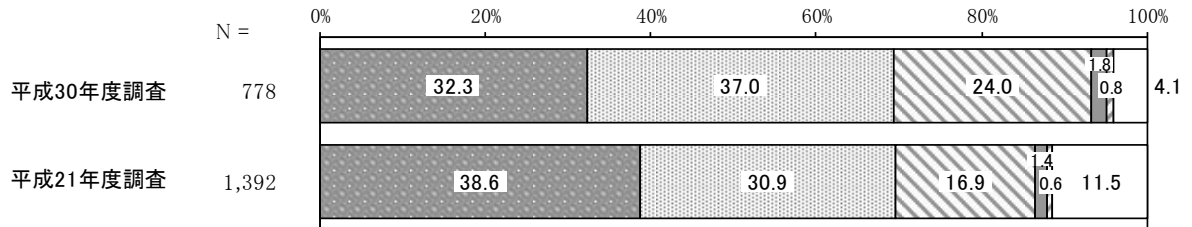
(17) 子育てに対する支援

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」「どちらとも言えない」の割合が増加し、「重要」の割合が減少しています。



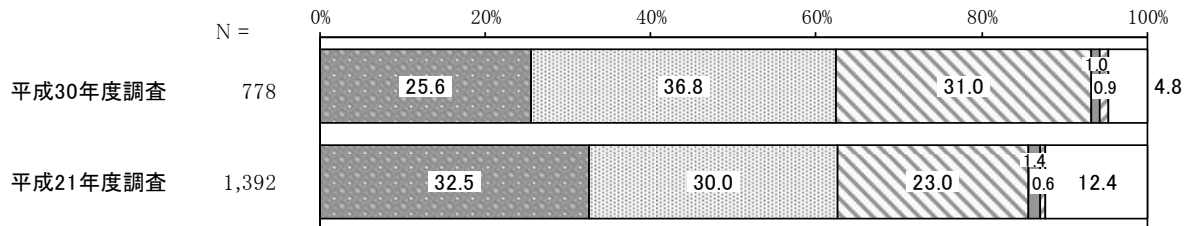
(18) 高齢者への福祉施策

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」「どちらとも言えない」の割合が増加し、「重要」の割合が減少しています。



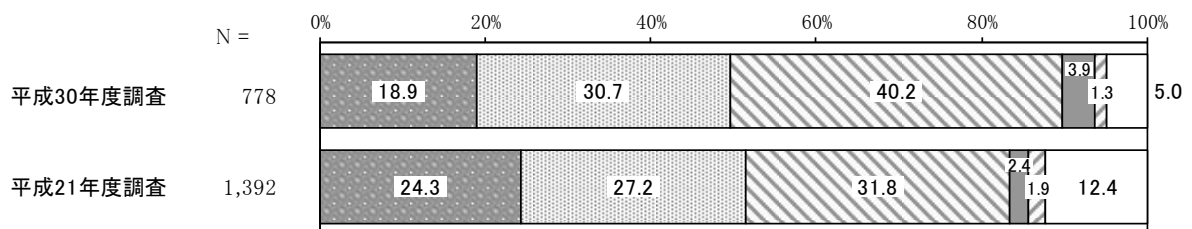
(19) 障がい者への福祉施策

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」「どちらとも言えない」の割合が増加し、「重要」の割合が減少しています。



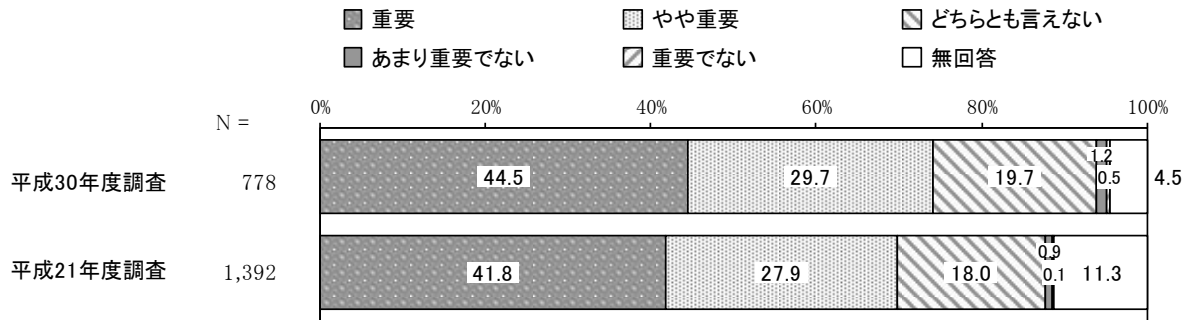
(20) 低所得者の自立支援

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加し、「重要」の割合が減少しています。



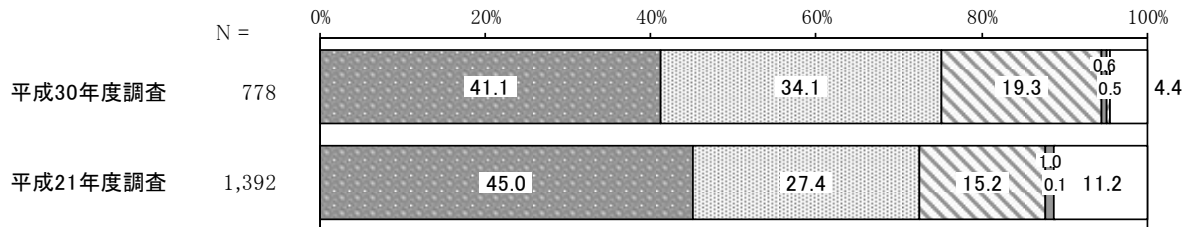
(21) 災害に強いまちづくり

平成 21 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



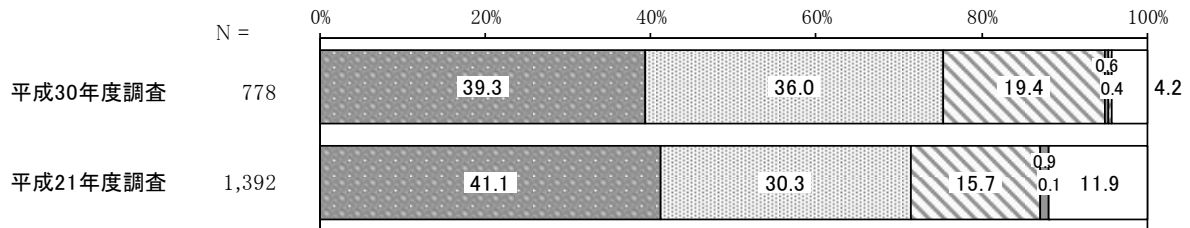
(22) 消防・救急体制

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



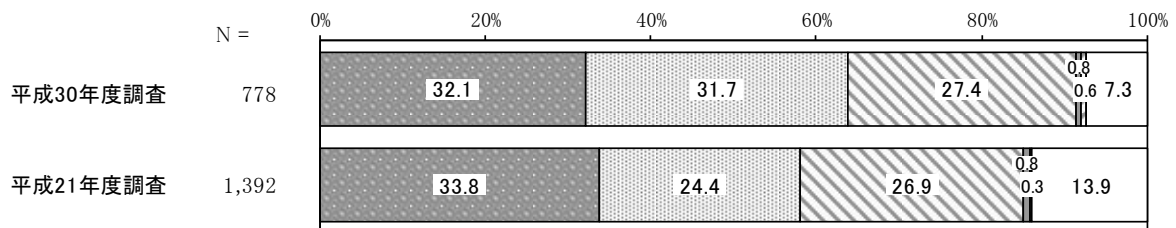
(23) 交通安全・防犯対策

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



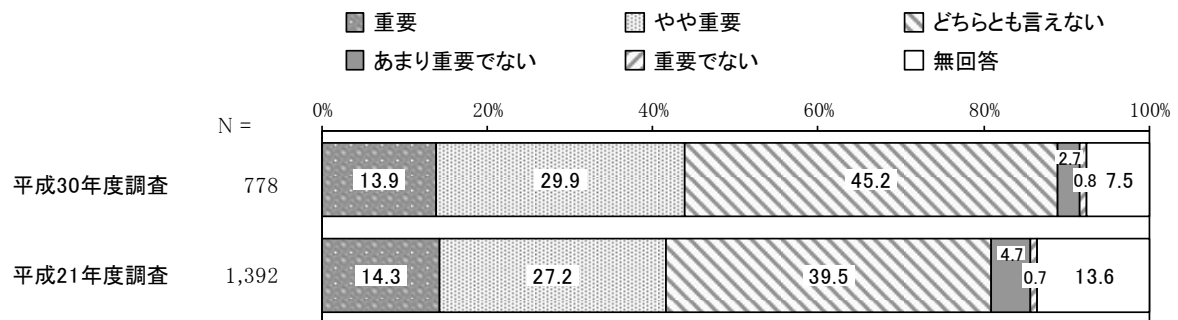
(24) 小中学校の教育内容や環境

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



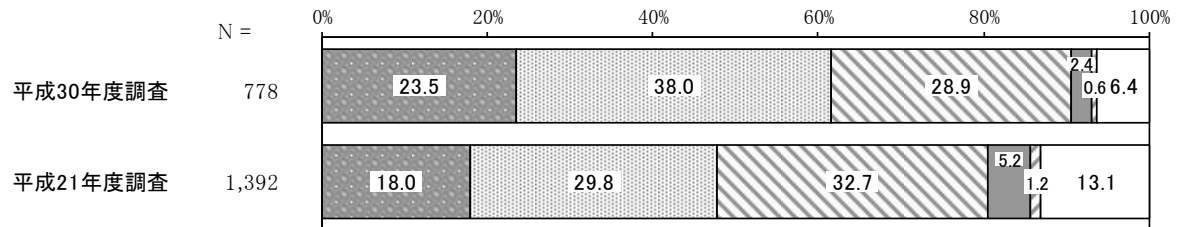
(25) 生涯学習活動

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



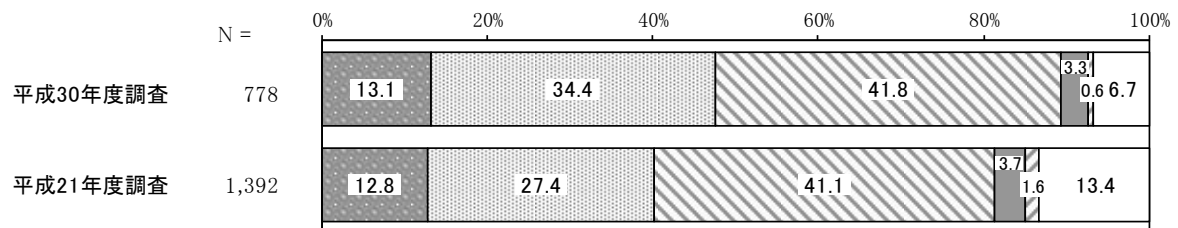
(26) 図書館、ホールなどの施設の整備

平成 21 年度調査と比較すると、「重要」の割合が増加しています。



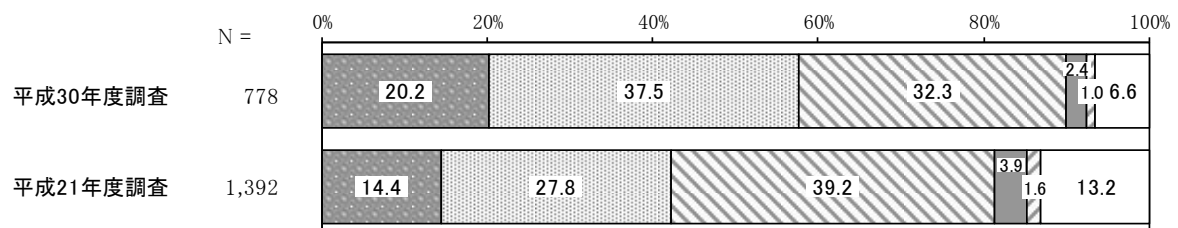
(27) 文化活動や文化の継承

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



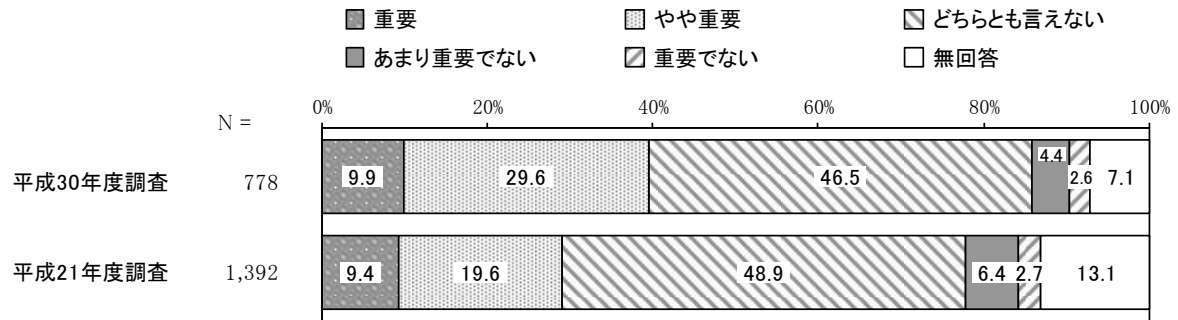
(28) スポーツ施設の整備

平成 21 年度調査と比較すると、「重要」の割合が増加し、「どちらとも言えない」の割合が減少しています。



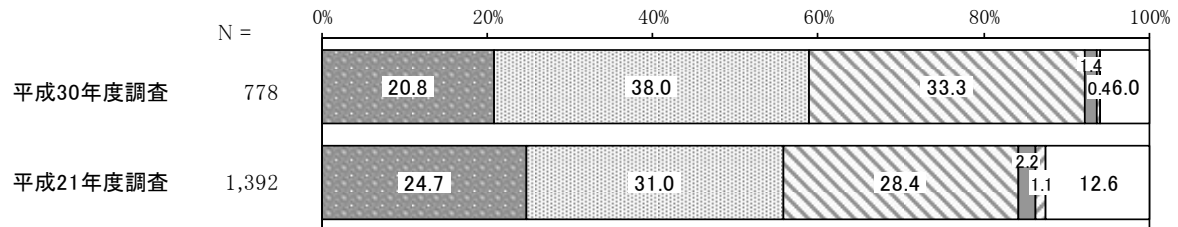
(29) 国際化、外国人との交流・共生

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



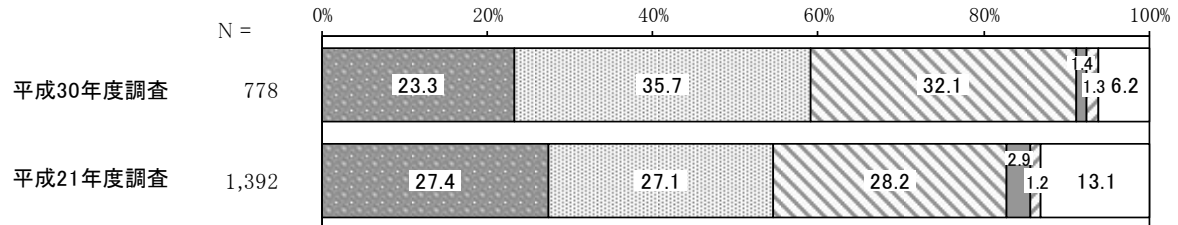
(30) 農業や水産業の振興

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



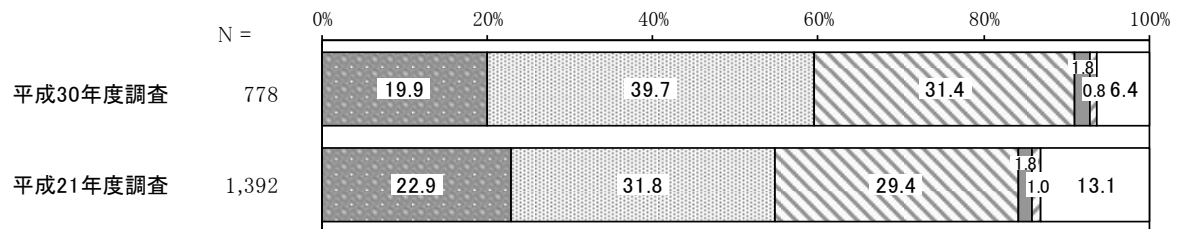
(31) 工業の振興や企業誘致

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



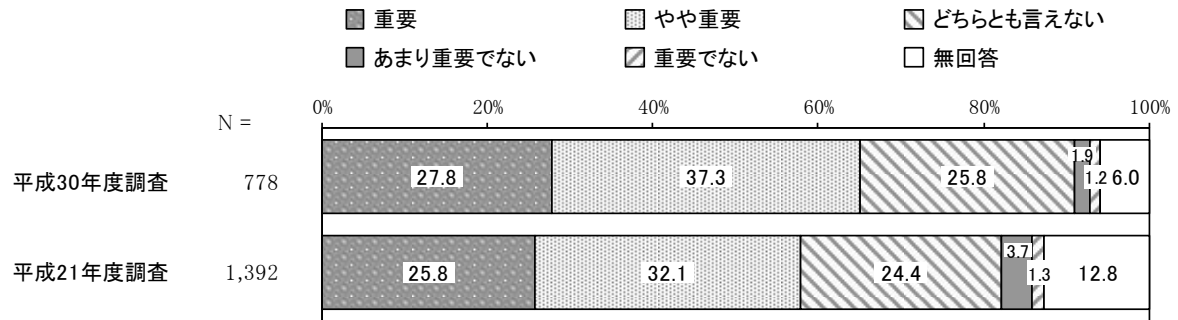
(32) 商業やサービス業の振興

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



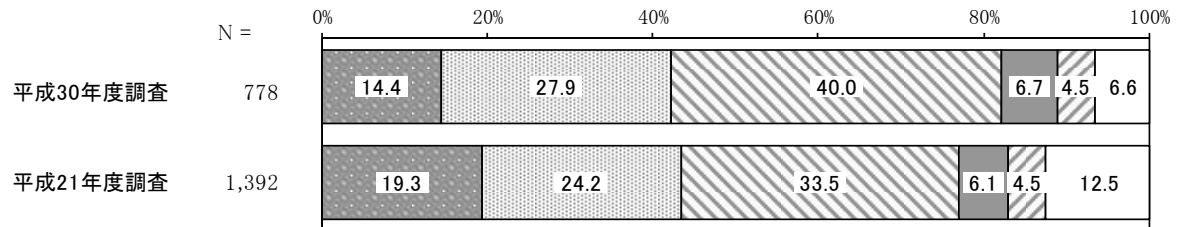
(33) 観光の振興

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



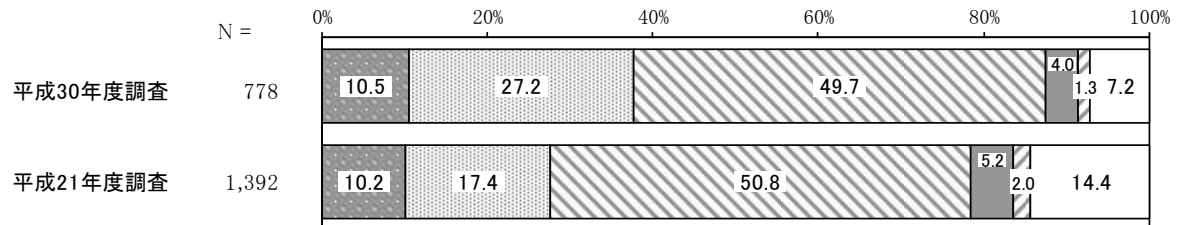
(34) ボートレースの円滑な運営や活性化

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



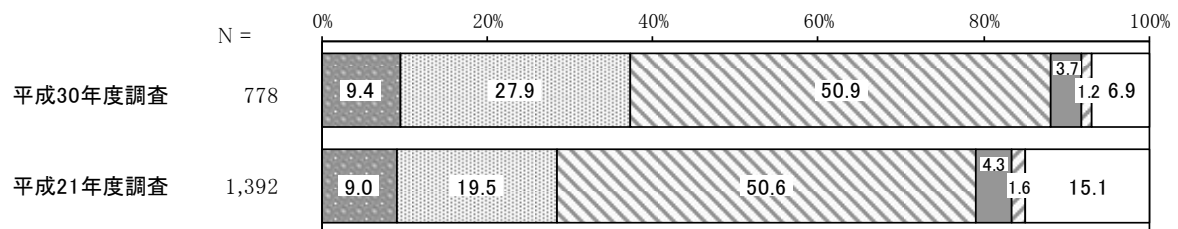
(35) 男女共同参画の推進

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



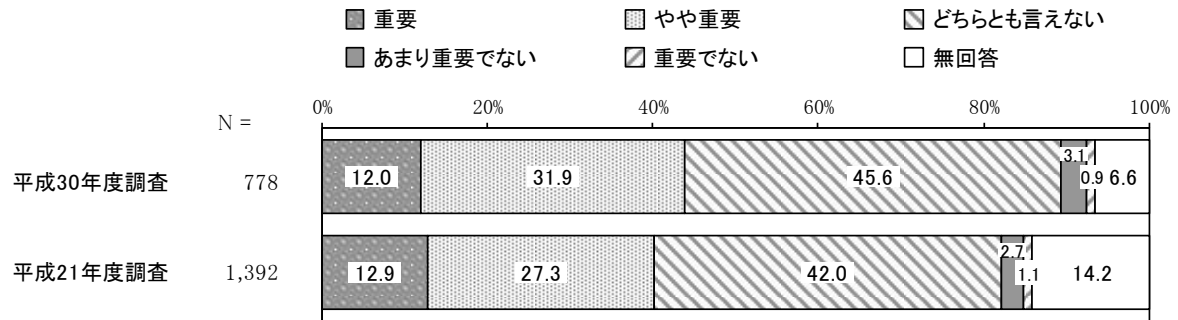
(36) コミュニティ活動の支援

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



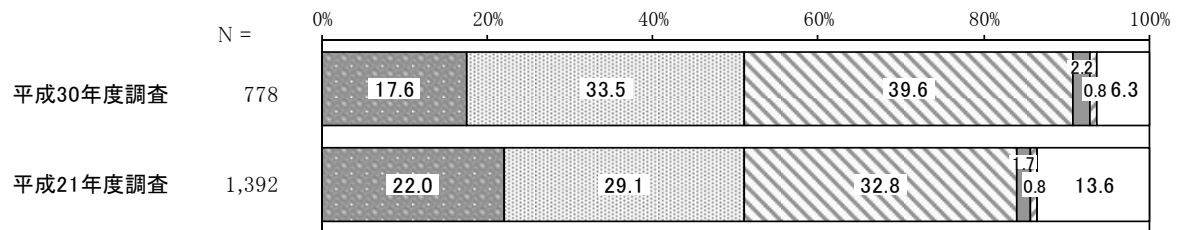
(37) ボランティア育成や市民活動支援

平成 21 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



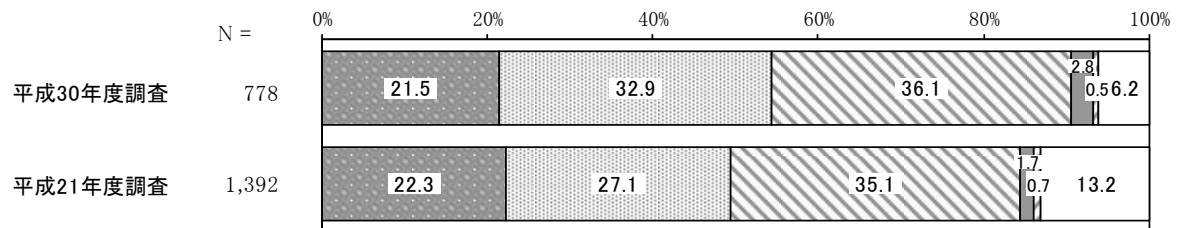
(38) 市政の情報提供や市民の声の広聴

平成 21 年度調査と比較すると、「どちらとも言えない」の割合が増加しています。



(39) 周辺市町村との連携

平成 21 年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。

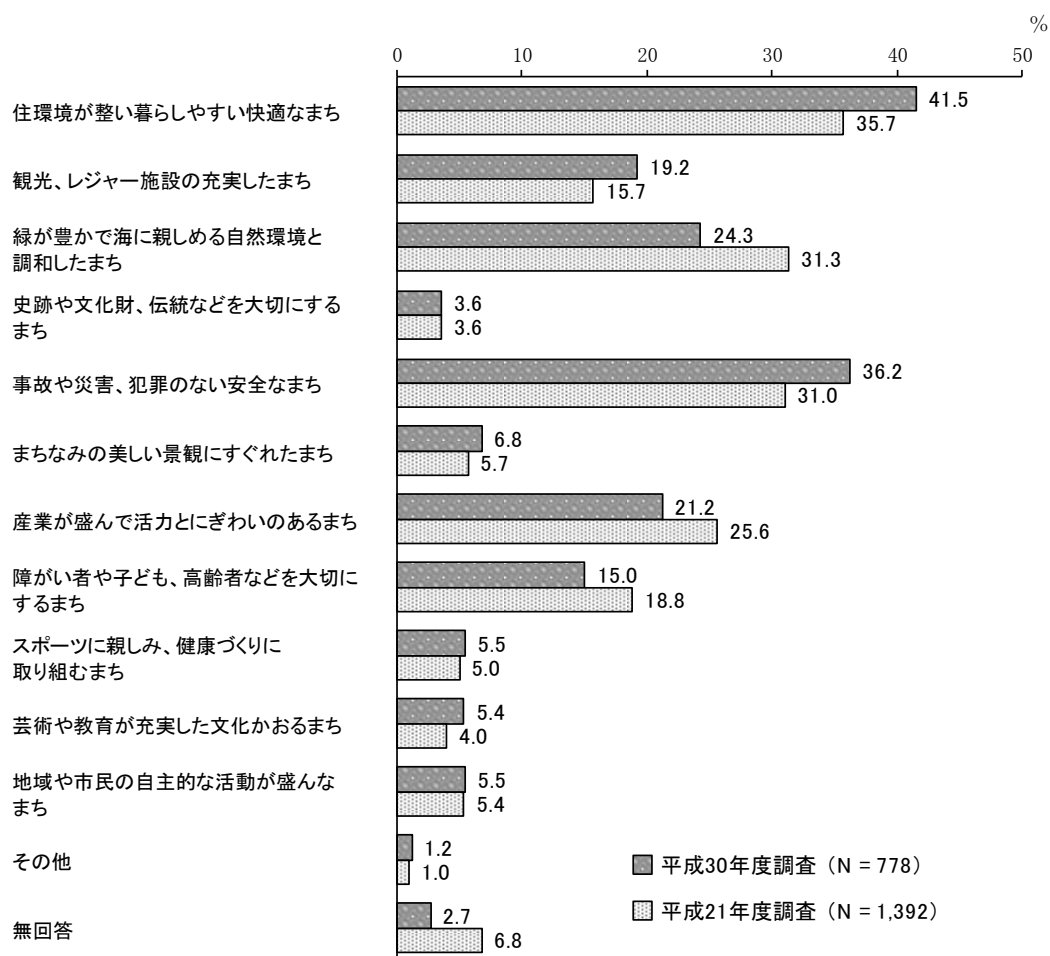


(5) これからのまちづくり

問 16 あなたは、蒲郡市の魅力を高めるために、どのような将来像を目指すべきだと思いますか。(〇は2つまで)

「住環境が整い暮らしやすい快適なまち」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「事故や災害、犯罪のない安全なまち」の割合が 36.2%、「緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち」の割合が 24.3%となっています。

平成 21 年度調査と比較すると、「住環境が整い暮らしやすい快適なまち」「事故や災害、犯罪のない安全なまち」の割合が大幅に増加し、「緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち」の割合が大幅に減少しています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「住環境が整い暮らしやすい快適なまち」の割合が、年齢が高くなるにつれ「産業が盛んで活力とにぎわいのあるまち」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、30歳代、40歳代で「緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち」の割合が高く、約3割となっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	住環境が整い暮らし やすい快適なまち	観光、レジャー施設の 充実したまち	緑が豊かで海に親しめる 自然環境と調和したまち	大切に するまち	史跡や文化財、伝統などを 大切にするまち	事故や災害、犯罪のない 安全なまち	まちなみの美しい景観に すぐれたまち	産業が盛んで活力と にぎわいのあるまち	障がい者や子ども、高齢者 などを大切にするまち	健康づくりに取り組み、 スポーツに親しみ、	文化がおるまち	芸術や教育が充実した 文化がおるまち	地域や市民の自主的な 活動が盛んなまち	その他	無回答
20歳未満	59	50.8	27.1	20.3	5.1	33.9	8.5	8.5	11.9	6.8	5.1	5.1	5.1	1.7	3.4	
20歳代	87	46.0	31.0	17.2	5.7	31.0	11.5	13.8	12.6	5.7	5.7	—	—	2.3	4.6	
30歳代	91	47.3	26.4	29.7	2.2	33.0	7.7	17.6	17.6	—	6.6	2.2	—	—	1.1	
40歳代	100	47.0	28.0	30.0	4.0	25.0	7.0	20.0	11.0	6.0	7.0	3.0	3.0	—	1.0	
50歳代	113	45.1	21.2	24.8	0.9	33.6	4.4	23.0	16.8	4.4	1.8	8.8	0.9	—	1.8	
60歳代	154	39.6	9.7	24.0	3.2	41.6	7.8	21.4	18.8	8.4	4.5	6.5	0.6	—	1.9	
70歳以上	170	30.0	8.8	21.8	4.7	45.3	4.1	30.0	13.5	5.9	7.1	8.8	0.6	—	4.7	

【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、大塚中学校区、西浦中学校区で「事故や災害、犯罪のない安全なまち」の割合が高くなっています。

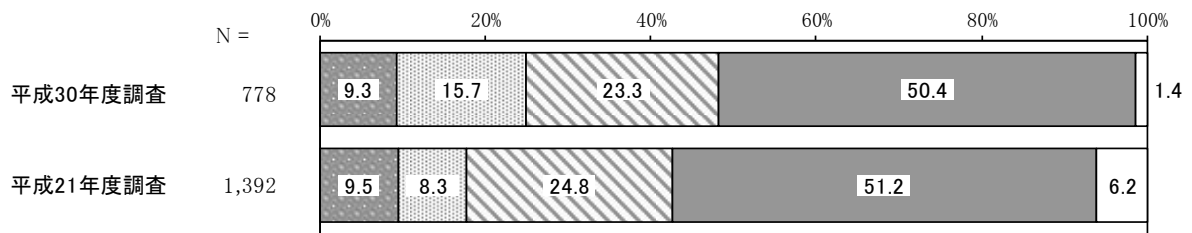
単位：％

区分	有効回答数 (件)	住環境が整い暮らしやすい快適なまち	観光、レジャー施設の充実したまち	緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち	大切にすまち	史跡や文化財、伝統などを大切にするまち	事故や災害、犯罪のない安全なまち	まちなみの美しい景観にすぐれたまち	産業が盛んで活力とにぎわいのあるまち	障がい者や子ども、高齢者などを大切にするまち	スポーツに親しみ、健康づくりに取り組むまち	芸術や教育が充実した文化かおるまち	地域や市民の自主的な活動が盛んなまち	その他	無回答
大塚中学校区	60	45.0	13.3	23.3	3.3	45.0	5.0	23.3	13.3	10.0	1.7	3.3	—	1.7	
三谷中学校区	106	39.6	19.8	23.6	5.7	36.8	9.4	15.1	16.0	1.9	6.6	4.7	1.9	4.7	
蒲郡中学校区	162	45.7	19.8	25.3	1.2	30.2	7.4	19.8	14.2	8.0	6.8	5.6	0.6	3.7	
中部中学校区	114	43.9	23.7	21.1	6.1	40.4	7.9	23.7	10.5	5.3	3.5	1.8	2.6	0.9	
塩津中学校区	92	46.7	18.5	27.2	3.3	31.5	5.4	21.7	20.7	2.2	7.6	4.3	—	1.1	
形原中学校区	152	36.8	21.1	25.7	3.9	32.9	5.9	25.0	16.4	4.6	6.6	5.3	1.3	2.0	
西浦中学校区	58	36.2	12.1	20.7	3.4	46.6	3.4	20.7	12.1	12.1	—	17.2	1.7	1.7	
わからない	9	22.2	33.3	33.3	—	33.3	22.2	11.1	11.1	—	—	11.1	—	11.1	

問 17 あなたは、「協働」という言葉を知っていますか。(〇は1つだけ)

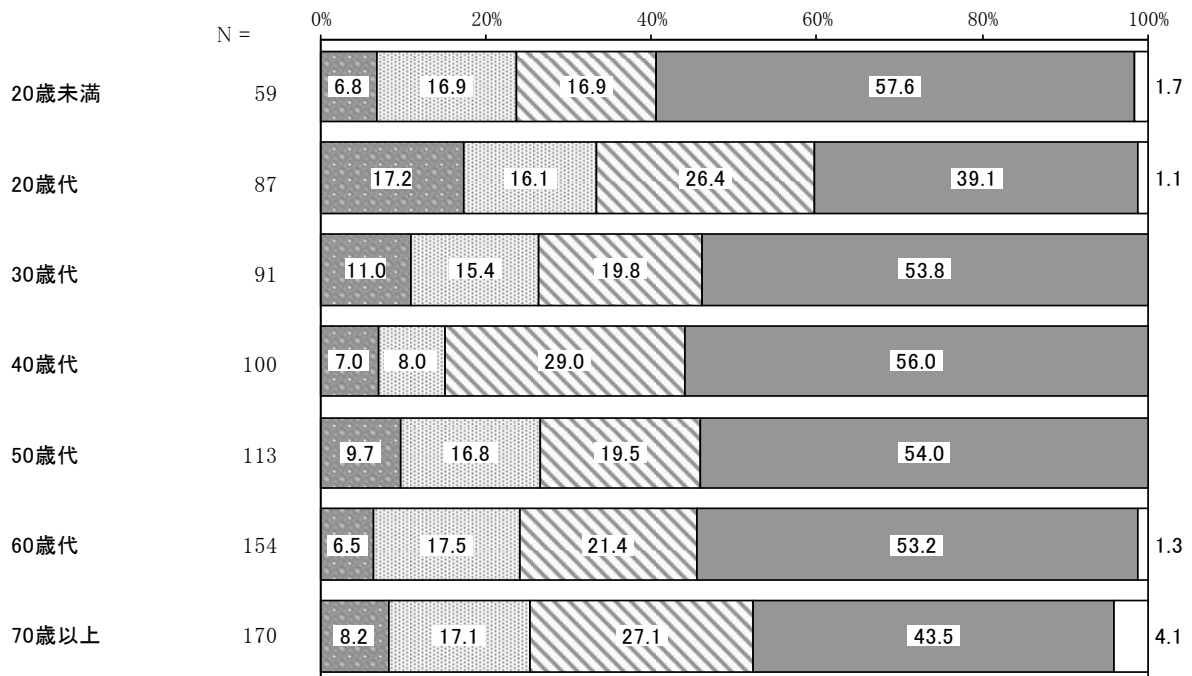
「知らない」の割合が50.4%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」の割合が23.3%、「知っているが、あまり興味がない」の割合が15.7%となっています。
 平成21年度調査と比較すると、「知っているが、あまり興味がない」の割合が増加しています。

- 知っており、興味がある
- ▨ 知っているが、あまり興味がない
- ▧ 聞いたことはあるが、意味はよくわからない
- 知らない
- 無回答



【年齢別】

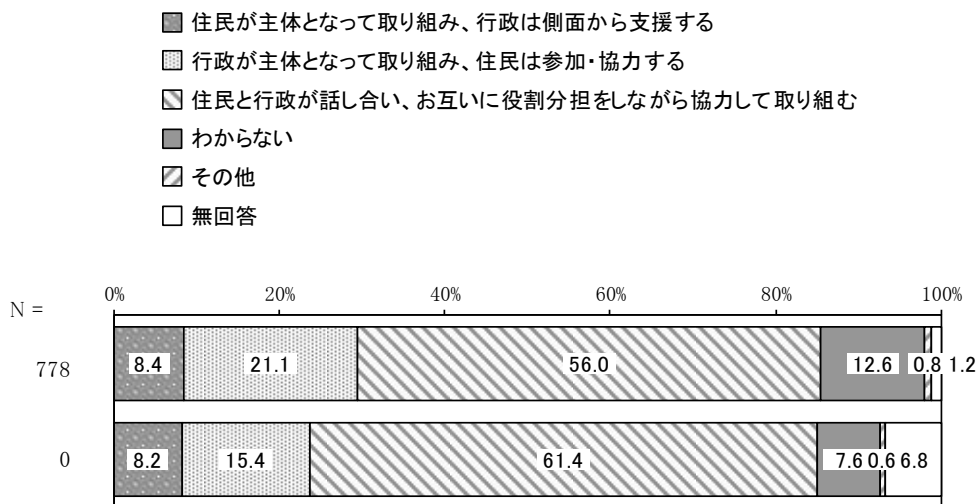
年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代で「知っており、興味がある」の割合が高く、約2割となっています。また、20歳未満で「知らない」の割合が高く、約6割となっています。



問18 あなたは、地域をより良くするために、住民と行政がどのように役割を果たしたらよいと思いますか。(〇は1つだけ)

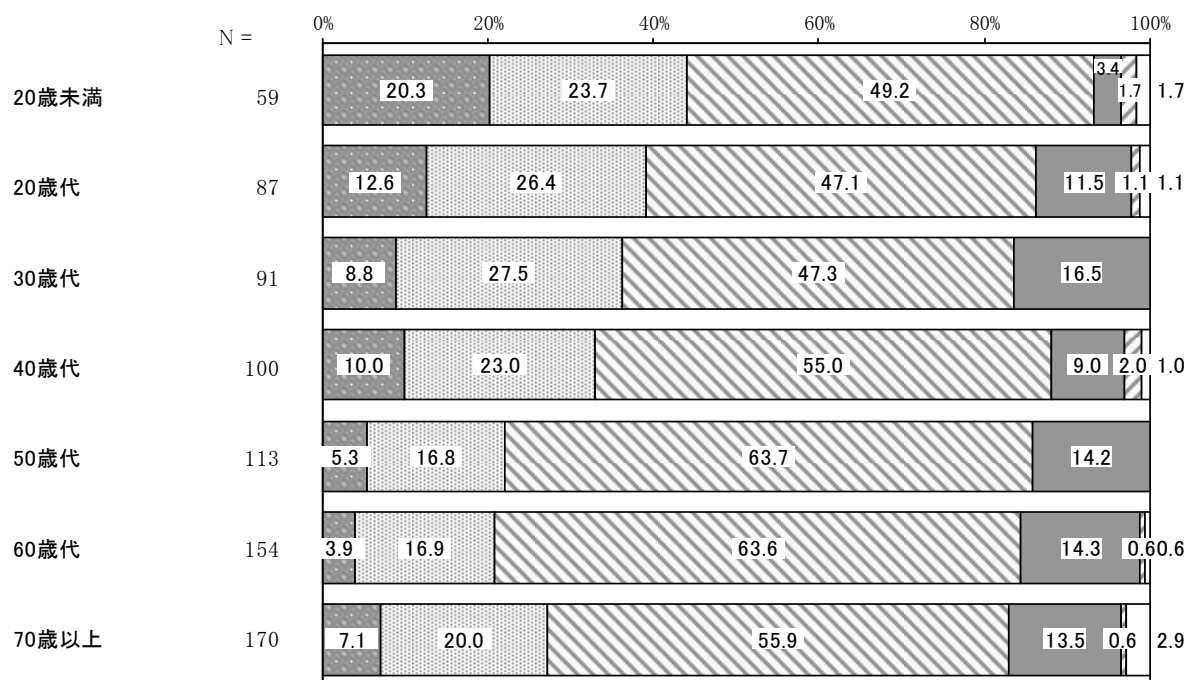
「住民と行政が話し合い、お互いに役割分担をしながら協力して取り組む」の割合が56.0%と最も高く、次いで「行政が主体となって取り組み、住民は参加・協力する」の割合が21.1%となっています。

平成21年度調査と比較すると、「行政が主体となって取り組み、住民は参加・協力する」の割合が増加し、「住民と行政が話し合い、お互いに役割分担をしながら協力して取り組む」の割合が減少しています。



【年齢別】

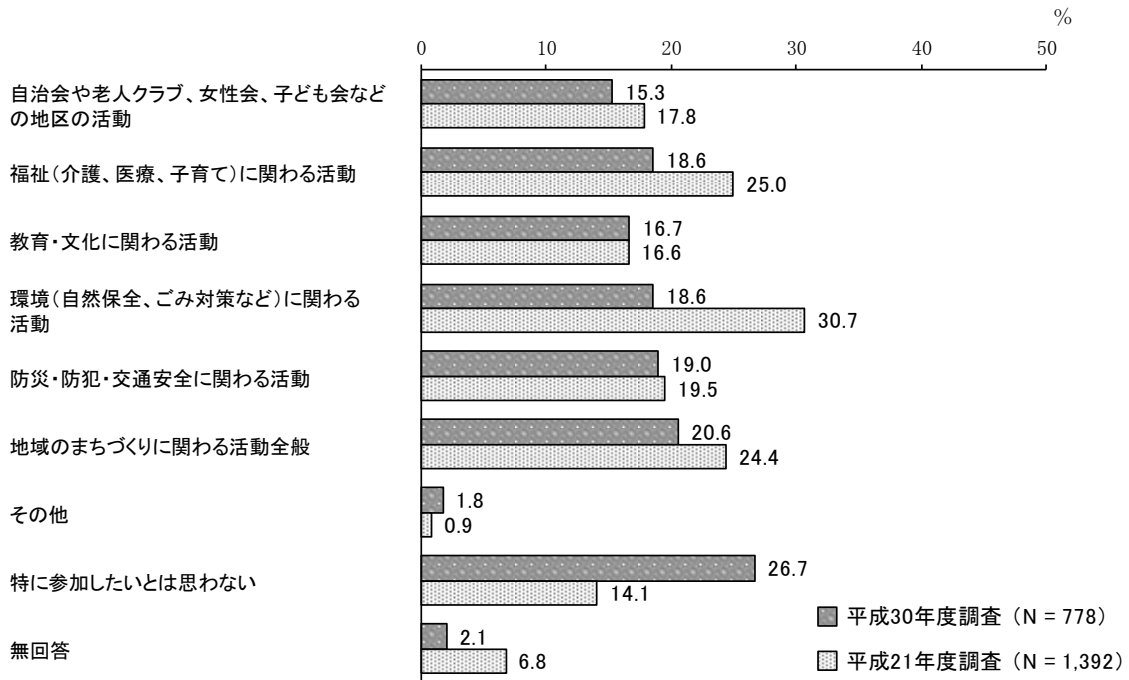
年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代、60歳代で「住民と行政が話し合い、お互いに役割分担をしながら協力して取り組む」の割合が高く、約6割となっています。また、20歳未満で「住民が主体となって取り組み、行政は側面から支援する」の割合が高く、約2割となっています。



問19 あなたは、地域をより良くするために、今後、どのような活動であれば参加したいと思いますか。（〇は2つまで）

「特に参加したいとは思わない」の割合が26.7%と最も高く、次いで「地域のまちづくりに関わる活動全般」の割合が20.6%、「防災・防犯・交通安全に関わる活動」の割合が19.0%となっています。

平成21年度調査と比較すると、「福祉（介護、医療、子育て）に関わる活動」「環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動」の割合が大幅に減少し、「特に参加したいとは思わない」の割合が大幅に増加しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳未満、20歳代で「教育・文化に関わる活動」の割合が高く、約3割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	自治会や老人クラブ、女性会、子ども会などの地区の活動	福祉（介護、医療、子育て）に関わる活動	教育・文化に関わる活動	環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動	防災・防犯・交通安全に関わる活動	地域のまちづくりに関わる活動全般	その他	特に参加したいとは思わない	無回答
20歳未満	59	15.3	20.3	27.1	15.3	15.3	20.3	—	25.4	1.7
20歳代	87	14.9	13.8	32.2	16.1	14.9	21.8	4.6	23.0	1.1
30歳代	91	15.4	18.7	18.7	19.8	20.9	19.8	—	28.6	1.1
40歳代	100	7.0	17.0	22.0	20.0	21.0	21.0	3.0	28.0	2.0
50歳代	113	13.3	21.2	11.5	18.6	19.5	17.7	—	33.6	0.9
60歳代	154	16.2	18.8	11.7	22.1	18.8	18.8	0.6	26.0	—
70歳以上	170	20.6	20.0	9.4	16.5	20.0	23.5	2.9	23.5	5.9

【近所づきあいの程度別】

近所づきあいの程度別でみると、他に比べ、とても親しく付き合っているで「自治会や老人クラブ、女性会、子ども会などの地区の活動」「福祉（介護、医療、子育て）に関わる活動」「防災・防犯・交通安全に関わる活動」の割合が高くなっています。また、ほとんど付き合いがないで「特に参加したいとは思わない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	自治会や老人クラブ、女性会、子ども会などの地区の活動	福祉（介護、医療、子育て）に関わる活動	教育・文化に関わる活動	環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動	防災・防犯・交通安全に関わる活動	地域のまちづくりに関わる活動全般	その他	特に参加したいとは思わない	無回答
とても親しく付き合っている	40	35.0	32.5	7.5	12.5	35.0	25.0	—	17.5	2.5
わりと親しく付き合っている	236	19.9	19.9	18.6	21.2	19.9	25.0	2.1	18.6	1.3
あいさつ程度の付き合い	403	12.7	17.1	17.1	17.9	18.1	19.1	2.2	30.0	1.0
ほとんど付き合いがない	88	6.8	18.2	15.9	15.9	14.8	13.6	—	39.8	3.4

【自主防災会活動への参加経験別】

自主防災会活動への参加経験別でみると、他に比べ、ほとんど参加している（参加するよう努めている）で「防災・防犯・交通安全に関わる活動」の割合が高くなっています。また、参加したいと思わないで「特に参加したいとは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	自治会や老人クラブ、 女性会、子ども会など の地区の活動	福祉 (介護、医療、子 育て)に関わる活動	教育・文化に関わる活 動	環境 自然保全、ごみ 対策など)に関わる活 動	防災・防犯・交通安全 に関わる活動	地域のまちづくりに 関わる活動全般	その他	特に参加したいとは思 わない	無回答
ほとんど参加している(参加するよう努めている)	43	27.9	25.6	11.6	16.3	34.9	30.2	—	7.0	—
年に1度くらいは参加している(参加するよう努めている)	84	23.8	17.9	19.0	19.0	21.4	31.0	2.4	15.5	2.4
過去に参加したことはある	282	16.7	20.9	17.7	22.0	16.3	20.6	1.8	24.1	1.1
自主防災活動は行われているが参加したことはない	128	9.4	16.4	17.2	16.4	25.0	24.2	3.1	25.8	1.6
自主防災活動があるかどうか分からないので参加したことがない	151	14.6	18.5	13.9	19.2	18.5	15.9	2.0	31.8	2.0
参加したいと思わない	81	6.2	12.3	18.5	9.9	11.1	8.6	—	53.1	1.2

【南海トラフ地震への関心度別】

南海トラフ地震への関心度別でみると、いいえに比べ、はいで「福祉（介護、医療、子育て）に関わる活動」「防災・防犯・交通安全に関わる活動」の割合が高くなっています。また、いいえで「特に参加したいとは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	自治会や老人クラブ、 女性会、子ども会など の地区の活動	福祉 (介護、医療、子 育て)に関わる活動	教育・文化に関わる活 動	環境 自然保全、ごみ 対策など)に関わる活 動	防災・防犯・交通安全 に関わる活動	地域のまちづくりに 関わる活動全般	その他	特に参加したいとは思 わない	無回答
はい	618	16.5	20.1	18.6	19.4	21.0	22.0	1.9	22.8	1.3
いいえ	15	13.3	6.7	13.3	20.0	13.3	20.0	—	46.7	—
どちらともいえない	137	10.9	14.6	9.5	14.6	10.9	14.6	1.5	43.1	2.9

【地震に備えて家具などを固定しているか別】

地震に備えて家具などを固定しているか別でみると、他に比べ、大部分固定しているで「教育・文化に関わる活動」「防災・防犯・交通安全に関わる活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	自治会や老人クラブ、 女性会、子ども会など の地区の活動	福祉（介護、医療、子 育て）に関わる活動	教育・文化に関わる活 動	環境（自然保全、ごみ 対策など）に関わる活 動	防災・防犯・交通安全 に関わる活動	地域のまちづくりに 関わる活動全般	その他	特に参加したいとは思 わない	無回 答
大部分固定している	69	17.4	10.1	24.6	14.5	30.4	18.8	2.9	21.7	—
一部分固定している	391	13.3	21.2	19.9	20.7	18.4	20.5	1.3	25.6	1.3
全く固定していない	310	17.4	17.7	11.3	16.5	17.7	21.3	2.3	30.0	2.3

【耐震診断の受診別】

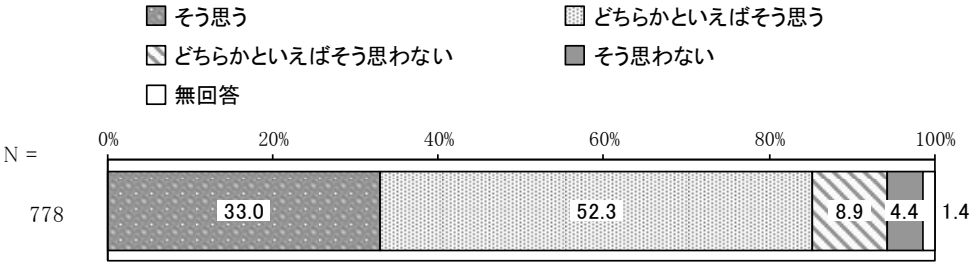
耐震診断の受診別でみると、他に比べ、すでに耐震診断を受けたで「自治会や老人クラブ、女性会、子ども会などの地区の活動」「地域のまちづくりに関わる活動全般」の割合が、耐震診断は受けていないが、受けたと思うで「福祉（介護、医療、子育て）に関わる活動」の割合が高くなっています。また、耐震診断は受けていない、受けたと思わないで「特に参加したいとは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	自治会や老人クラブ、 女性会、子ども会など の地区の活動	福祉（介護、医療、子 育て）に関わる活動	教育・文化に関わる活 動	環境（自然保全、ごみ 対策など）に関わる活 動	防災・防犯・交通安全 に関わる活動	地域のまちづくりに 関わる活動全般	その他	特に参加したいとは思 わない	無回 答
すでに耐震診断を受けた	69	23.2	17.4	20.3	23.2	15.9	36.2	1.4	15.9	2.9
耐震診断は受けていないが、受けたと思う	74	12.2	28.4	17.6	24.3	21.6	21.6	1.4	18.9	2.7
耐震診断は受けていない、受けたと思わない	85	16.5	10.6	11.8	16.5	16.5	10.6	3.5	37.6	1.2

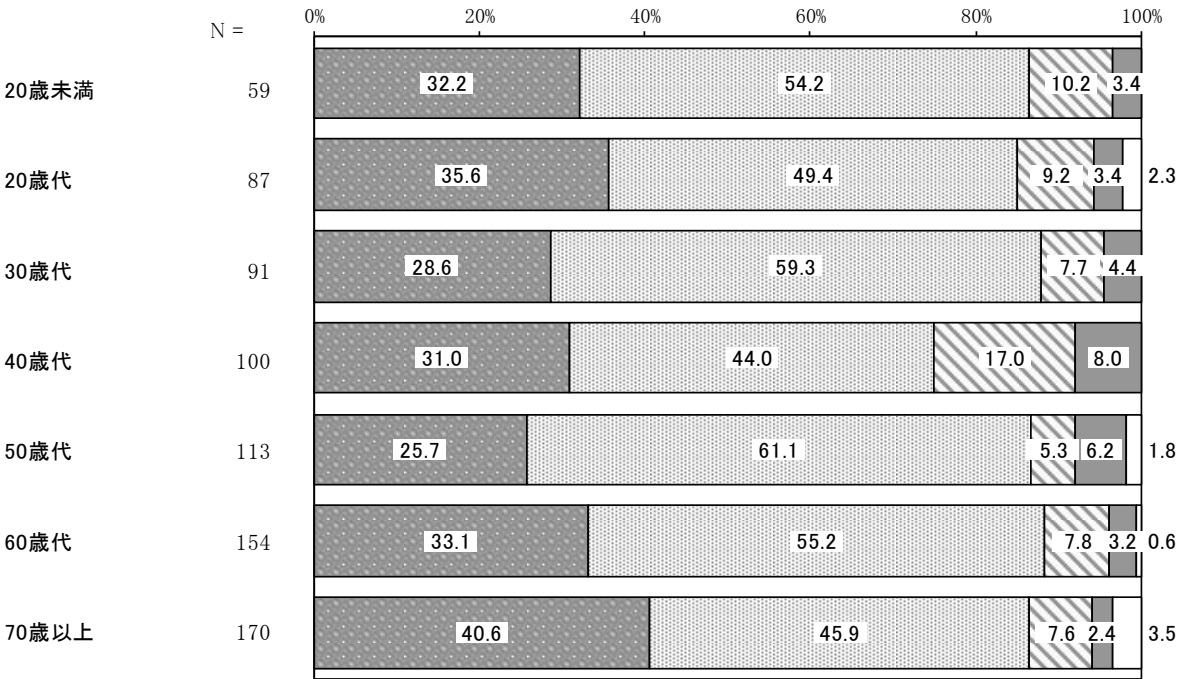
問 20 お住まいの地域をより住みよくするために、あなたは、地域活動を行うことは大切だと思いますか。(〇は1つだけ)

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が 85.3%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が 13.3% となっています。



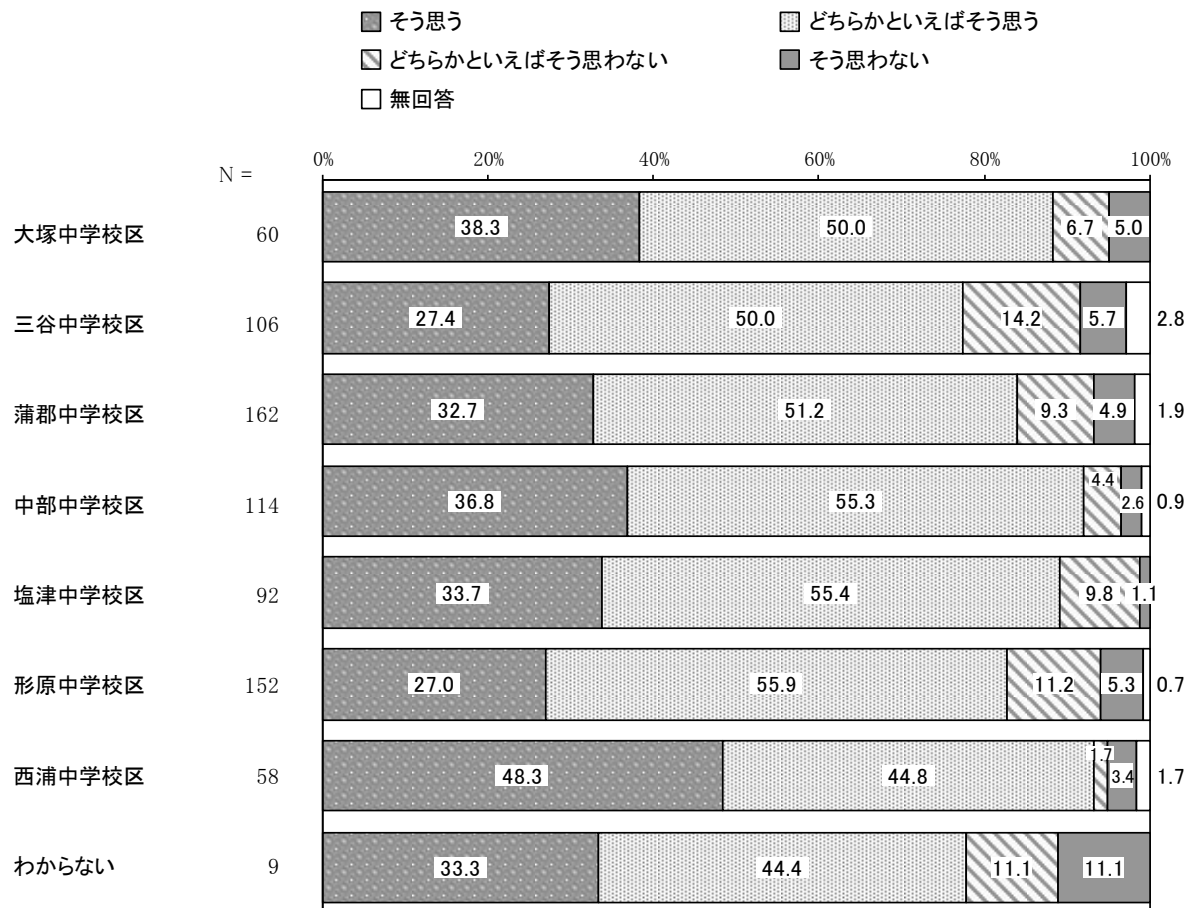
【年齢別】

年齢別で見ると、他の年齢に比べ、40歳代で“そう思わない”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



【中学校区別】

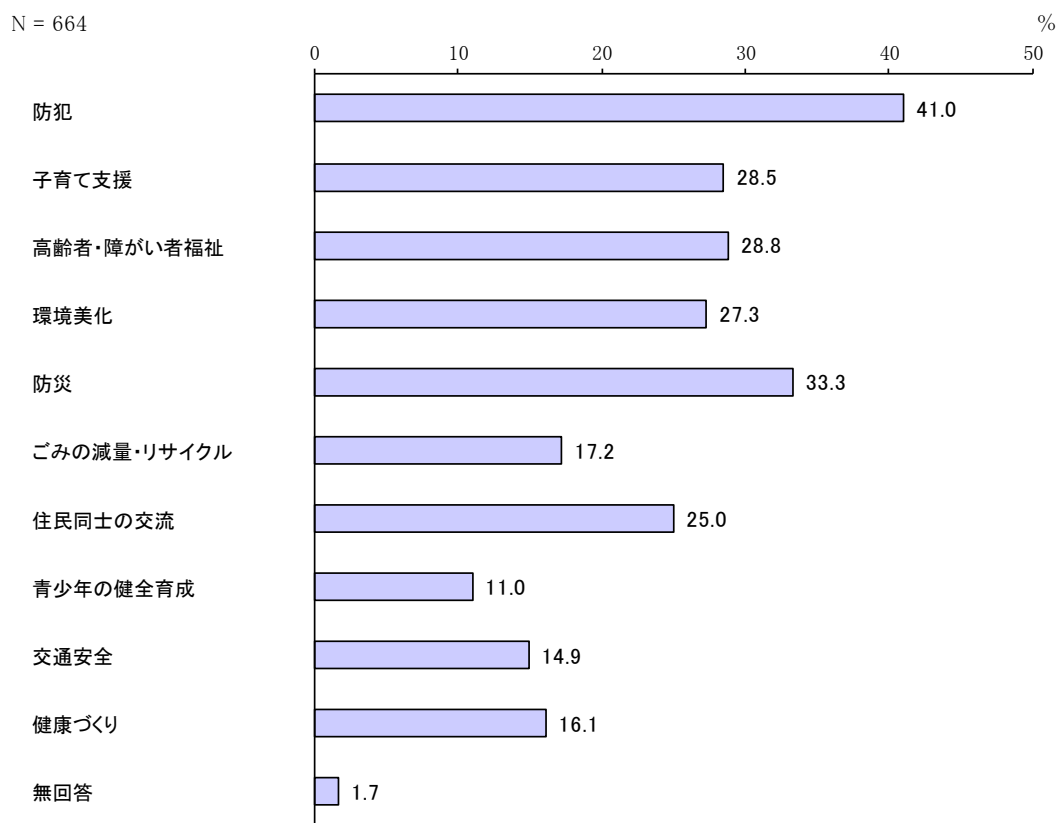
中学校区別で見ると、他に比べ、中部中学校区、西浦中学校区で“そう思う”の割合が高く、9割を超えています。また、三谷中学校区で“そう思わない”の割合が高く、約2割となっています。



問 20 で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた方にお聞きします

問 20-1 特にどのような分野の活動が大切だと思いますか。(〇は3つまで)

「防犯」の割合が 41.0%と最も高く、次いで「防災」の割合が 33.3%、「高齢者・障がい者福祉」の割合が 28.8%となっています。



【中学校区別】

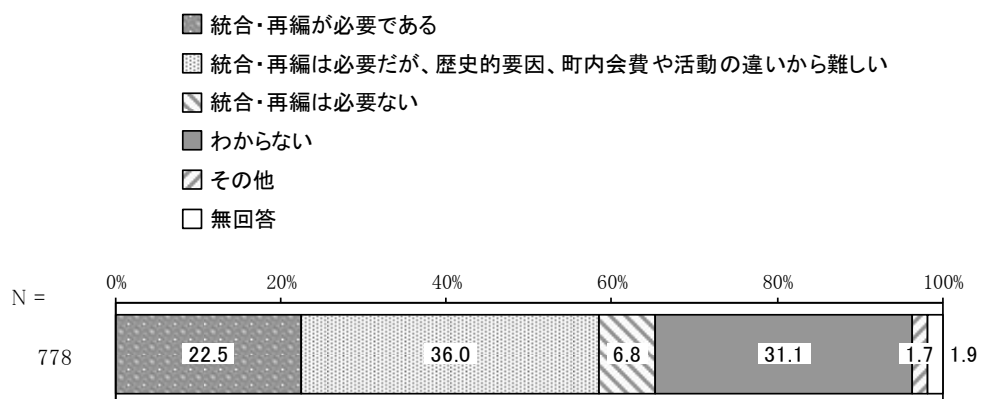
中学校区別でみると、他に比べ、大塚中学校区、蒲郡中学校区で「防犯」の割合が高く、約5割となっています。また、三谷中学校区で「高齢者・障がい者福祉」の割合が、西浦中学校区で「住民同士の交流」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	防犯	子育て支援	高齢者・障がい者福祉	環境美化	防災	ごみの減量・リサイクル	住民同士の交流	青少年の健全育成	交通安全	健康づくり	無回答
大塚中学校区	53	52.8	22.6	24.5	28.3	37.7	17.0	26.4	5.7	17.0	17.0	3.8
三谷中学校区	82	32.9	26.8	39.0	24.4	39.0	15.9	24.4	7.3	12.2	14.6	—
蒲郡中学校区	136	50.0	25.0	31.6	29.4	37.5	16.2	22.1	12.5	14.0	19.1	0.7
中部中学校区	105	40.0	32.4	25.7	26.7	34.3	13.3	18.1	9.5	21.0	19.0	—
塩津中学校区	82	32.9	30.5	28.0	31.7	22.0	19.5	29.3	11.0	14.6	15.9	3.7
形原中学校区	126	38.1	31.0	26.2	27.8	32.5	17.5	22.2	15.1	15.9	9.5	3.2
西浦中学校区	54	40.7	33.3	20.4	25.9	33.3	16.7	35.2	13.0	9.3	16.7	—
わからない	7	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	57.1	28.6	14.3	14.3	—

問 21 高齢化などにより町内会運営が難しい状況のなか、今後の町内会運営のあり方を検討するうえで、町内会の統合・再編について、どのように思いますか。
(○は1つだけ)

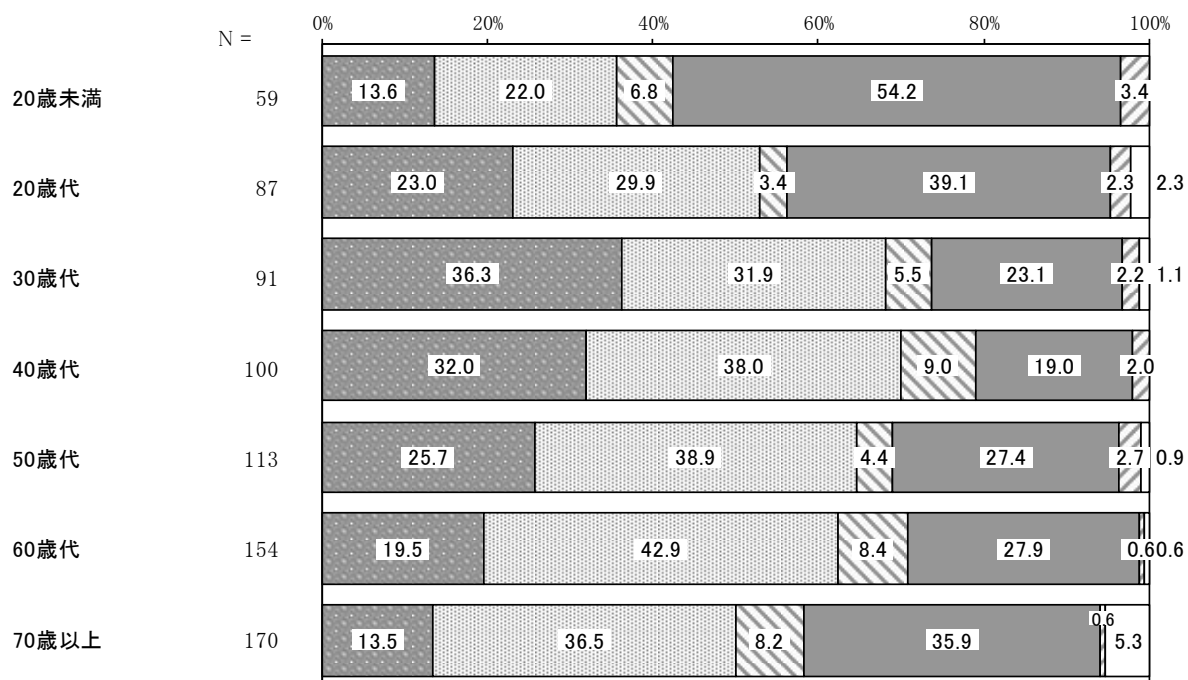
「統合・再編は必要だが、歴史的要因、町内会費や活動の違いから難しい」の割合が36.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が31.1%、「統合・再編が必要である」の割合が22.5%となっています。



【年齢別】

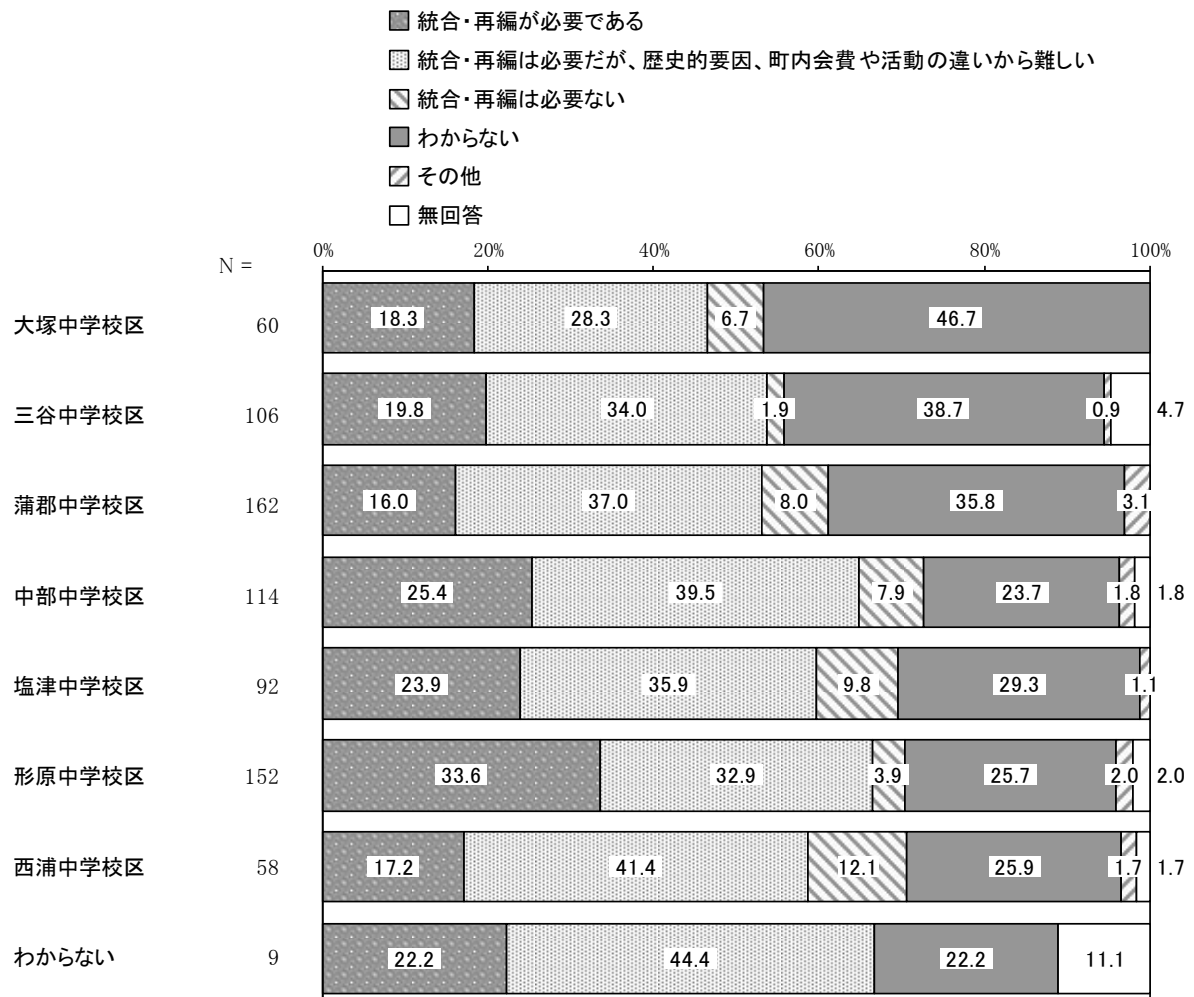
年齢別でみると、他の年齢に比べ、40歳代から60歳代で「統合・再編は必要だが、歴史的要因、町内会費や活動の違いから難しい」の割合が高く、約4割となっています。また、30歳代で「統合・再編が必要である」の割合が高く、3割台半ばとなっています。

- 統合・再編が必要である
- ▨ 統合・再編は必要だが、歴史的要因、町内会費や活動の違いから難しい
- ▧ 統合・再編は必要ない
- わからない
- ▨ その他
- 無回答



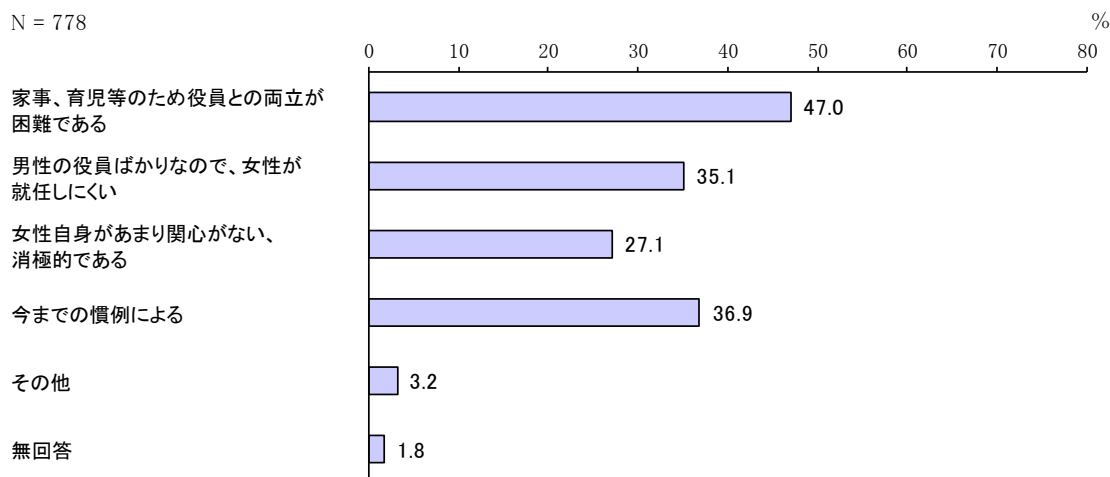
【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、蒲郡中学校区、中部中学校区、西浦中学校区で「統合・再編は必要だが、歴史的要因、町内会費や活動の違いから難しい」の割合が高く、約4割となっています。また、形原中学校区で「統合・再編が必要である」の割合が高く約3割となっています。



問 22 自治会の役員への女性の就任が少ないことについて、どのような理由によるものと思われますか。(〇はいくつでも)

「家事、育児等のため役員との両立が困難である」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「今までの慣例による」の割合が 36.9%、「男性の役員ばかりなので、女性が就任しにくい」の割合が 35.1%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家事、育児等のため役員との両立が困難である」の割合が高く、約5割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	家事、育児等のため役員との両立が困難である	男性の役員ばかりなので、女性が就任しにくい	女性自身があまり関心がない、消極的である	今までの慣例による	その他	無回答
男性	359	39.6	35.4	27.3	38.7	2.2	1.7
女性	416	53.1	34.9	26.7	35.3	4.1	1.9
その他	1	100.0	100.0	—	100.0	—	—

【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、大塚中学校区、中部中学校区で「家事、育児等のため役員との両立が困難である」の割合が高く、5割を超えています。

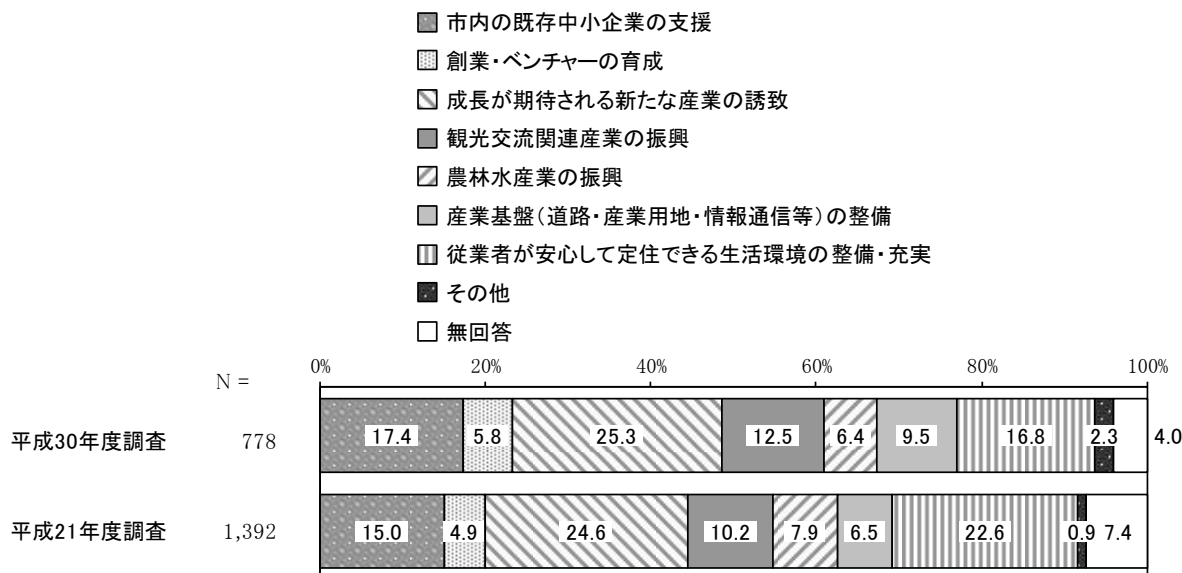
単位：%

区分	有効回答数 (件)	家事、育児等のため役員との両立が困難である	男性の役員ばかりなので、女性が就任しにくい	女性自身があまり関心がない、消極的である	今までの慣例による	その他	無回答
大塚中学校区	60	53.3	36.7	23.3	30.0	1.7	—
三谷中学校区	106	44.3	31.1	26.4	35.8	3.8	2.8
蒲郡中学校区	162	47.5	33.3	27.2	38.3	4.9	1.2
中部中学校区	114	52.6	37.7	26.3	35.1	2.6	—
塩津中学校区	92	39.1	39.1	28.3	35.9	1.1	3.3
形原中学校区	152	49.3	36.8	26.3	40.8	2.6	1.3
西浦中学校区	58	43.1	31.0	31.0	39.7	5.2	1.7
わからない	9	55.6	11.1	44.4	33.3	—	—

問 23 今後の蒲郡市の地域経済の発展に向けて、どのような産業振興策が必要であるとお考えですか。(〇は1つだけ)

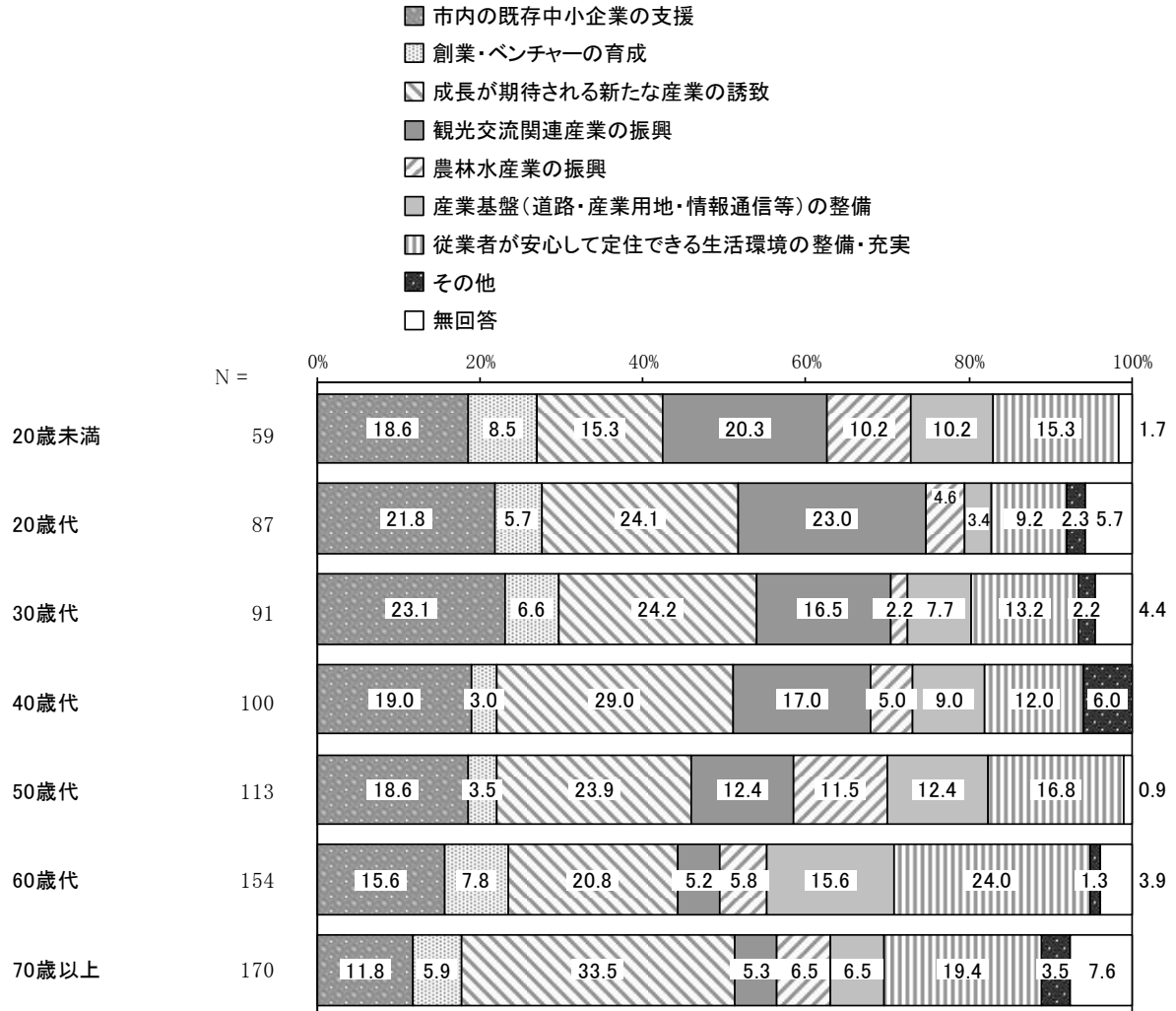
「成長が期待される新たな産業の誘致」の割合が25.3%と最も高く、次いで「市内の既存中小企業の支援」の割合が17.4%、「従業員が安心して定住できる生活環境の整備・充実」の割合が16.8%となっています。

平成21年度調査と比較すると、「従業員が安心して定住できる生活環境の整備・充実」の割合が減少しています。



【年齢別】

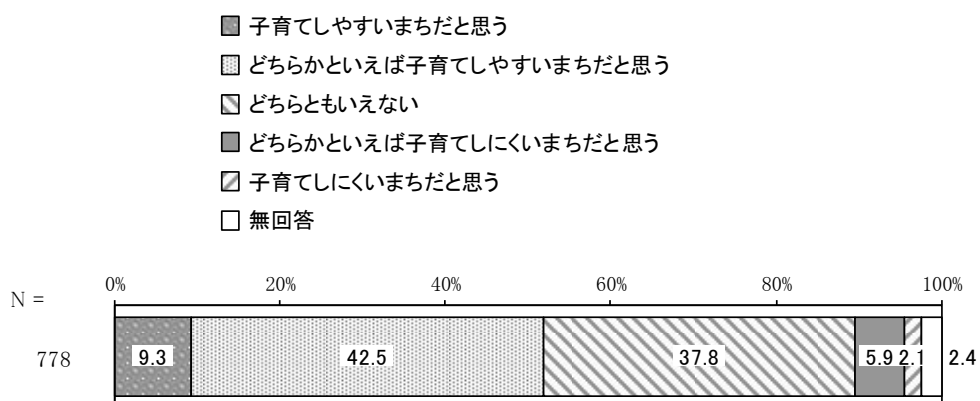
年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「観光交流関連産業の振興」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、40歳代、70歳以上で「成長が期待される新たな産業の誘致」の割合が高く、約3割となっています。



(6) 子育て支援について

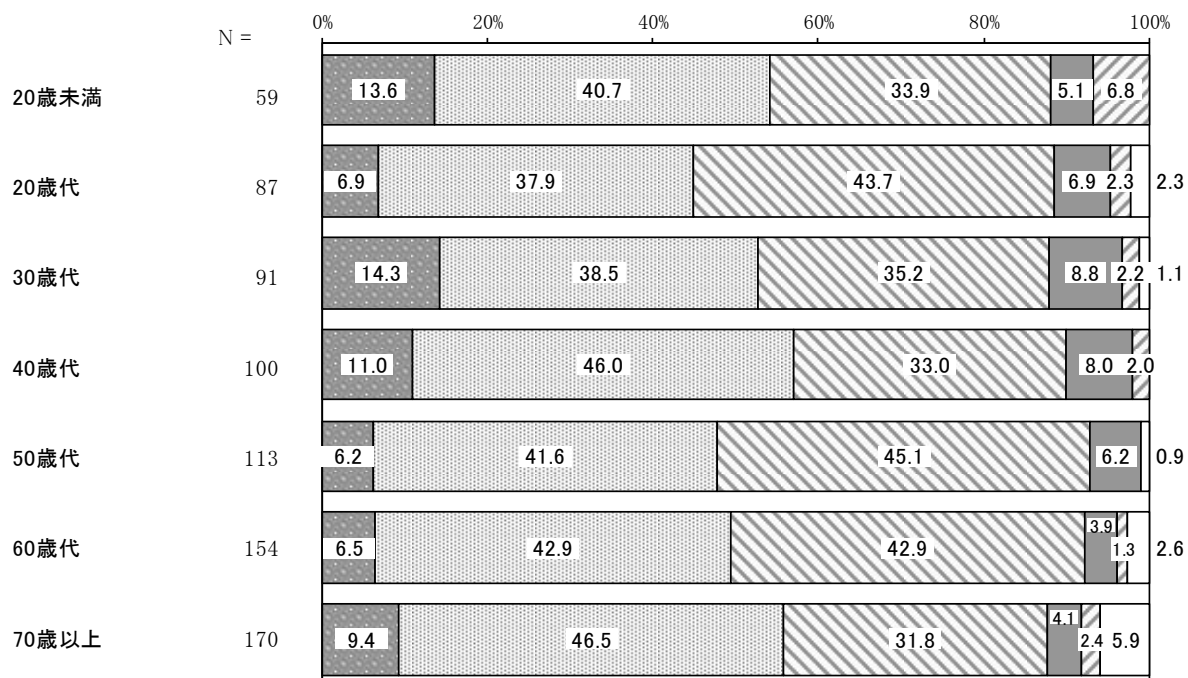
問 24 蒲郡市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つだけ)

「子育てしやすいまちだと思う」と「どちらかといえば子育てしやすいまちだと思う」をあわせた“子育てしやすいまちだと思う”の割合が51.8%、「どちらともいえない」の割合が37.8%、「どちらかといえば子育てしにくいまちだと思う」と「子育てしにくいまちだと思う」をあわせた“子育てしにくいまちだと思う”の割合が43.7%となっています。



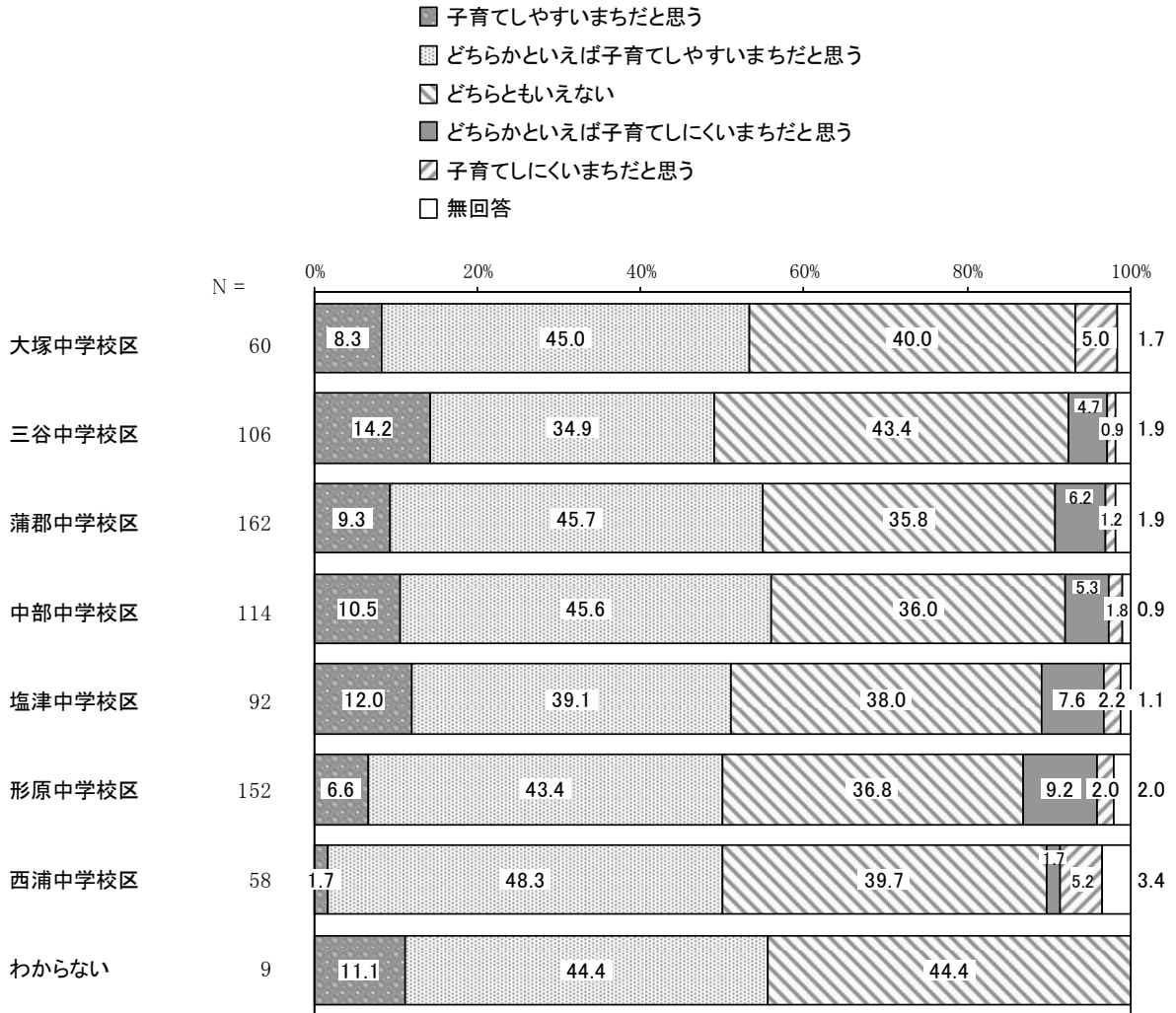
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、40歳代で“子育てしやすいまちだと思う”の割合が高く、約6割となっています。



【中学校区別】

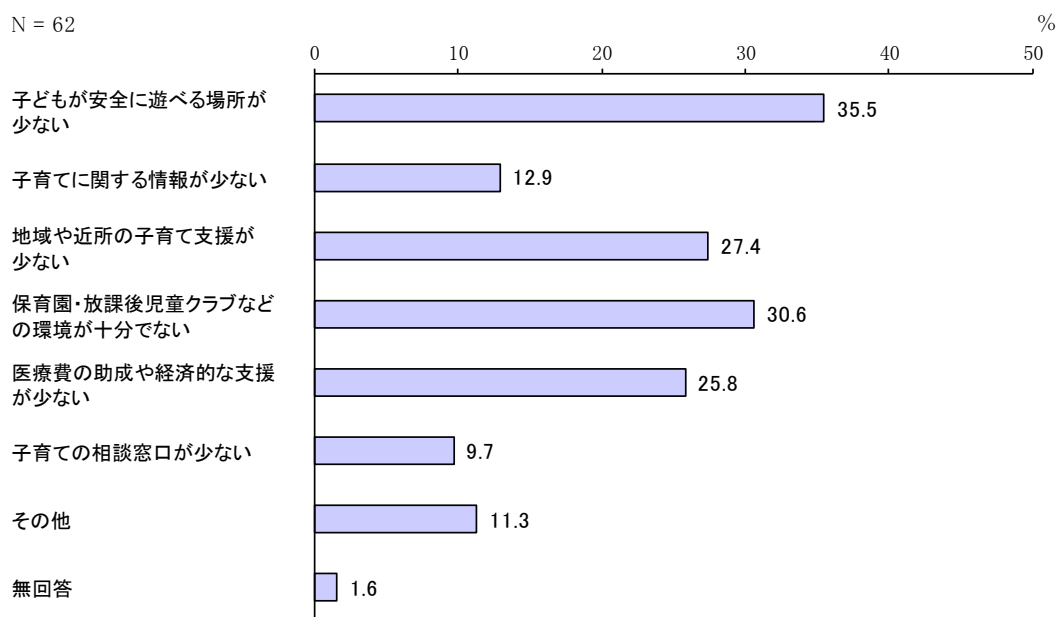
中学校区別で見ると、他に比べ、蒲郡中学校区、中部中学校区で“子育てしやすいまちだと思う”の割合が高く、5割台半ばとなっています。



問 24 で「どちらかといえば子育てしにくいまちだと思う」、「子育てしにくいまちだと思う」と答えた方にお聞きします

問 24-1 子育てしにくいところはどんなところですか。(〇は2つまで)

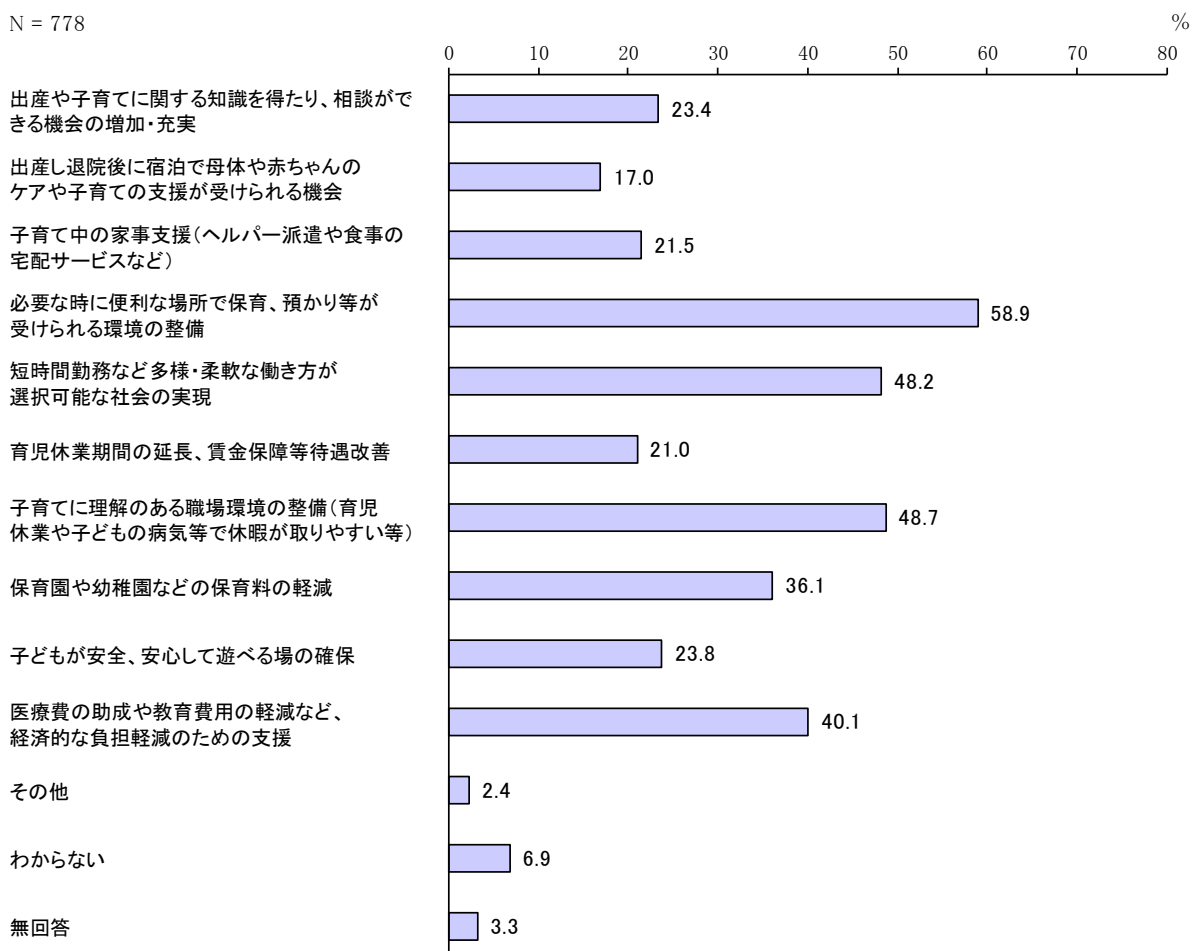
「子どもが安全に遊べる場所が少ない」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「保育園・放課後児童クラブなどの環境が十分でない」の割合が 30.6%、「地域や近所の子育て支援が少ない」の割合が 27.4%となっています。



問 25 少子化対策として、どのような子育て支援策が有効だと思いますか。
(〇は5つまで)

「必要な時に便利な場所で保育、預かり等が受けられる環境の整備」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「子育てに理解のある職場環境の整備（育児休業や子どもの病気等で休暇が取りやすい等）」の割合が 48.7%、「短時間勤務など多様・柔軟な働き方が選択可能な社会の実現」の割合が 48.2%となっています。

N = 778



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「必要な時に便利な場所で保育、預かり等が受けられる環境の整備」「短時間勤務など多様・柔軟な働き方が選択可能な社会の実現」「子育てに理解のある職場環境の整備（育児休業や子どもの病気等で休暇が取りやすい等）」の割合が特に高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	出産や子育てに関する知識を得たり、相談ができる機会の増加・充実	出産し退院後に宿泊で母体や赤ちゃんのケアや子育ての支援が受けられる機会	子育て中の家事支援 ヘルパー派遣や食事の宅配サービスなど	必要な時に便利な場所で保育、預かり等が受けられる環境の整備	短時間勤務など多様な働き方が選択可能な社会の実現	育児休業期間の延長、賃金保障等待遇改善
男性	359	22.0	15.0	19.2	55.4	44.6	20.1
女性	416	24.5	18.5	23.6	61.5	51.0	21.9
その他	1	—	—	—	100.0	100.0	—

区分	子育てに理解のある職場環境の整備 育児休業や子どもの病気等で休暇が取りやすい等	保育園や幼稚園などの保育料の軽減	子どもが安全、安心して遊べる場の確保	医療費の助成や教育費用の軽減など、経済的な負担軽減のための支援	その他	わからない	無回答
男性	42.9	38.2	23.4	42.3	2.5	8.9	3.1
女性	53.4	34.4	24.0	38.2	2.4	5.3	3.6
その他	100.0	100.0	—	100.0	—	—	—

【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳未満で「出産し退院後に宿泊で母体や赤ちゃんのケアや子育ての支援が受けられる機会」「子育てに理解のある職場環境の整備（育児休業や子どもの病気等で休暇が取りやすい等）」の割合が、20歳代で「出産や子育てに関する知識を得たり、相談ができる機会の増加・充実」「短時間勤務など多様・柔軟な働き方が選択可能な社会の実現」の割合が高くなっています。また、60歳代で「医療費の助成や教育費用の軽減など、経済的な負担軽減のための支援」の割合が高くなっています。

単位：％

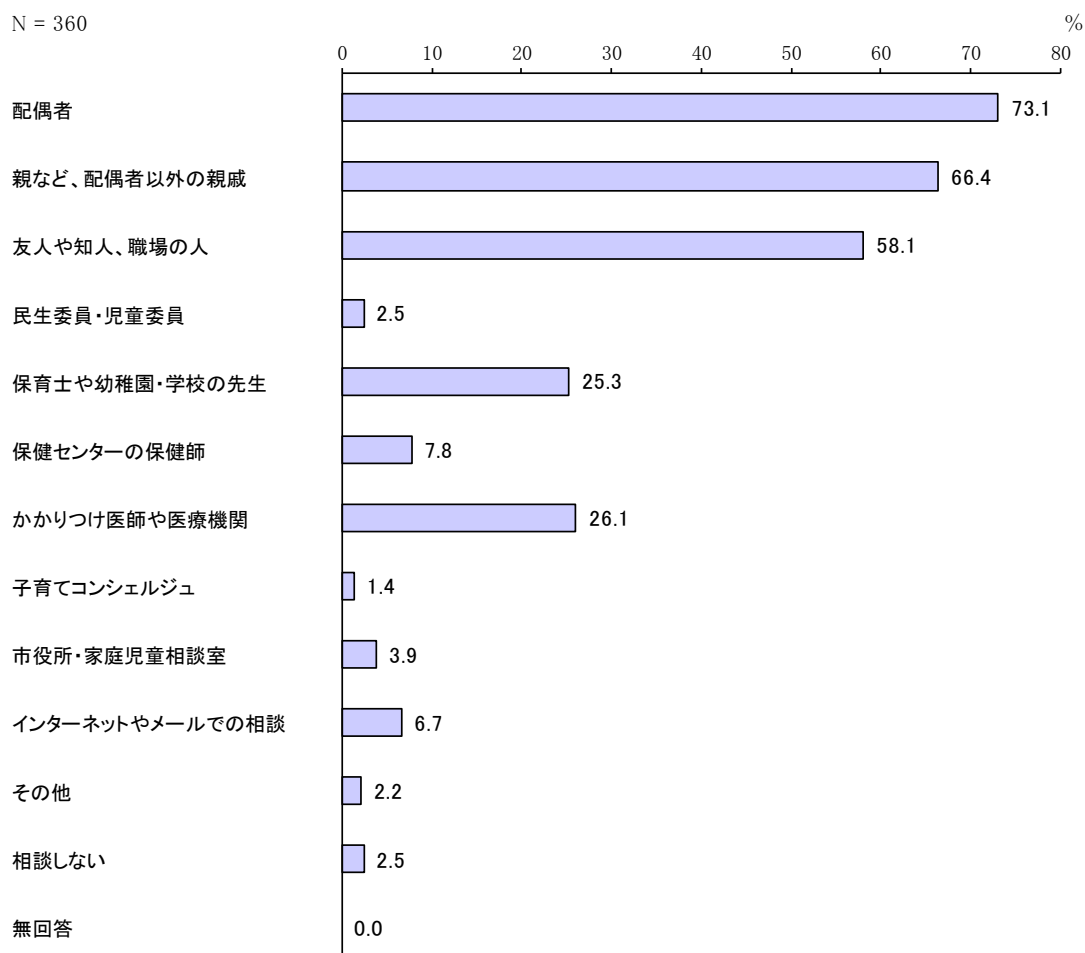
区分	有効回答数 (件)	出産や子育てに関する知識を得たり、相談ができる機会の増加・充実	出産し退院後に宿泊で母体や赤ちゃんのケアや子育ての支援が受けられる機会	子育て中の家事支援 ヘルパー派遣や食事の 宅配サービスなど	必要な時に便利な場所での 保育、預かり等が受けられる 環境の整備	短時間勤務など多様な働き方が 選択可能な社会の実現	育児休業期間の延長、 賃金保障等 待遇改善
20歳未満	59	30.5	35.6	23.7	64.4	49.2	16.9
20歳代	87	34.5	18.4	16.1	54.0	65.5	25.3
30歳代	91	19.8	23.1	24.2	52.7	52.7	30.8
40歳代	100	17.0	12.0	25.0	61.0	47.0	22.0
50歳代	113	27.4	16.8	19.5	58.4	42.5	23.0
60歳代	154	20.8	16.2	24.0	65.6	49.4	19.5
70歳以上	170	20.6	10.0	18.8	56.5	40.6	13.5

区分	子育てに理解のある職場環境の整備 育児休業や子どもの病気等で休暇が取りやすい等	保育園や幼稚園などの 保育料の軽減	子どもが安全、安心して 遊べる場の確保	医療費の助成や教育費用の 軽減など、経済的な負担 軽減のための支援	その他	わからない	無回答
20歳未満	69.5	37.3	25.4	33.9	1.7	—	—
20歳代	55.2	35.6	23.0	35.6	2.3	5.7	3.4
30歳代	48.4	41.8	27.5	34.1	3.3	7.7	2.2
40歳代	49.0	35.0	24.0	46.0	5.0	10.0	—
50歳代	41.6	35.4	16.8	34.5	1.8	8.0	0.9
60歳代	47.4	38.3	24.7	51.9	—	3.2	2.6
70歳以上	44.1	32.4	25.3	37.6	3.5	10.6	8.8

問 26～問 29 については子育てしている方もしくは、子育てしていた方のみご回答ください。

問 26 あなたが子育てや子どものことに関して悩みや不安を抱えたとき、相談できる人は誰ですか。またそれはどんな場所ですか。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者」の割合が 73.1%と最も高く、次いで「親など、配偶者以外の親戚」の割合が 66.4%、「友人や知人、職場の人」の割合が 58.1%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「友人や知人、職場の人」の割合が、30歳以上で年齢が低くなるにつれ「親など、配偶者以外の親戚」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	配偶者	親など、 配偶者以外の親戚	友人や知人、 職場の人	民生委員・ 児童委員	学校の先生 保育士や幼稚園・ 学校	保健センターの 保健師	機関 かかりつけ医師や 医療	子育て コンシェルジュ	家庭児童 相談室	市役所・ 子育て	インターネットや メールでの 相談	その他	相談しない	無回答
20歳未満	4	75.0	25.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	10	50.0	70.0	70.0	—	10.0	—	20.0	—	—	20.0	10.0	10.0	—	—
30歳代	43	76.7	90.7	67.4	2.3	30.2	4.7	18.6	2.3	2.3	11.6	7.0	—	—	—
40歳代	64	76.6	81.3	68.8	3.1	26.6	9.4	20.3	1.6	—	6.3	—	1.6	—	—
50歳代	75	77.3	66.7	58.7	—	30.7	5.3	34.7	—	1.3	5.3	—	4.0	—	—
60歳代	84	75.0	58.3	56.0	1.2	27.4	10.7	26.2	1.2	6.0	8.3	1.2	3.6	—	—
70歳以上	78	65.4	50.0	43.6	6.4	16.7	9.0	29.5	2.6	9.0	2.6	3.8	1.3	—	—

【中学校区別】

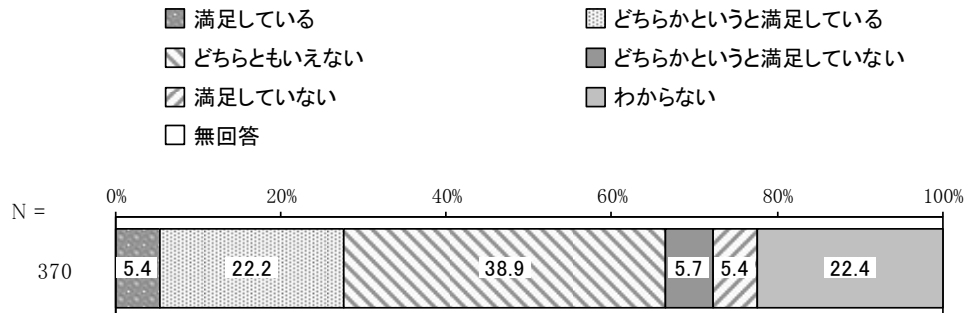
中学校区別でみると、他に比べ、塩津中学校区で「配偶者」の割合が高く、8割台半ばとなっています。また、西浦中学校区で「友人や知人、職場の人」の割合が高く、約7割となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	配偶者	親など、 配偶者以外の親戚	友人や知人、 職場の人	民生委員・ 児童委員	学校の先生 保育士や幼稚園・ 学校	保健センターの 保健師	機関 かかりつけ医師や 医療	子育て コンシェルジュ	家庭児童 相談室	市役所・ 子育て	インターネットや メールでの 相談	その他	相談しない	無回答
大塚中学校区	26	69.2	76.9	57.7	—	30.8	15.4	30.8	3.8	—	3.8	3.8	—	—	—
三谷中学校区	42	61.9	66.7	47.6	—	19.0	7.1	19.0	2.4	4.8	4.8	2.4	7.1	—	—
蒲郡中学校区	69	75.4	66.7	56.5	1.4	18.8	7.2	20.3	—	1.4	4.3	2.9	4.3	—	—
中部中学校区	56	71.4	66.1	64.3	3.6	28.6	7.1	26.8	—	3.6	7.1	3.6	1.8	—	—
塩津中学校区	45	84.4	62.2	57.8	2.2	28.9	6.7	28.9	2.2	—	6.7	—	2.2	—	—
形原中学校区	81	72.8	64.2	55.6	3.7	30.9	8.6	35.8	2.5	4.9	7.4	1.2	1.2	—	—
西浦中学校区	26	76.9	73.1	73.1	3.8	23.1	3.8	19.2	—	7.7	11.5	3.8	—	—	—
わからない	6	66.7	66.7	50.0	16.7	—	16.7	33.3	—	33.3	16.7	—	—	—	—

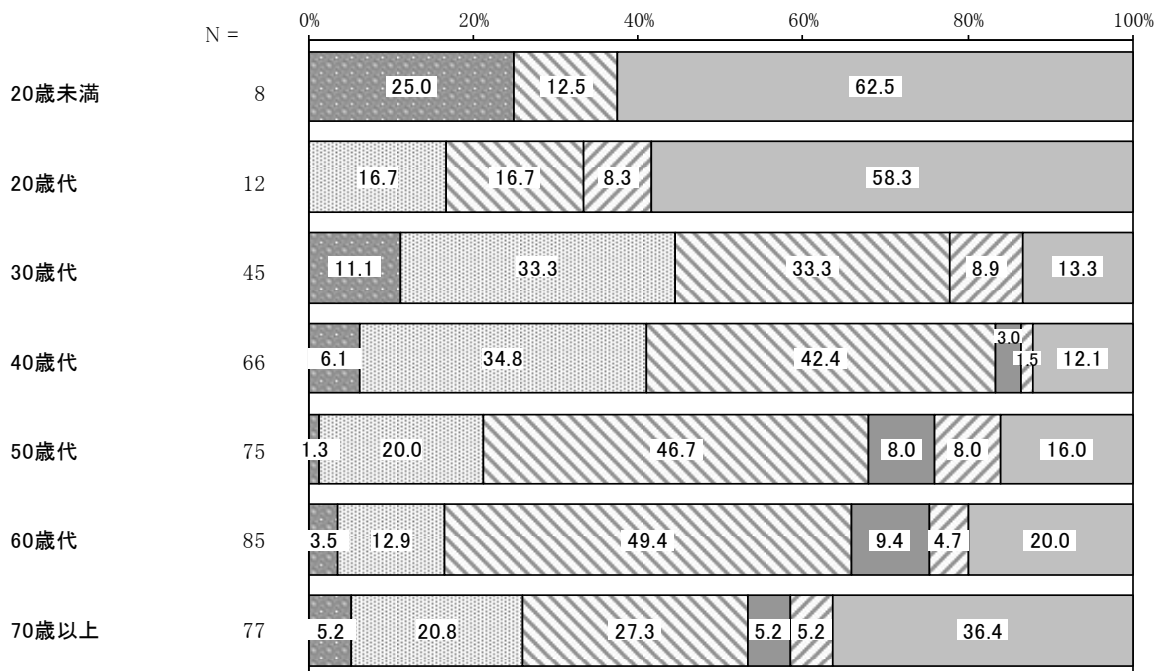
問 27 子育てに関する情報に満足していますか。(〇は1つだけ)

「満足している」と「どちらかという満足している」をあわせた“満足している”の割合が27.6%、「どちらともいえない」の割合が38.9%、「どちらかという満足していない」と「満足していない」をあわせた“満足していない”の割合が11.1%となっています。



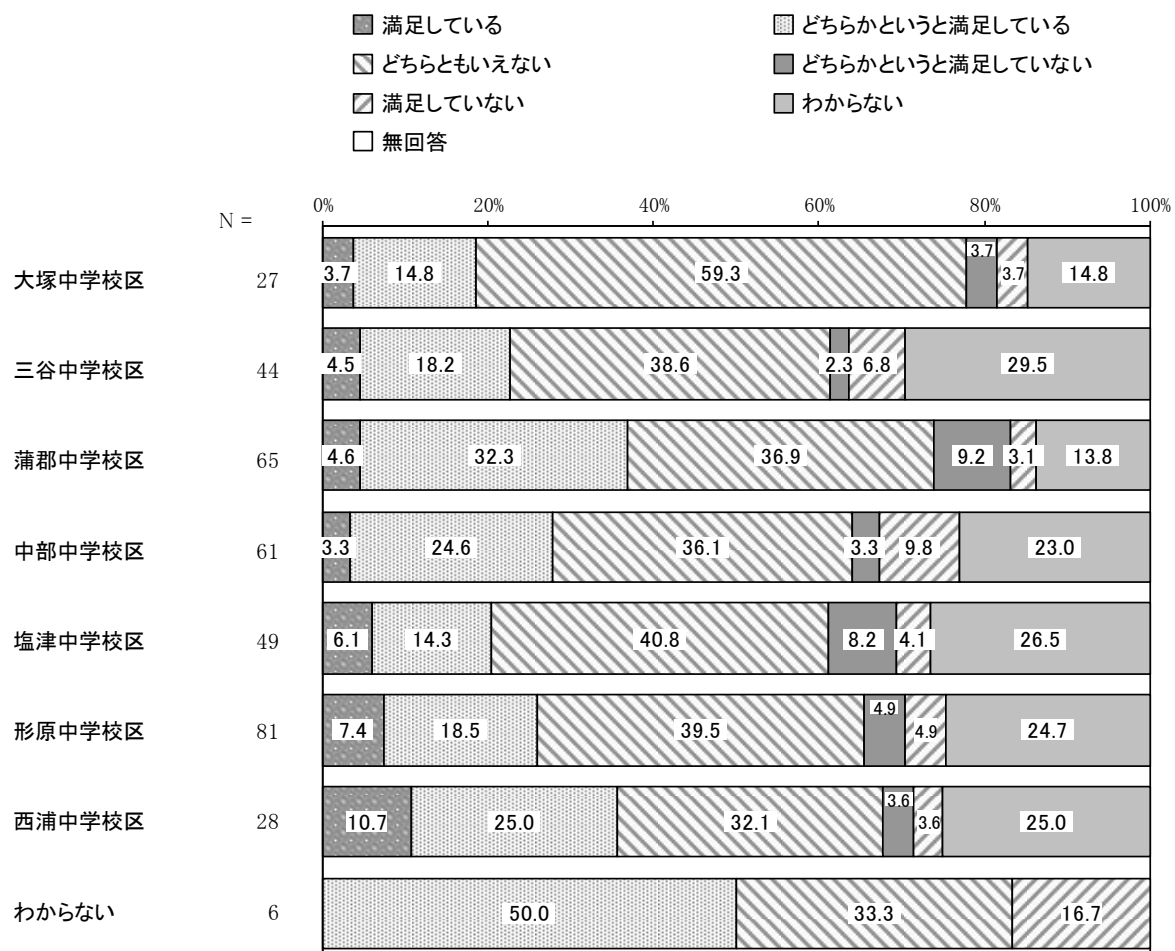
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代、40歳代で“満足している”の割合が高くなっています。



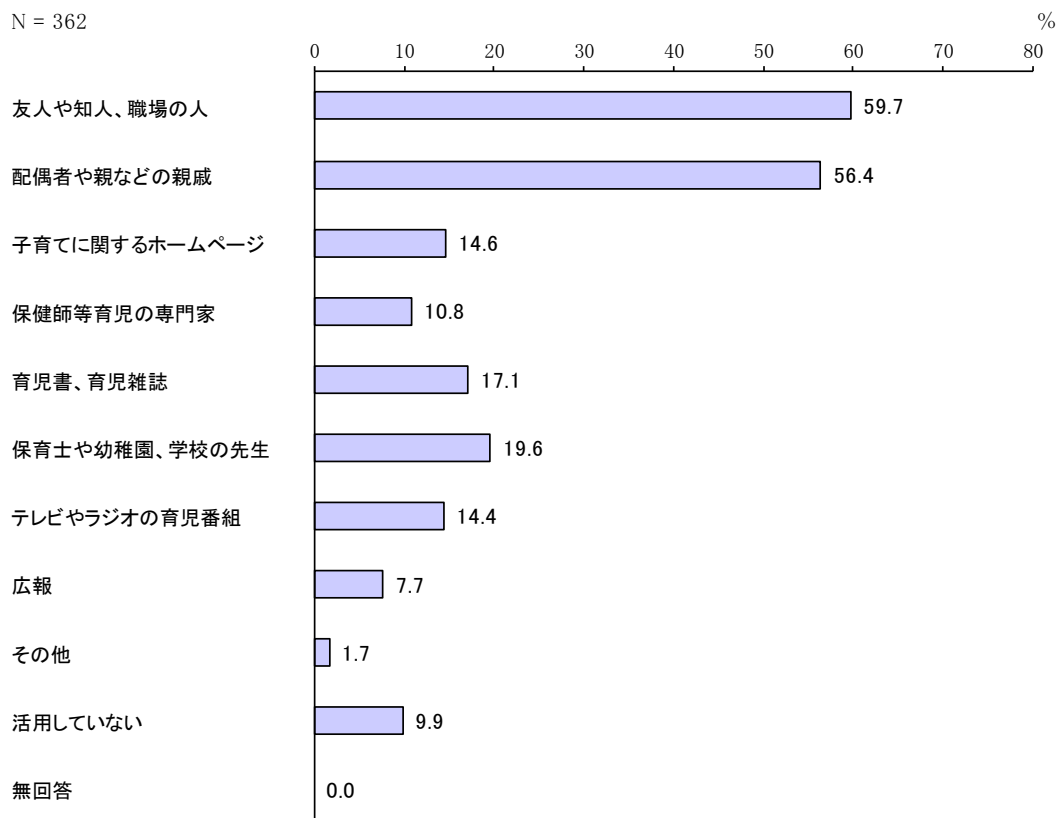
【中学校区別】

中学校区別で見ると、他に比べ、蒲郡中学校区、西浦中学校区で“満足している”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



問 28 子育てに関する情報として、信頼して活用しているものを、どこから入手していますか。(〇は3つまで)

「友人や知人、職場の人」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「配偶者や親などの親戚」の割合が 56.4%、「保育士や幼稚園、学校の先生」の割合が 19.6%となっています。



【中学校区別】

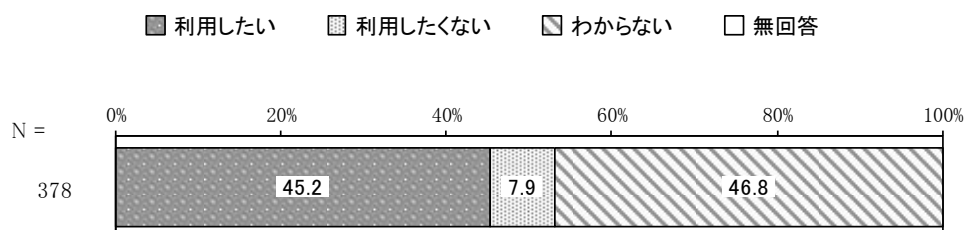
中学校区別でみると、他に比べ、塩津中学校区、形原中学校区で「配偶者や親などの親戚」の割合が高く、約6割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	友人や知人、職場の人	親戚	配偶者や親などの	子育てに関するホームページ	保健師等育児の専門家	育児書、育児雑誌	保育士や幼稚園、学校の先生	テレビやラジオの育児番組	広報	その他	活用していない	無回答
大塚中学校区	26	57.7	53.8	19.2	3.8	19.2	26.9	15.4	3.8	3.8	11.5	—	
三谷中学校区	41	43.9	53.7	12.2	12.2	12.2	22.0	19.5	9.8	2.4	14.6	—	
蒲郡中学校区	64	60.9	54.7	14.1	10.9	20.3	20.3	17.2	14.1	3.1	6.3	—	
中部中学校区	61	62.3	49.2	14.8	8.2	9.8	23.0	4.9	4.9	3.3	14.8	—	
塩津中学校区	49	65.3	61.2	4.1	8.2	18.4	22.4	10.2	2.0	—	12.2	—	
形原中学校区	79	60.8	62.0	19.0	13.9	22.8	17.7	17.7	8.9	—	3.8	—	
西浦中学校区	26	53.8	57.7	23.1	15.4	11.5	7.7	15.4	7.7	—	11.5	—	
わからない	6	66.7	66.7	16.7	33.3	16.7	16.7	—	16.7	—	16.7	—	

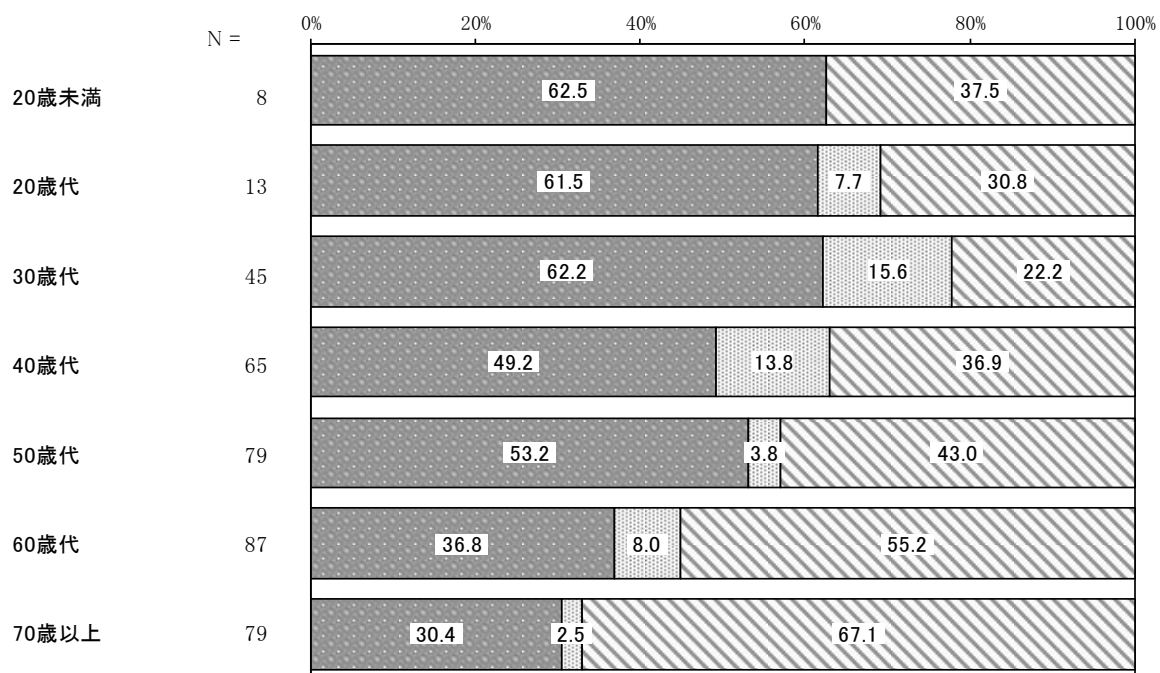
問 29 予防接種や健診の記録ができ、子育ての情報が自己管理できるアプリ（パソコンや携帯電話等で利用できる電子システム）があったら、利用したいと思いますか。（〇は1つだけ）

「わからない」の割合が46.8%と最も高く、次いで「利用したい」の割合が45.2%、「利用したくない」の割合が7.9%となっています。



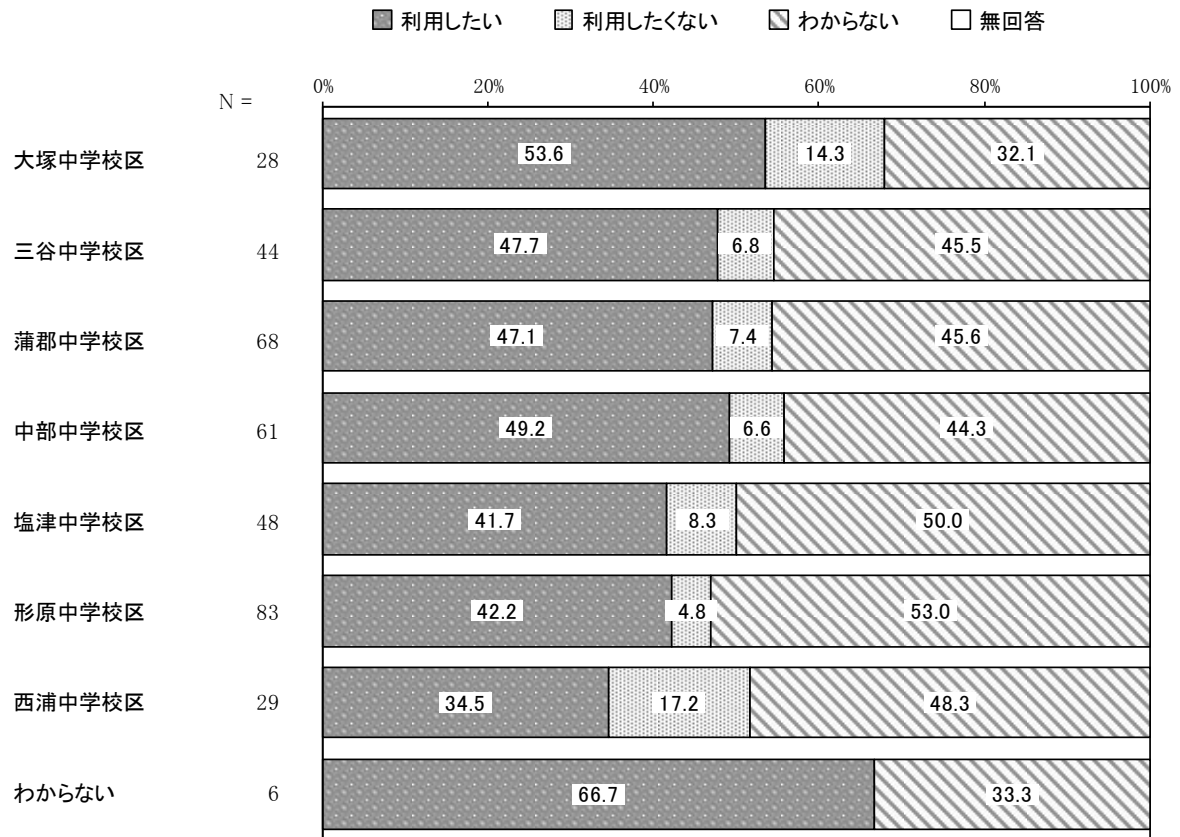
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳未満、20歳代、30歳代で「利用したい」の割合が高くなっています。



【中学校区別】

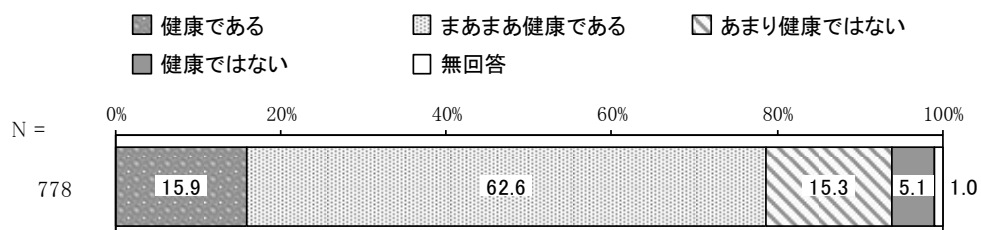
中学校区別でみると、他に比べ、大塚中学校区で「利用したい」の割合が高く、5割を超えています。



(7) 健康づくりについて

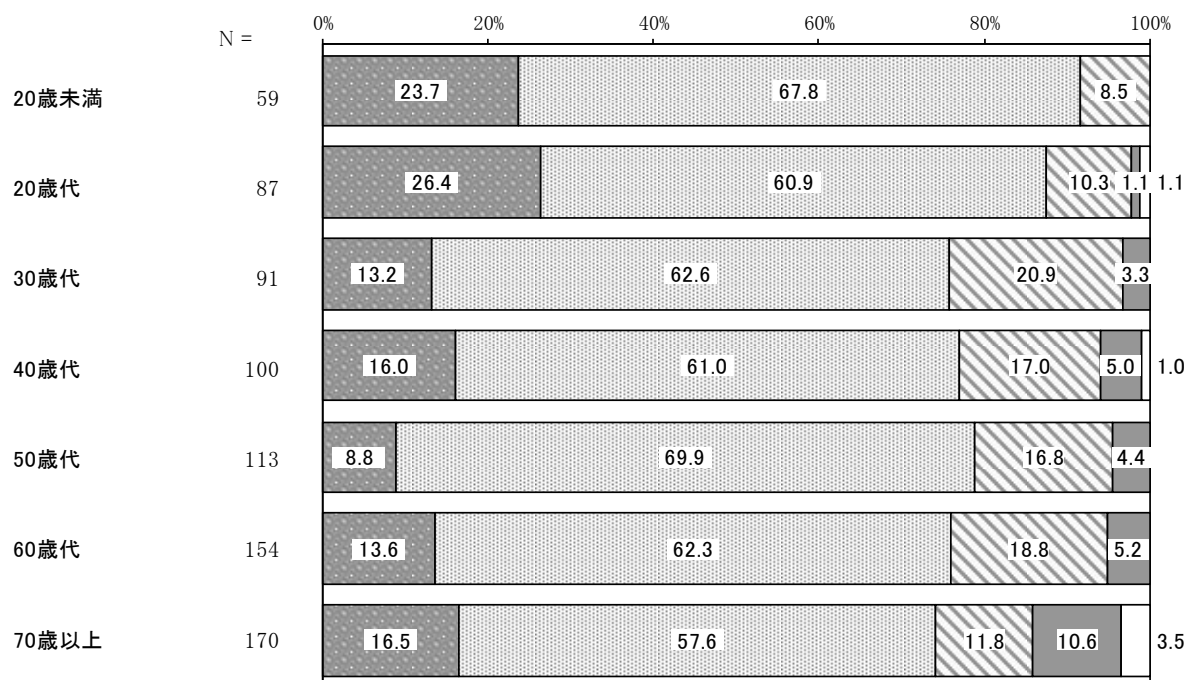
問 30 あなたは普段、健康だと感じていますか。(○は1つだけ)

「健康である」と「まあまあ健康である」をあわせた“健康である”の割合が78.5%、「あまり健康ではない」と「健康ではない」をあわせた“健康ではない”の割合が20.4%となっています。



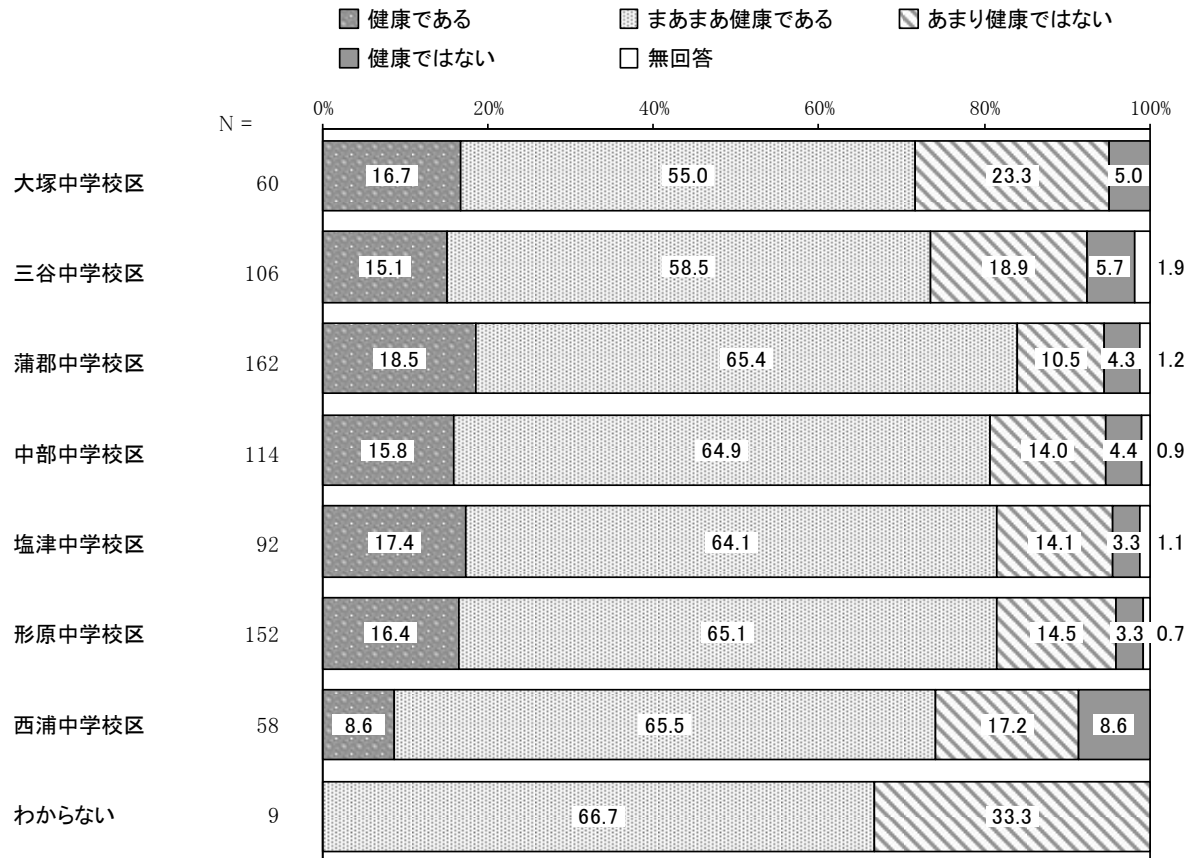
【年齢別】

年齢別で見ると、他の年齢に比べ、20歳未満、20歳代で“健康である”の割合が高く、約9割となっています。



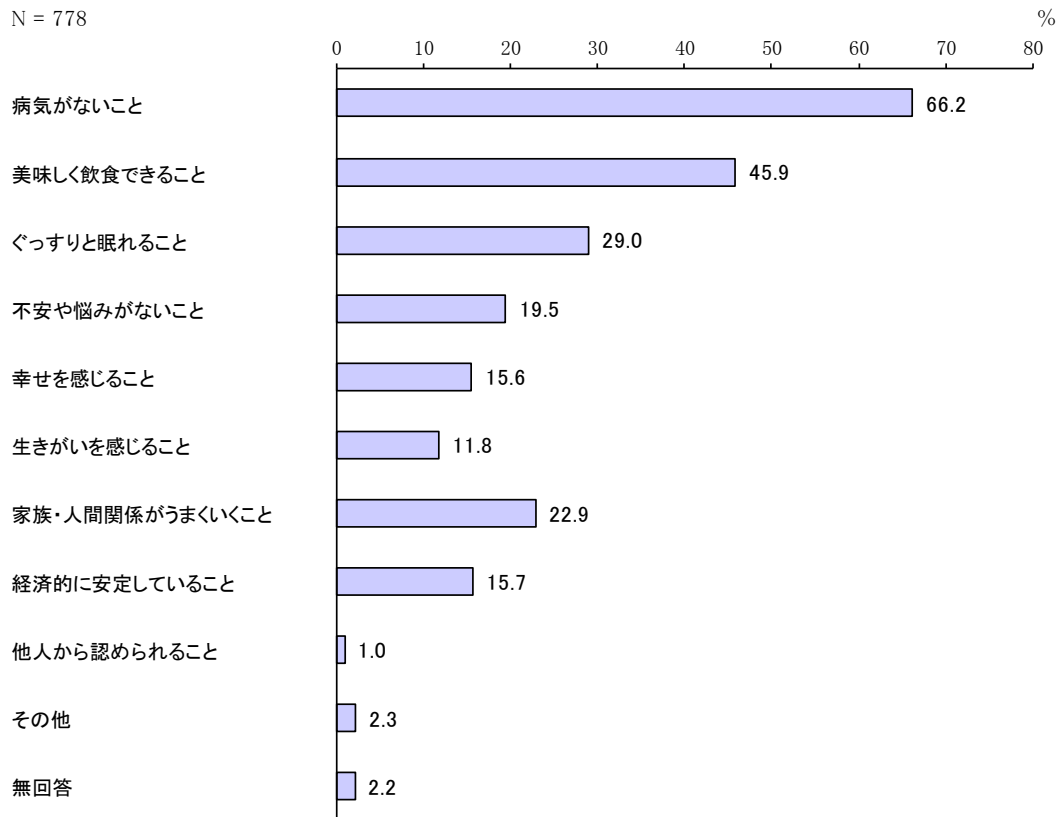
【中学校区別】

中学校区別で見ると、他に比べ、蒲郡中学校区、中部中学校区、塩津中学校区、形原中学校区で“健康である”の割合が高く、約8割となっています。また、大塚中学校区で“健康ではない”の割合が高く、約3割となっています。



問 31 問 30 で健康感を判断する際に、重視した事項は何ですか。(〇は3つまで)

「病気がないこと」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「美味しく飲食できること」の割合が 45.9%、「ぐっすりと眠れること」の割合が 29.0%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「病気がないこと」の割合が、年齢が高くなるにつれ「家族・人間関係がうまくいくこと」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、70歳以上で「美味しく飲食できること」「生きがいを感じること」「経済的に安定していること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	病気がないこと	美味しく飲食できること	ぐっすりと眠れること	不安や悩みがないこと	幸せを感じることに	生きがいを感じることに	家族・人間関係が うまくいくこと	経済的に安定していること	他人から認められること	その他	無回答
20歳未満	59	79.7	40.7	33.9	11.9	20.3	8.5	8.5	10.2	—	6.8	—
20歳代	87	77.0	47.1	34.5	20.7	20.7	8.0	16.1	6.9	1.1	1.1	2.3
30歳代	91	74.7	36.3	25.3	18.7	16.5	14.3	18.7	13.2	1.1	2.2	2.2
40歳代	100	74.0	46.0	28.0	24.0	11.0	6.0	16.0	19.0	—	5.0	—
50歳代	113	73.5	37.2	27.4	23.0	11.5	11.5	23.9	13.3	0.9	1.8	—
60歳代	154	64.3	47.4	27.9	22.1	14.3	9.1	29.2	14.9	0.6	1.9	3.2
70歳以上	170	44.7	55.3	28.8	15.3	17.6	20.0	30.6	23.5	2.4	0.6	4.7

【中学校区別】

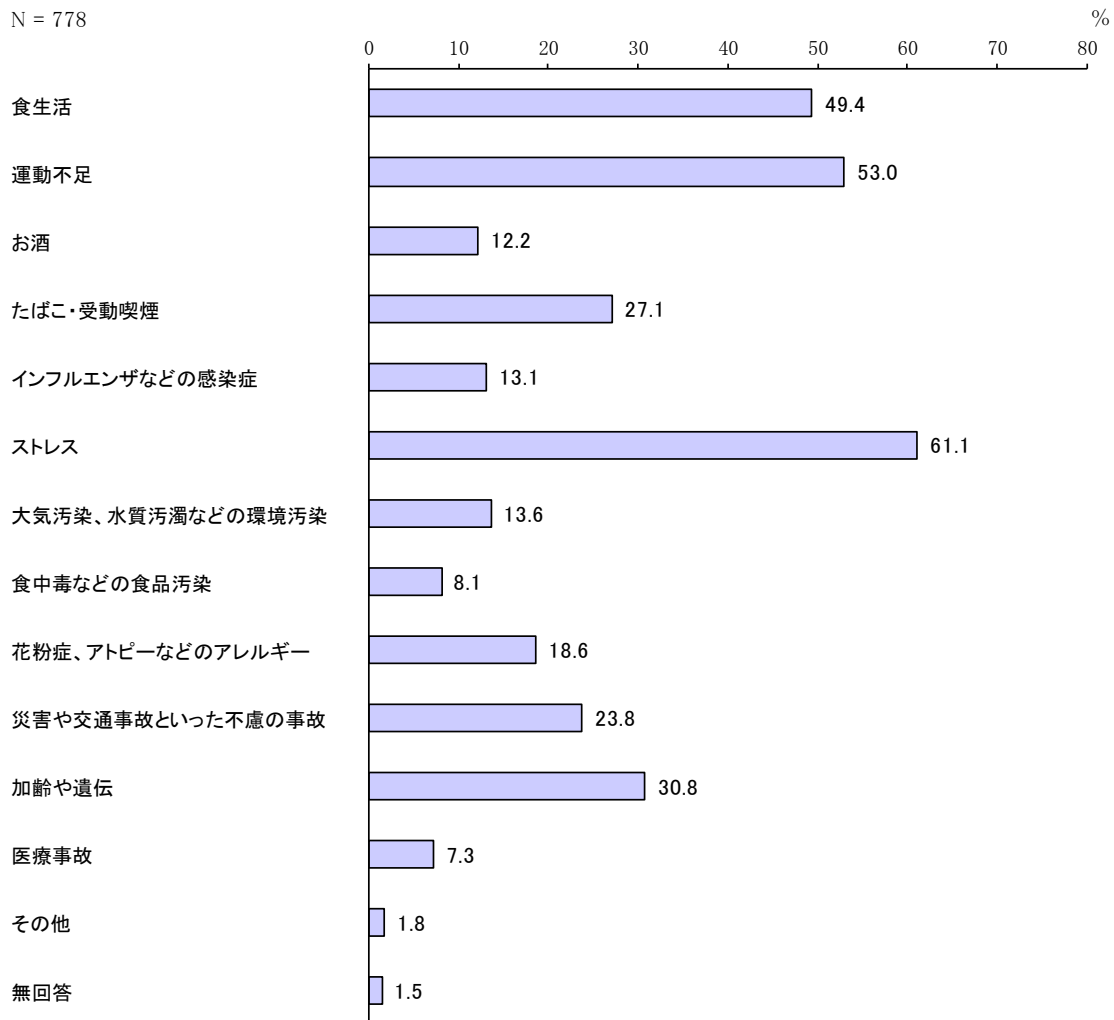
中学校区別でみると、他に比べ、蒲郡中学校区、形原中学校区で「美味しく飲食できること」の割合が高く、約5割となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	病気がないこと	美味しく飲食できること	ぐっすりと眠れること	不安や悩みがないこと	幸せを感じることに	生きがいを感じることに	家族・人間関係が うまくいくこと	経済的に安定していること	他人から認められること	その他	無回答
大塚中学校区	60	71.7	46.7	30.0	20.0	6.7	13.3	11.7	15.0	—	1.7	1.7
三谷中学校区	106	64.2	40.6	24.5	18.9	10.4	6.6	24.5	15.1	1.9	2.8	5.7
蒲郡中学校区	162	63.6	48.8	33.3	17.9	17.9	11.7	23.5	17.3	1.9	1.2	1.9
中部中学校区	114	68.4	40.4	31.6	21.1	19.3	14.9	26.3	13.2	—	2.6	0.9
塩津中学校区	92	70.7	45.7	34.8	23.9	17.4	12.0	25.0	12.0	—	—	—
形原中学校区	152	67.8	50.7	25.0	17.8	17.8	12.5	22.4	16.4	1.3	3.9	1.3
西浦中学校区	58	67.2	43.1	20.7	22.4	13.8	13.8	19.0	20.7	—	5.2	—
わからない	9	44.4	33.3	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	—	11.1

問 32 あなたの健康にとって、最もリスクとなることはどれだとお考えですか。
(あてはまるものすべてに○)

「ストレス」の割合が61.1%と最も高く、次いで「運動不足」の割合が53.0%、「食生活」の割合が49.4%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が下がるにつれ「食生活」「たばこ・受動喫煙」「大気汚染、水質汚濁などの環境汚染」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、30歳代、40歳代で「ストレス」の割合が高く、約8割となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	食生活	運動不足	お酒	たばこ・受動喫煙	感染症 インフルエンザなどの	ストレス	環境汚染 大気汚染、水質汚濁などの	食中毒などの食品汚染	アレルギー 花粉症、アトピーなどの	災害や交通事故といった 不慮の事故	加齢や遺伝	医療事故	その他	無回答
20歳未満	59	52.5	49.2	11.9	47.5	20.3	67.8	28.8	13.6	27.1	22.0	8.5	8.5	6.8	—
20歳代	87	56.3	51.7	14.9	46.0	20.7	71.3	20.7	13.8	21.8	26.4	11.5	13.8	3.4	1.1
30歳代	91	51.6	52.7	13.2	31.9	17.6	80.2	17.6	11.0	33.0	27.5	18.7	8.8	—	—
40歳代	100	49.0	58.0	12.0	28.0	10.0	80.0	13.0	11.0	17.0	18.0	32.0	6.0	2.0	—
50歳代	113	49.6	54.0	14.2	23.9	8.8	65.5	9.7	3.5	15.9	25.7	44.2	5.3	2.7	—
60歳代	154	46.1	55.8	12.3	23.4	10.4	52.6	8.4	5.2	20.1	22.7	44.8	6.5	—	—
70歳以上	170	45.3	48.8	9.4	13.5	11.8	37.1	10.6	5.9	8.2	23.5	33.5	5.3	1.2	6.5

【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、塩津中学校区で「運動不足」の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、西浦中学校区で「食生活」の割合が高く、5割台半ばとなっています。

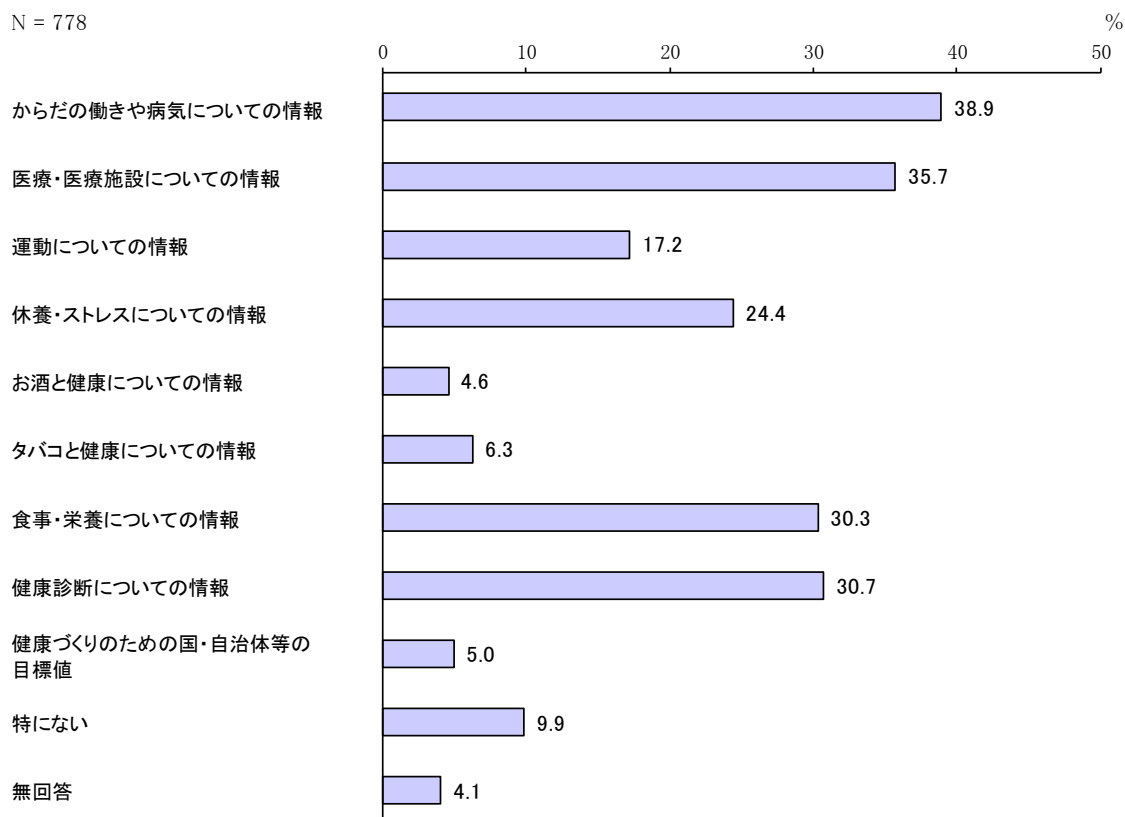
単位：％

区分	有効回答数 (件)	食生活	運動不足	お酒	たばこ・受動喫煙	感染症 インフルエンザなどの	ストレス	環境汚染 大気汚染、水質汚濁などの	食中毒などの食品汚染	アレルギー 花粉症、アトピーなどの	災害や交通事故といった 不慮の事故	加齢や遺伝	医療事故	その他	無回答
大塚中学校区	60	45.0	45.0	10.0	30.0	8.3	58.3	16.7	10.0	20.0	35.0	40.0	6.7	3.3	1.7
三谷中学校区	106	41.5	52.8	8.5	23.6	15.1	63.2	14.2	9.4	17.9	15.1	22.6	4.7	1.9	3.8
蒲郡中学校区	162	50.6	54.3	16.0	24.1	11.1	66.0	17.3	6.8	17.9	27.2	37.7	8.0	2.5	0.6
中部中学校区	114	52.6	55.3	17.5	34.2	17.5	64.0	14.9	9.6	17.5	20.2	28.1	7.9	1.8	1.8
塩津中学校区	92	47.8	64.1	5.4	23.9	10.9	60.9	12.0	5.4	26.1	23.9	31.5	3.3	1.1	—
形原中学校区	152	48.7	46.7	13.2	29.6	15.1	57.2	8.6	8.6	19.1	26.3	29.6	9.9	2.0	2.0
西浦中学校区	58	55.2	58.6	10.3	25.9	10.3	65.5	15.5	8.6	12.1	22.4	24.1	6.9	—	—
わからない	9	33.3	22.2	—	44.4	33.3	44.4	11.1	11.1	11.1	33.3	55.6	22.2	—	—

問 33 健康に関してどのような情報が必要だとお考えですか。(〇は3つまで)

「からだの働きや病気についての情報」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「医療・医療施設についての情報」の割合が 35.7%、「健康診断についての情報」の割合が 30.7%となっています。

N = 778



【年齢別】

年齢別でみると、20歳未満で「休養・ストレスについての情報」の割合が高く、4割台半ばとなっています。また、20歳代で「食事・栄養についての情報」の割合が、30歳代で「健康診断についての情報」の割合が高く、約4割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	からだの働きや病気についての情報	医療・医療施設についての情報	運動についての情報	休養・ストレスについての情報	お酒と健康についての情報	タバコと健康についての情報	食事・栄養についての情報	健康診断についての情報	健康づくりのための国・自治体等の目標値	特にない	無回答
20歳未満	59	39.0	28.8	13.6	44.1	5.1	16.9	32.2	20.3	8.5	8.5	1.7
20歳代	87	35.6	29.9	19.5	26.4	3.4	3.4	40.2	28.7	6.9	11.5	4.6
30歳代	91	30.8	37.4	15.4	35.2	5.5	5.5	25.3	42.9	2.2	4.4	2.2
40歳代	100	35.0	38.0	23.0	35.0	4.0	4.0	26.0	26.0	2.0	12.0	1.0
50歳代	113	40.7	39.8	19.5	23.0	3.5	8.8	24.8	30.1	1.8	8.8	3.5
60歳代	154	42.2	35.7	13.6	15.6	6.5	6.5	27.9	26.6	8.4	14.9	5.2
70歳以上	170	42.9	36.5	17.1	13.5	3.5	4.1	35.3	35.3	5.3	7.1	7.1

【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、中部中学校区で「健康診断についての情報」の割合が、塩津中学校区で「食事・栄養についての情報」の割合が高く、約4割となっています。

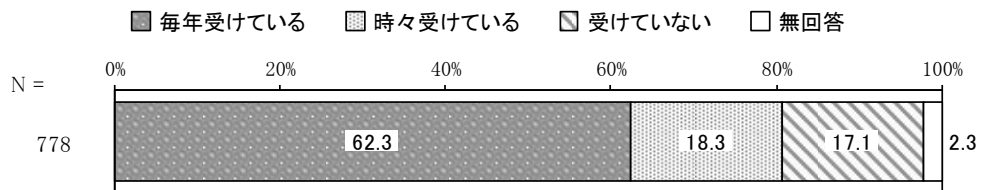
単位：％

区分	有効回答数(件)	からだの働きや病気についての情報	医療・医療施設についての情報	運動についての情報	休養・ストレスについての情報	お酒と健康についての情報	タバコと健康についての情報	食事・栄養についての情報	健康診断についての情報	健康づくりのための国・自治体等の目標値	特になし	無回答
大塚中学校区	60	45.0	38.3	10.0	28.3	3.3	11.7	35.0	21.7	8.3	10.0	—
三谷中学校区	106	34.0	40.6	13.2	33.0	7.5	9.4	25.5	24.5	3.8	9.4	5.7
蒲郡中学校区	162	38.9	38.3	19.1	28.4	5.6	3.7	26.5	29.6	6.2	9.9	3.1
中部中学校区	114	33.3	34.2	20.2	23.7	4.4	5.3	25.4	43.9	2.6	7.9	6.1
塩津中学校区	92	46.7	41.3	25.0	21.7	2.2	4.3	40.2	29.3	3.3	5.4	3.3
形原中学校区	152	36.8	33.6	13.8	17.1	3.9	7.2	33.6	30.9	3.9	13.8	3.9
西浦中学校区	58	43.1	25.9	19.0	27.6	1.7	5.2	27.6	36.2	6.9	6.9	3.4
わからない	9	55.6	11.1	22.2	—	—	—	33.3	33.3	11.1	33.3	—

問 34 健康診査（特定健診、後期高齢者医療健診、その他の健康診断など）・がん検診を受けていますか。（○は1つだけ）

①健康診査

「毎年受けている」の割合が62.3%と最も高く、次いで「時々受けている」の割合が18.3%、「受けていない」の割合が17.1%となっています。



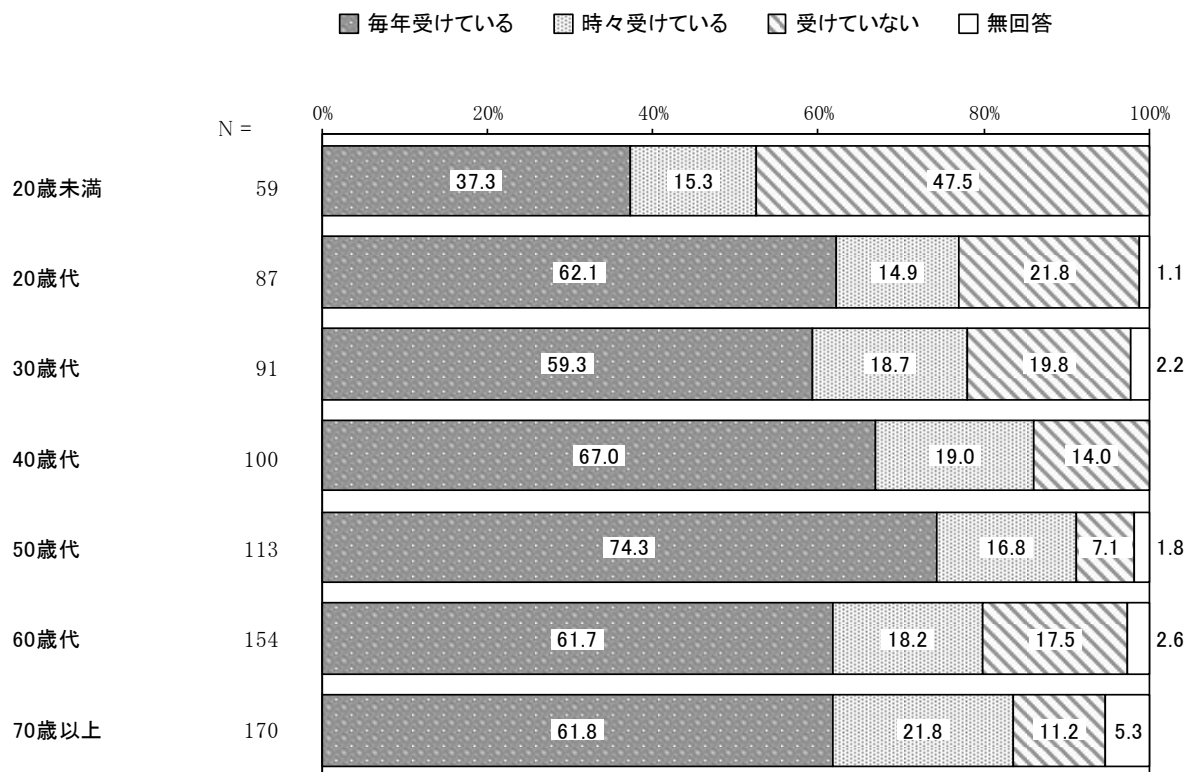
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「毎年受けている」の割合が高く、約7割となっています。また、男性に比べ、女性で「時々受けている」の割合が高く、約2割となっています。



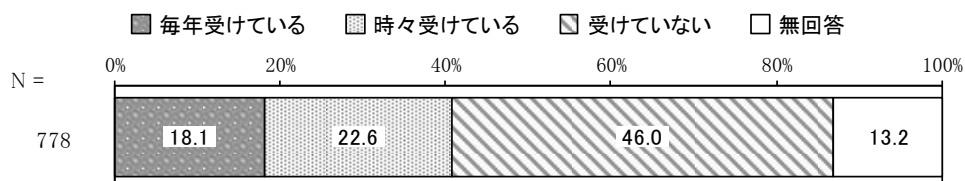
【年齢別】

年齢別でみると、50歳代で「毎年受けている」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、20歳未満で「受けていない」の割合が高く、約5割となっています。



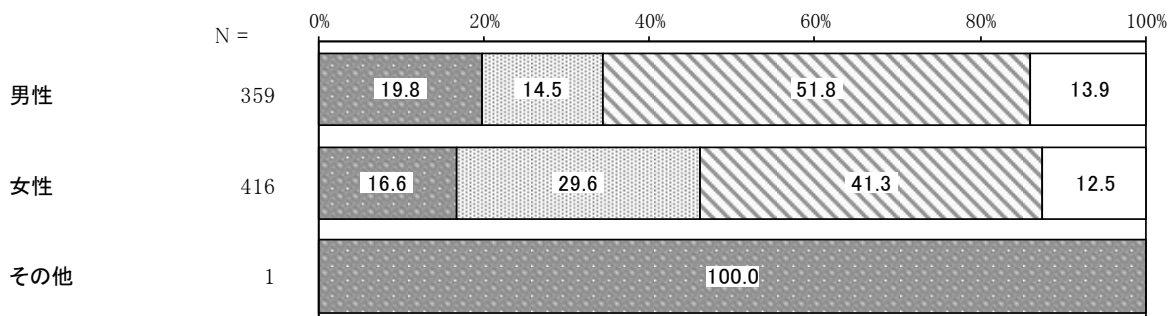
②がん検診

「受けていない」の割合が46.0%と最も高く、次いで「時々受けている」の割合が22.6%、「毎年受けている」の割合が18.1%となっています。



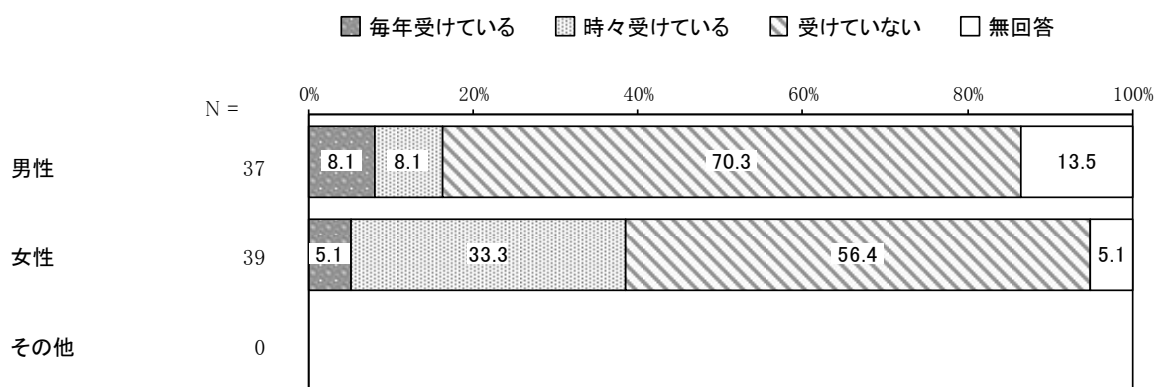
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「受けていない」の割合が高く、約5割となっています。また、男性に比べ、女性で「時々受けている」の割合が高く、約3割となっています。



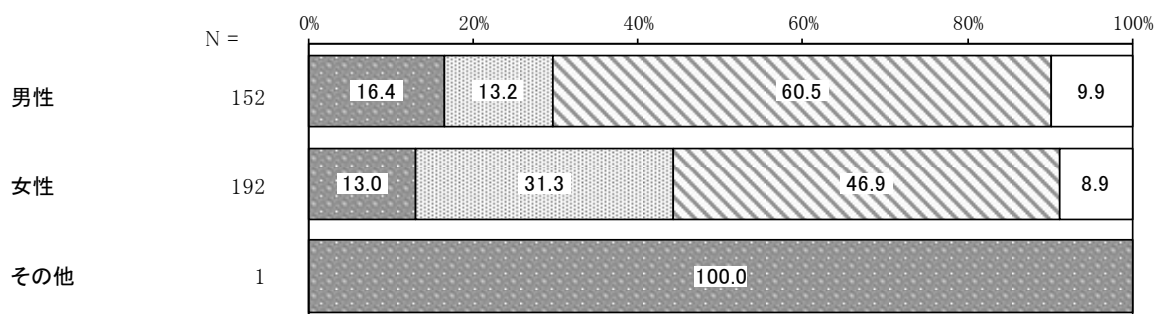
【性別（日頃から健康増進に積極的に取り組んでいる人）】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「受けていない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「時々受けている」の割合が高くなっています。



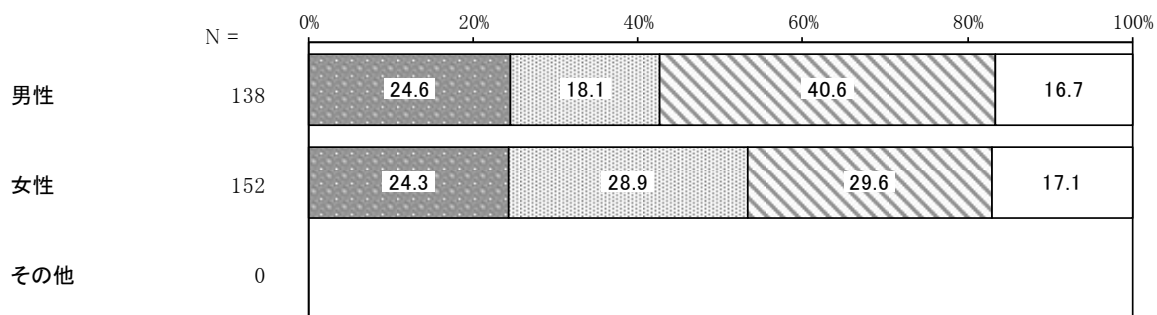
【性別（日頃から健康増進に取り組んでいる人）】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「受けていない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「時々受けている」の割合が高くなっています。



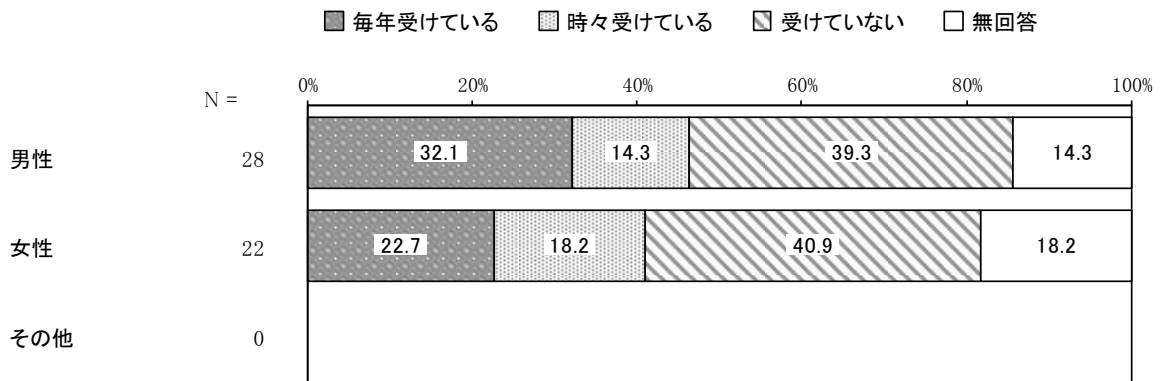
【性別（日頃から健康増進にあまり取り組んでいない人）】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「受けていない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「時々受けている」の割合が高くなっています。



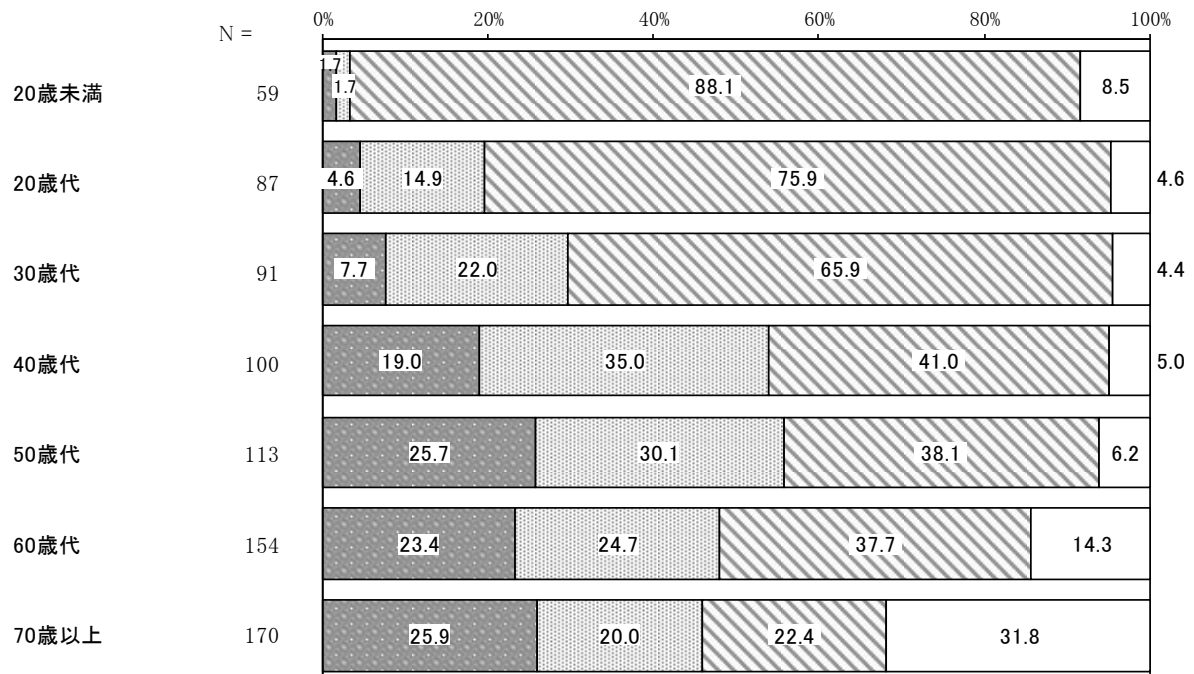
【性別（日頃から健康増進に全く取り組んでいない人）】

性別でみると、女性に比べ、男性で「毎年受けている」の割合が高くなっています。



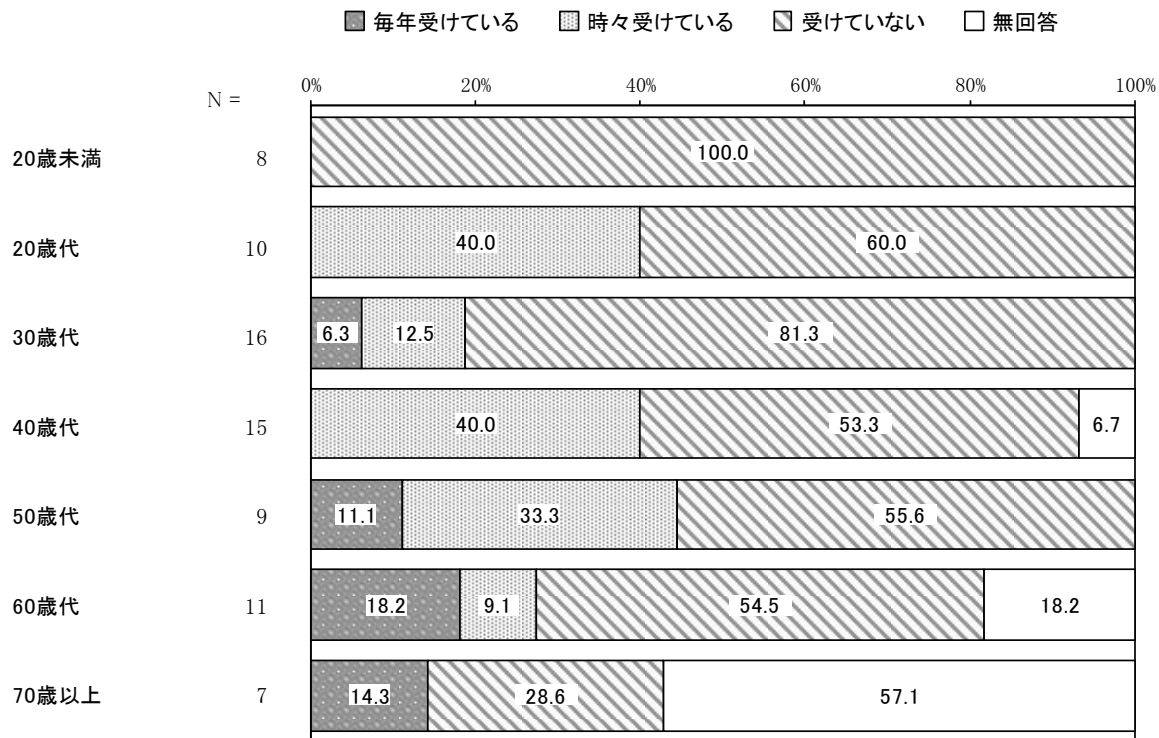
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「毎年受けている」の割合が、年齢が低くなるにつれ「受けていない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、40歳代で「時々受けている」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



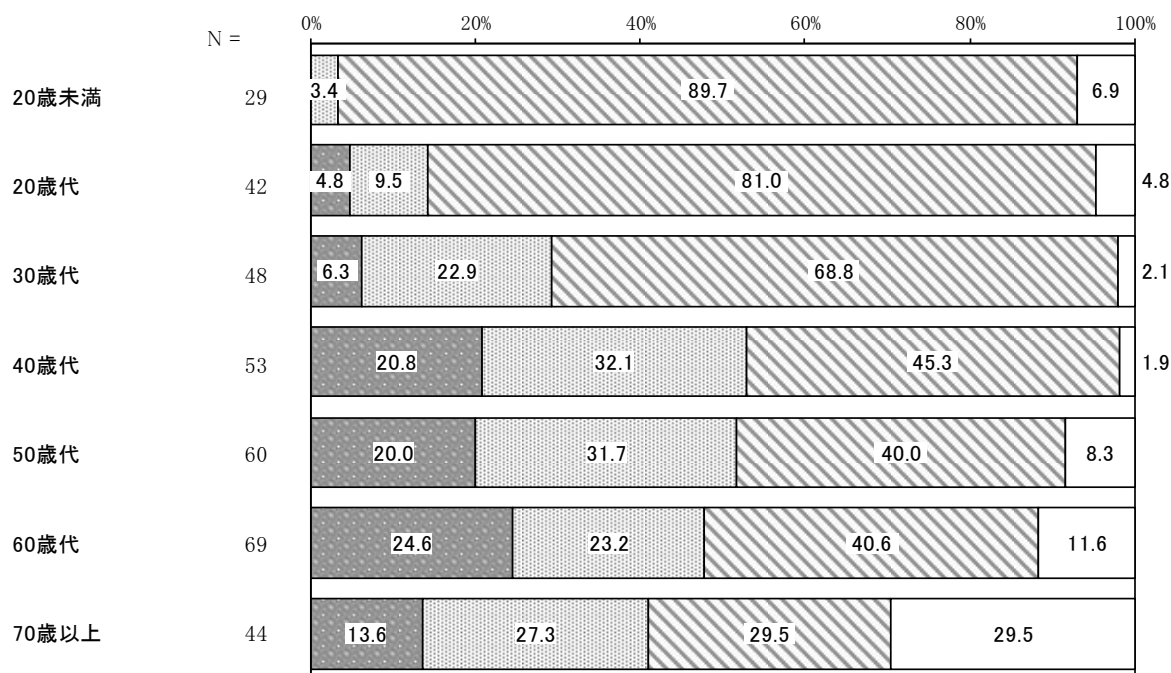
【年齢別（日頃から健康増進に積極的に取り組んでいる人）】

年齢別（日頃から健康増進に積極的に取り組んでいる人）でみると、他に比べ、30歳代で「受けていない」の割合が高くなっています。



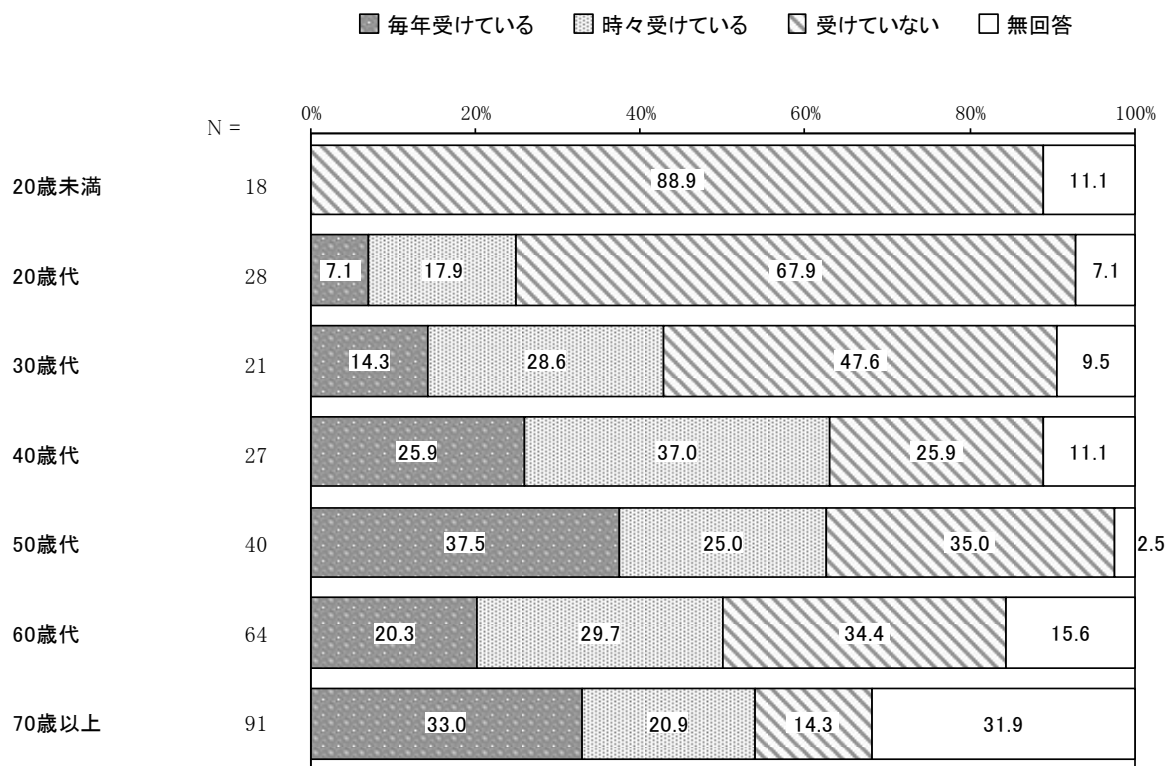
【年齢別（日頃から健康増進に取り組んでいる人）】

年齢別（日頃から健康増進に取り組んでいる人）でみると、他に比べ、20歳未満、20歳代で「受けていない」の割合が高くなっています。

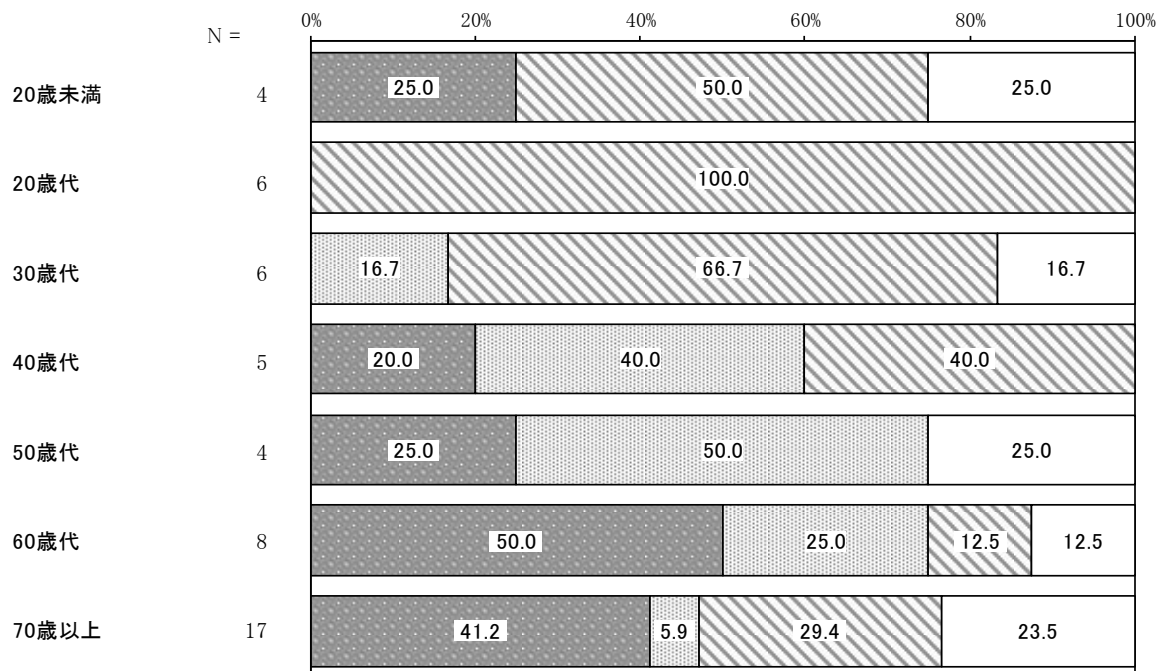


【年齢別（日頃から健康増進にあまり取り組んでいない人）】

年齢別（日頃から健康増進にあまり取り組んでいない人）でみると、他に比べ、20歳未満で「受けていない」の割合が高くなっています。

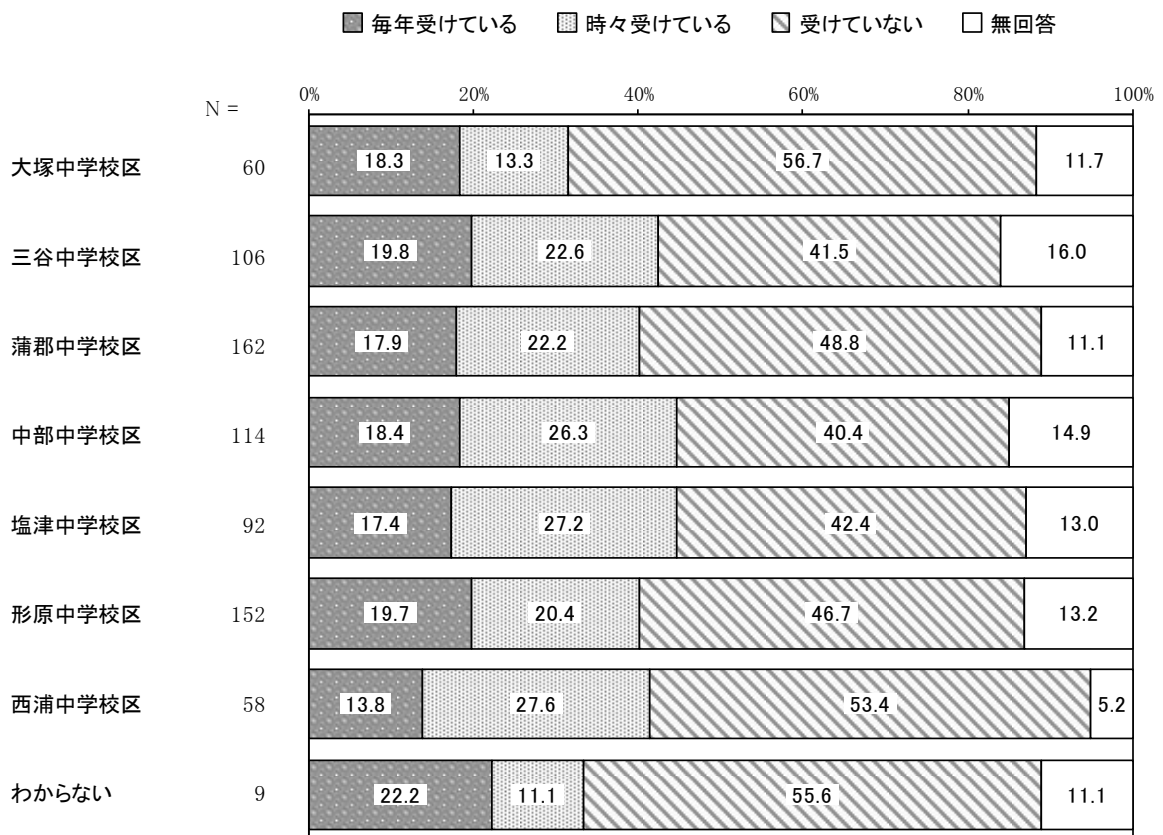


【年齢別（日頃から健康増進に全く取り組んでいない人）】



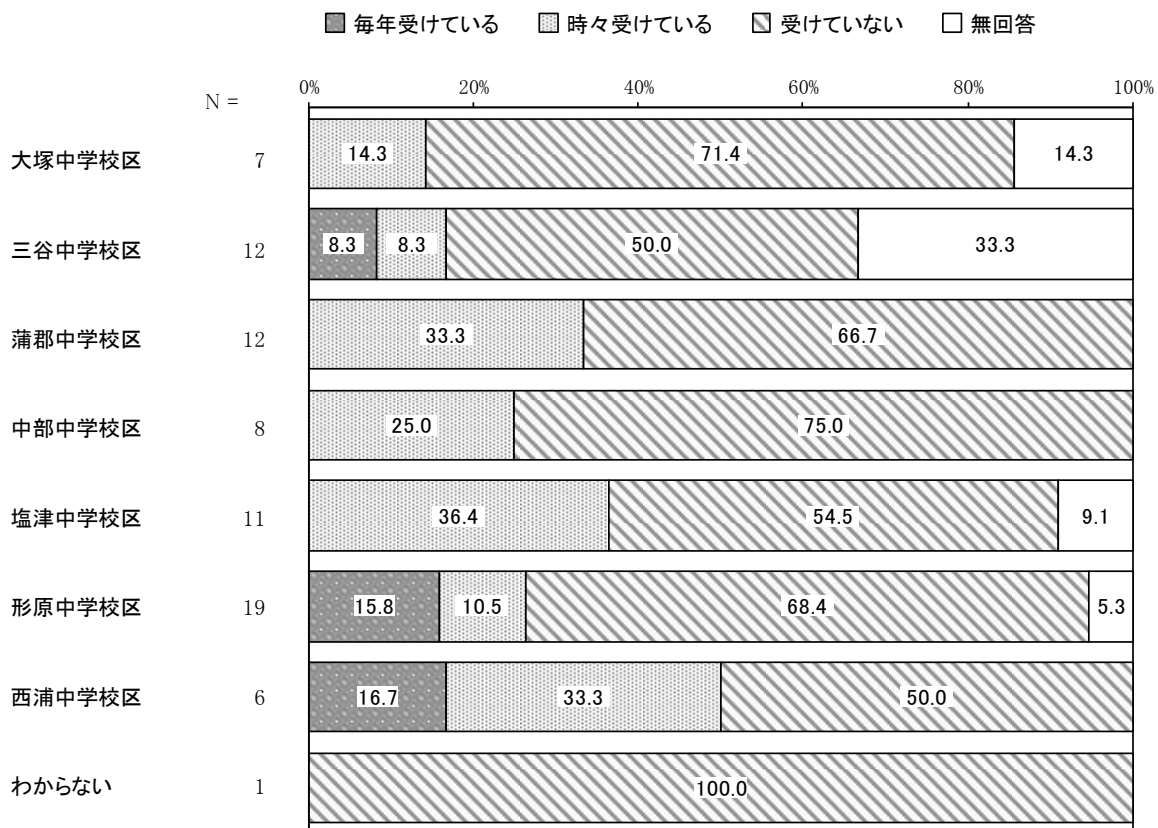
【中学校区別】

中学校区別で見ると、全体的に「受けていない」の割合が高くなっています。



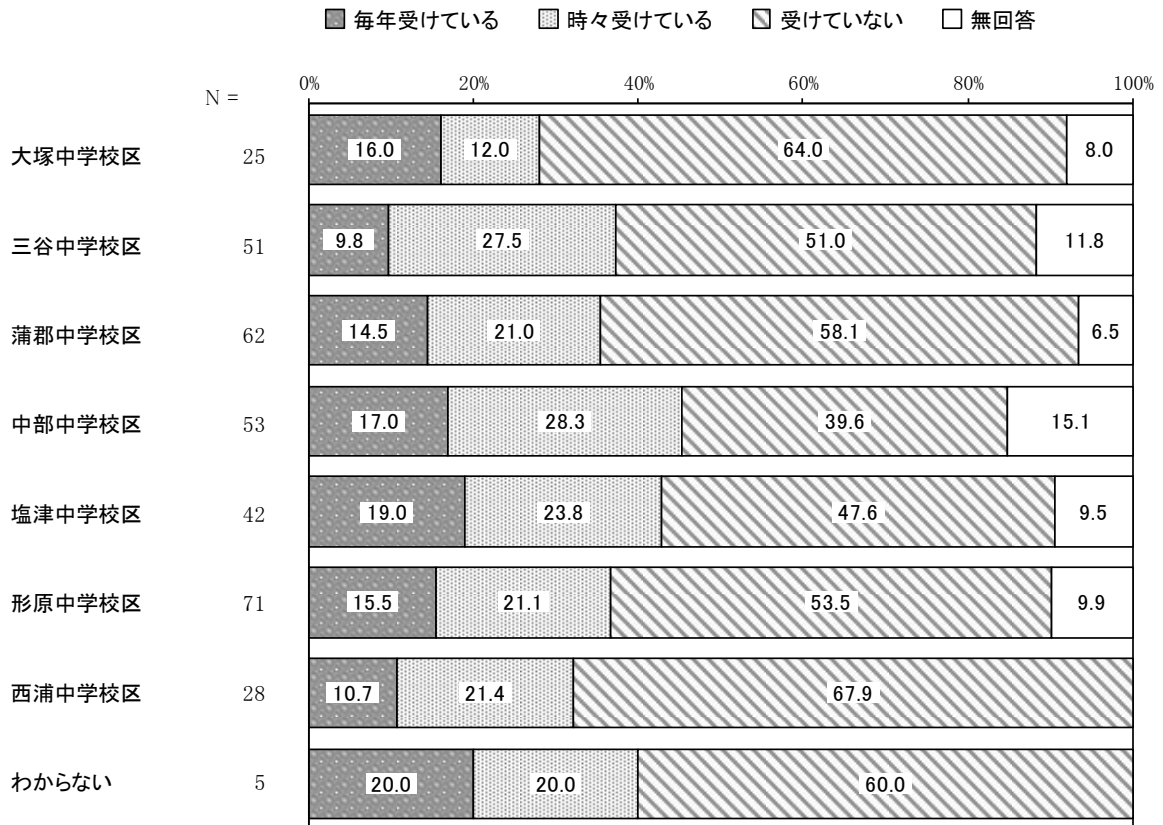
【中学校区（日頃から健康増進に積極的に取り組んでいる人）】

中学校区（日頃から健康増進に積極的に取り組んでいる人）でみると、全体的に「受けていない」の割合が高くなっています。



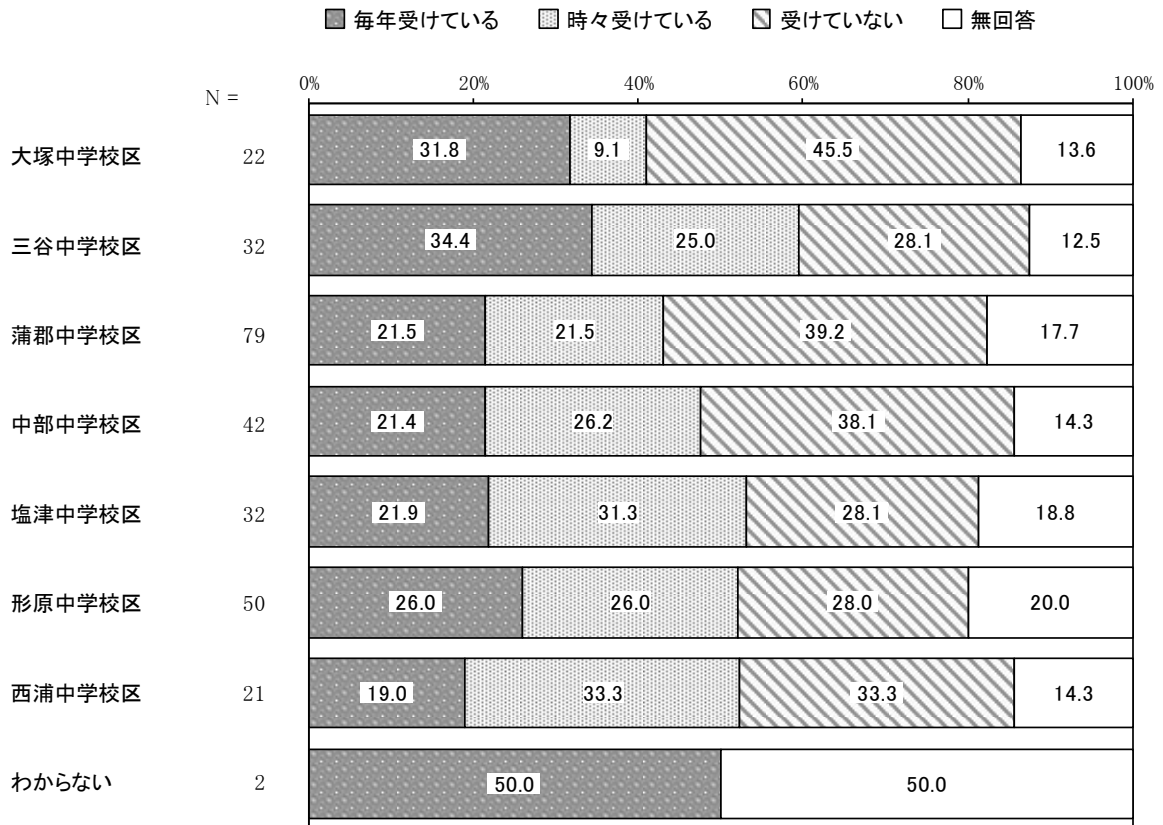
【中学校区（日頃から健康増進に取り組んでいる人）】

中学校区（日頃から健康増進に取り組んでいる人）でみると、他に比べ、大塚中学校区、西浦中学校区で「受けていない」の割合が高くなっています。

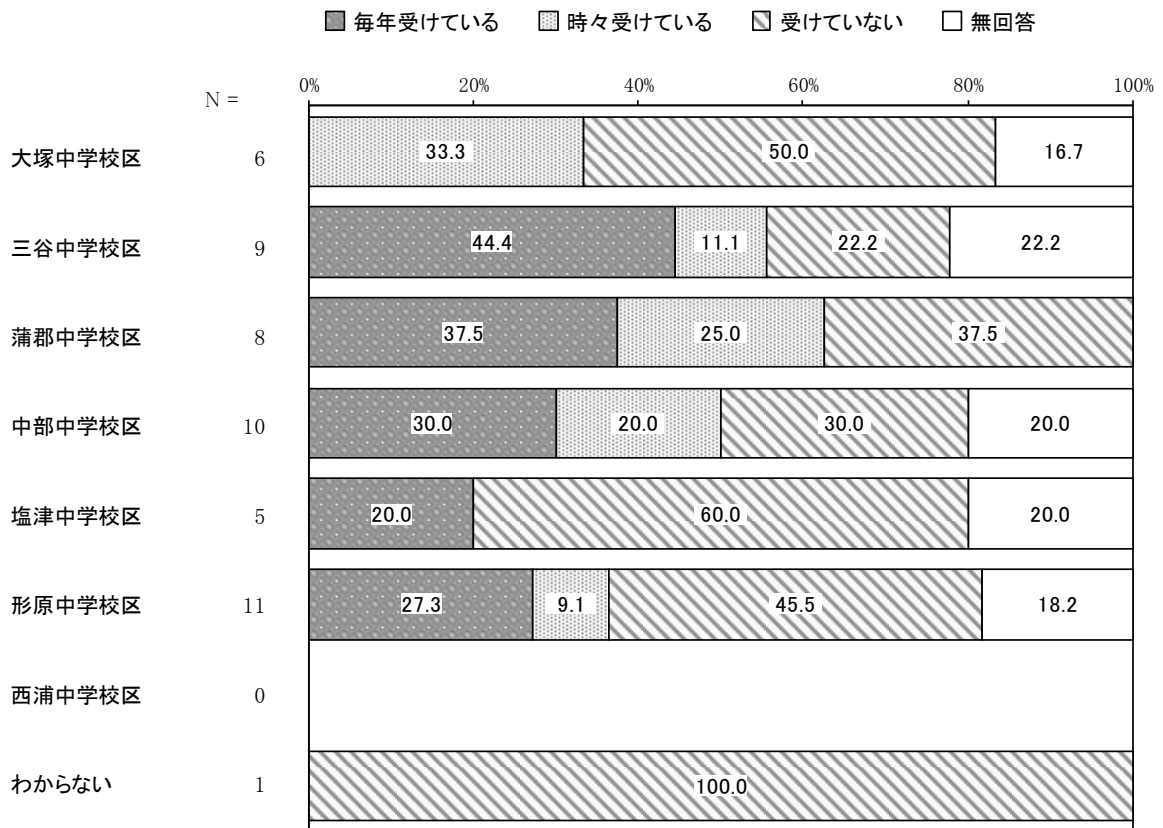


【中学校区（日頃から健康増進にあまり取り組んでいない人）】

中学校区（日頃から健康増進にあまり取り組んでいない人）でみると、他に比べ、大塚中学校区で「受けていない」の割合が高くなっています。

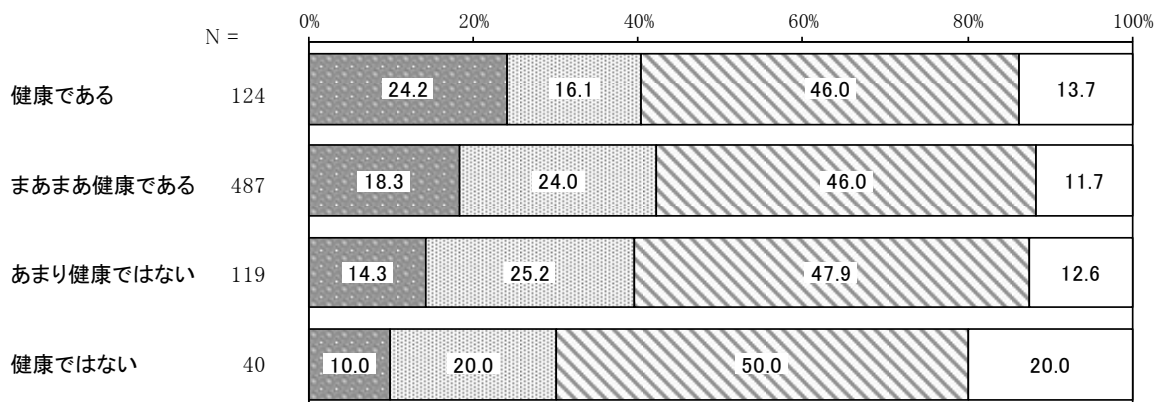


【中学校区（日頃から健康増進に全く取り組んでいない人）】



【健康感別】

健康感別でみると、健康ではない人ほど「受けていない」の割合が高くなっています。

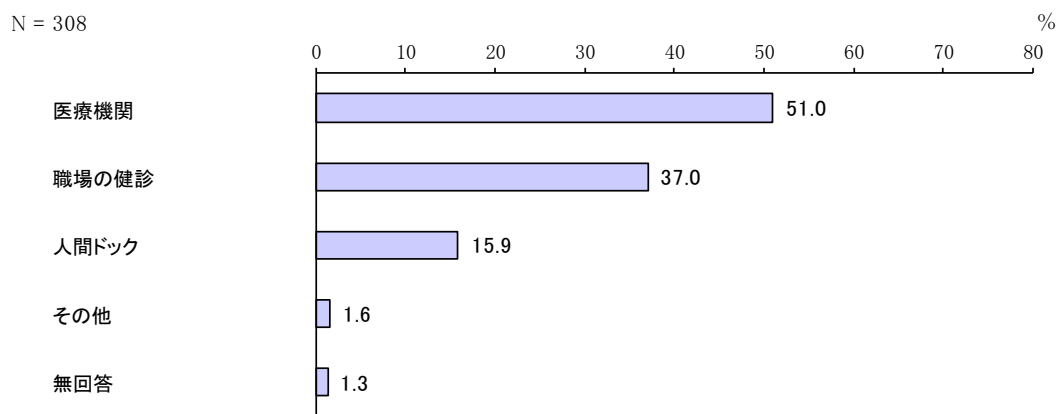


問 34 で「毎年受けている」、「時々受けている」と答えた方にお聞きします

問 34-1 どこで受診しますか。(あてはまるものすべてに○)

①健康診査

「医療機関」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「職場の健診」の割合が 37.0%、「人間ドック」の割合が 15.9%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「人間ドック」の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「職場の健診」の割合が高く、約4割となっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	医療機関	職場の健診	人間ドック	その他	無回答
男性	119	50.4	30.3	24.4	—	1.7
女性	187	51.3	41.2	10.7	2.7	1.1
その他	1	—	100.0	—	—	—

【年齢別】

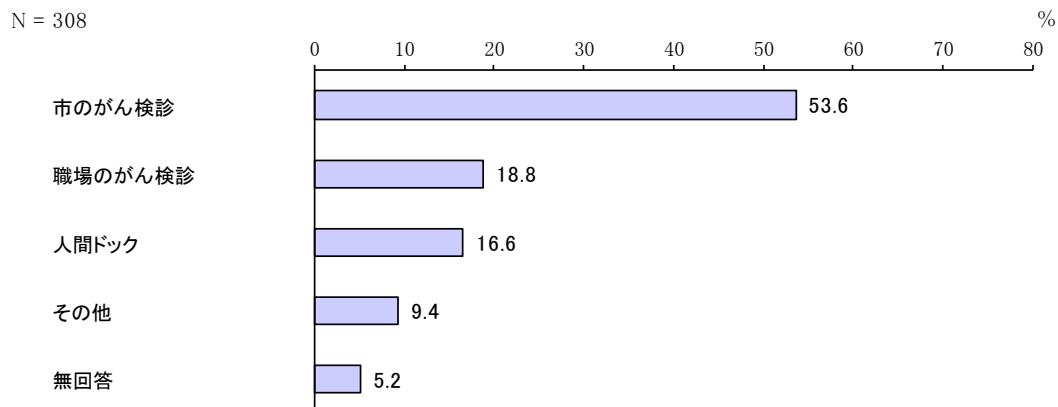
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「医療機関」「人間ドック」の割合が高く、年齢が低くなるにつれ「職場の健診」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	医療機関	職場の健診	人間ドック	その他	無回答
20歳未満	2	50.0	50.0	—	—	—
20歳代	17	17.6	88.2	5.9	—	—
30歳代	27	18.5	70.4	14.8	7.4	—
40歳代	52	23.1	53.8	23.1	3.8	3.8
50歳代	62	35.5	54.8	17.7	1.6	—
60歳代	71	57.7	16.9	26.8	—	1.4
70歳以上	75	94.7	6.7	2.7	—	1.3

②がん検診

「市のがん検診」の割合が 53.6%と最も高く、次いで「職場のがん検診」の割合が 18.8%、「人間ドック」の割合が 16.6%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「人間ドック」の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「市のがん検診」の割合が高く、約6割となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	市のがん検診	職場のがん検診	人間ドック	その他	無回答
男性	119	44.5	21.8	26.9	5.0	5.0
女性	187	59.4	17.1	10.2	12.3	4.8
その他	1	100.0	—	—	—	—

【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳以上で「市のがん検診」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、20歳代で「職場のがん検診」の割合が高く、約5割となっています。

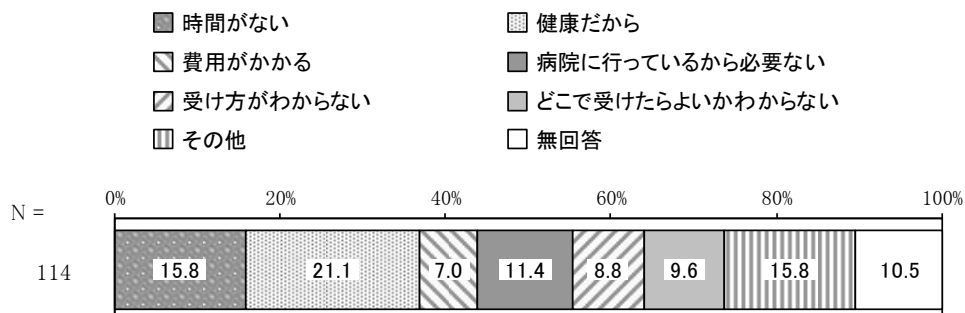
単位：％

区分	有効回答数 (件)	市のがん検診	職場のがん検診	人間ドック	その他	無回答
20歳未満	2	100.0	—	—	—	—
20歳代	17	29.4	47.1	—	11.8	11.8
30歳代	27	48.1	22.2	14.8	18.5	—
40歳代	52	38.5	30.8	25.0	7.7	3.8
50歳代	62	35.5	37.1	21.0	11.3	3.2
60歳代	71	63.4	5.6	23.9	7.0	2.8
70歳以上	75	74.7	1.3	5.3	8.0	10.7

問 34 で健康診査またはがん検診を「3. 受けていない」と答えた方にお聞きします。

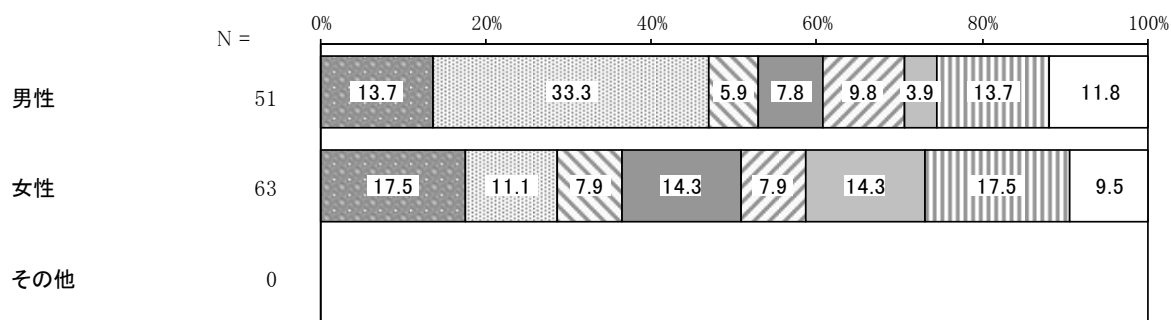
問 34-2 健康診査・がん検診を受けない主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

「健康だから」の割合が 21.1%と最も高く、次いで「時間がない」の割合が 15.8%、「病院に行っているから必要ない」の割合が 11.4%となっています。



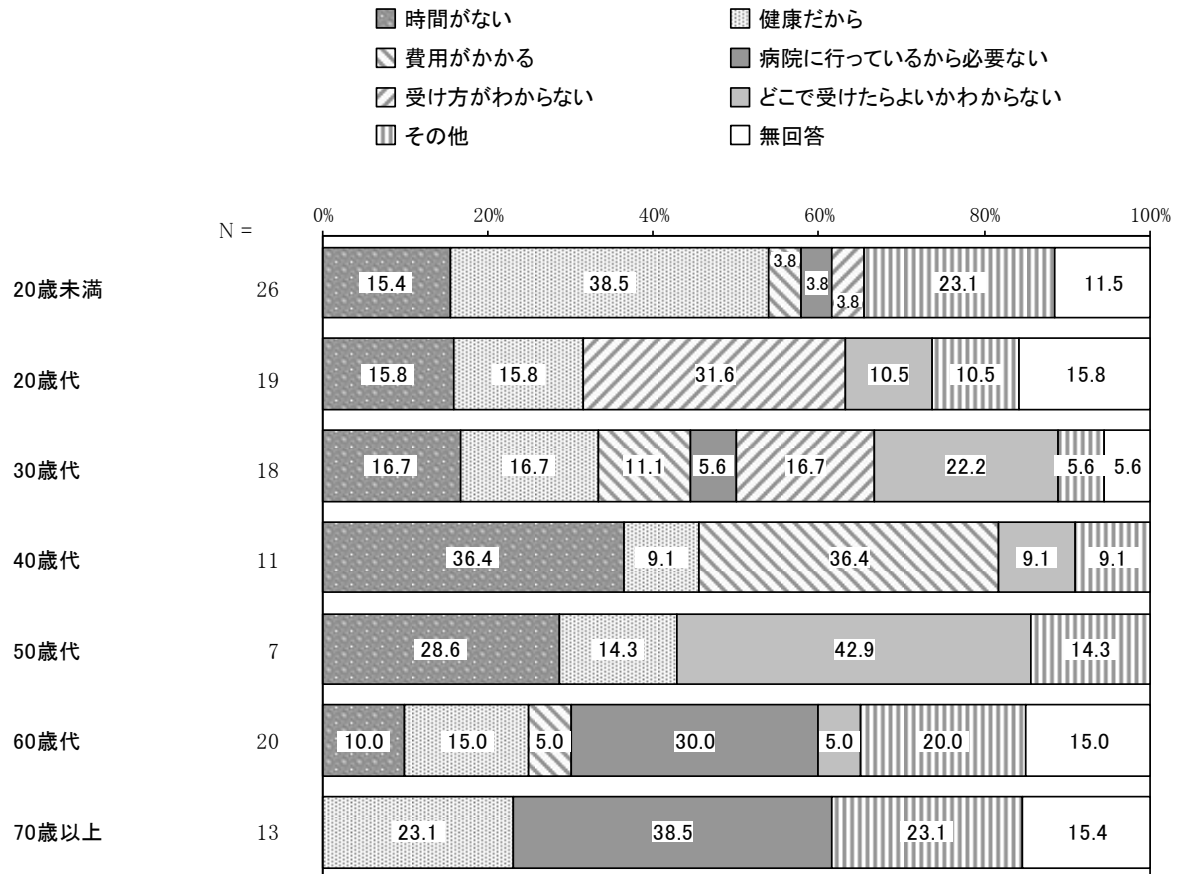
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「健康だから」の割合が高く、約3割となっています。また、男性に比べ、女性で「病院に行っているから必要ない」「どこで受けたらよいかわからない」の割合が高くなっています。



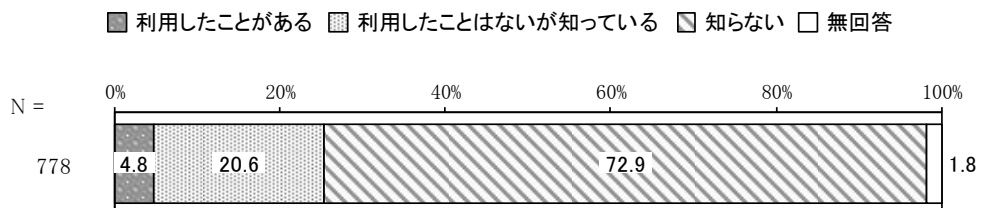
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳以上で「病院に行っているから必要ない」の割合が高く、約4割となっています。また、40歳代で「時間がない」「費用がかかる」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



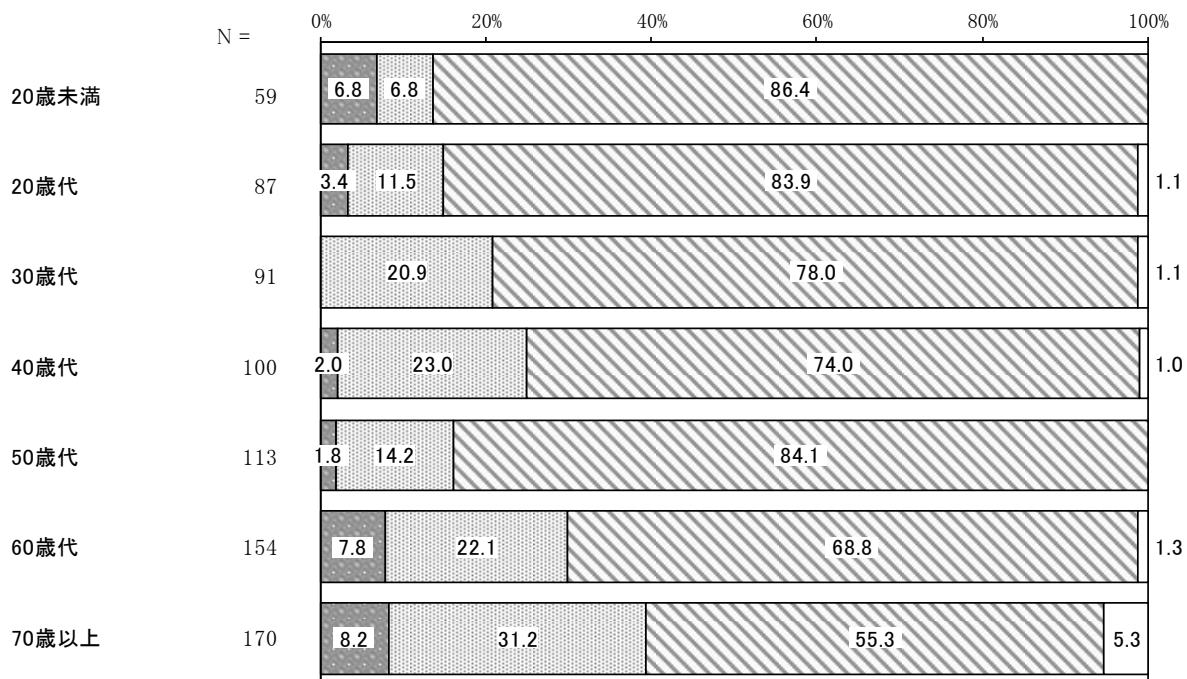
問 35 蒲郡市保健医療センター内にある運動サポートセンターを利用したことがありますか。(〇は1つだけ)

「知らない」の割合が72.9%と最も高く、次いで「利用したことはないが知っている」の割合が20.6%、「利用したことがある」の割合が4.8%となっています。



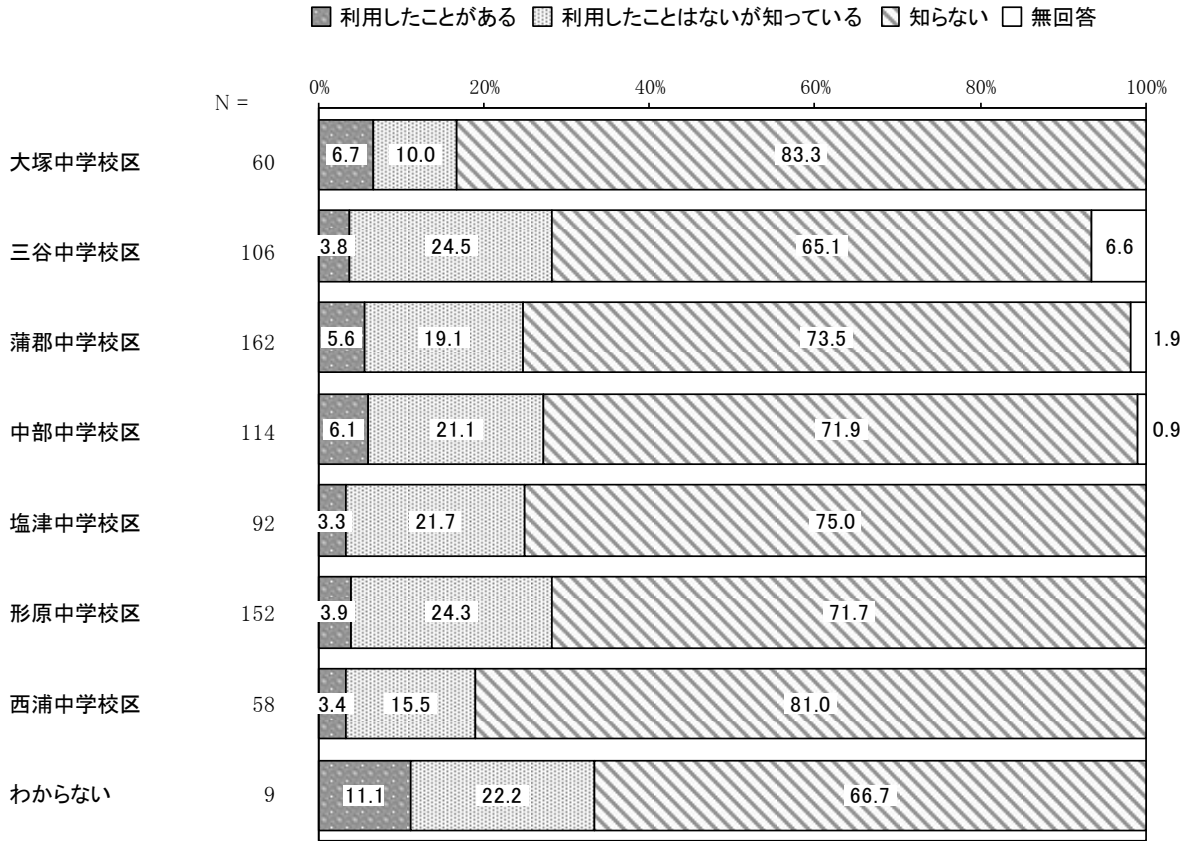
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳未満、20歳代、50歳代で「知らない」の割合が高く、8割台半ばとなっています。また、70歳以上で「利用したことはないが知っている」の割合が高く、約3割となっています。



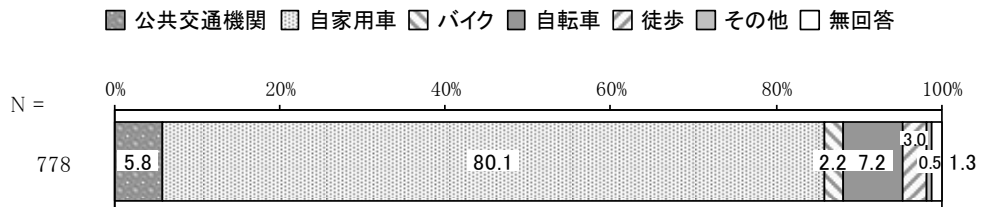
【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、大塚中学校区、西浦中学校区で「知らない」の割合が高く、約8割となっています。



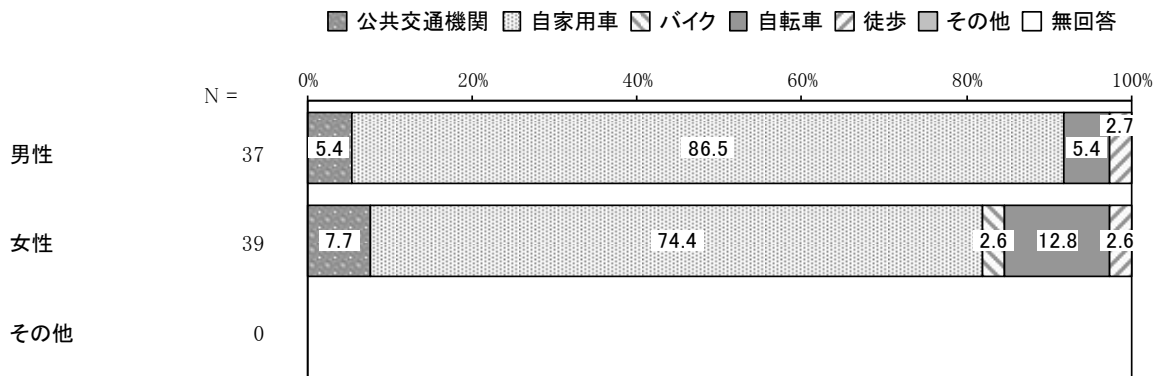
問 36 外出する際の主な移動手段について、最も多いものは何ですか。 (○は1つだけ)

「自家用車」の割合が80.1%と最も高く、次いで「自転車」の割合が7.2%、「公共交通機関」の割合が5.8%となっています。



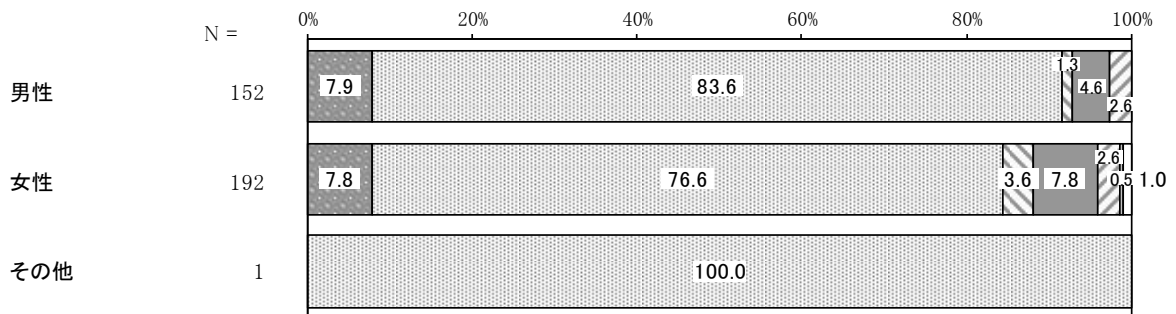
【性別（日頃から健康増進に積極的に取り組んでいる人）】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「自家用車」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「自転車」の割合が高くなっています。



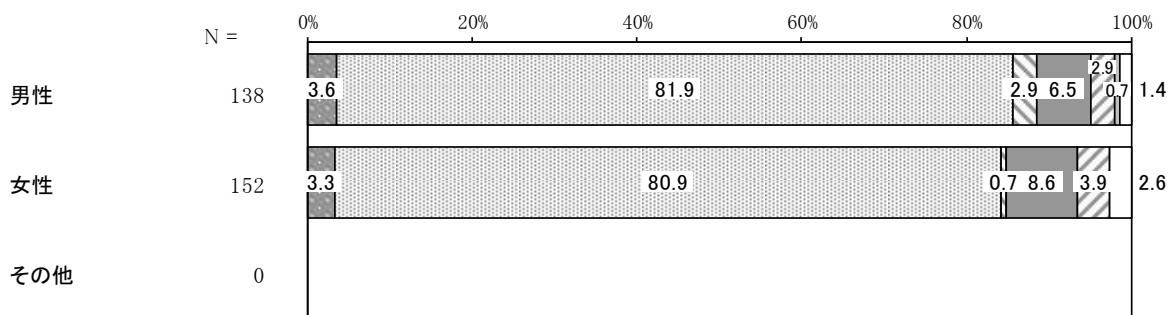
【性別（日頃から健康増進に取り組んでいる人）】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「自家用車」の割合が高くなっています。



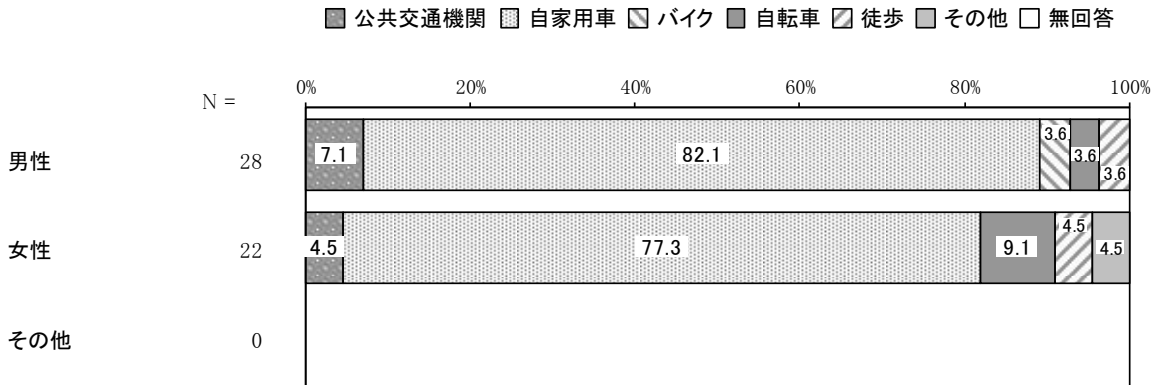
【性別（日頃から健康増進にあまり取り組んでいない人）】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



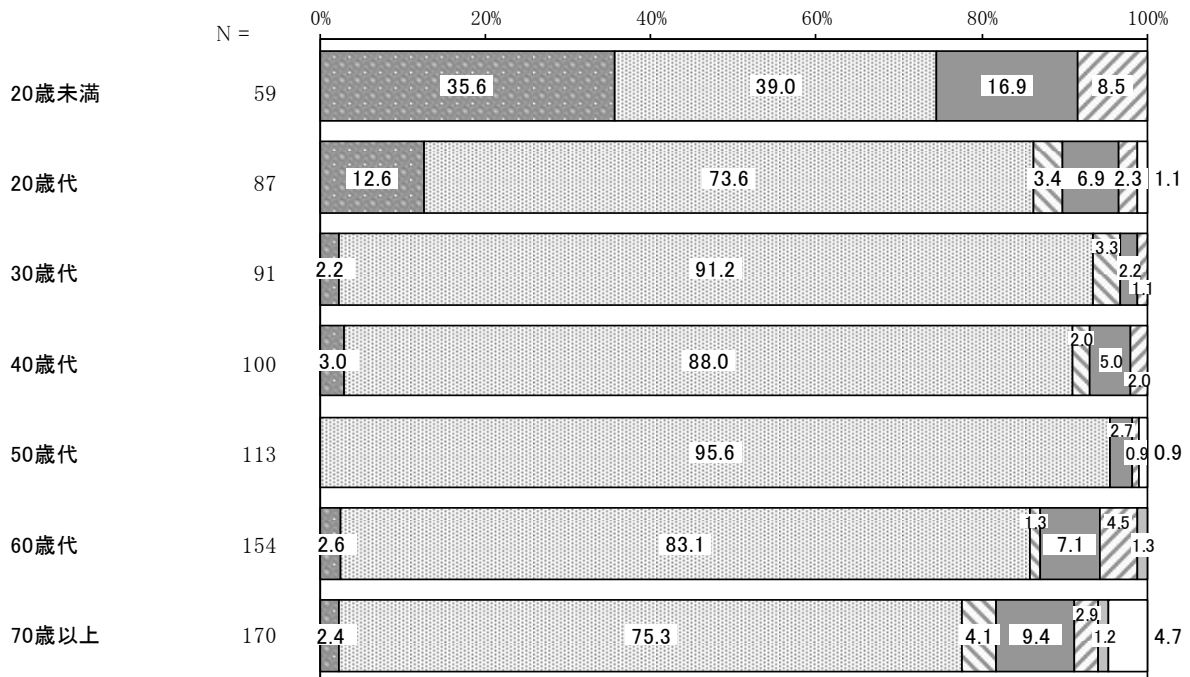
【性別（日頃から健康増進に全く取り組んでいない人）】

性別でみると、男性に比べ、女性で「自転車」の割合が高くなっています。

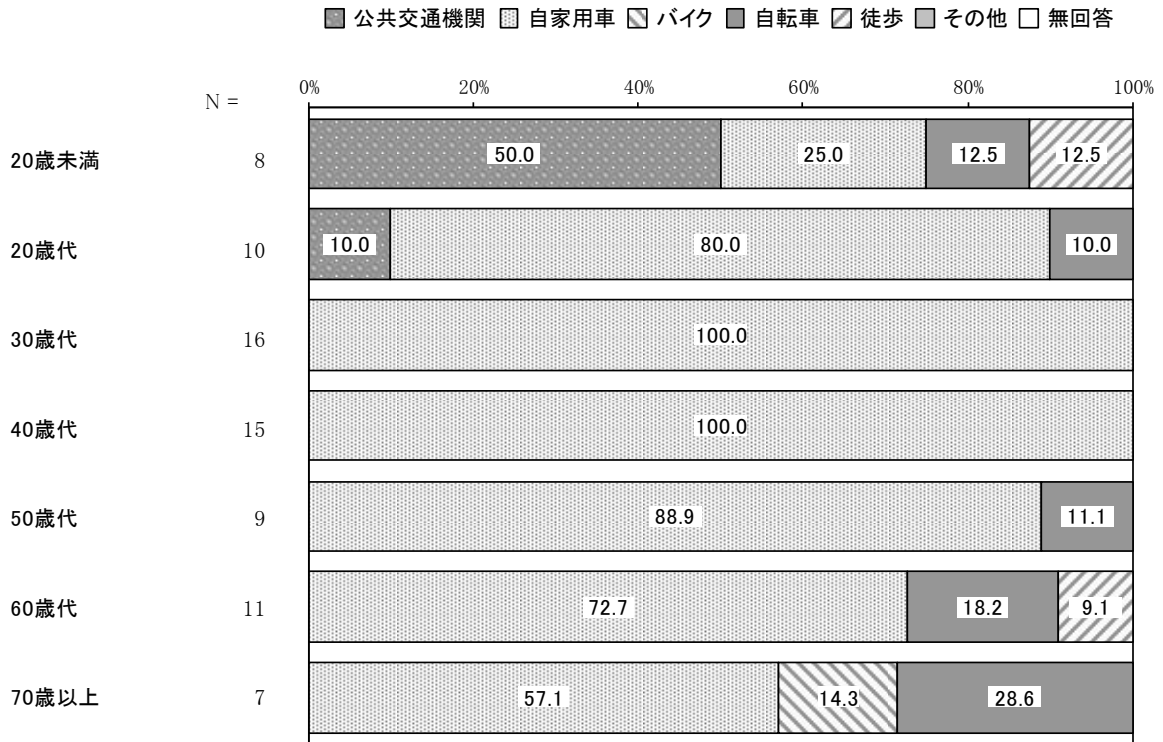


【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代で「自家用車」の割合が高く、9割台半ばとなっています。また、20歳未満で「公共交通機関」「自転車」の割合が高くなっています。

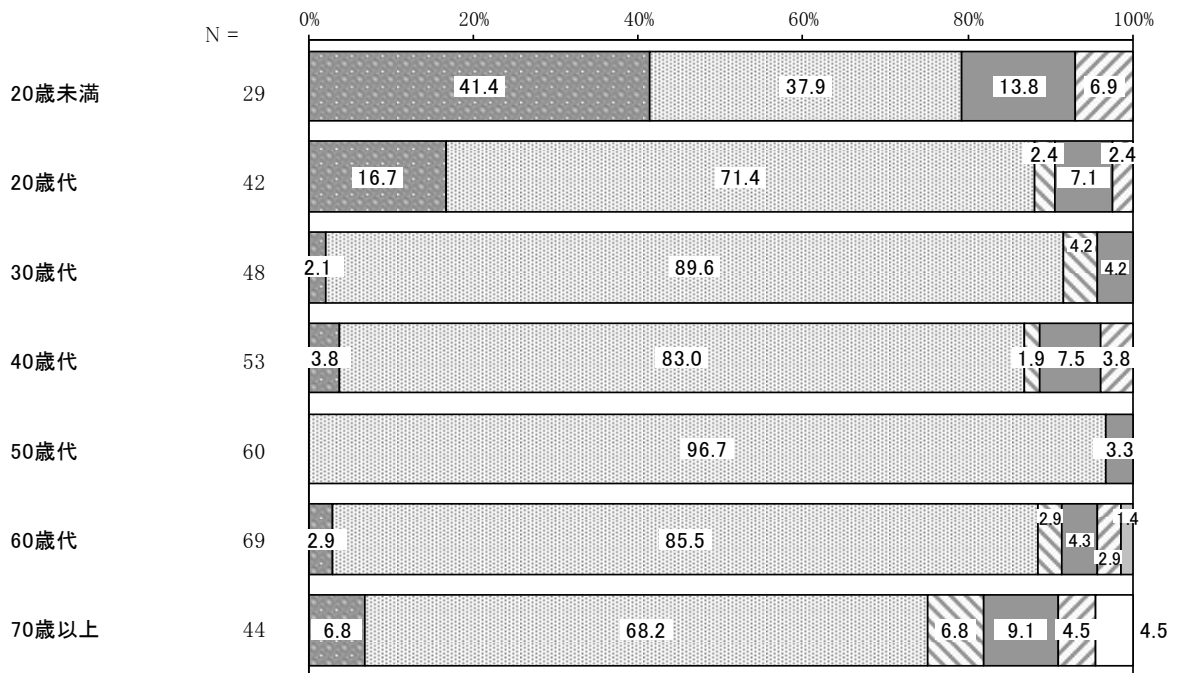


【年齢別（日頃から健康増進に積極的に取り組んでいる人）】



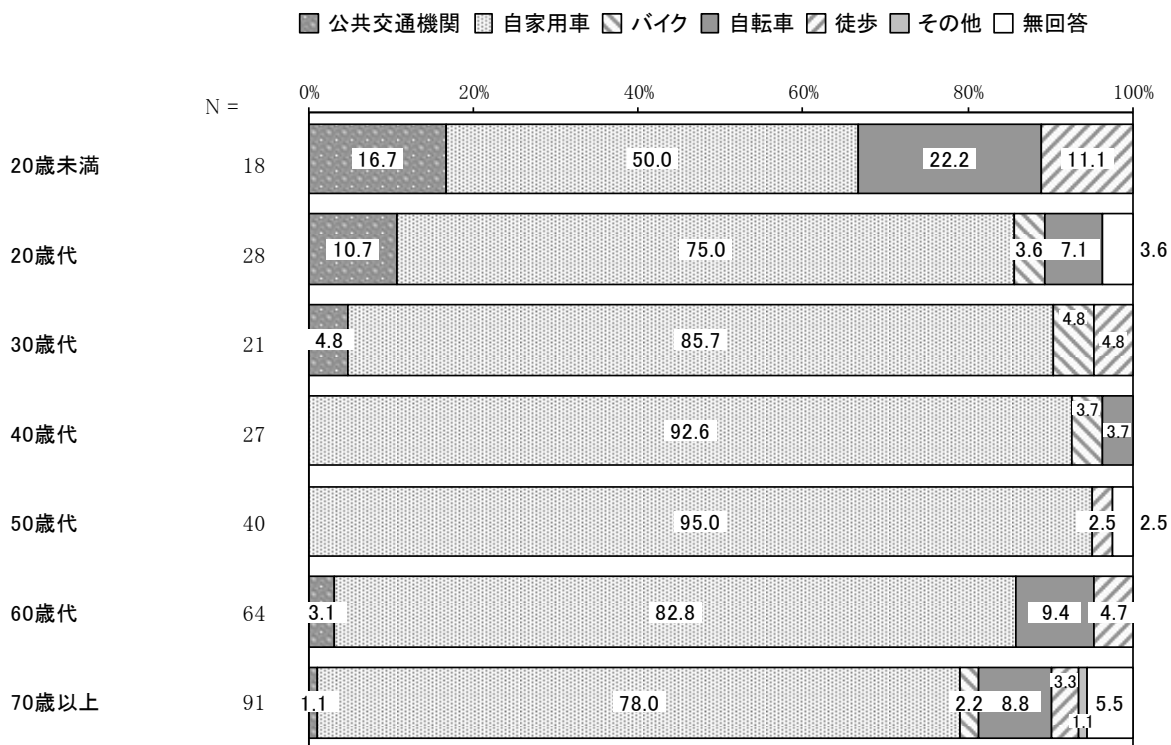
【年齢別（日頃から健康増進に取り組んでいる人）】

年齢別（日頃から健康増進に取り組んでいる人）でみると、他に比べ、20歳未満で「公共交通機関」の割合が、50歳代で「自家用車」の割合が高くなっています。

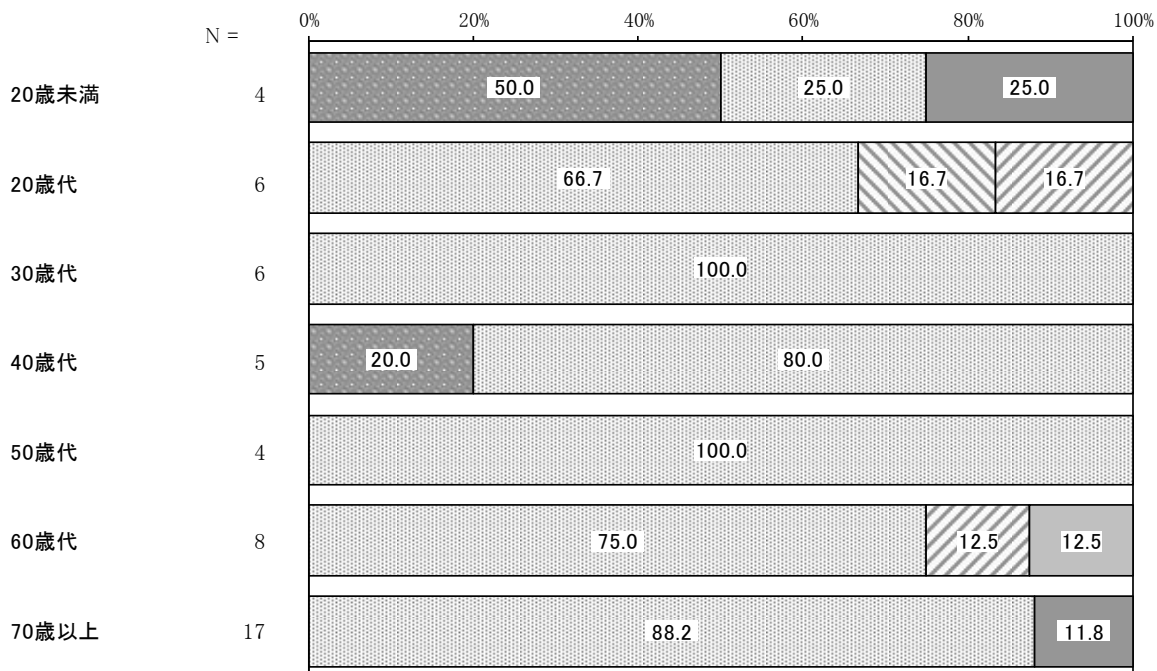


【年齢別（日頃から健康増進にあまり取り組んでいない人）】

年齢別（日頃から健康増進にあまり取り組んでいない人）でみると、他に比べ、20歳未満で「公共交通機関」「自転車」の割合が、40歳代、50歳代で「自家用車」の割合が高くなっています。

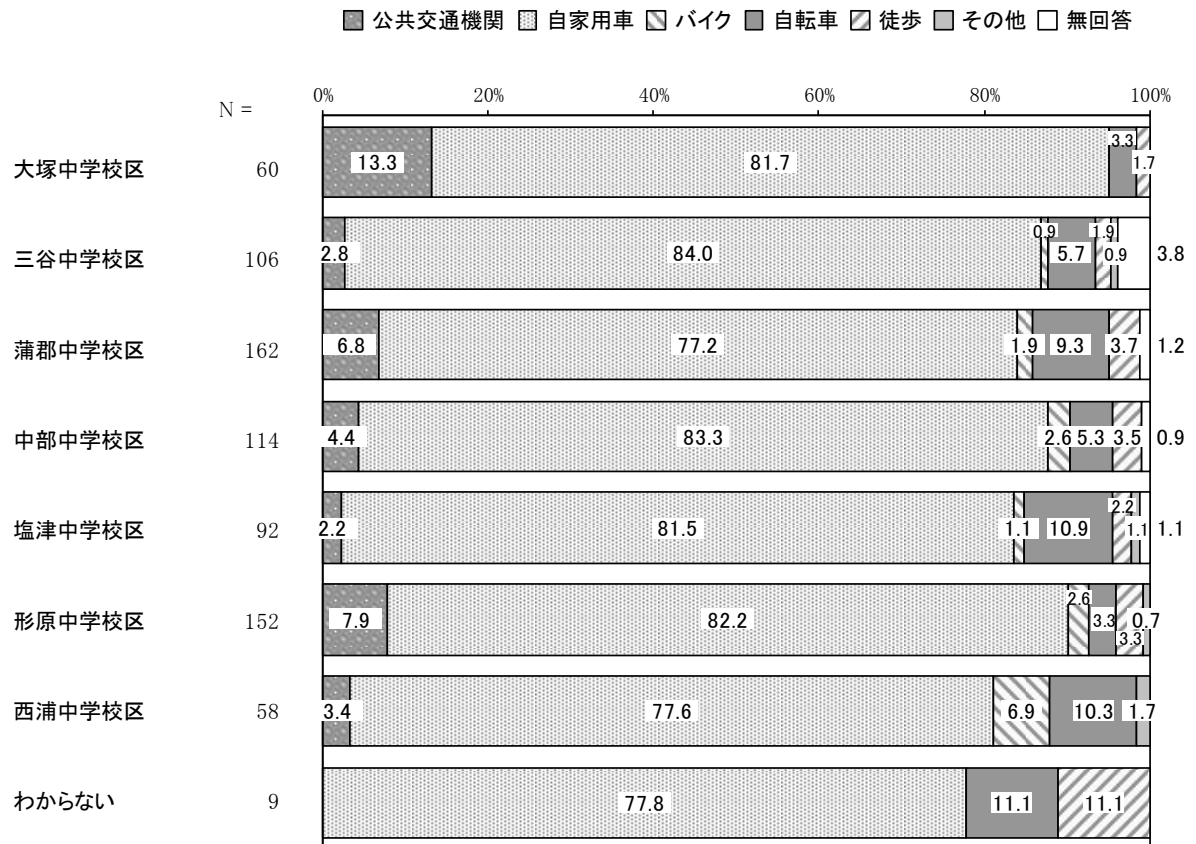


【年齢別（日頃から健康増進に全く取り組んでいない人）】

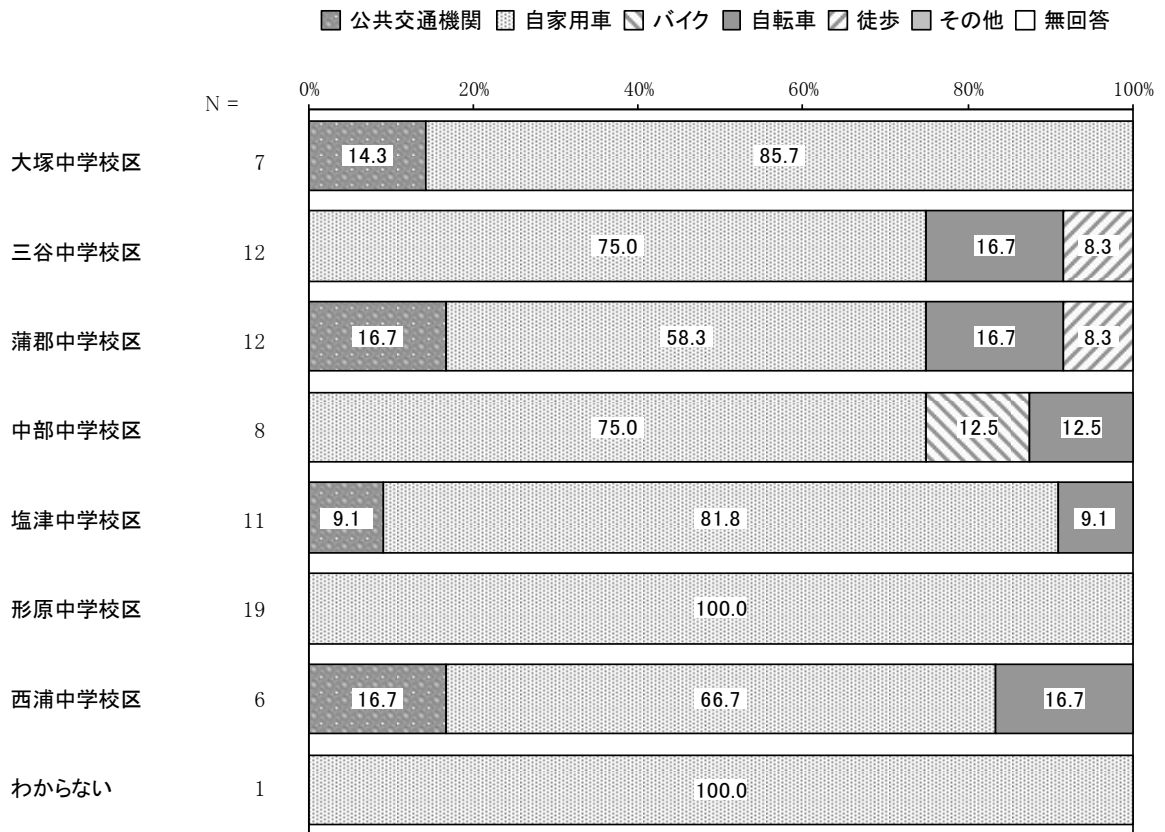


【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、大塚中学校区で「公共交通機関」の割合が高くなっています。

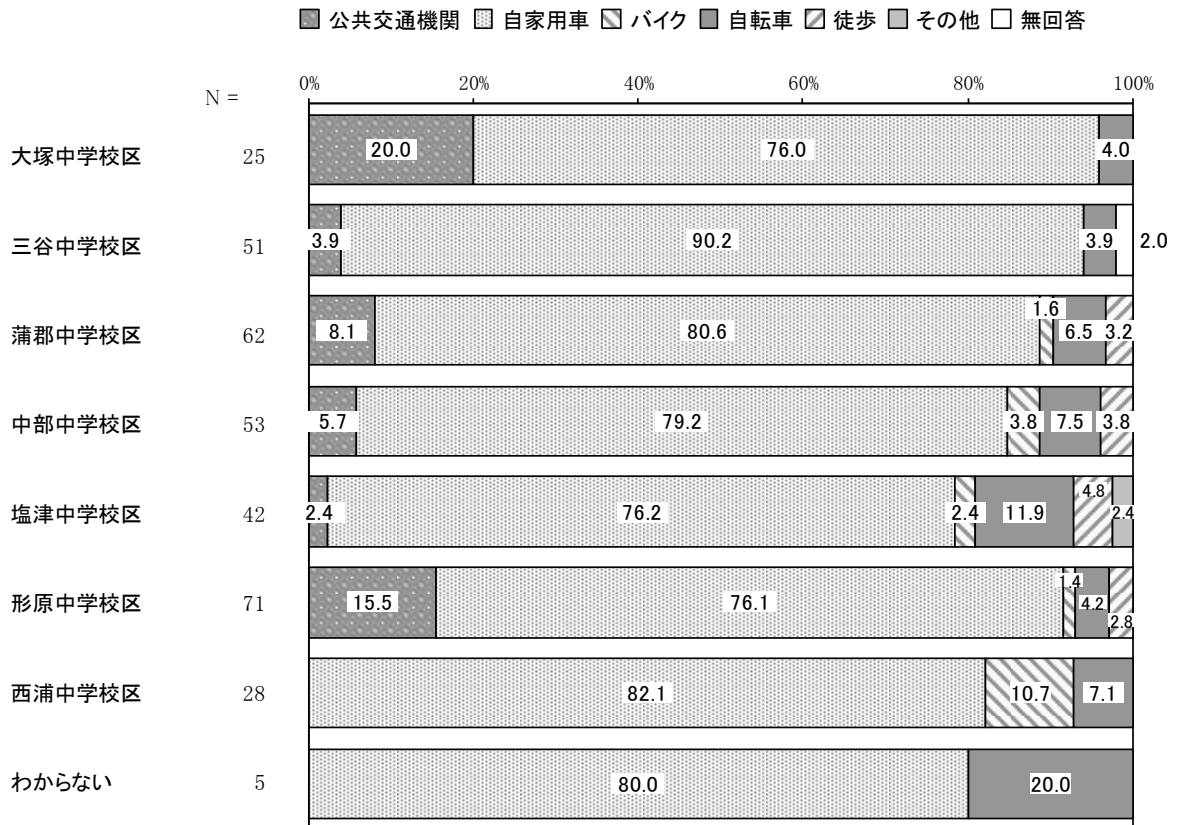


【中学校区（日頃から健康増進に積極的に取り組んでいる人）】



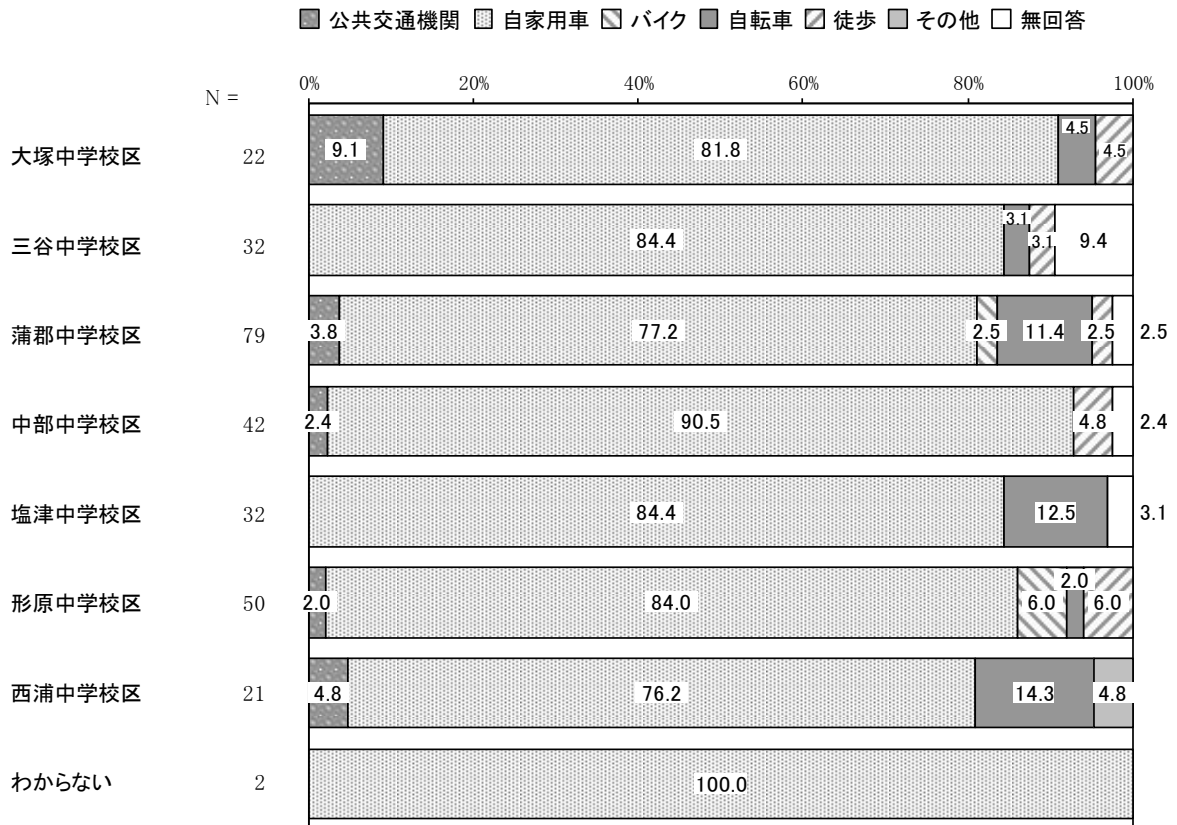
【中学校区（日頃から健康増進に取り組んでいる人）】

中学校区（日頃から健康増進に取り組んでいる人）でみると、他に比べ、大塚中学校区で「公共交通機関」の割合が、三谷中学校区で「自家用車」の割合が高くなっています。

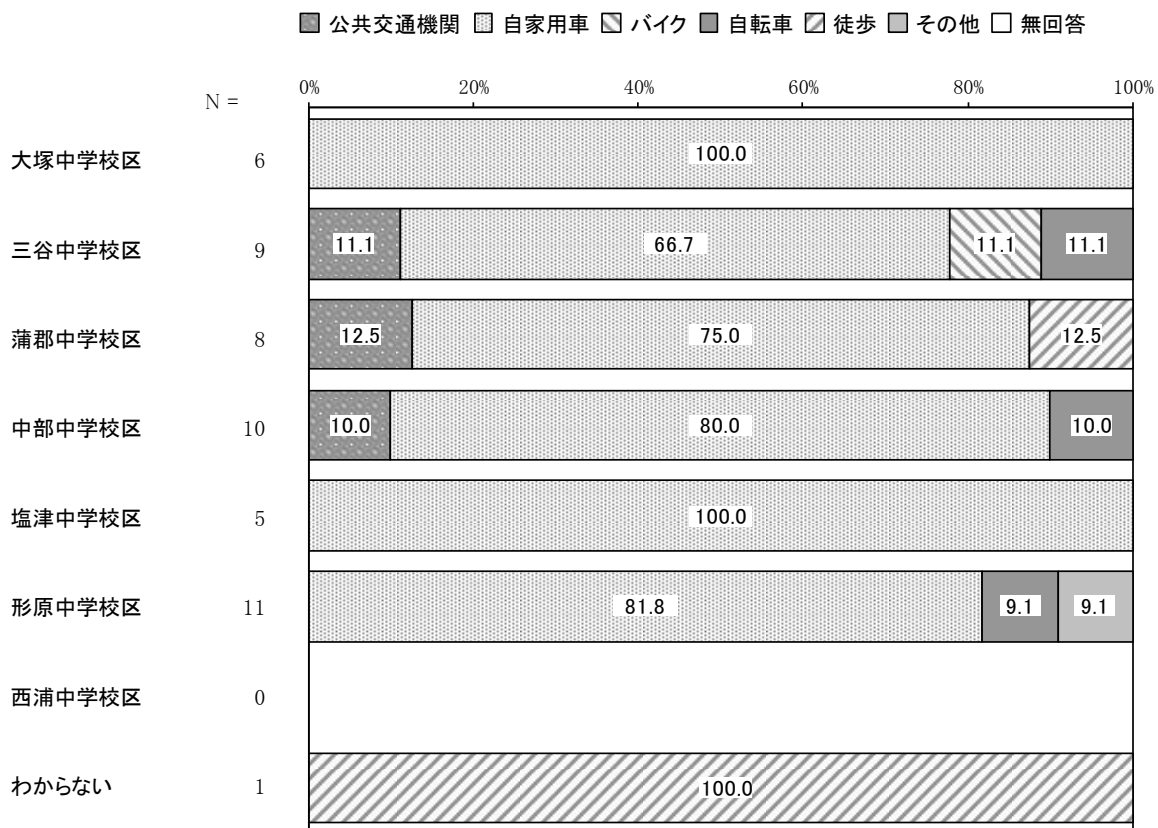


【中学校区（日頃から健康増進にあまり取り組んでいない人）】

中学校区（日頃から健康増進にあまり取り組んでいない人）でみると、他に比べ、中部中学校区で「自家用車」の割合が高くなっています。

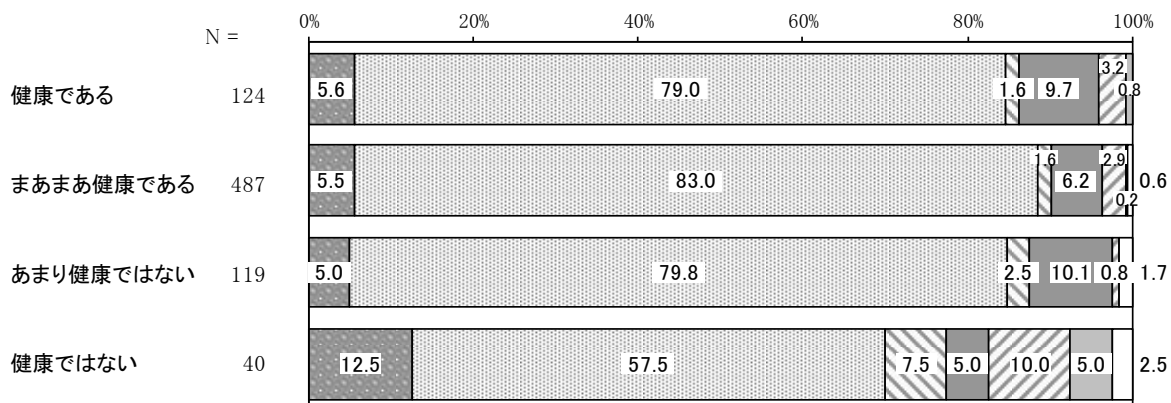


【中学校区（日頃から健康増進に全く取り組んでいない人）】



【健康感別】

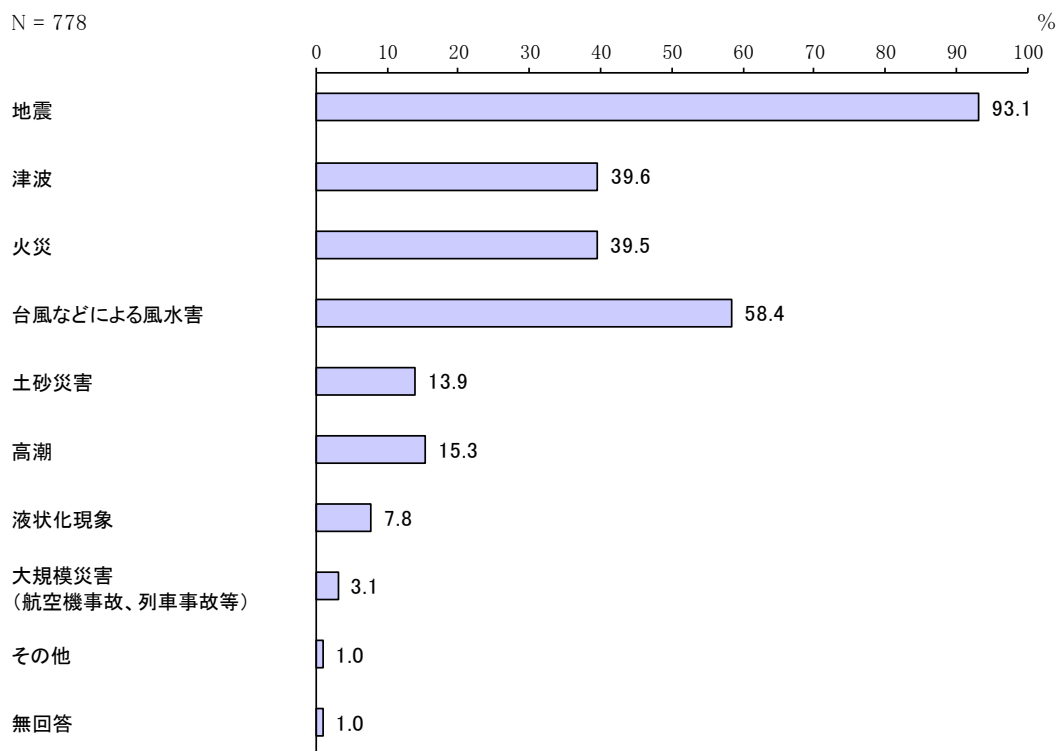
健康感別で見ると、他に比べ、まあまあ健康であるで「自家用車」の割合が、健康ではないで「公共交通機関」の割合が高くなっています。



(8) 災害対策について

問 37 身近で不安に感じる災害は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「地震」の割合が93.1%と最も高く、次いで「台風などによる風水害」の割合が58.4%、「津波」の割合が39.6%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「津波」「土砂災害」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	地震	津波	火災	台風などによる 風水害	土砂災害	高潮	液状化現象	大規模災害 航空機 事故、列車 事故等)	その他	無回答
20歳未満	59	86.4	61.0	28.8	39.0	25.4	15.3	6.8	—	1.7	—
20歳代	87	92.0	69.0	24.1	54.0	20.7	16.1	11.5	4.6	—	1.1
30歳代	91	97.8	53.8	33.0	50.5	15.4	16.5	12.1	4.4	—	—
40歳代	100	94.0	44.0	43.0	59.0	12.0	16.0	4.0	4.0	2.0	—
50歳代	113	92.9	31.0	37.2	61.9	13.3	9.7	6.2	1.8	0.9	0.9
60歳代	154	94.2	26.6	45.5	62.3	11.0	16.2	10.4	1.9	1.3	—
70歳以上	170	91.8	24.1	48.8	64.7	10.0	16.5	5.3	4.1	1.2	3.5

【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、大塚中学校区で「火災」の割合が、三谷中学校区で「津波」の割合が高く、約5割となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地震	津波	火災	台風などによる 風水害	土砂災害	高潮	液状化現象	大規模災害 航空機 事故、列車 事故等	その他	無回答
大塚中学校区	60	93.3	35.0	53.3	51.7	20.0	6.7	6.7	1.7	3.3	—
三谷中学校区	106	90.6	50.9	32.1	61.3	15.1	21.7	11.3	1.9	0.9	0.9
蒲郡中学校区	162	94.4	39.5	40.1	63.6	8.6	15.4	8.0	3.7	0.6	1.9
中部中学校区	114	95.6	25.4	43.0	51.8	16.7	11.4	7.9	3.5	—	1.8
塩津中学校区	92	90.2	44.6	34.8	57.6	16.3	14.1	5.4	2.2	—	1.1
形原中学校区	152	94.1	42.1	41.4	59.2	13.2	15.8	9.2	3.3	1.3	—
西浦中学校区	58	91.4	43.1	34.5	62.1	13.8	19.0	1.7	3.4	1.7	—
わからない	9	100.0	44.4	44.4	55.6	11.1	11.1	—	11.1	—	—

【災害が発生した場合の情報源別】

災害が発生した場合の情報源別でみると、どの情報源も「地震」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地震	津波	火災	台風などによる 風水害	土砂災害	高潮	液状化現象	大規模災害 航空機 事故、列車 事故等	その他	無回答
テレビ	600	94.8	39.0	41.2	62.8	13.3	15.3	7.2	3.2	1.0	0.3
ラジオ	337	95.3	37.1	43.3	63.2	14.2	16.0	8.3	4.2	0.9	0.6
防災行政無線(こ うほうがまごおり) の放送	318	94.7	41.2	45.6	65.7	17.6	16.7	10.7	4.7	1.3	—
防災ラジオ	174	95.4	47.7	44.3	64.4	13.8	22.4	13.2	5.7	0.6	0.6
インターネット(ホ ームページ、SN S)	354	94.1	51.4	35.0	57.6	15.5	15.0	8.8	4.0	0.8	0.3
メール配信(安心 ひろめーる)	197	95.4	45.2	40.6	64.0	16.2	20.3	12.7	4.1	1.0	—
家族や隣近所、知 人の方々の話	222	96.8	44.1	55.9	66.2	18.0	18.5	9.5	5.4	1.8	—
その他	6	100.0	33.3	50.0	50.0	33.3	16.7	—	—	—	—

【事業者に力を入れて欲しい対策別】

事業者に力を入れて欲しい対策別でみると、どの対策も「地震」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地震	津波	火災	水害 台風などによる風	土砂災害	高潮	液化化現象	大規模災害 航空機 事故、列車事故等	その他	無回答
食料、飲料水、医薬品、毛布、仮設トイレなど防災資機材の備蓄	672	95.4	41.2	41.5	60.7	15.2	15.2	7.7	3.6	0.6	0.1
電気、ガス、水道などライフライン施設の耐震性の向上	603	95.5	39.8	43.6	63.5	14.9	15.6	8.1	3.6	0.8	0.5
災害時における迅速な被害状況の把握と情報提供(通信網の整備)	426	96.0	46.7	44.1	65.0	15.0	18.8	8.2	4.7	0.9	—
応急仮設住宅の速やかな手配	385	97.7	47.5	48.6	64.9	18.2	18.2	9.9	4.7	0.3	—
災害時の心得や地震など防災知識の普及、防災訓練の充実	149	95.3	51.0	50.3	63.8	19.5	22.1	9.4	7.4	1.3	—
ボランティアの受け入れ、活用体制の整備	196	95.4	52.6	45.9	62.2	17.3	19.4	9.7	6.1	1.0	—
建築物(住宅を含む)の耐震化の促進	208	95.2	49.0	47.1	60.1	20.2	18.3	10.6	6.3	1.4	—
消防力(消防車、レスキュー車など)の増強	213	96.7	51.6	49.3	66.7	19.2	22.5	12.2	6.1	—	—
災害時要援護者対策	159	96.2	52.8	47.8	67.3	18.2	22.0	9.4	9.4	—	—
その他	16	75.0	75.0	31.3	56.3	18.8	12.5	18.8	—	18.8	—

【避難所の認知度別】

避難所の認知度別でみると、大きな差異はみられません。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地震	津波	火災	水害 台風などによる風	土砂災害	高潮	液化化現象	大規模災害 航空機 事故、列車事故等	その他	無回答
知っている	592	94.6	39.5	40.7	59.3	13.3	15.5	7.8	3.5	0.8	0.5
知らない	170	91.2	41.8	36.5	56.5	15.3	15.3	8.8	1.8	1.8	—

【災害用伝言ダイヤル171及び災害用伝言板の認知度別】

災害用伝言ダイヤル171及び災害用伝言板の認知度別でみると、他に比べ、知っており、利用したことがある（体験利用含む）で「地震」の割合が、知っているが、利用したことはない（体験利用含む）で「台風などによる風水害」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地震	津波	火災	水害 台風などによる風	土砂災害	高潮	液状化現象	大規模災害 航空機 事故、列車事故等	その他	無回答
知っており、利用したことがある (体験利用含む)	41	97.6	24.4	39.0	46.3	19.5	4.9	2.4	2.4	—	—
知っているが、利用したことはない (体験利用含む)	430	95.1	40.7	40.2	61.9	14.0	15.8	9.5	3.7	0.2	0.2
知らない	292	90.8	40.4	39.0	55.5	12.7	16.1	6.5	2.1	2.4	0.7

【近所づきあいの程度別】

近所づきあいの程度別でみると、他に比べ、とても親しく付き合っている、わりと親しく付き合っている、あいさつ程度の付き合いで「地震」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地震	津波	火災	水害 台風などによる風	土砂災害	高潮	液状化現象	大規模災害 航空機 事故、列車事故等	その他	無回答
とても親しく付き合っている	40	95.0	47.5	40.0	52.5	20.0	12.5	5.0	5.0	—	—
わりと親しく付き合っている	236	95.8	35.2	42.4	64.4	11.4	17.8	8.9	3.8	0.8	0.8
あいさつ程度の付き合い	403	93.3	40.9	40.0	58.8	13.9	15.1	8.2	2.5	1.2	0.2
ほとんど付き合いがない	88	89.8	45.5	30.7	48.9	19.3	11.4	5.7	3.4	1.1	—

【自主防災会活動への参加経験別】

自主防災会活動への参加経験別でみると、他に比べ、自主防災活動は行われているが参加したことはないで「地震」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地震	津波	火災	水害 台風などによる風	土砂災害	高潮	液状化現象	大規模災害 航空機 事故、列車事故等	その他	無回答
ほとんど参加している (参加するよう努めている)	43	93.0	27.9	32.6	67.4	11.6	18.6	14.0	2.3	—	—
年に1度くらいは参加している (参加するよう努めている)	84	91.7	32.1	45.2	65.5	16.7	20.2	8.3	1.2	1.2	1.2
過去に参加したことはある	282	93.6	34.8	44.0	59.9	12.4	13.5	9.2	3.5	0.7	0.7
自主防災活動は行われているが参加したことはない	128	97.7	42.2	42.2	57.8	12.5	15.6	7.0	4.7	2.3	—
自主防災活動があるかどうかわからないので参加したことがない	151	94.7	49.0	36.4	57.6	16.6	18.5	6.0	4.0	1.3	—
参加したいと思わない	81	87.7	51.9	27.2	49.4	16.0	9.9	4.9	—	—	—

【自主防災組織の活動に期待する活動別】

自主防災組織の活動に期待する活動別でみると、どの活動においても「地震」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地震	津波	火災	水害 台風などによる風	土砂災害	高潮	液状化現象	大規模災害 航空機 事故、列車事故等	その他	無回答
防災訓練の実施	196	93.4	41.8	40.8	61.7	13.8	18.4	10.2	3.6	1.5	—
地域の災害危険の把握	211	96.2	39.8	43.6	62.1	15.2	16.6	7.1	3.3	0.9	—
防災資機材の備蓄	144	96.5	47.2	42.4	69.4	24.3	19.4	12.5	4.2	—	—
情報の収集、伝達	239	94.1	34.3	44.8	61.9	15.1	12.6	7.1	2.9	1.3	—
避難所の運営	204	94.6	45.6	39.2	58.3	17.2	21.6	9.3	2.0	—	—
給食、給水活動	277	96.8	40.8	44.8	63.2	13.7	16.2	7.6	3.2	0.7	—
応急救護、救出活動	205	97.1	43.9	42.4	61.0	15.6	17.1	9.3	4.4	—	—
初期消火活動	50	96.0	38.0	42.0	70.0	14.0	14.0	2.0	8.0	—	—
避難誘導の指示	131	96.2	42.0	48.1	69.5	13.0	16.0	9.9	4.6	1.5	0.8
特に期待することはない	46	84.8	39.1	26.1	50.0	13.0	6.5	4.3	—	4.3	—
その他	8	87.5	50.0	25.0	37.5	—	12.5	—	—	12.5	—

【南海トラフ地震への関心度別】

南海トラフ地震への関心度別でみると、いいえに比べ、はいで「地震」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地震	津波	火災	水害 台風などによる風	土砂災害	高潮	液状化現象	大規模災害 航空機 事故、列車事故等	その他	無回答
はい	618	95.5	41.6	40.9	60.0	15.9	16.0	9.1	3.7	1.0	0.2
いいえ	15	73.3	46.7	6.7	46.7	6.7	6.7	—	—	—	—
どちらともいえない	137	88.3	32.1	38.7	54.7	6.6	13.9	3.6	0.7	1.5	1.5

【地震に備えて家具などを固定しているか別】

地震に備えて家具などを固定しているか別でみると、他に比べ、一部分固定しているで「地震」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地震	津波	火災	水害 台風などによる風	土砂災害	高潮	液状化現象	大規模災害 航空機 事故、列車事故等	その他	無回答
大部分固定している	69	89.9	34.8	43.5	59.4	17.4	17.4	4.3	5.8	2.9	1.4
一部分固定している	391	95.7	42.5	41.2	57.3	14.6	14.6	8.2	3.3	—	—
全く固定していない	310	92.3	38.1	37.1	60.3	12.6	16.1	8.4	2.3	1.9	0.6

【非常用の食料を用意している日数別】

非常用の食料を用意している日数別でみると、他に比べ、1週間以上で「地震」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地震	津波	火災	水害 台風などによる風	土砂災害	高潮	液状化現象	大規模災害 航空機 事故、列車事故等	その他	無回答
1日分	96	91.7	37.5	41.7	53.1	18.8	8.3	8.3	3.1	1.0	—
2日分	134	94.8	32.8	42.5	65.7	7.5	11.9	6.0	2.2	1.5	0.7
3日分	179	94.4	44.1	41.3	58.1	16.2	17.9	10.1	4.5	1.7	0.6
4日以上1週間未満	42	92.9	26.2	28.6	57.1	14.3	14.3	7.1	4.8	—	2.4
1週間以上	21	85.7	38.1	28.6	71.4	28.6	14.3	—	—	—	4.8
用意していない	287	94.1	43.2	39.4	57.1	12.9	17.1	7.7	2.4	0.7	0.3

【非常用の飲料水を用意している日数別】

非常用の飲料水を用意している日数別でみると、他に比べ、1週間以上で「地震」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地震	津波	火災	水害 台風などによる風	土砂災害	高潮	液状化現象	大規模災害 事故、列車事故等 (航空機)	その他	無回答
1日分	141	94.3	34.8	42.6	54.6	12.1	10.6	6.4	1.4	1.4	—
2日分	131	95.4	42.7	39.7	57.3	13.0	14.5	9.9	4.6	0.8	0.8
3日分	152	96.7	38.2	42.8	63.8	15.1	20.4	10.5	4.6	1.3	—
4日以上1週間未満	57	93.0	36.8	36.8	59.6	8.8	17.5	8.8	1.8	—	3.5
1週間以上	35	85.7	40.0	40.0	65.7	25.7	11.4	2.9	2.9	—	2.9
用意していない	245	92.2	42.4	37.1	58.0	14.7	14.7	6.1	2.9	0.8	0.4

【大規模地震に備えていること別】

大規模地震に備えていること別でみると、他に比べ、ガラスの飛散防止対策をしているで「地震」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地震	津波	火災	水害 台風などによる風	土砂災害	高潮	液状化現象	大規模災害 事故、列車事故等 (航空機)	その他	無回答
携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品、飲料水、非常食、衣類、毛布などを準備している	314	95.5	38.5	39.5	61.5	14.6	16.9	10.5	5.7	1.6	1.0
近くの学校や公園など避難する場所や避難経路を確認している	228	97.8	43.9	45.2	63.2	13.6	16.7	6.6	5.3	0.4	0.9
風呂に水をためおきしている	86	95.3	36.0	46.5	68.6	15.1	22.1	10.5	5.8	—	—
貴重品などをすぐ持ち出せるようにしている	102	96.1	49.0	45.1	69.6	19.6	24.5	10.8	7.8	2.0	—
ガラスの飛散防止対策をしている	32	100.0	46.9	50.0	50.0	21.9	18.8	9.4	6.3	—	—
家族との連絡方法、離ればなれになったときの落ち合う場所を決めている	162	96.9	46.9	46.3	64.2	11.7	17.9	8.6	1.9	1.2	0.6
防災について家族の役割を決めている	5	80.0	60.0	20.0	40.0	—	20.0	—	—	—	—
特に何もしていない	237	91.1	38.4	36.3	53.2	13.5	11.4	6.8	0.8	1.3	—
その他	8	100.0	37.5	37.5	62.5	25.0	12.5	—	—	—	—

【耐震診断の受診別】

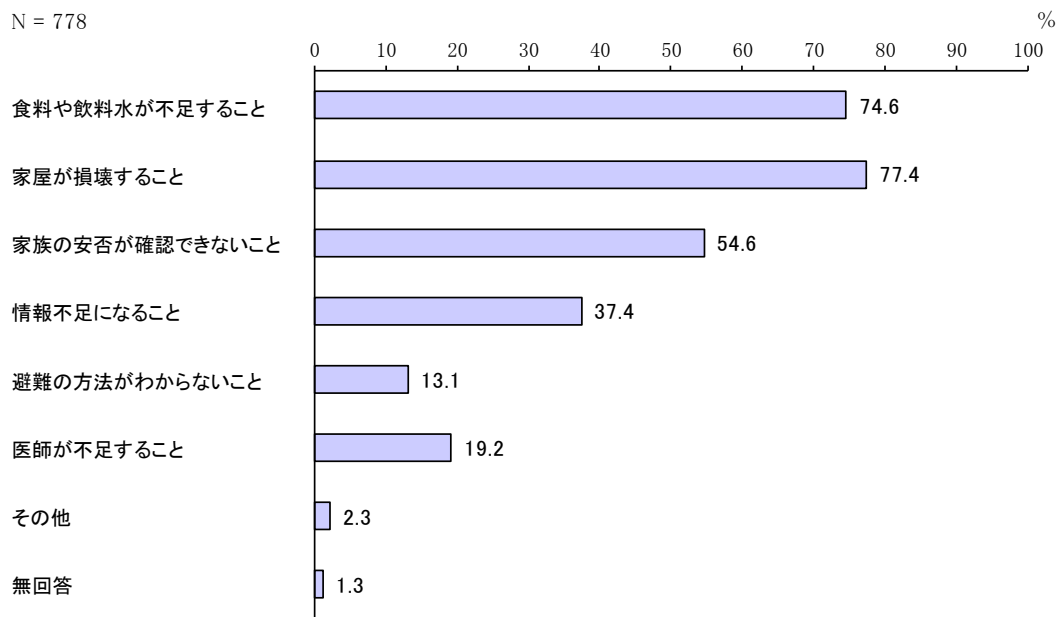
耐震診断の受診別でみると、他に比べ、耐震診断は受けていないが、受けたいと思うで「地震」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地震	津波	火災	水害 台風などによる風	土砂災害	高潮	液化化現象	大規模災害 航空機 事故、列車事故等	その他	無回答
すでに耐震診断を受けた	69	97.1	24.6	50.7	62.3	13.0	10.1	1.4	2.9	2.9	1.4
耐震診断は受けていないが、受けたいと思う	74	91.9	31.1	48.6	64.9	14.9	17.6	6.8	4.1	—	1.4
耐震診断は受けていない、受けたいと思わない	85	96.5	28.2	47.1	65.9	4.7	16.5	8.2	1.2	1.2	1.2

問 38 災害にあったとき、不安に感じるのは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「家屋が損壊すること」の割合が 77.4%と最も高く、次いで「食料や飲料水が不足すること」の割合が 74.6%、「家族の安否が確認できないこと」の割合が 54.6%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「家屋が損壊すること」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、20歳未満、20歳代、40歳代で「家族の安否が確認できないこと」の割合が高く、6割台が半ばとなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	食料や飲料水が 不足すること	家屋が損壊すること	家族の安否が 確認できないこと	情報不足になること	避難の方法がわから ないこと	医師が不足すること	その他	無回答
20歳未満	59	74.6	59.3	64.4	37.3	13.6	18.6	1.7	3.4
20歳代	87	75.9	72.4	66.7	37.9	17.2	21.8	1.1	1.1
30歳代	91	80.2	75.8	57.1	37.4	17.6	22.0	6.6	—
40歳代	100	78.0	80.0	64.0	33.0	17.0	18.0	2.0	—
50歳代	113	74.3	79.6	55.8	37.2	8.0	11.5	2.7	1.8
60歳代	154	74.0	85.7	50.0	42.2	8.4	22.7	0.6	—
70歳以上	170	70.6	75.9	41.8	35.9	14.1	19.4	2.4	2.9

【中学校区別】

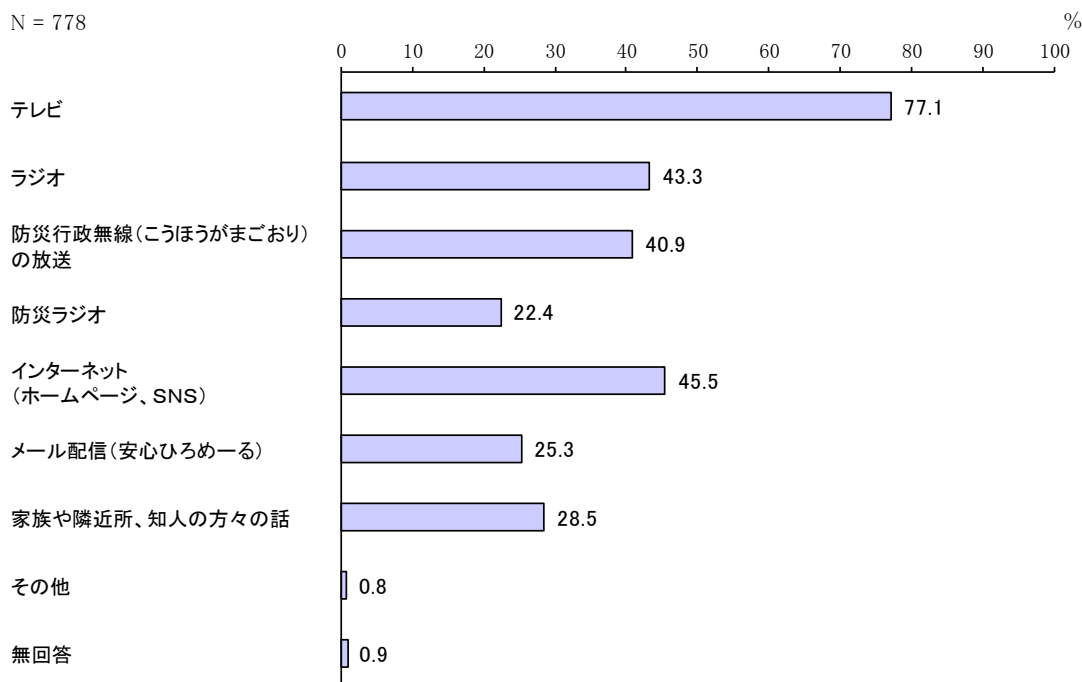
中学校区別でみると、他に比べ、大塚中学校区、塩津中学校区で「食料や飲料水が不足すること」「家族の安否が確認できないこと」の割合が、塩津中学校区で「家屋が損壊すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	食料や飲料水が 不足すること	家屋が損壊すること	家族の安否が 確認できないこと	情報不足になること	避難の方法がわから ないこと	医師が不足すること	その他	無回答
大塚中学校区	60	78.3	78.3	63.3	40.0	16.7	18.3	1.7	—
三谷中学校区	106	73.6	74.5	46.2	33.0	14.2	20.8	0.9	2.8
蒲郡中学校区	162	75.3	75.3	54.9	38.9	15.4	22.2	2.5	1.2
中部中学校区	114	71.1	74.6	56.1	43.0	7.9	19.3	3.5	1.8
塩津中学校区	92	80.4	84.8	65.2	34.8	13.0	14.1	1.1	1.1
形原中学校区	152	75.7	78.3	55.3	38.8	13.2	20.4	3.3	—
西浦中学校区	58	72.4	75.9	41.4	29.3	12.1	10.3	1.7	1.7
わからない	9	55.6	88.9	55.6	44.4	33.3	33.3	—	—

問 39 災害が発生した場合、どの情報源を活用しますか。
(あてはまるものすべてに○)

「テレビ」の割合が 77.1%と最も高く、次いで「インターネット（ホームページ、SNS）」の割合が 45.5%、「ラジオ」の割合が 43.3%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「インターネット（ホームページ、SNS）」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、70歳以上で「防災行政無線（こうほうがまごおり）の放送」の割合が、40歳代で「メール配信（安心ひろめーる）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	テレビ	ラジオ	防災行政無線(こうほうがまごおり)の放送	防災ラジオ	インターネット(ホームページ、SNS)	メール配信(安心ひろめーる)	家族や隣近所、知人の方々の話	その他	無回答
20歳未満	59	67.8	33.9	27.1	13.6	81.4	13.6	23.7	1.7	—
20歳代	87	66.7	36.8	39.1	26.4	72.4	17.2	23.0	—	1.1
30歳代	91	71.4	36.3	35.2	18.7	72.5	33.0	28.6	2.2	—
40歳代	100	78.0	34.0	41.0	21.0	71.0	46.0	33.0	—	—
50歳代	113	81.4	45.1	34.5	14.2	44.2	32.7	24.8	0.9	0.9
60歳代	154	82.5	48.1	40.9	21.4	21.4	25.3	29.2	—	0.6
70歳以上	170	80.6	52.9	53.5	32.4	13.5	12.9	31.8	1.2	2.4

【中学校区別】

中学校区別で見ると、他に比べ、大塚中学校区、形原中学校区で「ラジオ」の割合が高く、約5割となっています。

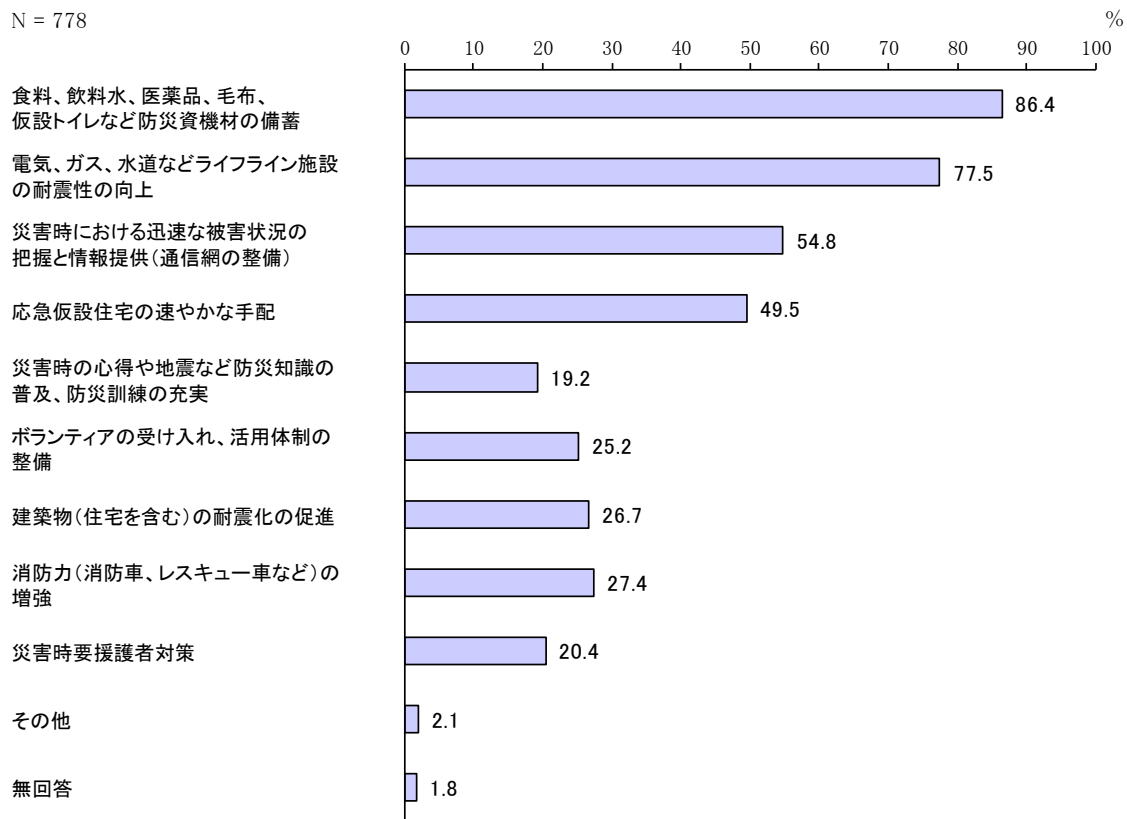
単位：%

区分	有効回答数 (件)	テレビ	ラジオ	防災行政無線 (ごまごおり) の放送	防災ラジオ	インターネット ホームページ、 SNS	メール配信 (安心ひろめる)	家族や隣近所、 知人の方々の話	その他	無回答
大塚中学校区	60	71.7	51.7	40.0	18.3	38.3	23.3	26.7	—	—
三谷中学校区	106	80.2	39.6	45.3	28.3	44.3	31.1	23.6	—	1.9
蒲郡中学校区	162	75.3	42.0	40.1	21.6	48.8	25.3	30.2	2.5	0.6
中部中学校区	114	79.8	44.7	36.8	20.2	48.2	27.2	28.1	—	2.6
塩津中学校区	92	76.1	34.8	47.8	26.1	48.9	27.2	31.5	1.1	—
形原中学校区	152	76.3	48.0	42.1	22.4	48.7	23.0	27.6	0.7	—
西浦中学校区	58	79.3	43.1	31.0	15.5	43.1	27.6	34.5	—	—
わからない	9	100.0	33.3	11.1	22.2	44.4	11.1	22.2	—	—

問 40 防災対策全般について、県、市、ライフライン事業者に力を入れて欲しい対策は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「食料、飲料水、医薬品、毛布、仮設トイレなど防災資機材の備蓄」の割合が86.4%と最も高く、次いで「電気、ガス、水道などライフライン施設の耐震性の向上」の割合が77.5%、「災害時における迅速な被害状況の把握と情報提供(通信網の整備)」の割合が54.8%となっています。

N = 778



【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳未満、20歳代で「応急仮設住宅の速やかな手配」の割合が高く、約6割となっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	食料、飲料水、医薬品、毛布、仮設 トイレなど防災資機材の備蓄	電気、ガス、水道などライフ ライン施設の耐震性の向上	災害時における迅速な被害状況の 把握と情報提供（通信網の整備）	応急仮設住宅の速やかな手配	災害時の心得や地震など防災知識 の普及、防災訓練の充実	ボランティアの受け入れ、 活用体制の整備	建築物（住宅を含む）の 耐震化の促進	消火力（消防車、レスキュー車 など）の増強	災害時要援護者対策	その他	無回答
20歳未満	59	81.4	64.4	59.3	62.7	33.9	28.8	32.2	33.9	18.6	8.5	1.7
20歳代	87	92.0	75.9	60.9	63.2	24.1	35.6	42.5	32.2	23.0	2.3	1.1
30歳代	91	86.8	79.1	53.8	49.5	17.6	34.1	34.1	30.8	19.8	1.1	—
40歳代	100	87.0	74.0	54.0	42.0	18.0	26.0	18.0	20.0	15.0	4.0	—
50歳代	113	89.4	78.8	63.7	46.0	19.5	24.8	31.9	31.0	21.2	0.9	0.9
60歳代	154	85.1	82.5	51.3	51.9	10.4	15.6	17.5	23.4	16.2	1.9	0.6
70歳以上	170	84.1	78.8	48.2	41.8	20.6	22.9	22.9	25.3	25.9	—	5.9

【中学校区別】

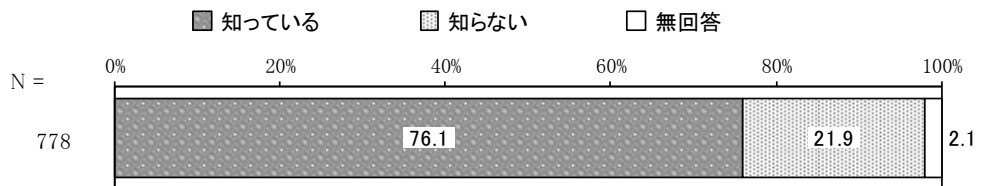
中学校区別でみると、他に比べ、塩津中学校区で「電気、ガス、水道などライフライン施設の耐震性の向上」の割合が高く、約9割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	食料、飲料水、医薬品、毛布、仮設トイレなど防災資機材の備蓄	電気、ガス、水道などライフライン施設の耐震性の向上	災害時における迅速な被害状況の把握と情報提供(通信網の整備)	応急仮設住宅の速やかな手配	災害時の心得や地震など防災知識の普及、防災訓練の充実	ボランティアの受け入れ、活用体制の整備	建築物(住宅を含む)の耐震化の促進	消防力(消防車、レスキュー車など)の増強	災害時要援護者対策	その他	無回答
大塚中学校区	60	86.7	81.7	56.7	53.3	16.7	21.7	33.3	30.0	11.7	1.7	—
三谷中学校区	106	89.6	73.6	56.6	44.3	23.6	25.5	27.4	29.2	22.6	4.7	1.9
蒲郡中学校区	162	86.4	79.6	56.8	52.5	19.8	32.7	22.8	25.9	21.0	1.9	0.6
中部中学校区	114	86.8	76.3	52.6	43.0	19.3	19.3	30.7	25.4	17.5	0.9	3.5
塩津中学校区	92	88.0	88.0	48.9	53.3	15.2	18.5	26.1	25.0	25.0	1.1	—
形原中学校区	152	86.8	76.3	57.9	49.3	19.1	30.3	25.0	27.6	22.4	0.7	1.3
西浦中学校区	58	81.0	72.4	51.7	51.7	15.5	20.7	29.3	20.7	13.8	3.4	3.4
わからない	9	88.9	66.7	66.7	77.8	44.4	33.3	44.4	77.8	33.3	—	—

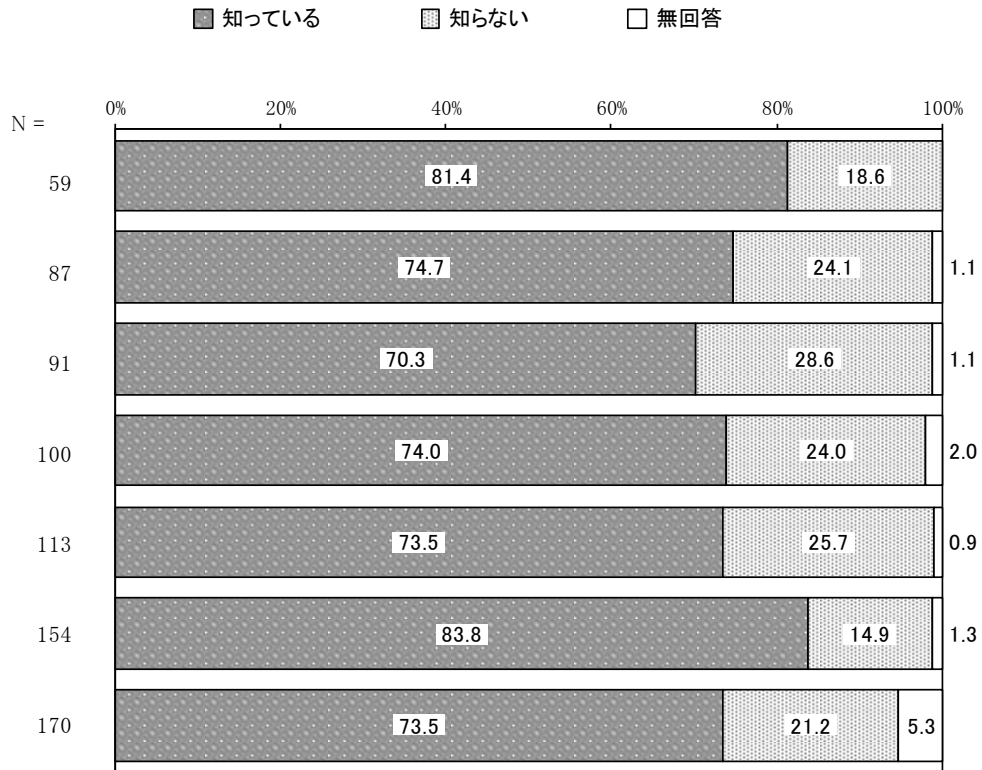
問 41 自宅近くの避難所を知っていますか。(○は1つだけ)
(避難場所の名称がわかる場合は記入してください。)

「知っている」の割合が76.1%、「知らない」の割合が21.9%となっています。



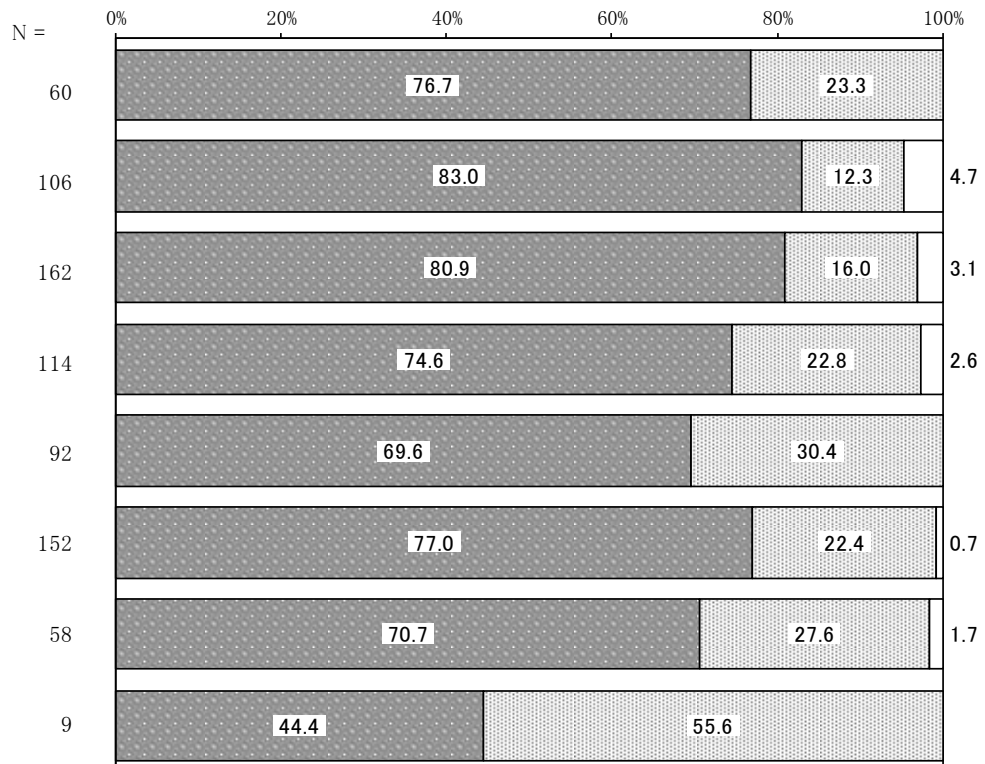
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳未満、60歳代で「知っている」の割合が高く、約8割となっています。



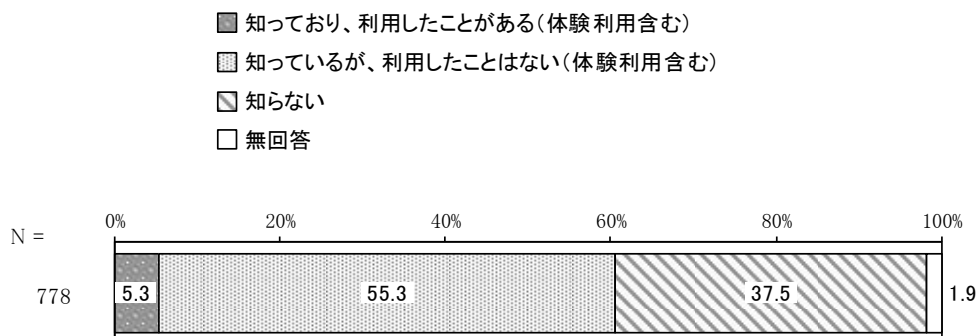
【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、三谷中学校区、蒲郡中学校区で「知っている」の割合が高く、約8割となっています。また、塩津中学校区で「知らない」の割合が高く、約3割となっています。



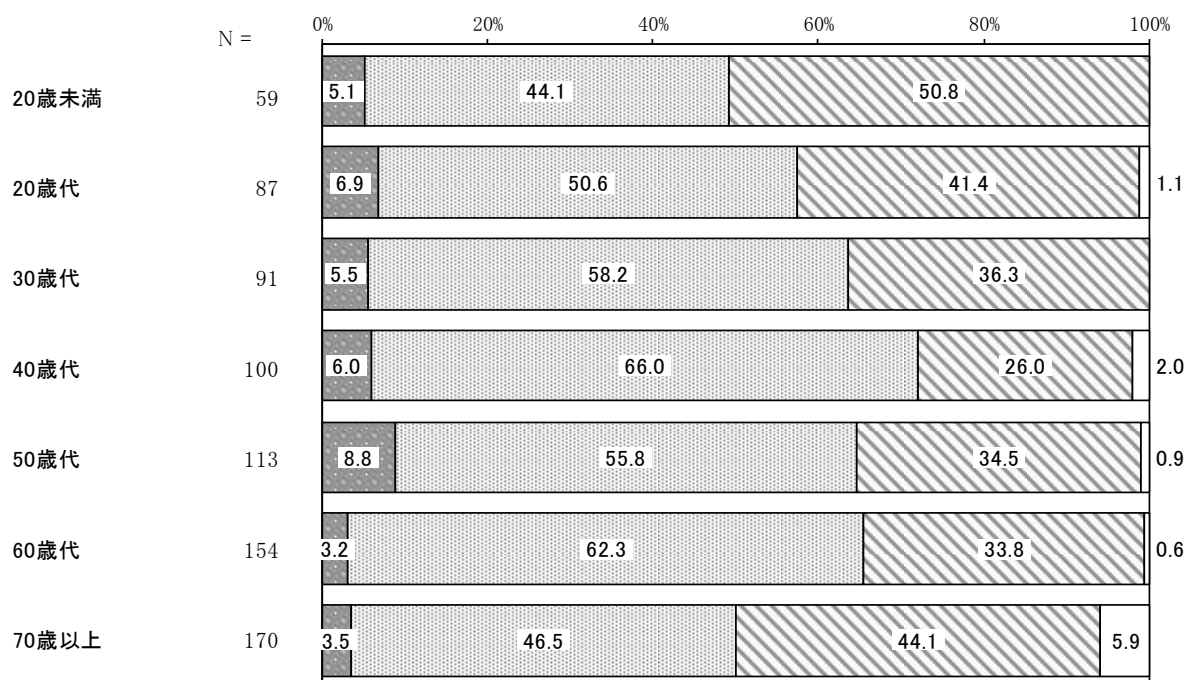
問 42 災害用伝言ダイヤル171及び災害用伝言板を知っていますか。
(○は1つだけ)

「知っているが、利用したことはない(体験利用含む)」の割合が55.3%と最も高く、次いで「知らない」の割合が37.5%、「知っており、利用したことがある(体験利用含む)」の割合が5.3%となっています。



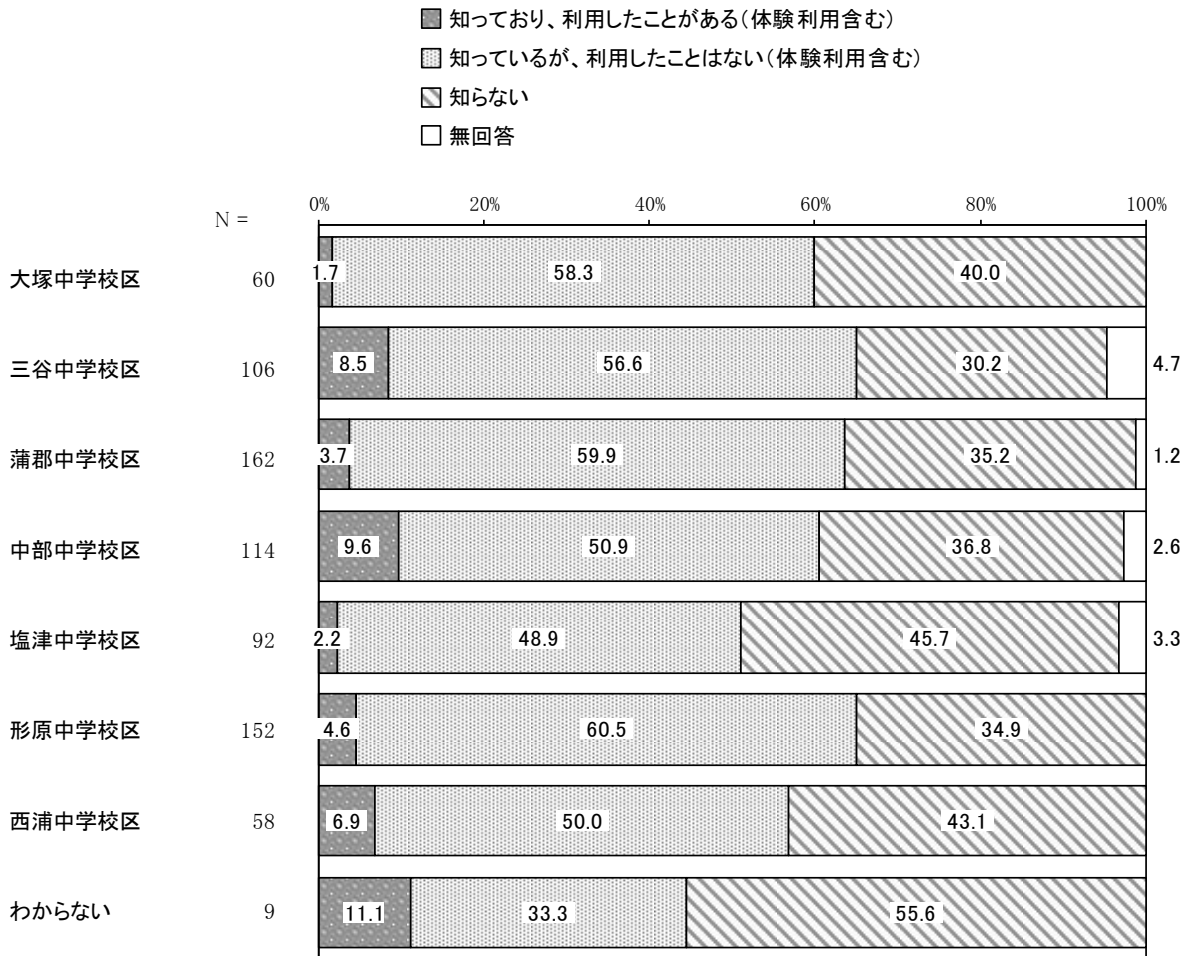
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、40歳代で「知っているが、利用したことはない(体験利用含む)」の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、20歳未満で「知らない」の割合が高く、約5割となっています。



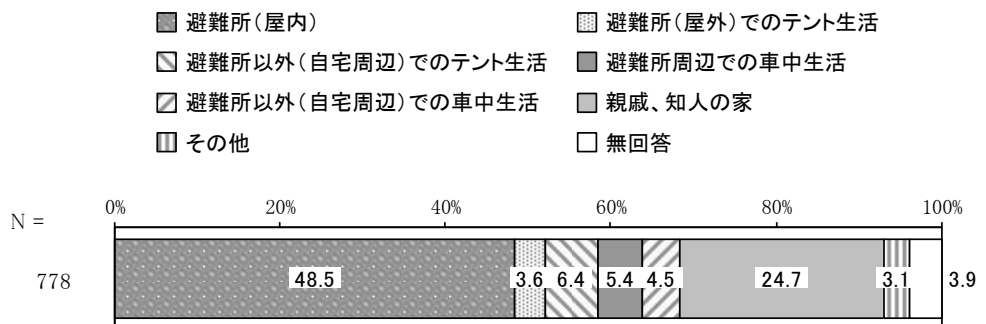
【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、塩津中学校区で「知らない」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



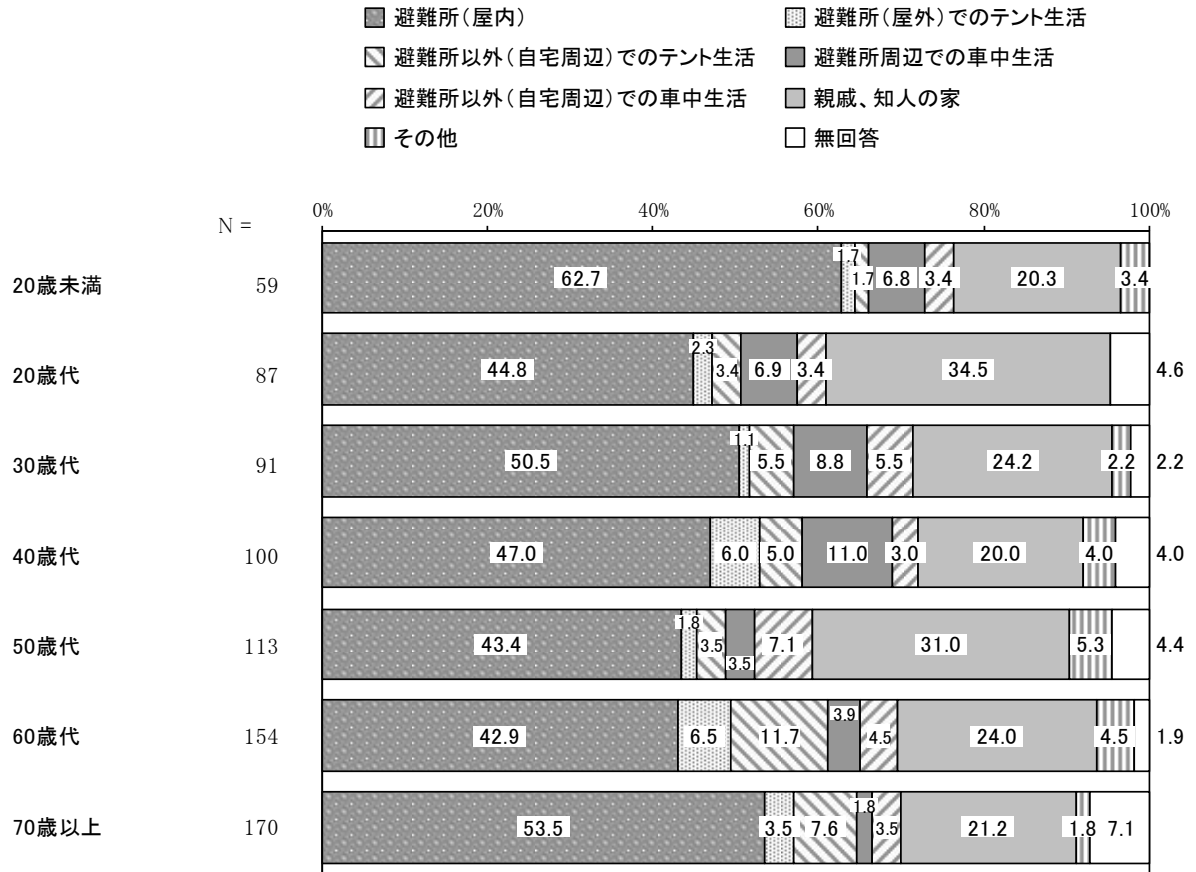
問 43 自宅が被災（全壊）した場合、どこで避難生活を送りたいですか。（○は1つだけ）

「避難所（屋内）」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「親戚、知人の家」の割合が 24.7%、「避難所以外（自宅周辺）でのテント生活」の割合が 6.4%となっています。



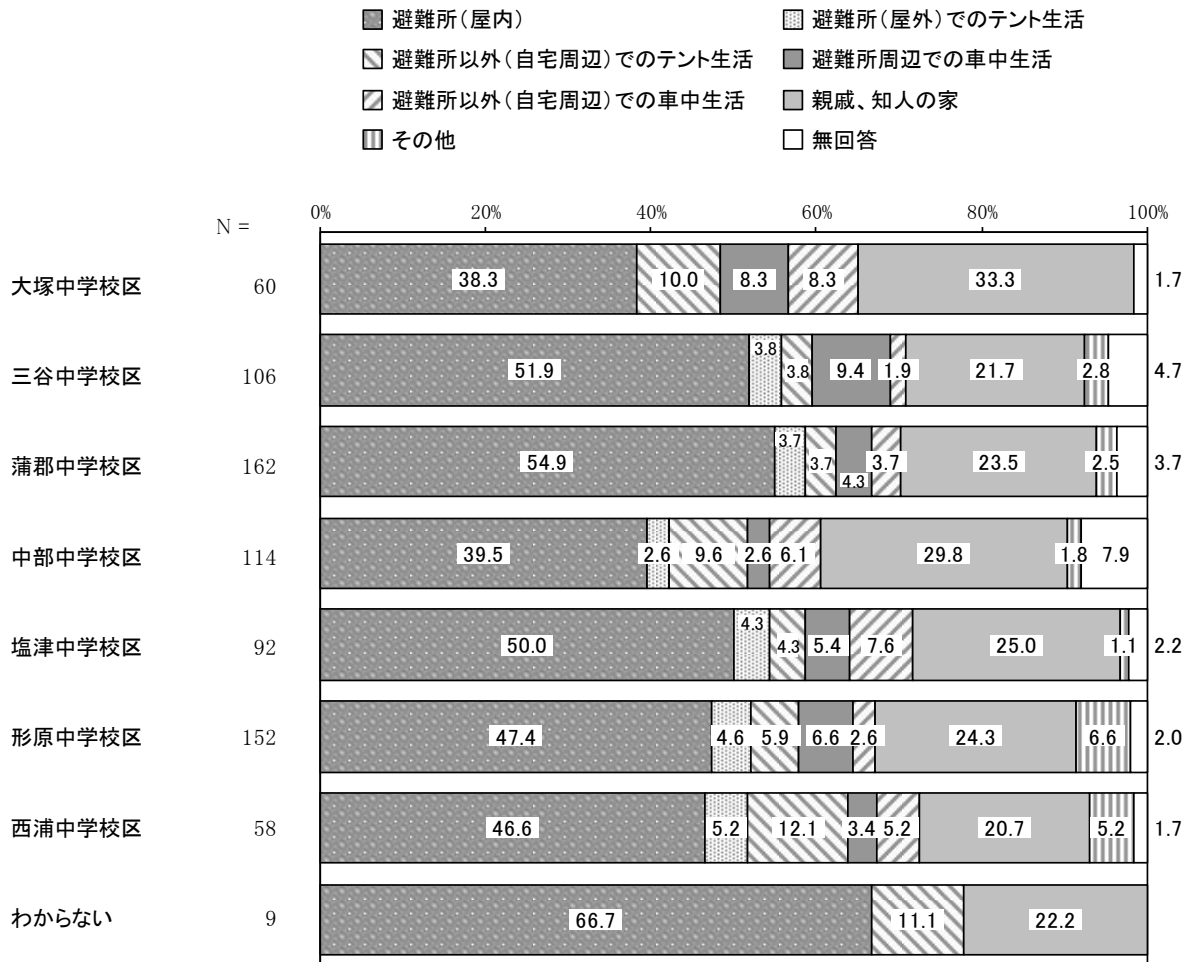
【年齢別】

年齢別でみると、20歳未満で「避難所（屋内）」の割合が高く、約6割となっています。また、20歳代で「親戚、知人の家」の割合が3割台半ば、60歳代で「避難所以外（自宅周辺）でのテント生活」が約1割と他の年代と比べ割合が高くなっています。



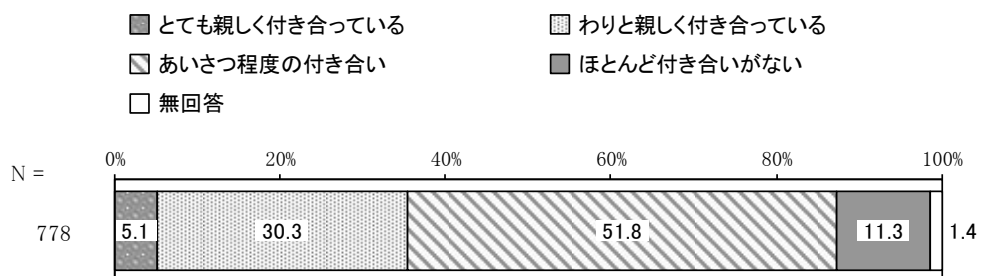
【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、蒲郡中学校区で「避難所（屋内）」の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、大塚中学校区で「親戚、知人の家」の割合が高く、約3割となっています。



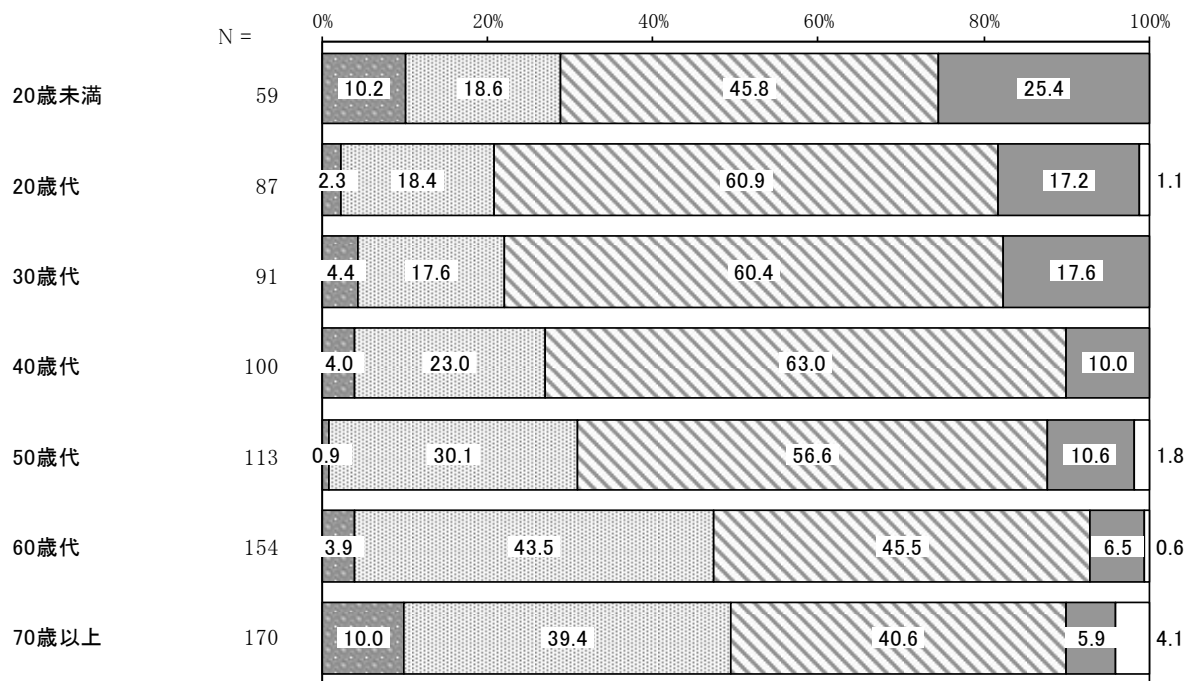
問 44 普段ご近所との付き合いをどの程度していますか。(○は1つだけ)

「あいさつ程度の付き合い」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「わりと親しく付き合っている」の割合が 30.3%、「ほとんど付き合いがない」の割合が 11.3%となっています。



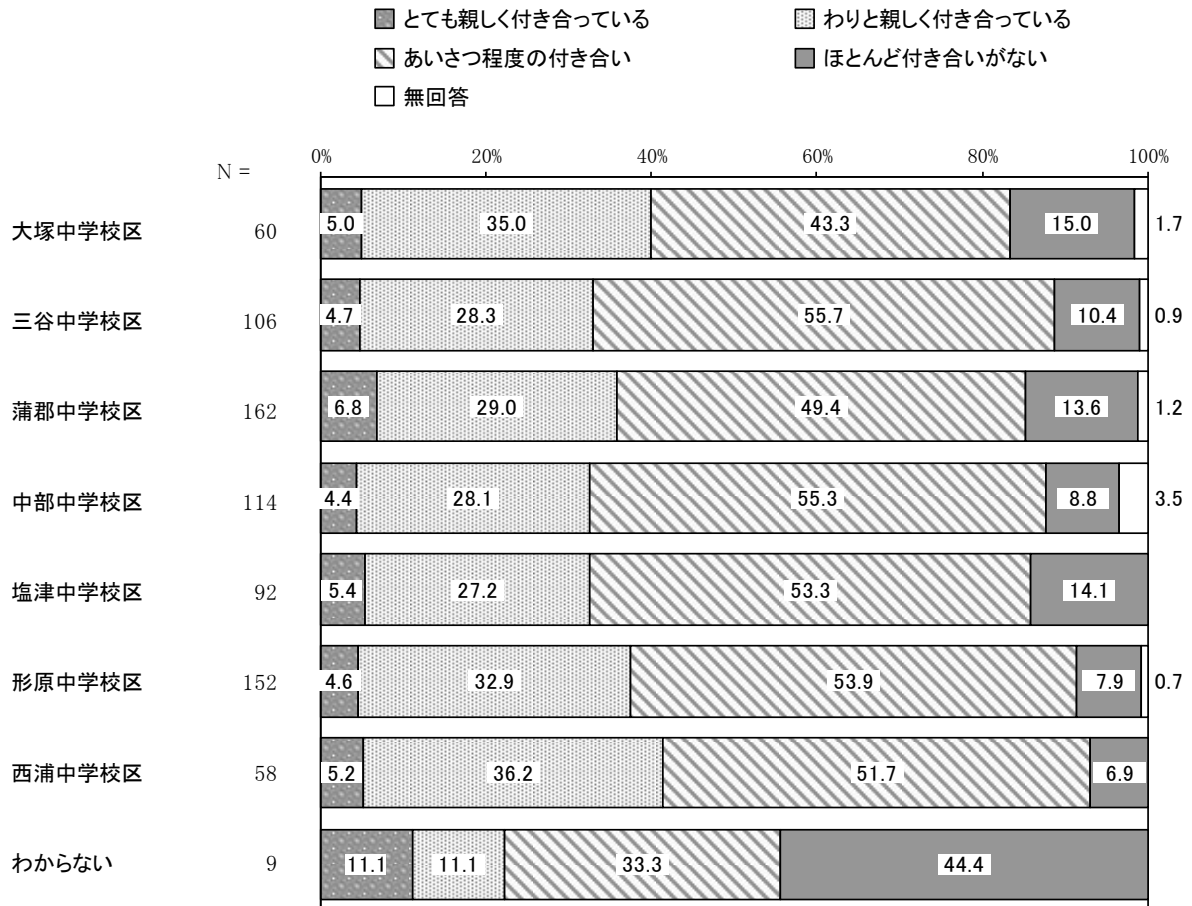
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「ほとんど付き合いがない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、20歳代から40歳代で「あいさつ程度の付き合い」の割合が高く、6割以上となっています。



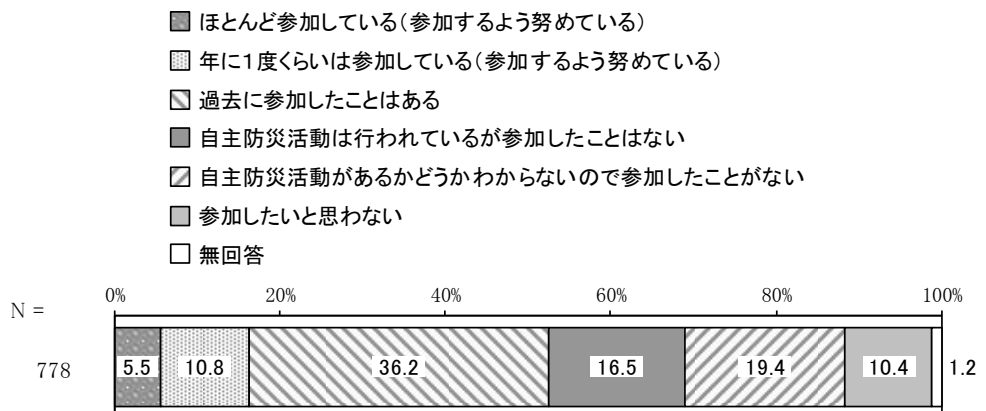
【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、大塚中学校区、西浦中学校区で「わりと親しく付き合っている」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



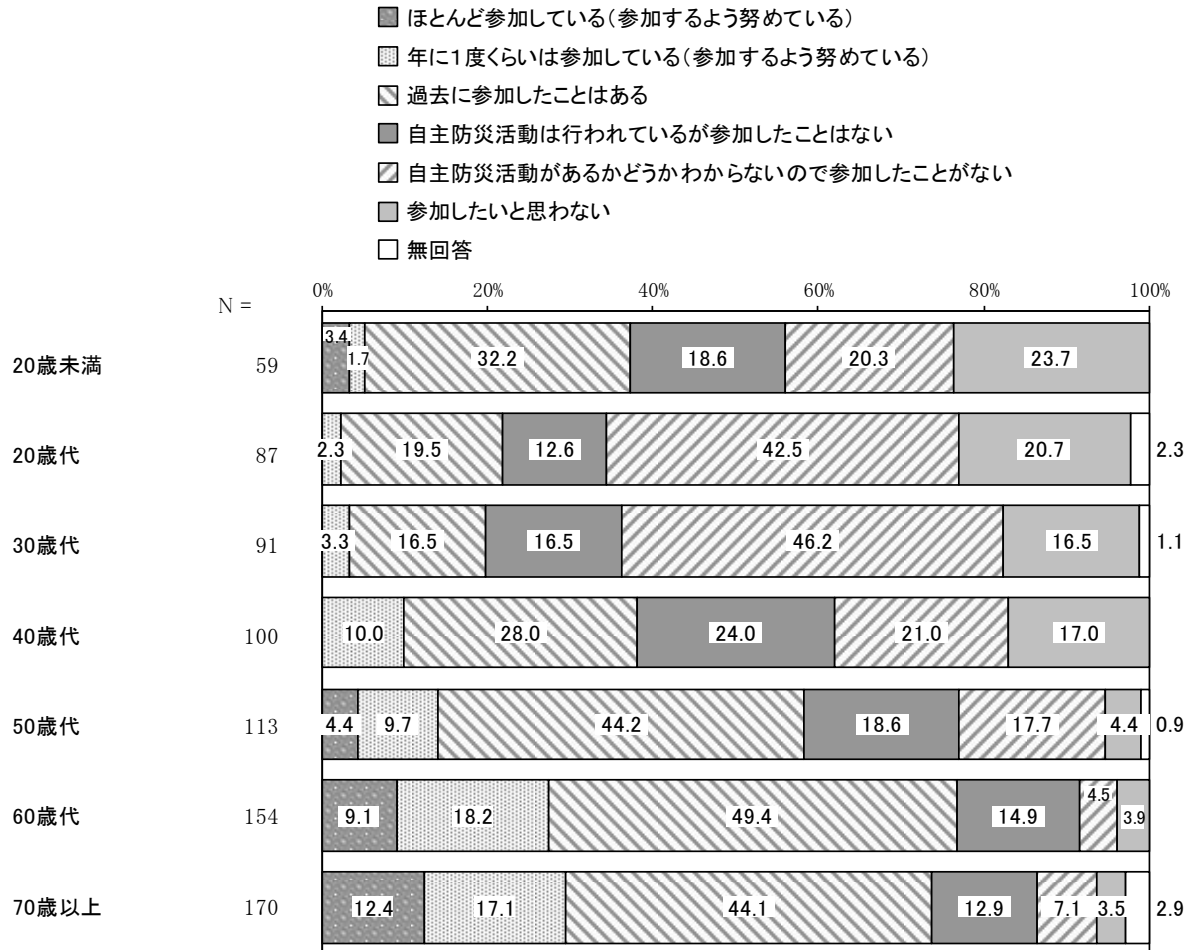
問 45 自主防災会活動に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

「過去に参加したことはある」の割合が36.2%と最も高く、次いで「自主防災活動があるかどうか分からないので参加したことがない」の割合が19.4%、「自主防災活動は行われているが参加したことはない」の割合が16.5%となっています。



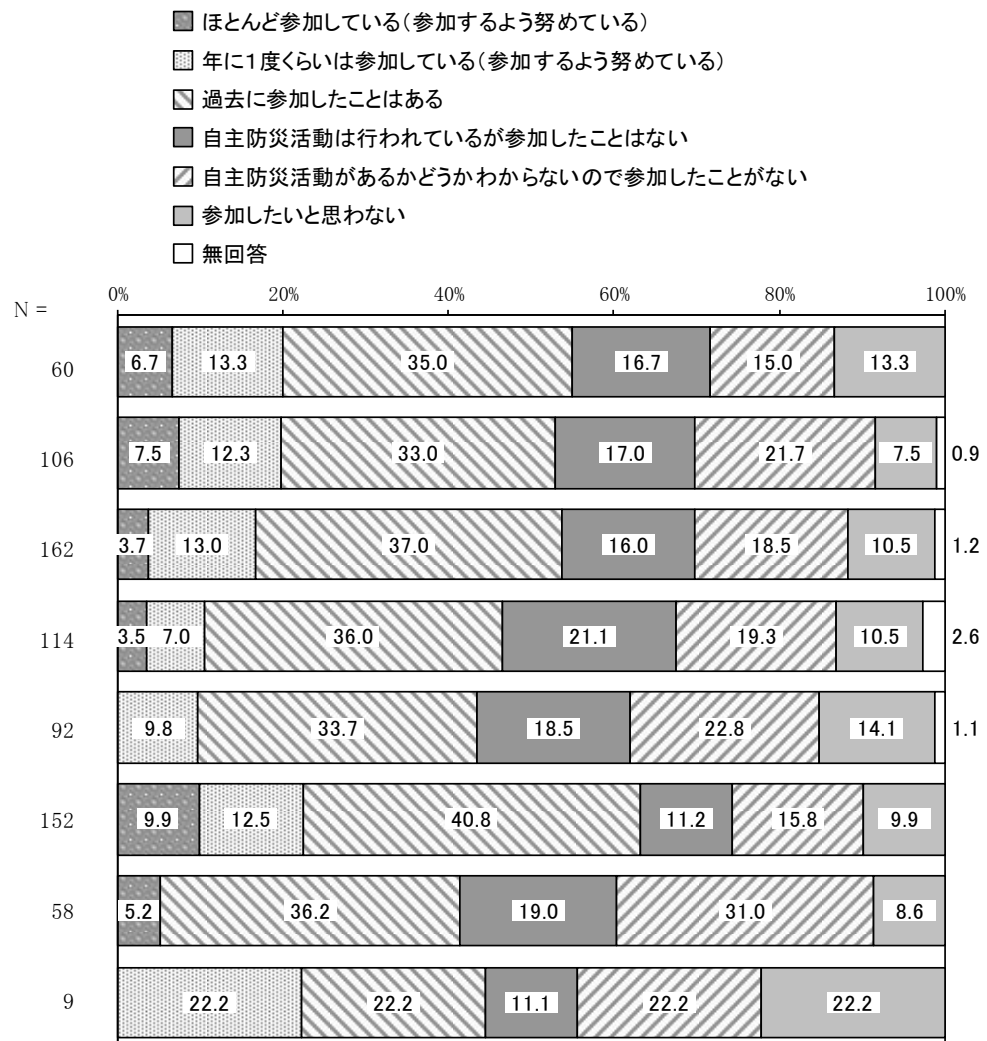
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「参加したいと思わない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、60歳代で「過去に参加したことはある」の割合が、20歳代、30歳代で「自主防災活動があるかどうかわからないので参加したことがない」の割合が高くなっています。



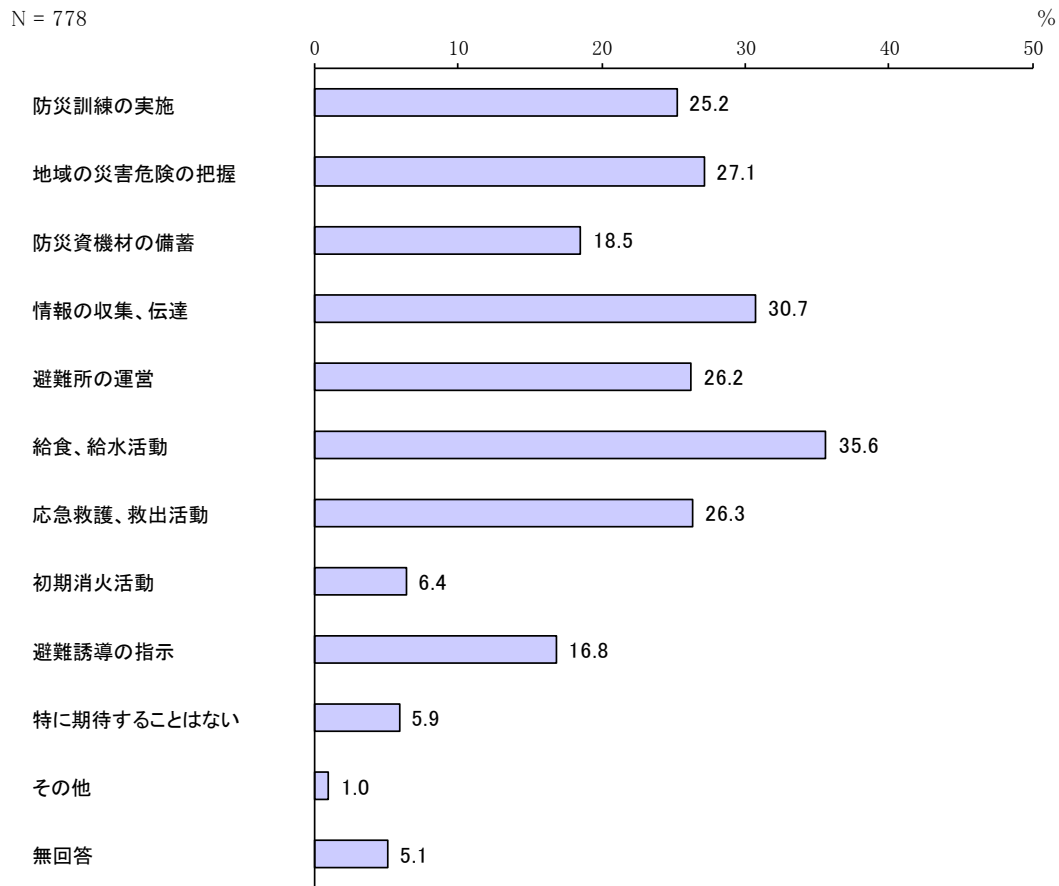
【中学校区別】

中学校区別で見ると、他に比べ、形原中学校区で「過去に参加したことはある」の割合が高く、約4割となっています。また、西浦中学校区で「自主防災活動があるかどうか分からないので参加したことがない」の割合が高く、約3割となっています。



問 46 自主防災組織の活動に、どのような活動を期待しますか。(〇は3つまで)

「給食、給水活動」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「情報の収集、伝達」の割合が 30.7%、「地域の災害危険の把握」の割合が 27.1%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、60歳代で「避難所の運営」「給食、給水活動」の割合が高くなっています。また、50歳代以上で「防災訓練の実施」の割合が、50歳代で「地域の災害危険の把握」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	防災訓練の実施	地域の災害危険の把握	防災資機材の備蓄	情報の収集、伝達	避難所の運営	給食、給水活動	応急救護、救出活動	初期消火活動	避難誘導の指示	特に期待することはない	その他	無回答
20歳未満	59	22.0	27.1	25.4	25.4	18.6	30.5	32.2	5.1	13.6	10.2	—	—
20歳代	87	23.0	26.4	24.1	26.4	31.0	34.5	29.9	4.6	13.8	8.0	2.3	3.4
30歳代	91	23.1	28.6	20.9	34.1	30.8	39.6	22.0	2.2	20.9	6.6	1.1	4.4
40歳代	100	16.0	28.0	19.0	25.0	28.0	39.0	28.0	8.0	17.0	6.0	3.0	1.0
50歳代	113	28.3	36.3	25.7	31.0	20.4	21.2	26.5	8.0	19.5	7.1	0.9	3.5
60歳代	154	30.5	18.8	14.3	33.1	35.7	44.8	24.7	6.5	13.6	4.5	0.6	4.5
70歳以上	170	27.1	27.1	11.2	33.5	18.8	34.7	24.1	7.6	18.8	3.5	—	12.4

【中学校区別】

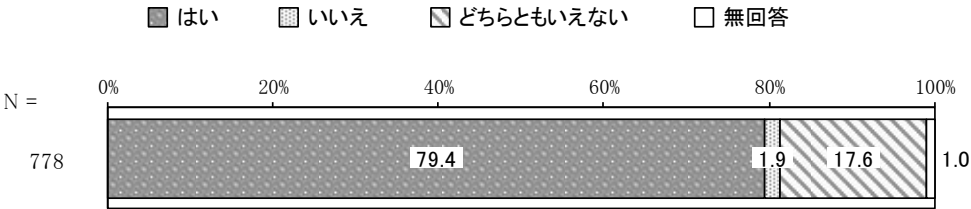
中学校区別でみると、他に比べ、塩津中学校区で「給食、給水活動」の割合が高く、4割台半ばとなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	防災訓練の実施	地域の災害危険の把握	防災資機材の備蓄	情報の収集、伝達	避難所の運営	給食、給水活動	応急救護、救出活動	初期消火活動	避難誘導の指示	特に期待することはない	その他	無回答
大塚中学校区	60	25.0	33.3	16.7	33.3	25.0	38.3	26.7	10.0	20.0	5.0	1.7	—
三谷中学校区	106	27.4	26.4	23.6	29.2	21.7	34.0	21.7	5.7	9.4	3.8	1.9	6.6
蒲郡中学校区	162	29.6	24.7	16.0	30.2	27.2	34.6	25.3	4.9	17.9	5.6	0.6	6.2
中部中学校区	114	21.1	21.1	19.3	28.9	25.4	28.1	21.9	4.4	14.0	8.8	0.9	8.8
塩津中学校区	92	23.9	32.6	18.5	29.3	22.8	45.7	28.3	7.6	20.7	6.5	1.1	3.3
形原中学校区	152	23.7	27.6	19.7	34.2	28.9	39.5	32.9	8.6	19.1	3.3	1.3	2.6
西浦中学校区	58	24.1	34.5	20.7	22.4	32.8	27.6	20.7	6.9	20.7	12.1	—	5.2
わからない	9	11.1	—	11.1	66.7	33.3	33.3	55.6	—	—	—	—	—

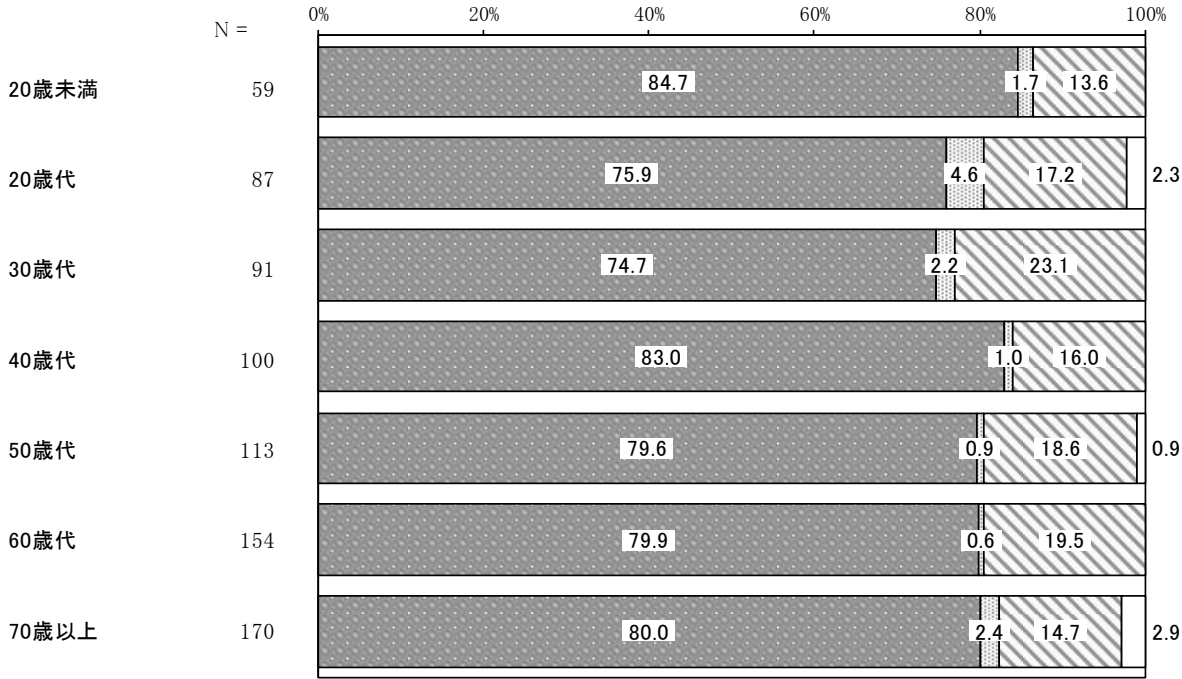
問 47 南海トラフ地震の発生が危惧されていますが、南海トラフ地震に関心がありますか。(○は1つだけ)

「はい」の割合が79.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が17.6%、「いいえ」の割合が1.9%となっています。



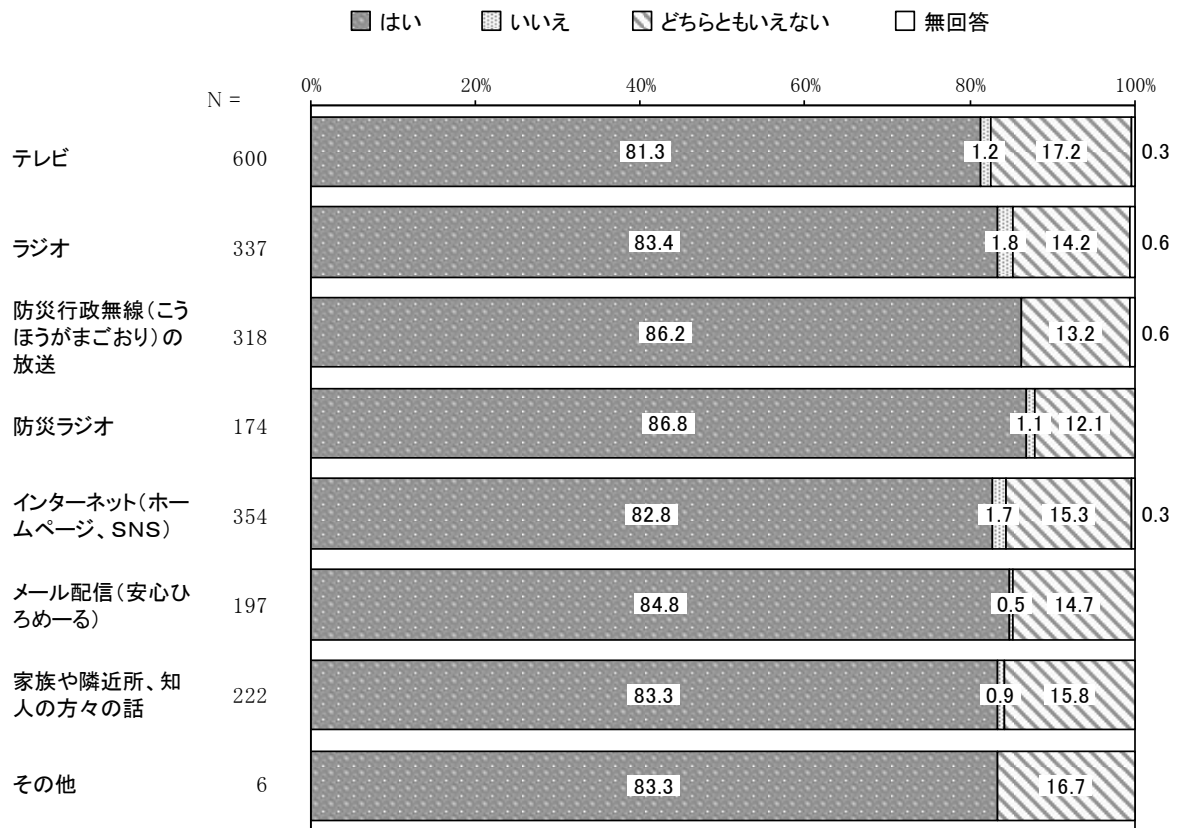
【年齢別】

年齢別でみると、20歳未満で「はい」の割合が高く、8割台半ばとなっています。



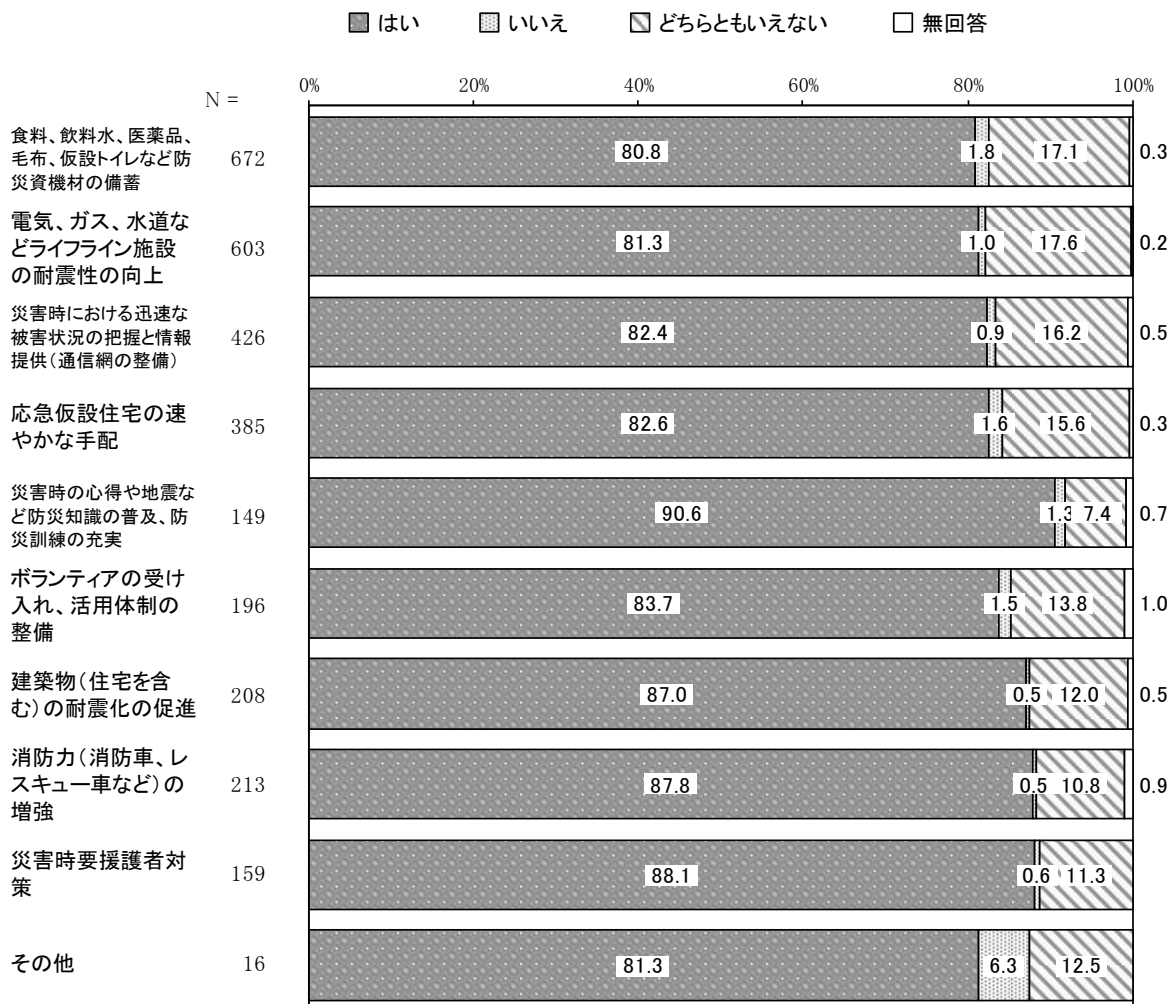
【災害が発生した場合の情報源別】

災害が発生した場合の情報源別でみると、どの情報源も「はい」の割合が高くなっています。



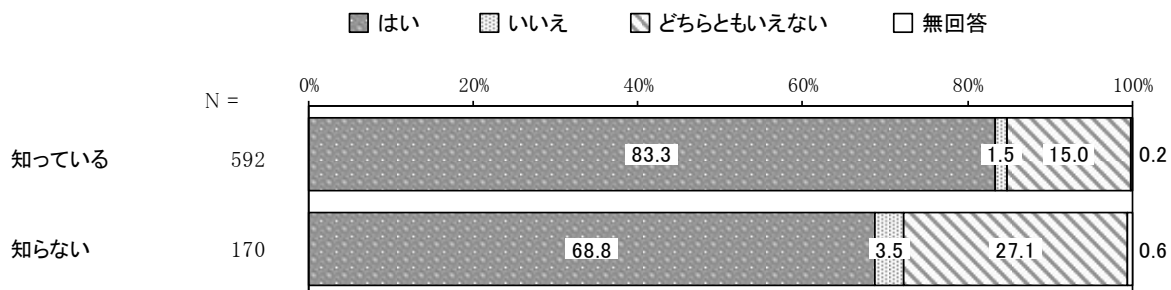
【事業者に力を入れて欲しい対策別】

事業者に力を入れて欲しい対策別でみると、他に比べ、災害時の心得や地震など防災知識の普及、防災訓練の充実で「はい」の割合が高くなっています。



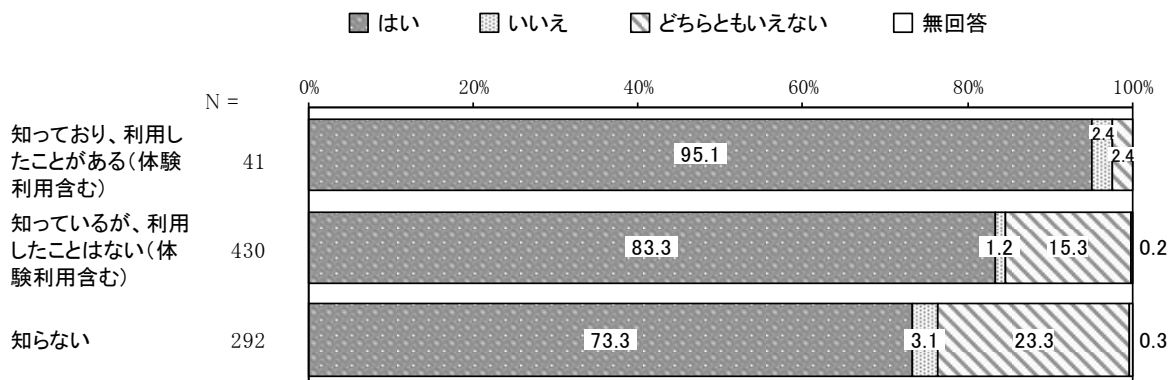
【避難所の認知度別】

避難所の認知度別でみると、知らないに比べ、知っているで「はい」の割合が高くなっています。



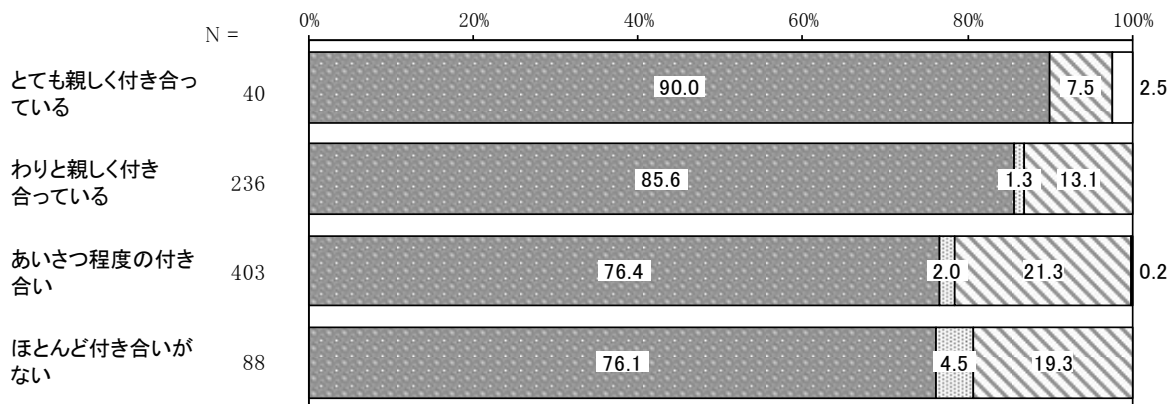
【災害用伝言ダイヤル171及び災害用伝言板の認知度別】

災害用伝言ダイヤル171及び災害用伝言板の認知度別でみると、他に比べ、知っており、利用したことがある（体験利用含む）で「はい」の割合が高くなっています。



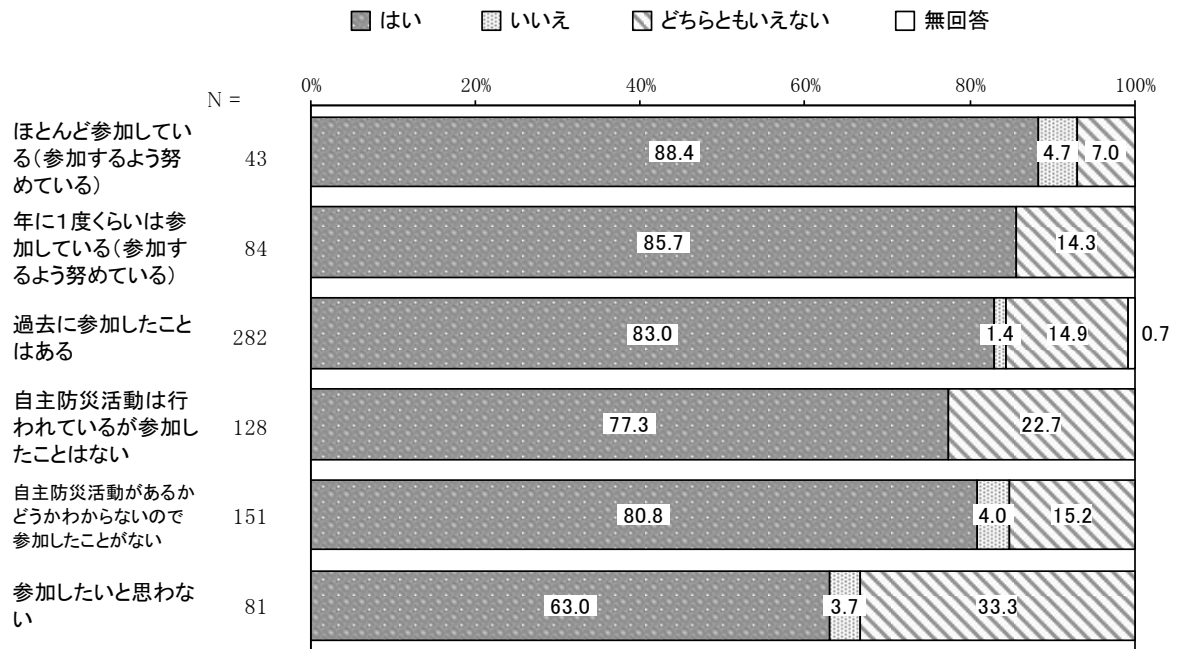
【近所づきあいの程度別】

近所づきあいの程度別でみると、近所づきあいが親密な人ほど「はい」の割合が高くなっています。



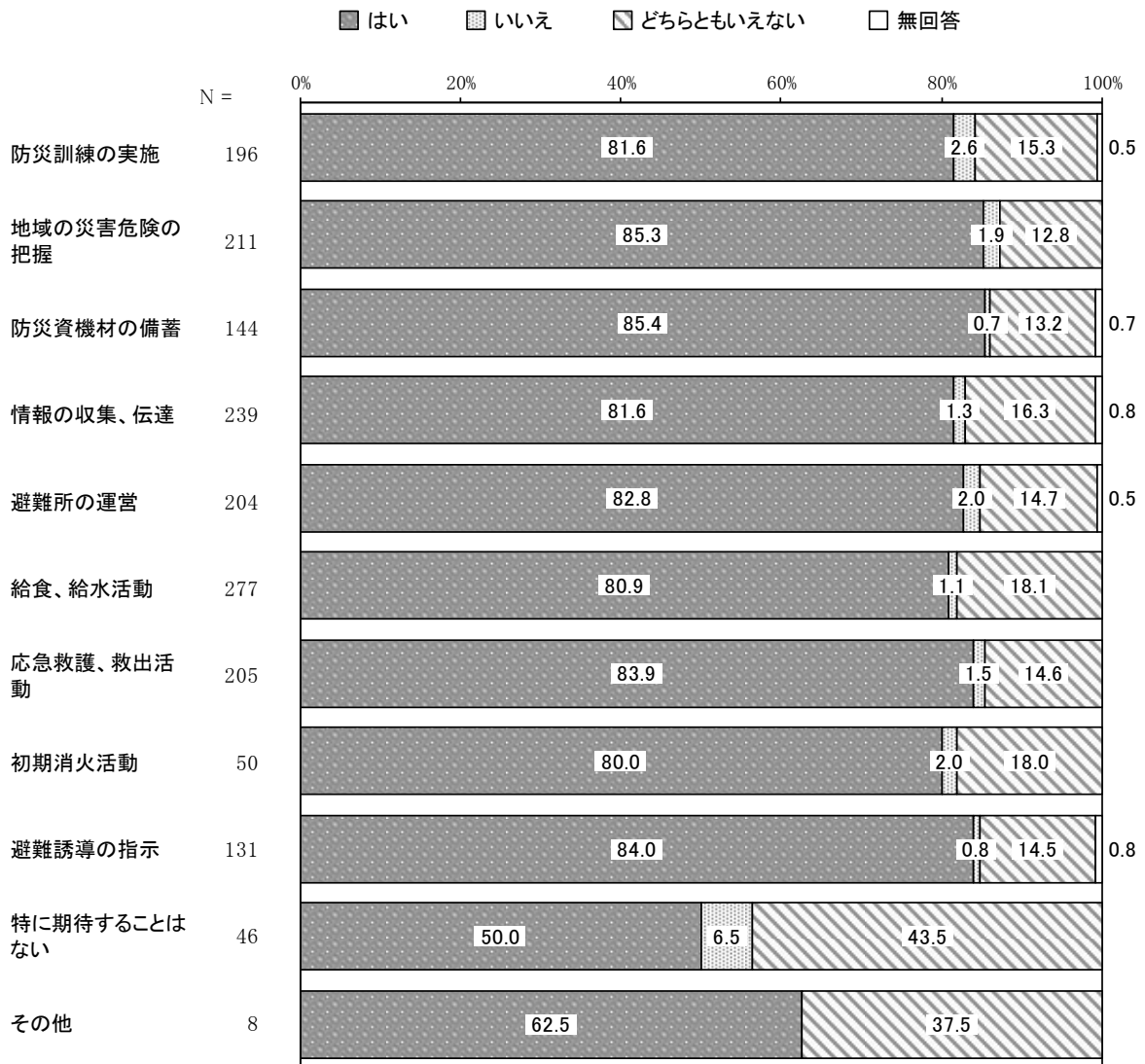
【自主防災会活動への参加経験別】

自主防災会活動への参加経験別で見ると、他に比べ、ほとんど参加している（参加するよう努めている）で「はい」の割合が高くなっています。



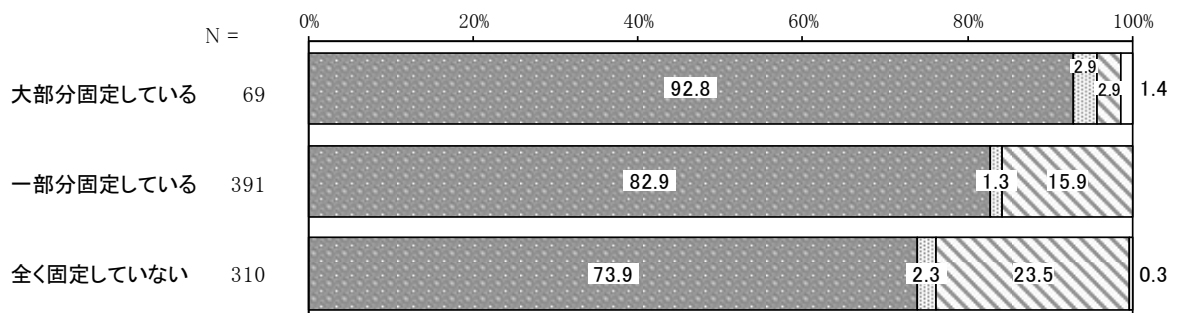
【自主防災組織の活動に期待する活動別】

自主防災組織の活動に期待する活動別でみると、どの活動も「はい」の割合が高くなっています。



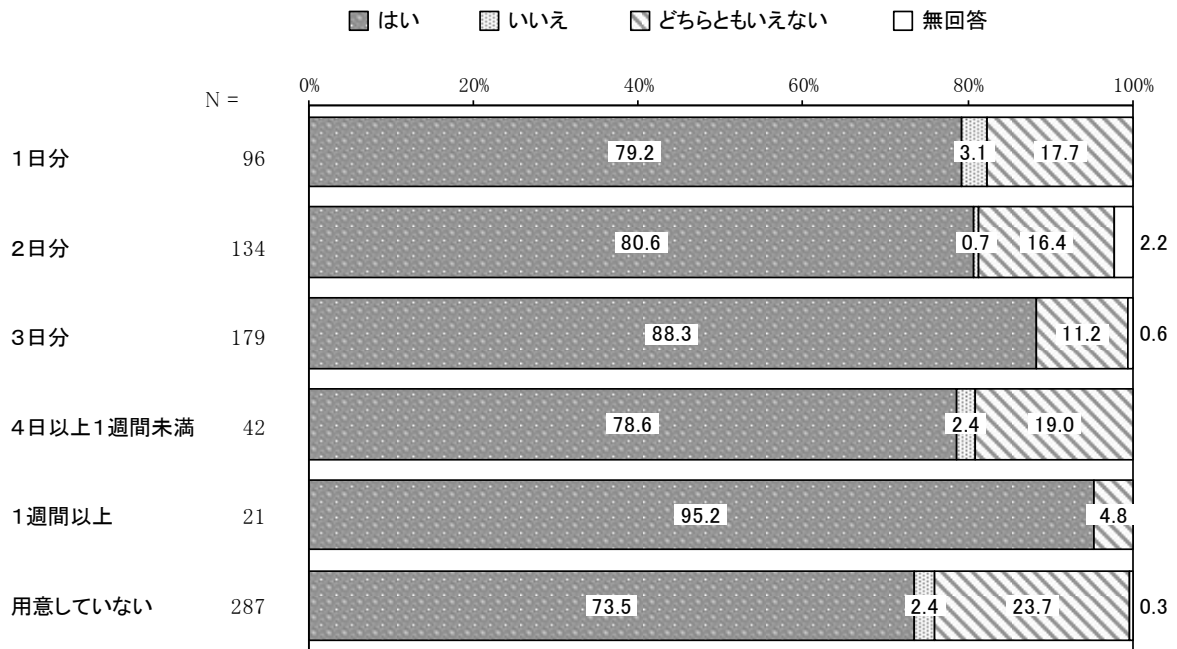
【地震に備えて家具などを固定しているか別】

地震に備えて家具などを固定しているか別でみると、他に比べ、大部分固定しているで「はい」の割合が高くなっています。



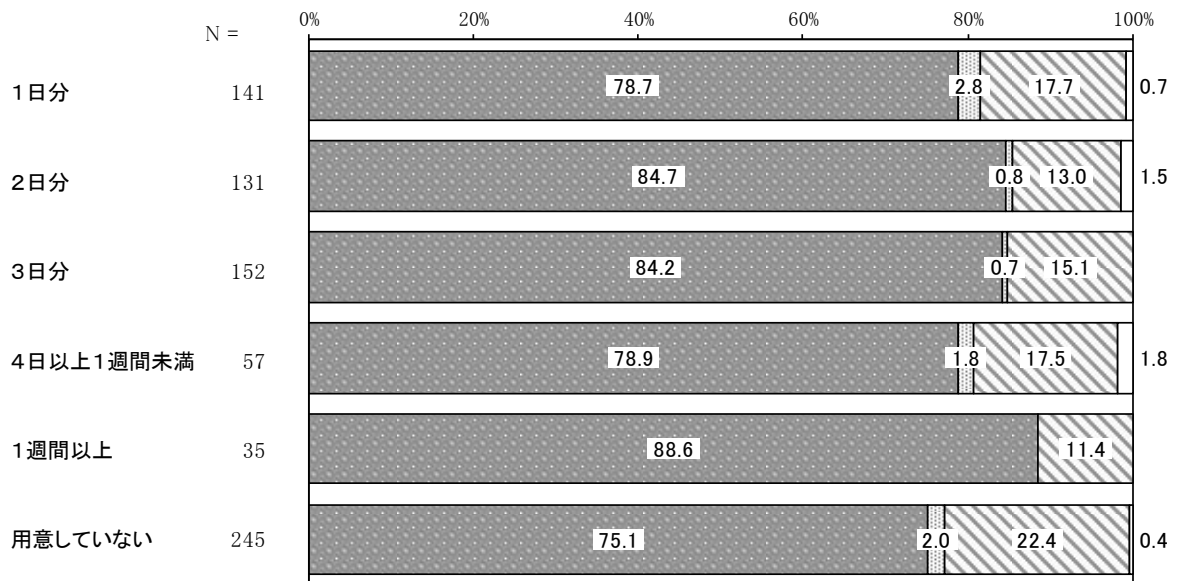
【非常用の食料を用意している日数別】

非常用の食料を用意している日数別でみると、他に比べ、1週間以上で「はい」の割合が高くなっています。



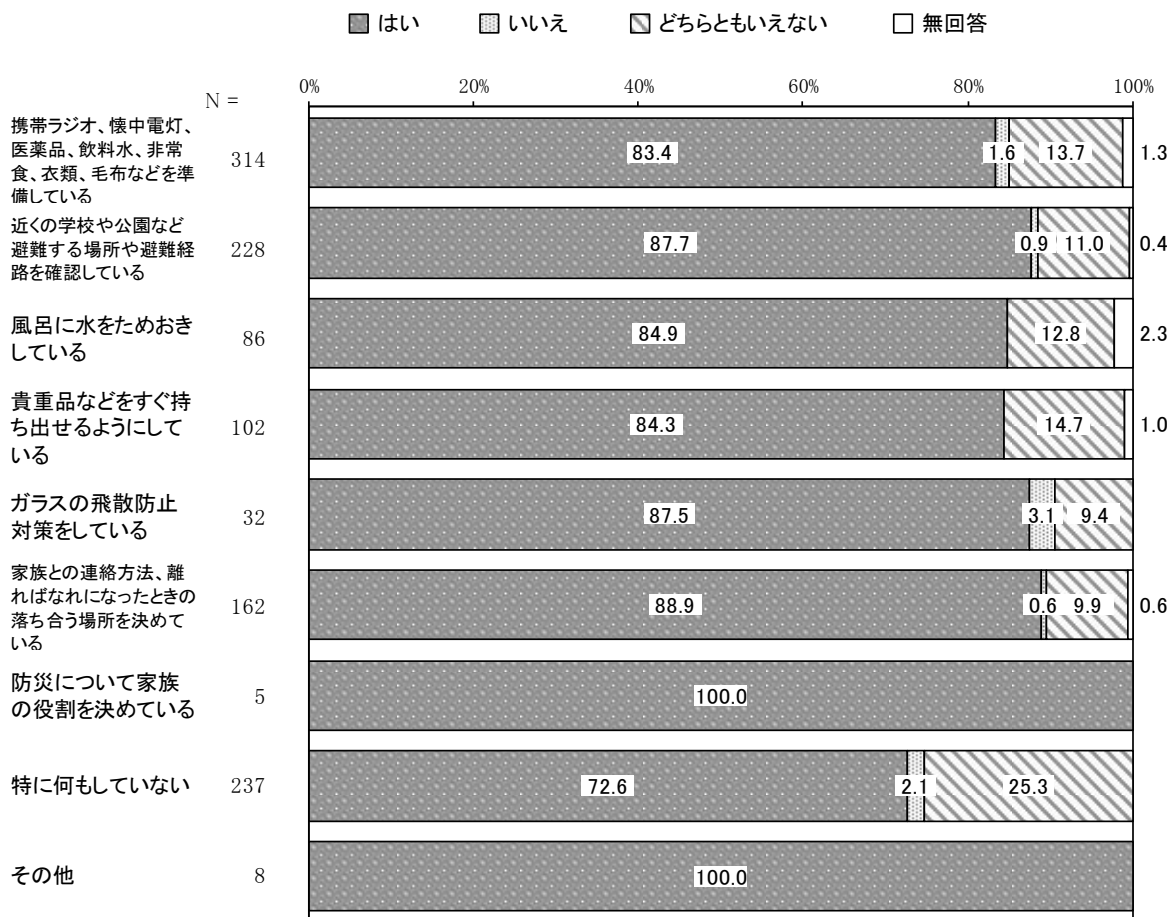
【非常用の飲料水を用意している日数別】

非常用の飲料水を用意している日数別でみると、他に比べ、1週間以上で「はい」の割合が高くなっています。



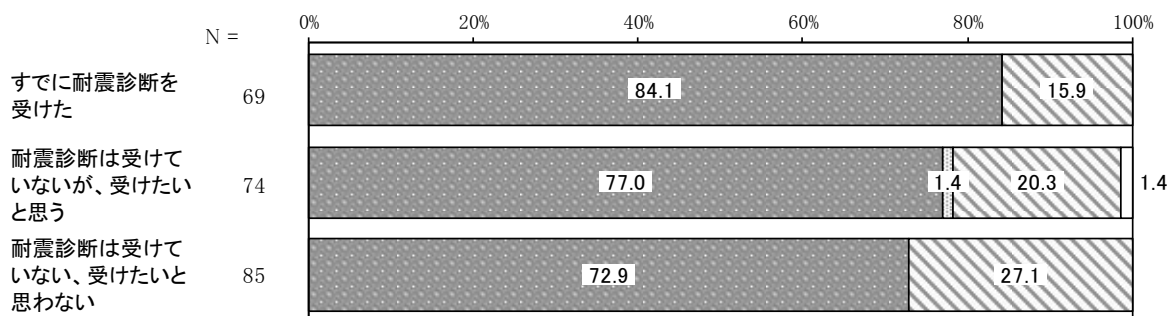
【大規模地震に備えていること別】

大規模地震に備えていること別でみると、他に比べ、近くの学校や公園など避難する場所や避難経路を確認している、ガラスの飛散防止対策をしている、家族との連絡方法、離ればなれになったときの落ち合う場所を決めているで「はい」の割合が高くなっています。



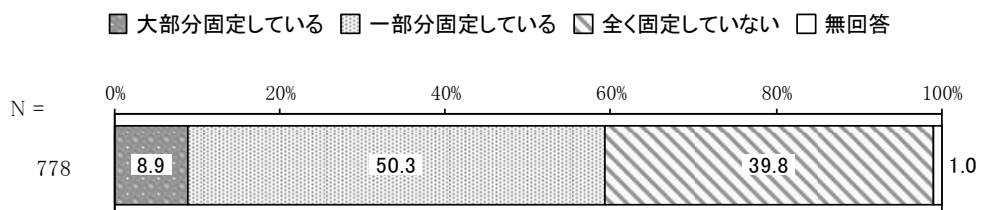
【耐震診断の受診別】

耐震診断の受診別でみると、他に比べ、すでに耐震診断を受けたで「はい」の割合が高くなっています。



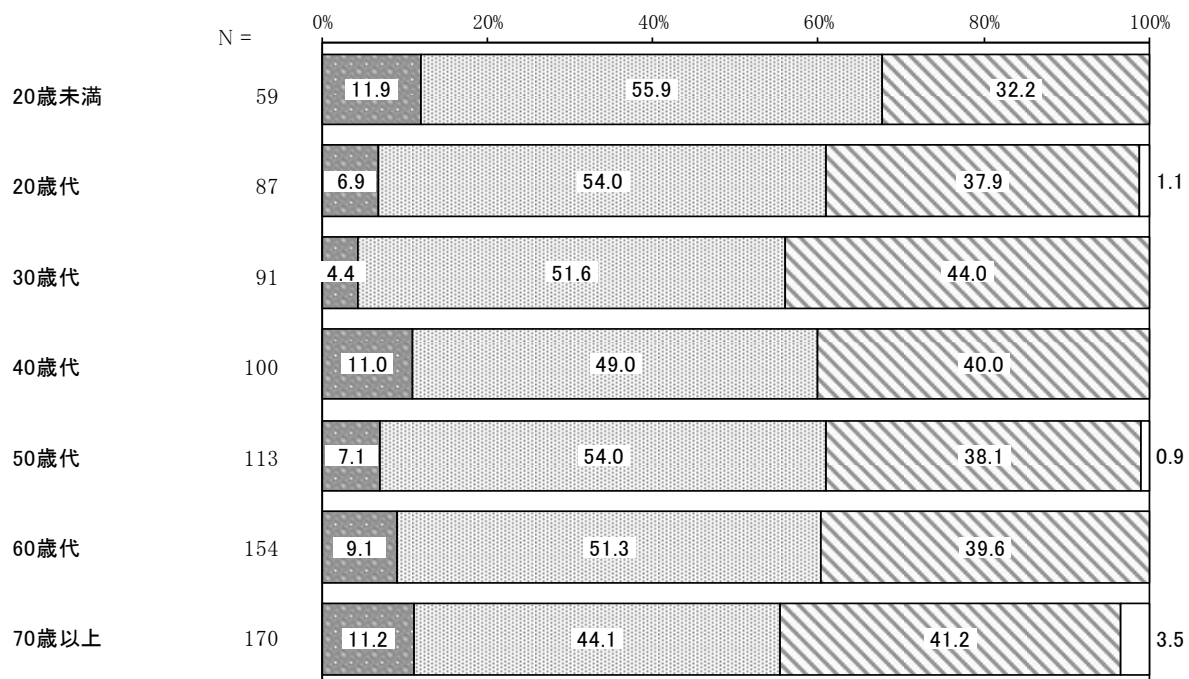
問 48 地震に備えて家具や冷蔵庫、テレビなどを固定していますか。(○は1つだけ)

「一部分固定している」の割合が50.3%と最も高く、次いで「全く固定していない」の割合が39.8%、「大部分固定している」の割合が8.9%となっています。



【年齢別】

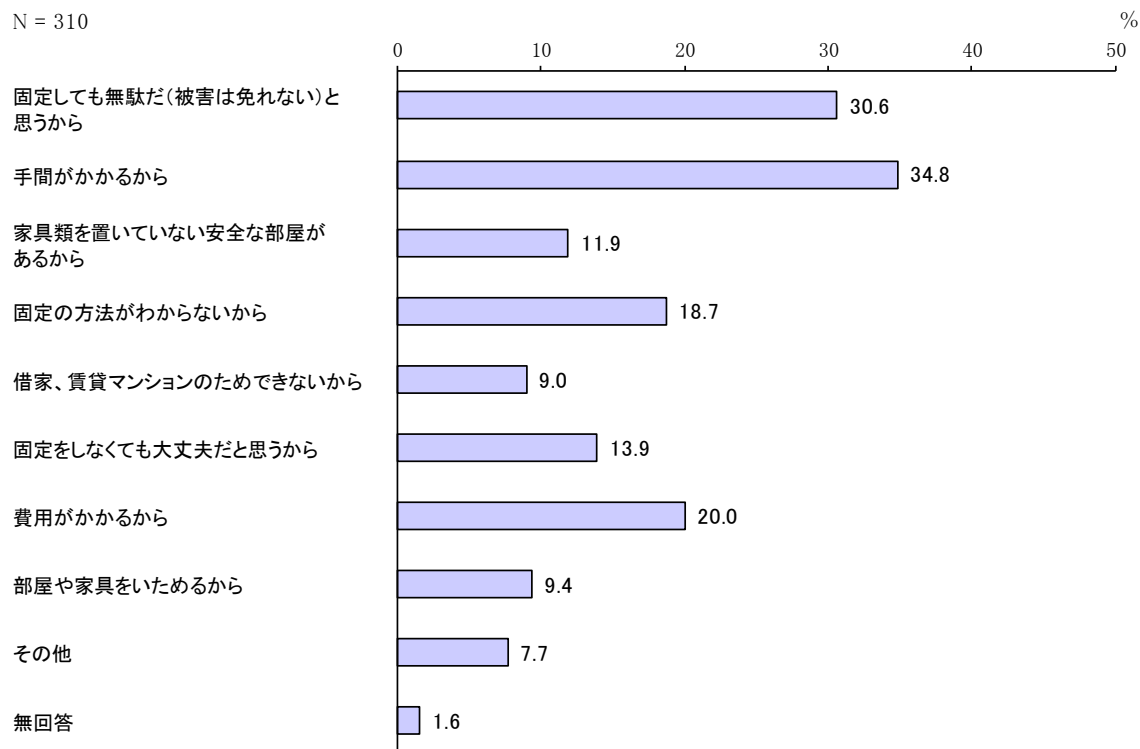
年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代で「全く固定していない」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



問 48 で「全く固定していない」と答えた方にお聞きします

問 48-1 固定しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「手間がかかるから」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「固定しても無駄だ(被害は免れない)と思うから」の割合が 30.6%、「費用がかかるから」の割合が 20.0%となっています。



【年齢別】

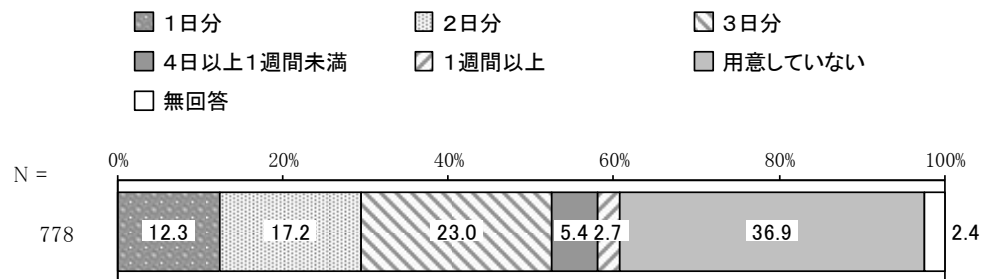
年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代で「固定しても無駄だ(被害は免れない)と思うから」の割合が、50歳代、60歳代で「手間がかかるから」の割合が高く、4割台半ばとなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	固定しても無駄だ(被害は免れない)と思うから	手間がかかるから	家具類を置いていない安全な部屋があるから	固定の方法がわからないから	借家、賃貸マンションのためできないから	固定をしなくても大丈夫だと思うから	費用がかかるから	部屋や家具をいためるから	その他	無回答
20歳未満	19	36.8	21.1	—	31.6	10.5	5.3	15.8	5.3	21.1	—
20歳代	33	18.2	42.4	9.1	18.2	24.2	3.0	18.2	6.1	9.1	—
30歳代	40	17.5	27.5	7.5	20.0	17.5	5.0	22.5	10.0	10.0	—
40歳代	40	30.0	25.0	20.0	5.0	7.5	12.5	12.5	10.0	12.5	—
50歳代	43	44.2	44.2	7.0	11.6	7.0	18.6	34.9	11.6	2.3	2.3
60歳代	61	32.8	45.9	16.4	21.3	1.6	18.0	19.7	9.8	4.9	—
70歳以上	70	30.0	31.4	12.9	24.3	5.7	21.4	15.7	7.1	5.7	5.7

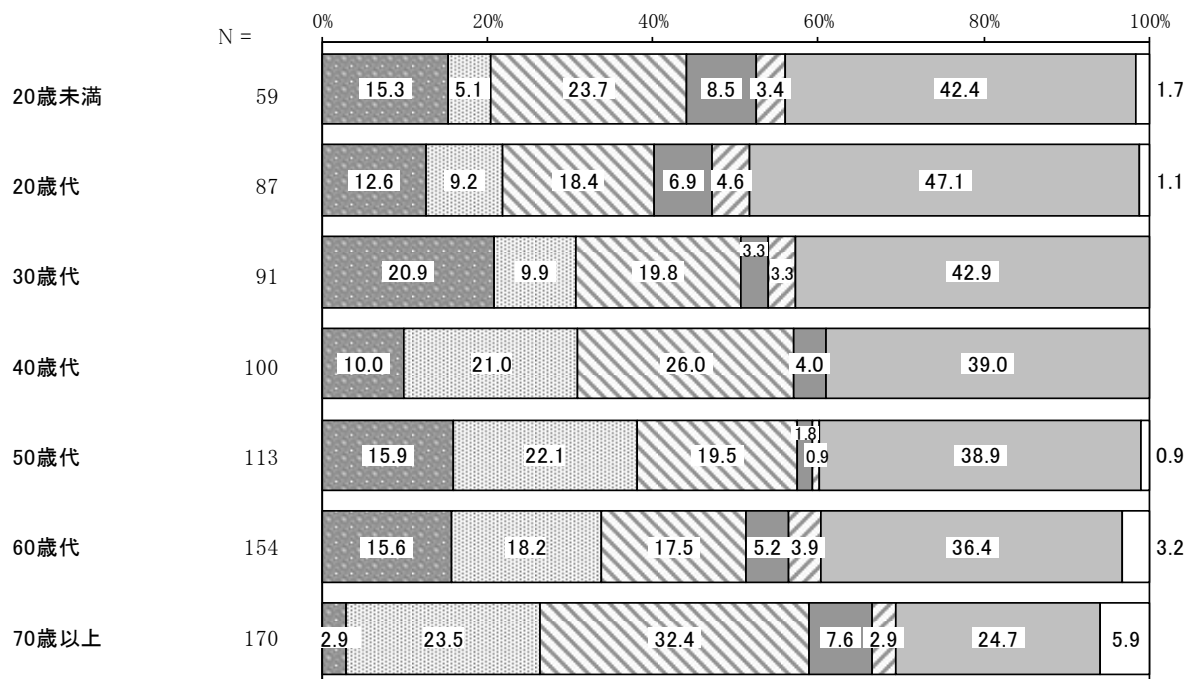
問 49 非常用の食料は、可能な限り1週間程度、最低でも3日分程度が必要です。非常用の食料を何日分用意していますか。（〇は1つだけ）

「用意していない」の割合が36.9%と最も高く、次いで「3日分」の割合が23.0%、「2日分」の割合が17.2%となっています。



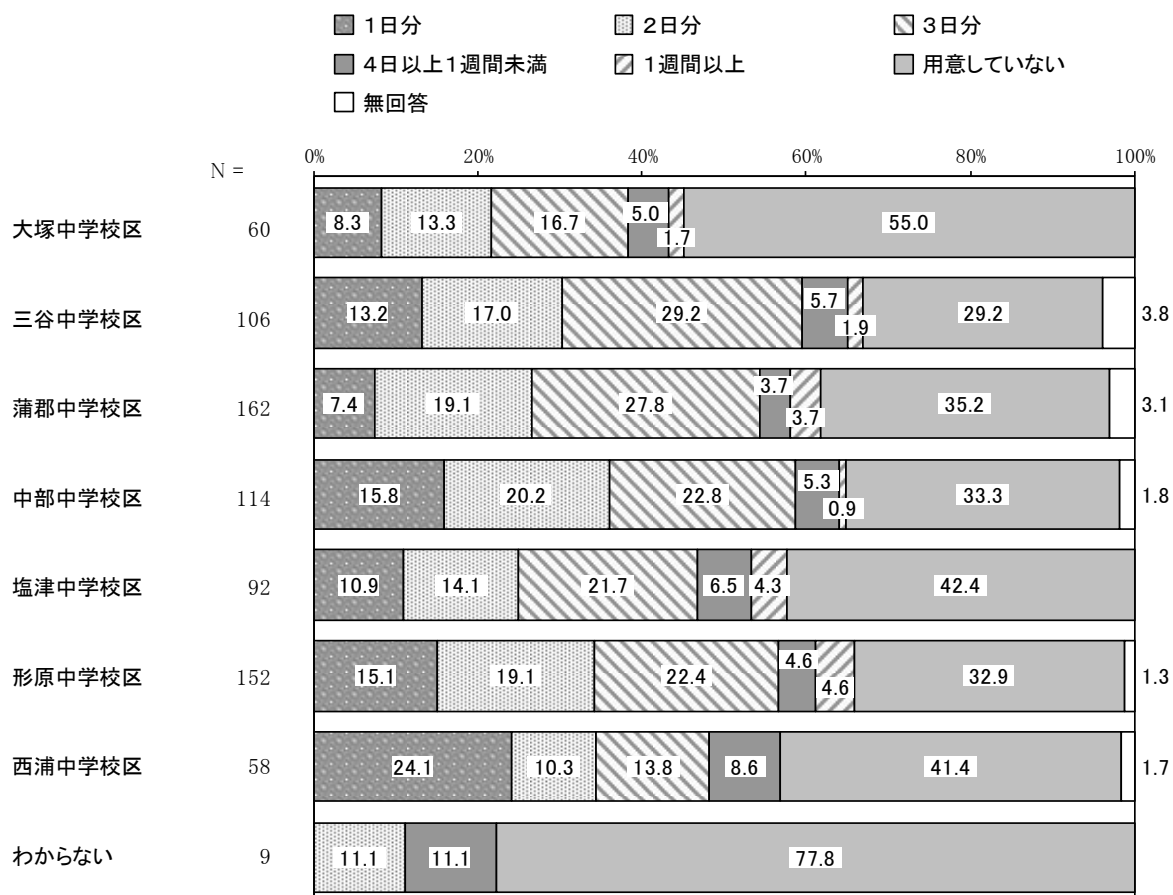
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「用意していない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、30歳代以下に比べ、40歳代以上で「2日分」の割合が高く、約2割となっています。



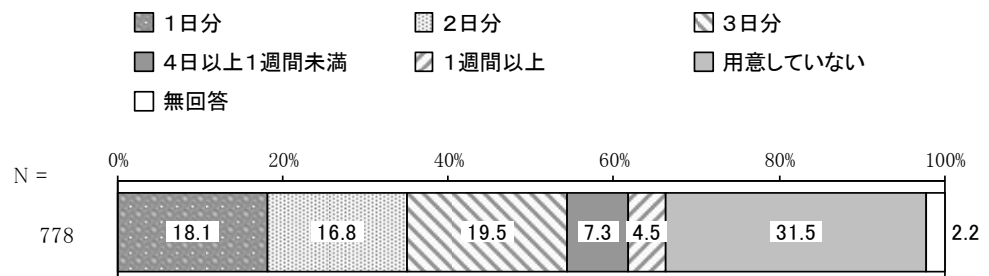
【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、大塚中学校区で「用意していない」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



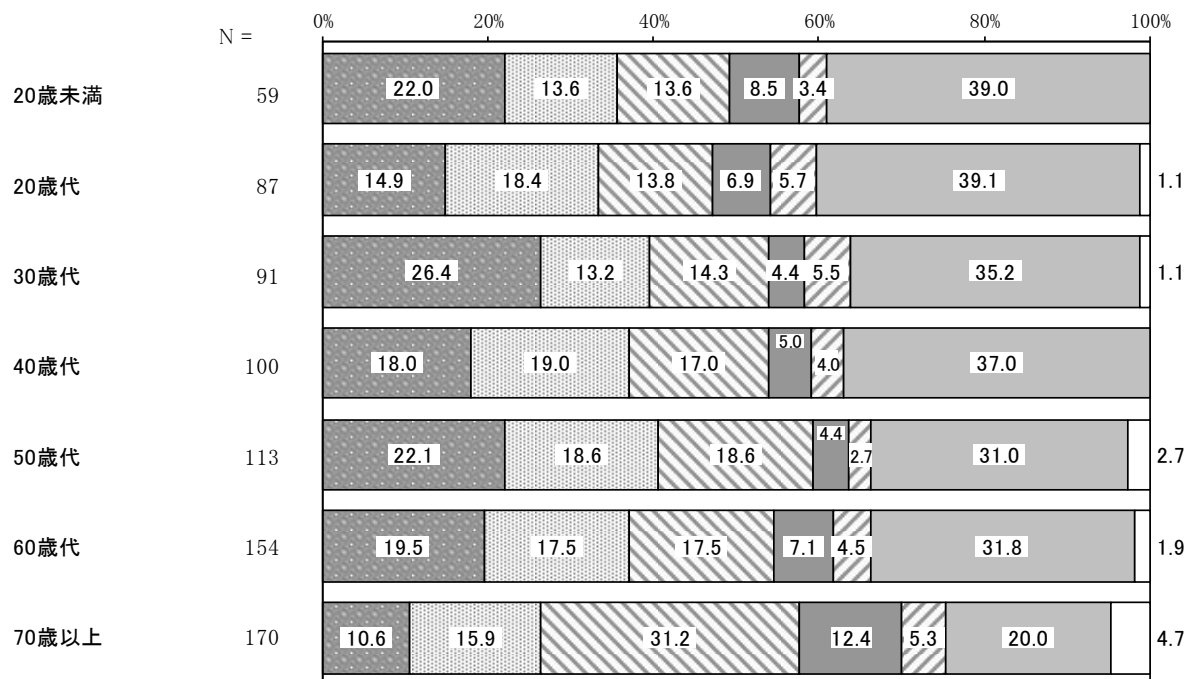
問 50 非常用の飲料水も、可能な限り1週間程度、最低でも3日分程度が必要です。非常用の飲料水を何日分用意していますか。1人あたり1日3リットルとしてお答えください。(○は1つだけ)

「用意していない」の割合が31.5%と最も高く、次いで「3日分」の割合が19.5%、「1日分」の割合が18.1%となっています。



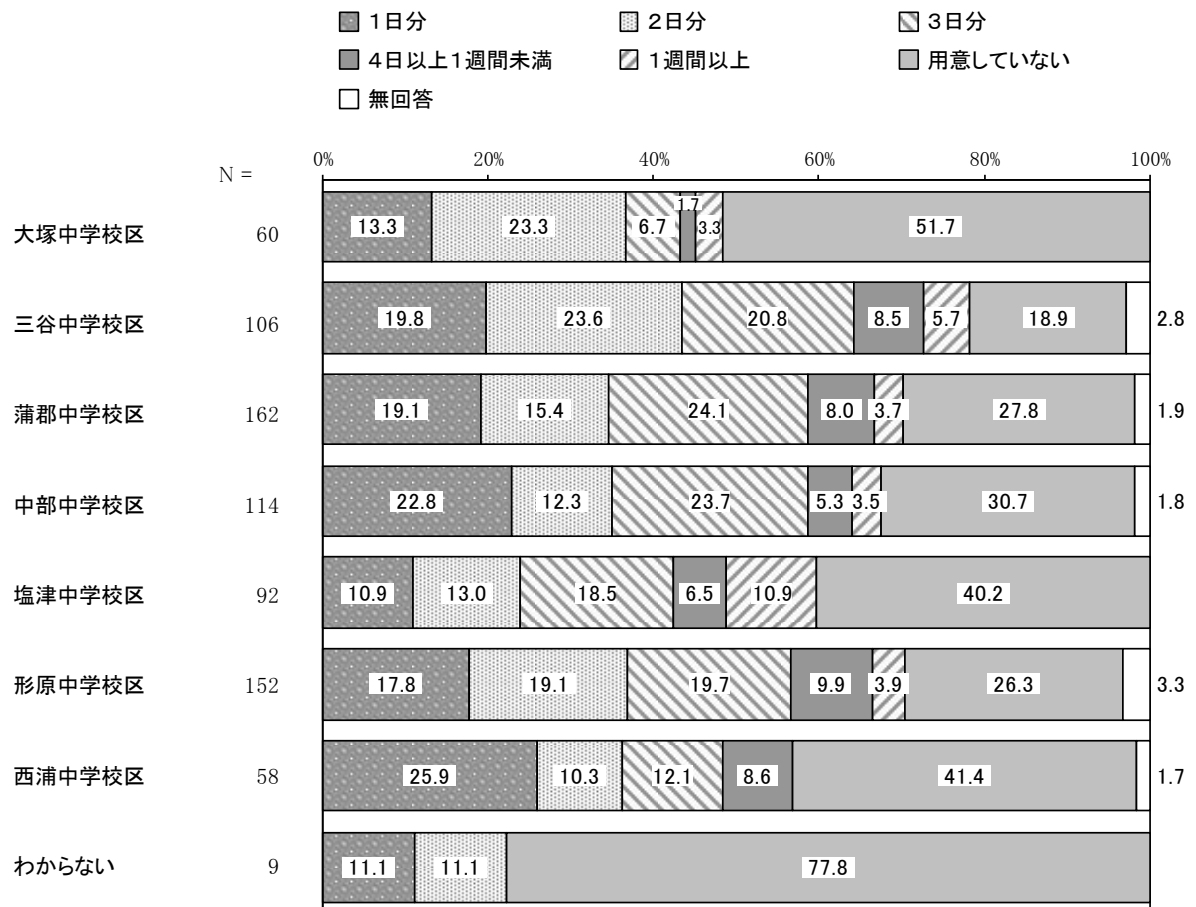
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「用意していない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、70歳以上で「3日分」の割合が高く、約3割となっています。



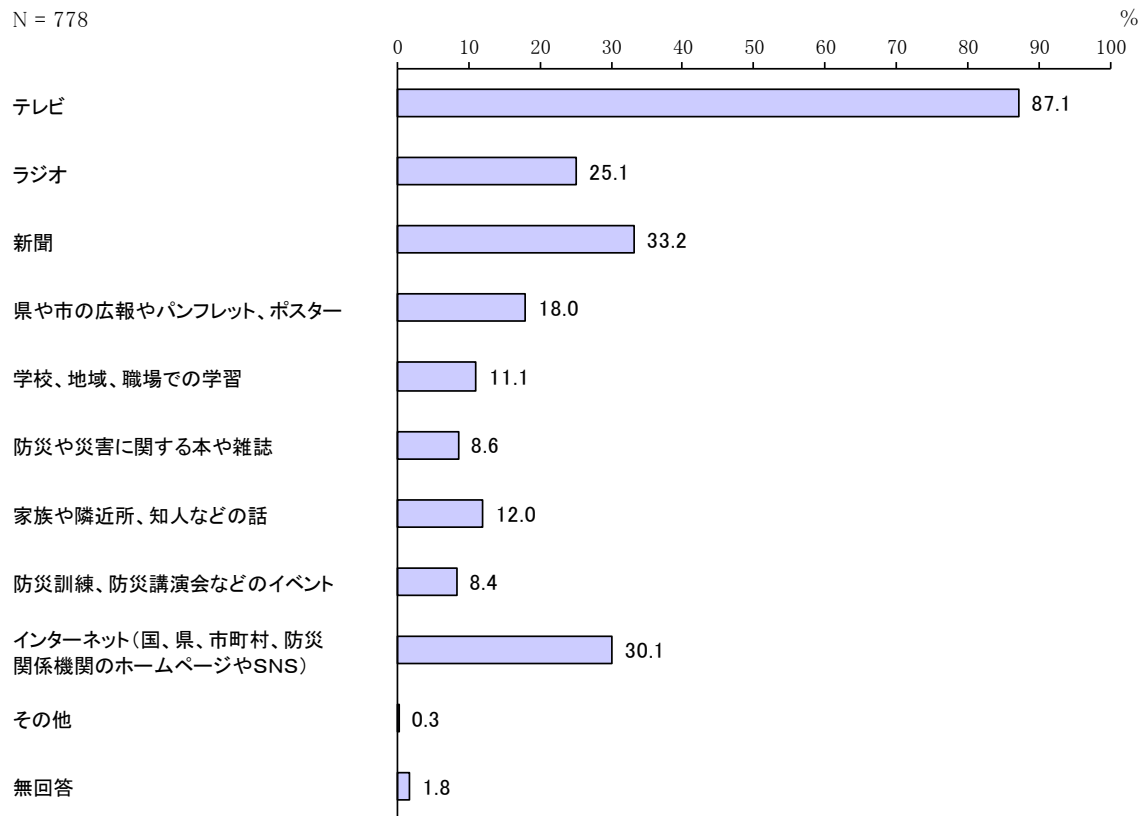
【中学校区別】

中学校区別で見ると、他に比べ、大塚中学校区で「用意していない」の割合が高く、約5割と
なっています。また、塩津中学校区で「1週間以上」の割合が高くなっています。



問 51 家庭や職場で地震対策をする上で、参考になっている情報は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「テレビ」の割合が 87.1%と最も高く、次いで「新聞」の割合が 33.2%、「インターネット(国、県、市町村、防災関係機関のホームページやSNS)」の割合が 30.1%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「新聞」「県や市の広報やパンフレット、ポスター」の割合が、年齢が低くなるにつれ「インターネット（国、県、市町村、防災関係機関のホームページやSNS）」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、20歳未満、20歳代で「学校、地域、職場での学習」の割合が、60歳代以上で「家族や隣近所、知人などの話」の割合が高くなっています。

単位：％

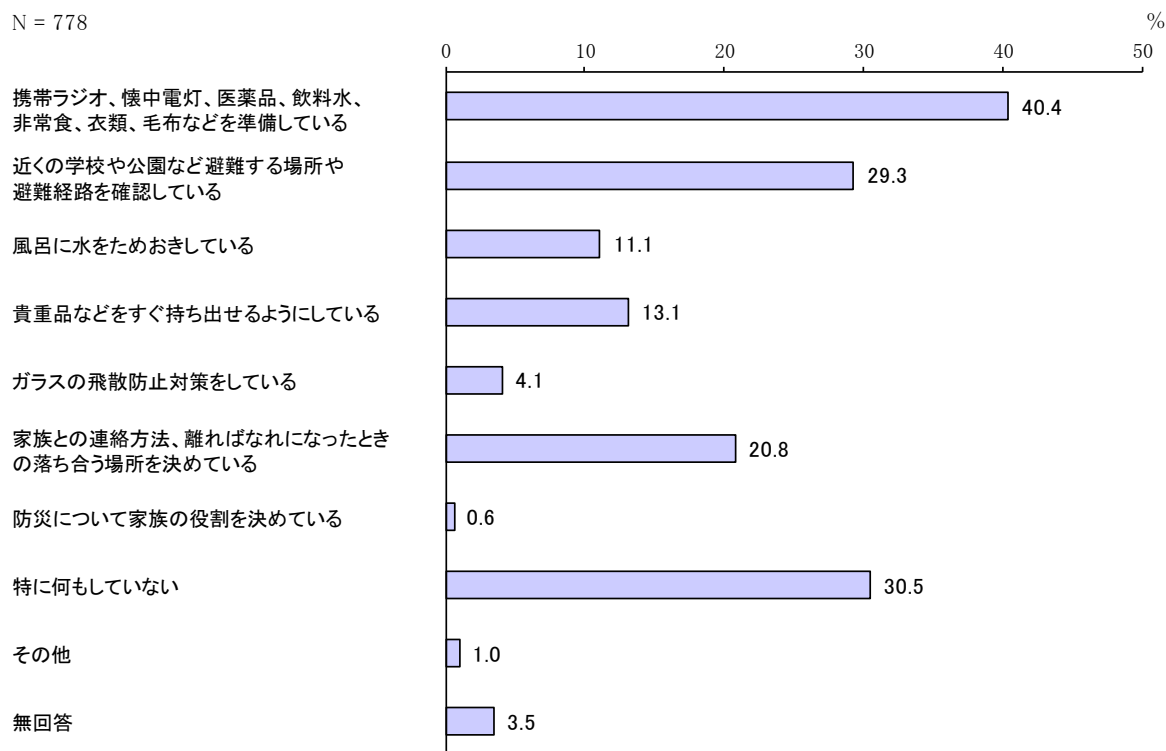
区分	有効回答数 (件)	テレビ	ラジオ	新聞	県や市の広報や パンフレット、ポスター	学校、 地域、 職場での学習
20歳未満	59	83.1	8.5	8.5	5.1	18.6
20歳代	87	79.3	14.9	13.8	12.6	23.0
30歳代	91	82.4	11.0	16.5	13.2	14.3
40歳代	100	89.0	23.0	29.0	15.0	16.0
50歳代	113	90.3	23.0	37.2	16.8	8.0
60歳代	154	90.3	29.2	44.8	24.0	6.5
70歳以上	170	89.4	42.4	50.0	24.7	4.1

区分	防災や災害に関する 本や雑誌	家族や隣近所、知人など の話	防災訓練、防災講演会 などのイベント	インターネット 国、県、市町村、防災 関係機関のホームページ やSNS)	その他	無回答
20歳未満	10.2	5.1	8.5	49.2	1.7	—
20歳代	3.4	10.3	5.7	44.8	—	2.3
30歳代	13.2	14.3	7.7	47.3	—	—
40歳代	8.0	5.0	8.0	49.0	—	—
50歳代	10.6	6.2	8.8	33.6	—	0.9
60歳代	8.4	16.2	6.5	13.0	0.6	1.3
70歳以上	7.6	17.1	11.8	9.4	—	4.7

問 52 その他に大規模地震に備えていることはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品、飲料水、非常食、衣類、毛布などを準備している」の割合が40.4%と最も高く、次いで「特に何もしていない」の割合が30.5%、「近くの学校や公園など避難する場所や避難経路を確認している」の割合が29.3%となっています。

N = 778



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「風呂に水をためおきしている」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、70歳以上で「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品、飲料水、非常食、衣類、毛布などを準備している」の割合が、50歳代で「特に何もしていない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品、飲料水、非常食、衣類、毛布などを準備している	近くの学校や公園など避難する場所や避難経路を確認している	風呂に水をためおきしている	貴重品などをすぐ持ち出せるようにしている	ガラスの飛散防止対策をしている	家族との連絡方法、離ればなれになったときの落ち合う場所を決めている	防災について家族の役割を決めている	特に何もしていない	その他	無回答
20歳未満	59	39.0	30.5	—	11.9	3.4	30.5	1.7	33.9	1.7	—
20歳代	87	36.8	25.3	4.6	5.7	3.4	25.3	—	37.9	—	2.3
30歳代	91	40.7	24.2	9.9	14.3	5.5	23.1	1.1	31.9	1.1	1.1
40歳代	100	41.0	33.0	6.0	10.0	2.0	40.0	1.0	25.0	4.0	—
50歳代	113	31.0	23.0	10.6	7.1	5.3	12.4	0.9	46.0	—	1.8
60歳代	154	37.0	30.5	14.9	14.9	5.8	17.5	—	30.5	—	1.9
70歳以上	170	51.2	34.1	18.2	20.6	2.4	11.2	0.6	18.2	1.2	10.0

【中学校区別】

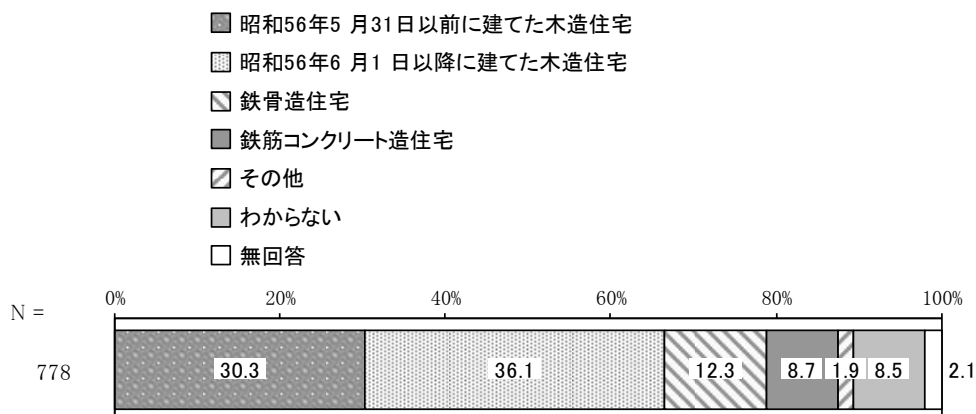
中学校区別で見ると、他に比べ、大塚中学校区、塩津中学校区、西浦中学校区で「特に何もしていない」の割合が高く、約4割となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品、飲料水、非常食、衣類、毛布などを準備している	近くの学校や公園など避難する場所や避難経路を確認している	風呂に水をためおきしている	貴重品などをすぐ持ち出せるようにしている	ガラスの飛散防止対策をしている	家族との連絡方法、離ればなれになったときの落ち合う場所を決めている	防災について家族の役割を決めている	特に何もしていない	その他	無回答
大塚中学校区	60	38.3	30.0	13.3	8.3	1.7	18.3	—	38.3	—	1.7
三谷中学校区	106	42.5	31.1	8.5	14.2	6.6	19.8	0.9	19.8	0.9	5.7
蒲郡中学校区	162	42.6	27.2	12.3	14.8	6.8	24.1	—	25.9	2.5	2.5
中部中学校区	114	38.6	30.7	11.4	9.6	2.6	21.1	2.6	34.2	1.8	1.8
塩津中学校区	92	37.0	29.3	10.9	17.4	1.1	18.5	—	40.2	—	1.1
形原中学校区	152	46.1	32.2	8.6	13.8	3.9	21.7	0.7	27.6	—	2.0
西浦中学校区	58	36.2	25.9	15.5	12.1	3.4	19.0	—	37.9	1.7	3.4
わからない	9	11.1	11.1	22.2	11.1	—	33.3	—	55.6	—	—

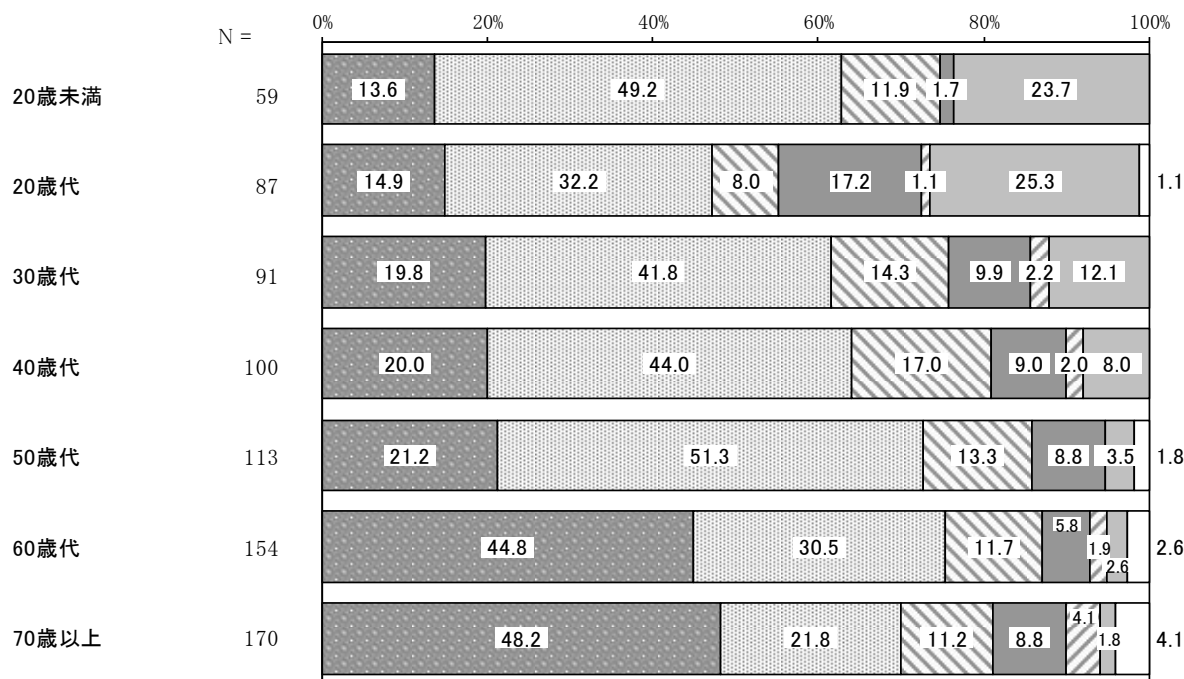
問 53 お住まいの耐震についてお伺いします。お住まいの家屋の構造は何ですか。
(〇は1つだけ)

「昭和 56 年 6 月 1 日以降に建てた木造住宅」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「昭和 56 年 5 月 31 日以前に建てた木造住宅」の割合が 30.3%、「鉄骨造住宅」の割合が 12.3%となっています。



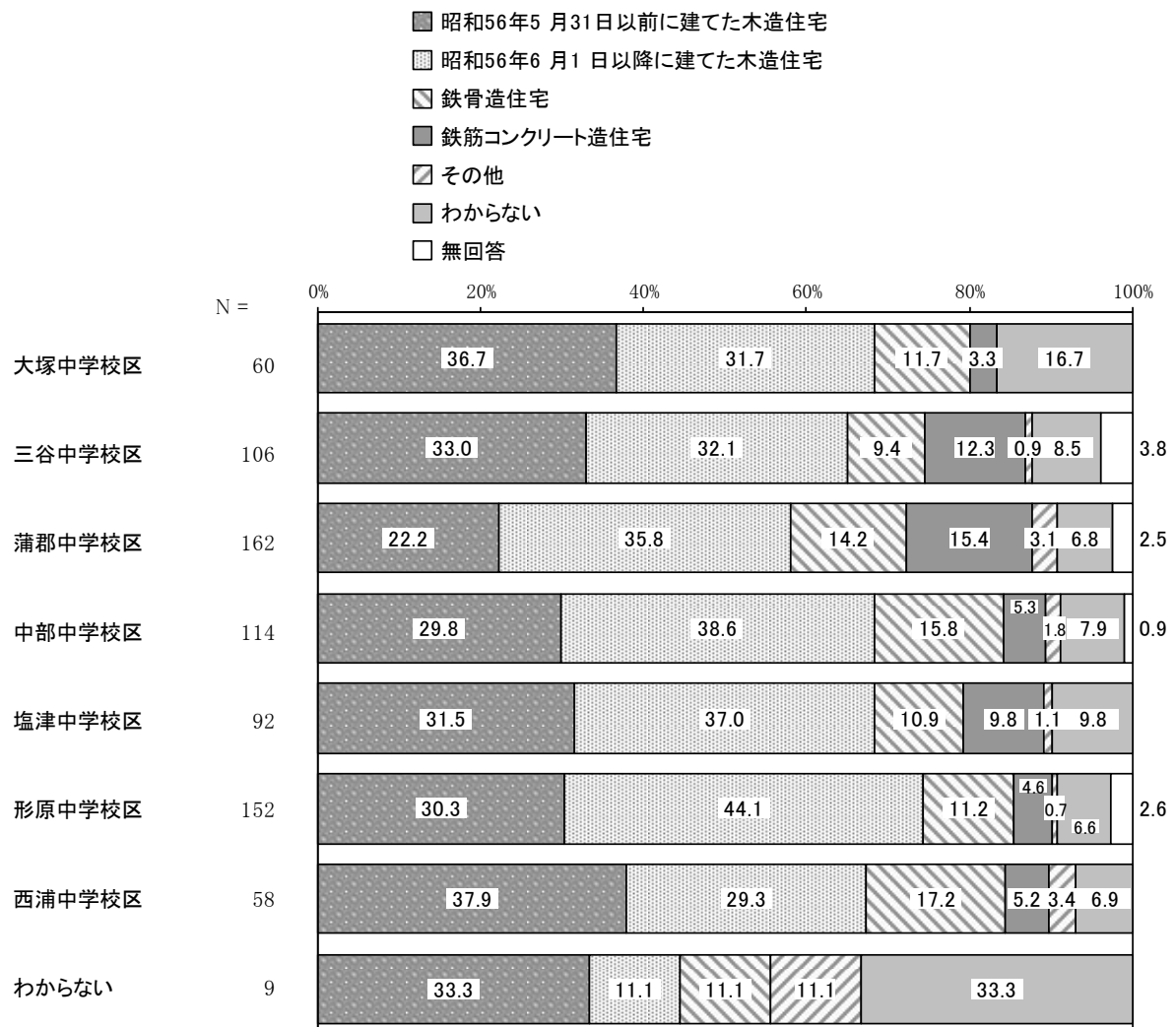
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「昭和 56 年 5 月 31 日以前に建てた木造住宅」の割合が高くなっています。また、他の年齢に比べ、20 歳未満、50 歳代で「昭和 56 年 6 月 1 日以降に建てた木造住宅」の割合が高くなっています。



【中学校区別】

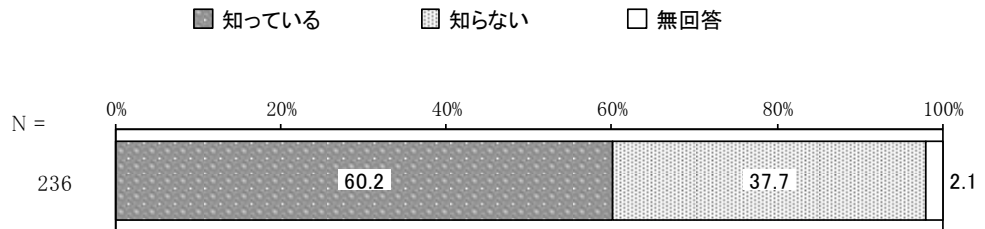
中学校区別で見ると、他に比べ、形原中学校区で「昭和56年6月1日以降に建てた木造住宅」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



問 53 で「昭和 56 年 5 月 31 日以前に建てた木造住宅」と答えた方にお聞きします。

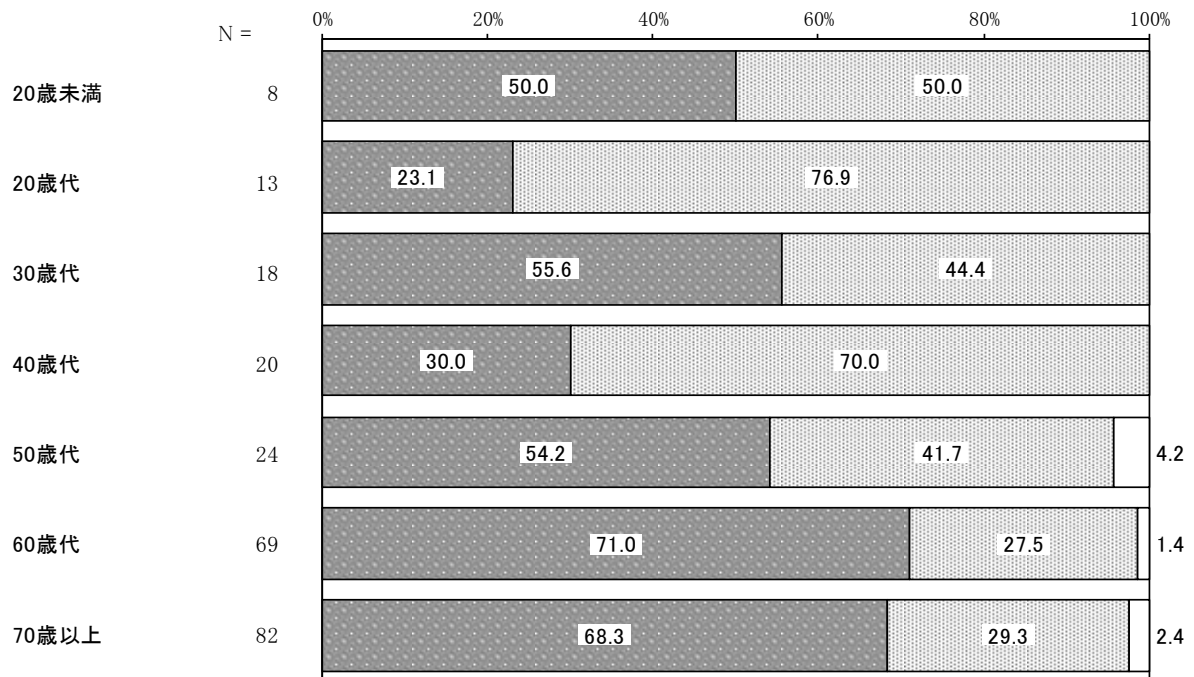
問 53-1 市では昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工した、空き家を除く木造戸建て住宅を対象に、無料で耐震診断を行っています。この制度を知っていますか。
(○は 1 つだけ)

「知っている」の割合が 60.2%、「知らない」の割合が 37.7%となっています。



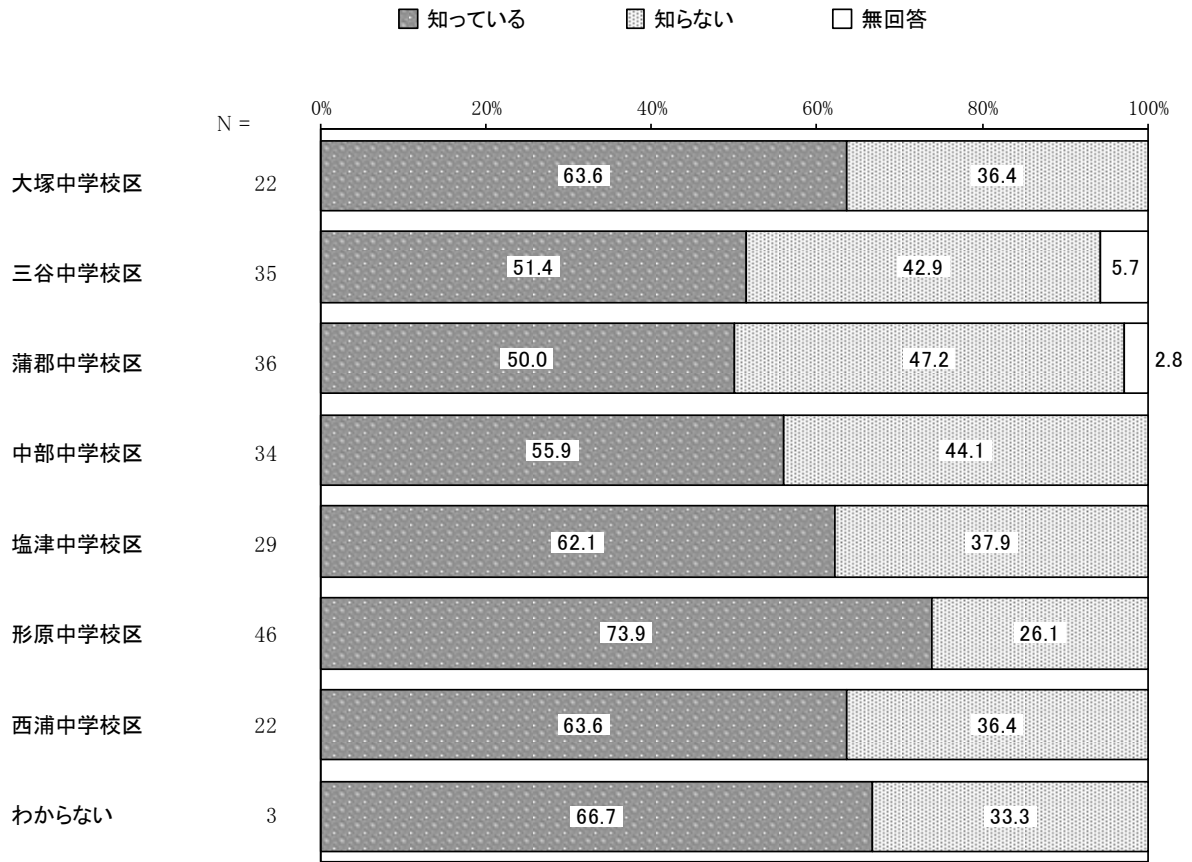
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、60 歳代以上で「知っている」の割合が高く、約 7 割となっています。また、20 歳代、40 歳代で「知らない」の割合が高くなっています。



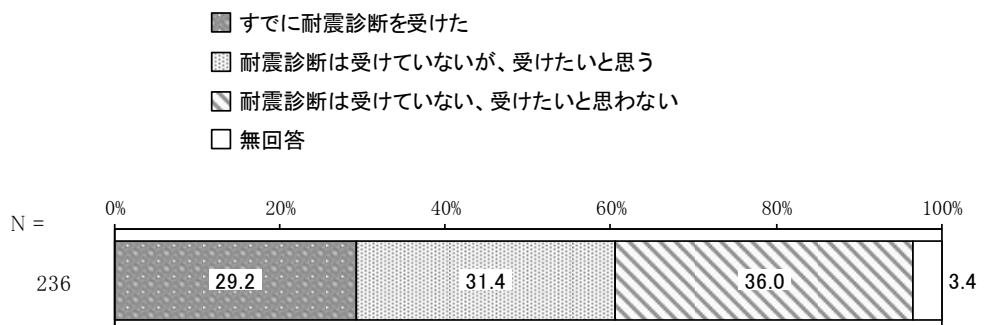
【中学校区別】

中学校区別でみると、他に比べ、形原中学校区で「知っている」の割合が高く、約7割となっています。また、蒲郡中学校区で「知らない」の割合が高く、約5割となっています。



問 53-2 耐震診断を受けましたか。受けてない場合は受けたいと思いますか。
(○は1つだけ)

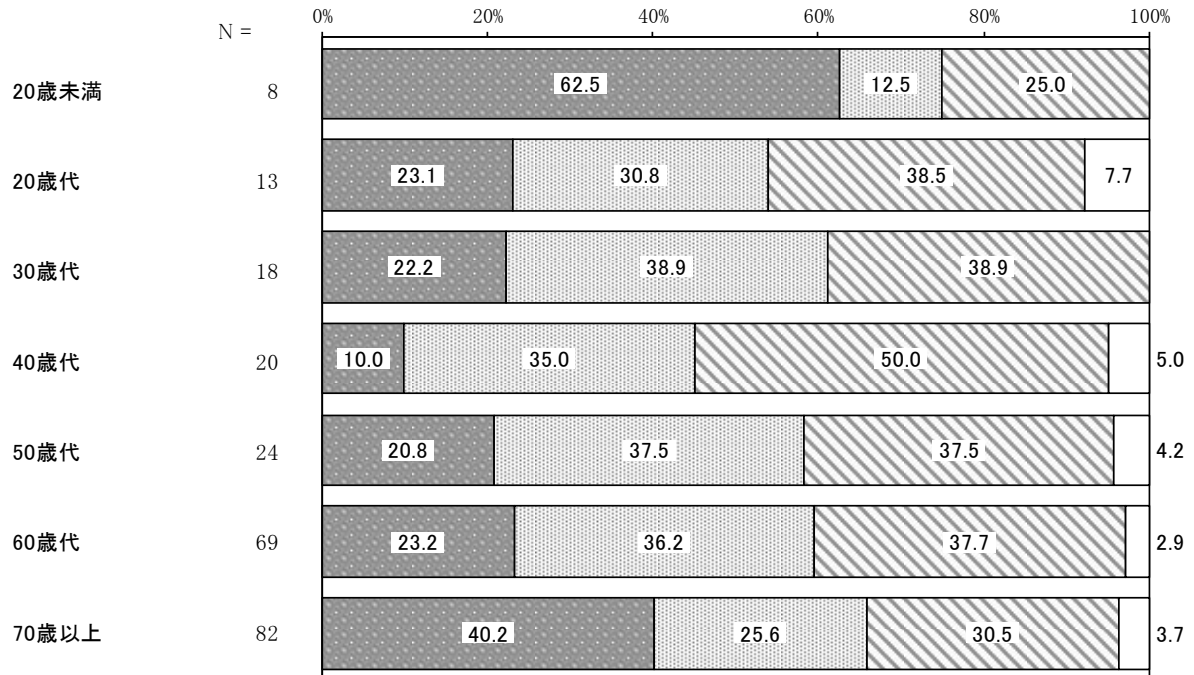
「耐震診断は受けていない、受けたいと思わない」の割合が36.0%と最も高く、次いで「耐震診断は受けていないが、受けたと思う」の割合が31.4%、「すでに耐震診断を受けた」の割合が29.2%となっています。



【年齢別】

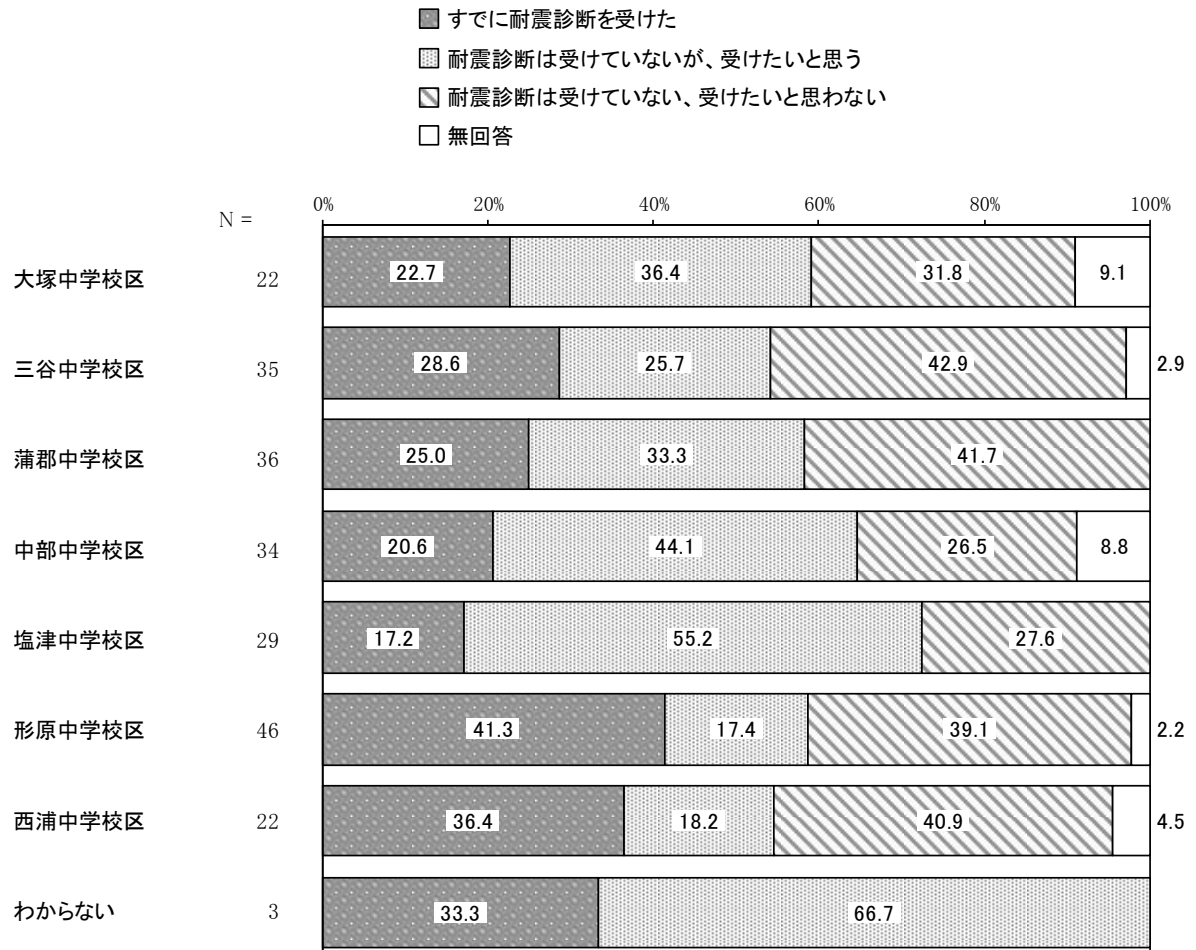
年齢別でみると、他の年齢に比べ、40歳代で「耐震診断は受けていない、受けたと思わない」の割合が高く、5割となっています。また、20歳未満、70歳以上で「すでに耐震診断を受けた」の割合が高く、約4割となっています。

- すでに耐震診断を受けた
- ▨ 耐震診断は受けていないが、受けたと思う
- ▧ 耐震診断は受けていない、受けたと思わない
- 無回答



【中学校区別】

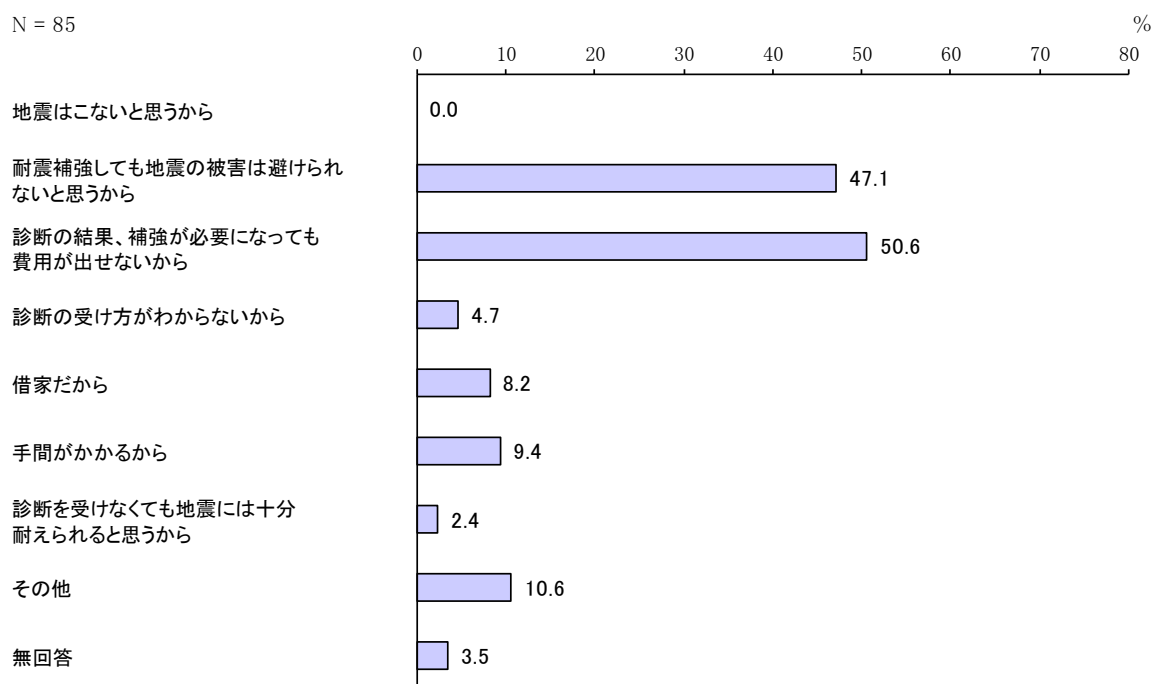
中学校区別で見ると、他に比べ、塩津中学校区で「耐震診断は受けていないが、受けたと思う」の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、形原中学校区で「すでに耐震診断を受けた」の割合が高く、約4割となっています。



問 53-2 で「耐震診断は受けていない、受けたと思わない」と答えた方にお聞きします。

問 53-2-1 耐震診断を受けたいと思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「診断の結果、補強が必要になっても費用が出せないから」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「耐震補強しても地震の被害は避けられないと思うから」の割合が 47.1%、「手間がかかるから」の割合が 9.4%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、60歳代を除くすべての年齢で「診断の結果、補強が必要になっても費用が出せないから」の割合が最も高く、60歳代で「耐震補強しても地震の被害は避けられないと思うから」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地震はこないと 思うから	耐震補強しても地 震の被害は避けら れないと思うから	診断の結果、補強が 必要になっても費 用が出せないから	診断の受け方がわ からないから	借家だから	手間がかかるから	診断を受けなく ても地震には十分耐 えられると思うか	その他	無回答
20歳未満	2	—	50.0	100.0	50.0	—	50.0	—	—	—
20歳代	5	—	20.0	40.0	20.0	—	—	—	20.0	—
30歳代	7	—	57.1	71.4	—	—	14.3	14.3	14.3	—
40歳代	10	—	40.0	50.0	—	20.0	10.0	—	20.0	—
50歳代	9	—	33.3	44.4	11.1	11.1	11.1	—	22.2	—
60歳代	26	—	65.4	42.3	3.8	11.5	11.5	—	3.8	—
70歳以上	25	—	36.0	52.0	—	4.0	4.0	4.0	8.0	12.0

【中学校区別】

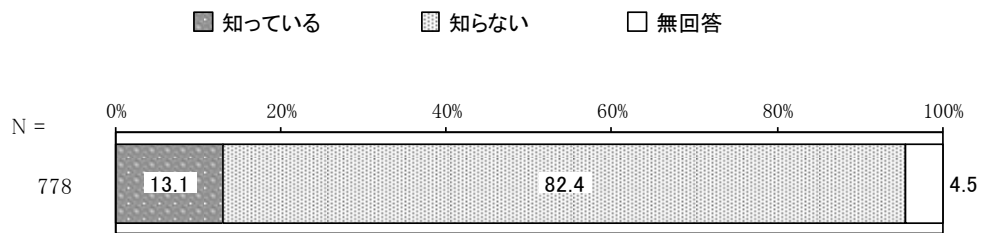
中学校区別でみると、他に比べ、塩津中学校区、西浦中学校区で「耐震補強しても地震の被害は避けられないと思うから」の割合が高く、6割以上となっています。また、蒲郡中学校区、塩津中学校区、西浦中学校区で「診断の結果、補強が必要になっても費用が出せないから」の割合が高く、6割以上となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	地震はこないと 思うから	耐震補強しても地 震の被害は避けら れないと思うから	診断の結果、補強が 必要になっても費 用が出せないから	診断の受け方がわ からないから	借家だから	手間がかかるから	診断を受けなく ても地震には十分耐 えられると思うか	その他	無回答
大塚中学校区	7	—	42.9	42.9	14.3	—	14.3	—	28.6	—
三谷中学校区	15	—	46.7	46.7	—	26.7	—	6.7	20.0	—
蒲郡中学校区	15	—	46.7	66.7	—	—	6.7	—	13.3	—
中部中学校区	9	—	22.2	44.4	—	—	—	11.1	11.1	11.1
塩津中学校区	8	—	62.5	62.5	—	12.5	12.5	—	—	—
形原中学校区	18	—	44.4	38.9	5.6	5.6	22.2	—	5.6	5.6
西浦中学校区	9	—	66.7	66.7	11.1	—	11.1	—	—	—
わからない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

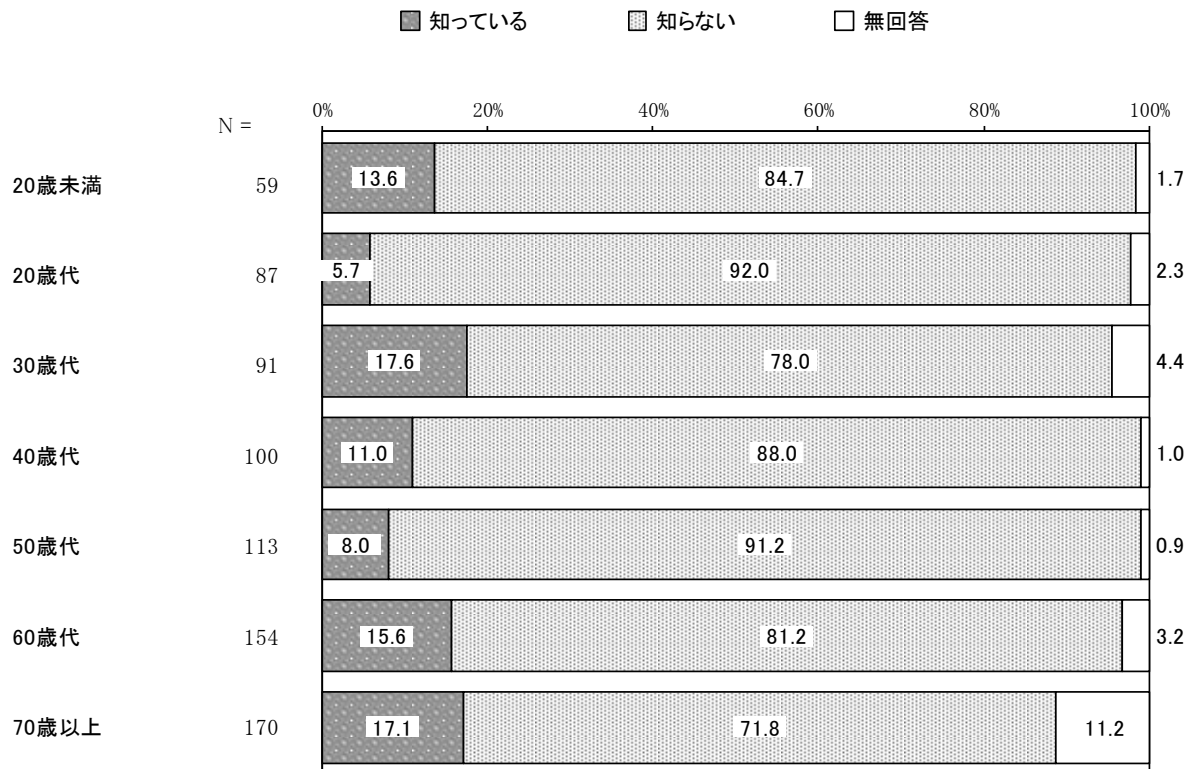
問 54 環境省発行の「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」において、「ペットの同行避難が奨励されていることを知っていますか。(〇は1つだけ)

「知っている」の割合が13.1%、「知らない」の割合が82.4%となっています。



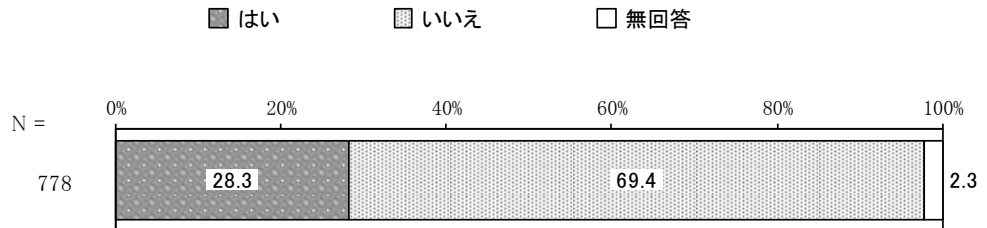
【年齢別】

年齢別で見ると、他の年齢に比べ、20歳代、40歳代、50歳代で「知らない」の割合が高く、約9割となっています。



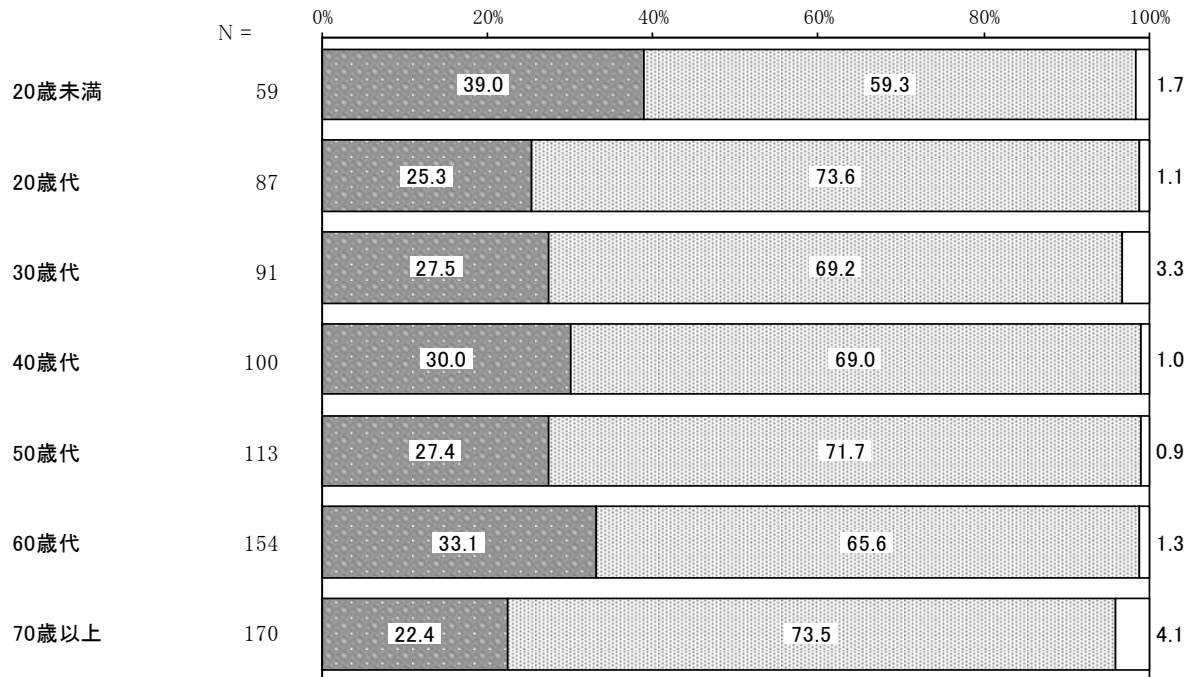
問 55 ご家庭でペットを飼っていますか。(〇は1つだけ)

「はい」の割合が28.3%、「いいえ」の割合が69.4%となっています。



【年齢別】

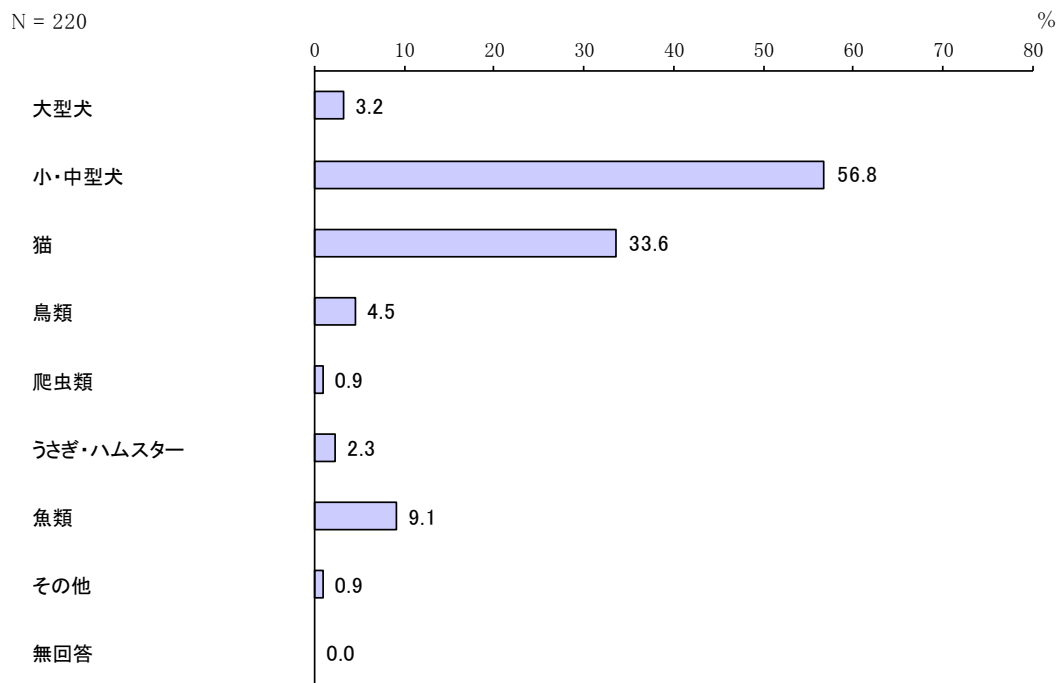
年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳未満で「はい」の割合が高く、約4割となっています。また、20歳代、50歳代、70歳以上で「いいえ」の割合が高く、7割以上となっています。



問 55 で「はい」と答えた方にお聞きします

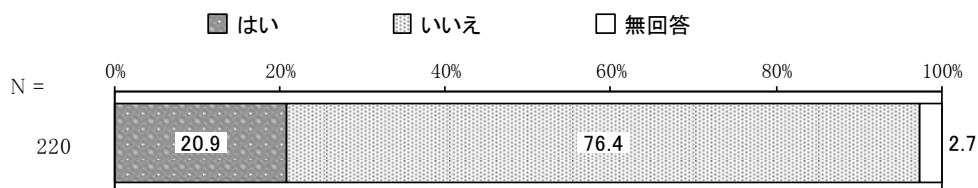
問 55-1 ペットの種類を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「小・中型犬」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「猫」の割合が 33.6%、「魚類」の割合が 9.1%となっています。



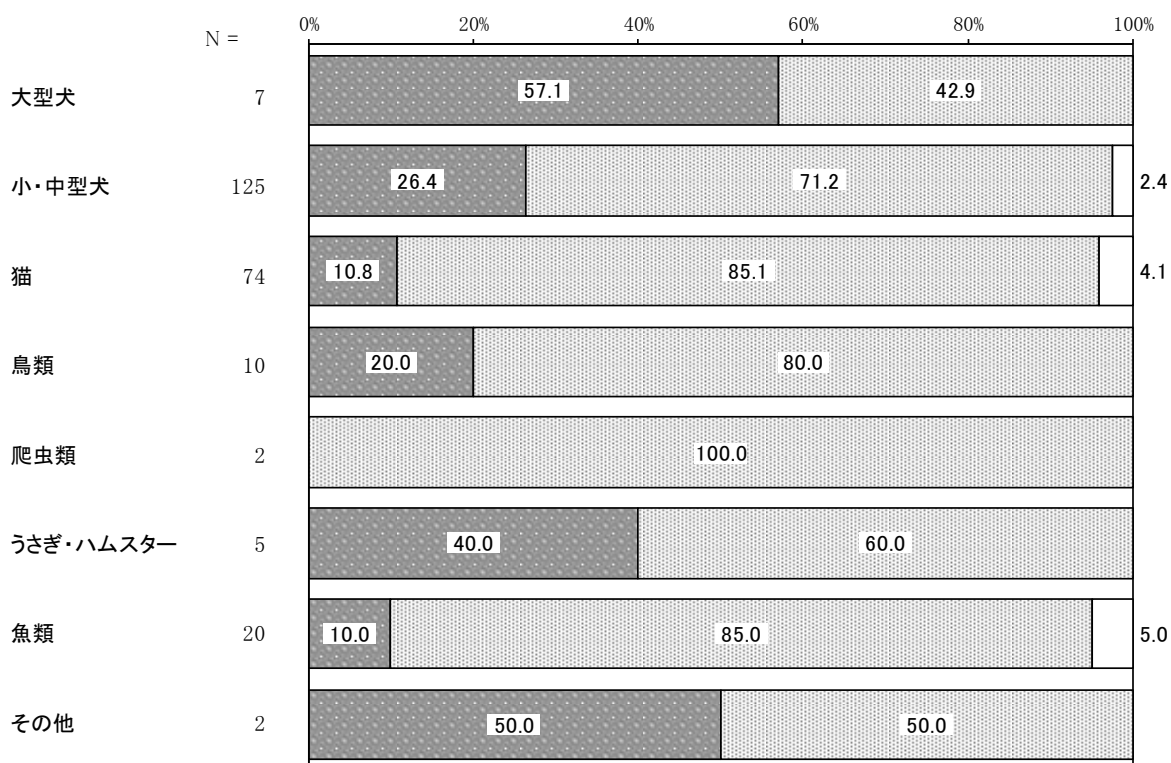
問 55-2 災害に備えたペットに対する対策（しつけや健康管理、ペット用の避難用品・備蓄品の確保、所有者明示等）を行っていますか。（○は1つだけ）

「はい」の割合が20.9%、「いいえ」の割合が76.4%となっています。



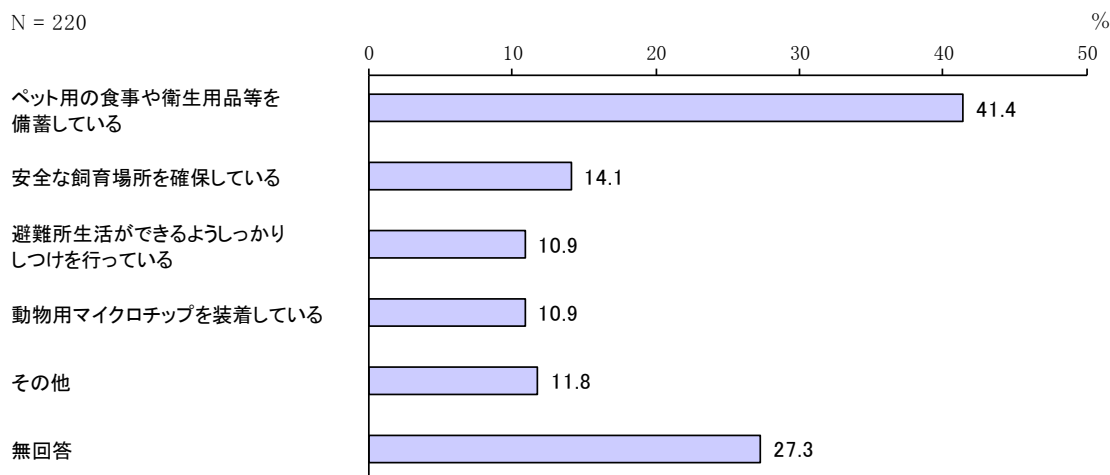
【ペットの種類別】

ペットの種類別でみると、猫に比べ、小・中型犬で「はい」の割合が高くなっています。小・中型犬、猫以外のペットについては、回答数が少ないため、単純に比較することはできません。



問 55-3 ペットに対してどのような対策をしていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「ペット用の食事や衛生用品等を備蓄している」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「安全な飼育場所を確保している」の割合が 14.1%、「避難所生活ができるようしっかりしつけを行っている」、「動物用マイクロチップを装着している」の割合が 10.9%となっています。



【ペットの種類別】

ペットの種類別でみると、他に比べ、小・中型犬で「ペット用の食事や衛生用品等を備蓄している」の割合が高くなっています。

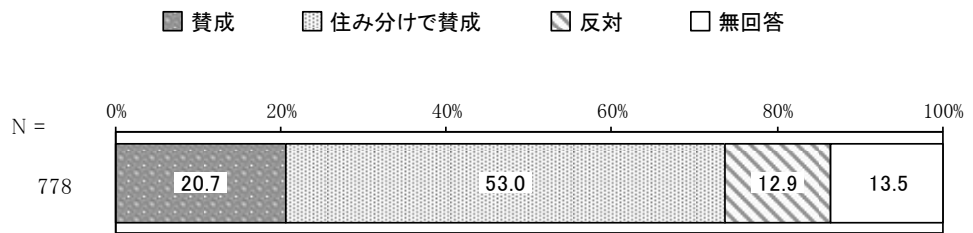
小・中型犬、猫以外のペットについては、回答数が少ないため、単純に比較することはできません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	ペット用の食事や衛生用品等を備蓄している	安全な飼育場所を確保している	避難所生活ができるようしっかりしつけを行っている	動物用マイクロチップを装着している	その他	無回答
大型犬	7	85.7	14.3	14.3	—	14.3	—
小・中型犬	125	44.0	12.0	15.2	17.6	6.4	24.0
猫	74	36.5	10.8	6.8	8.1	16.2	32.4
鳥類	10	40.0	20.0	10.0	—	10.0	20.0
爬虫類	2	100.0	50.0	—	—	—	—
うさぎ・ハムスター	5	60.0	40.0	—	—	—	20.0
魚類	20	30.0	10.0	5.0	5.0	30.0	35.0
その他	2	50.0	100.0	—	—	—	—

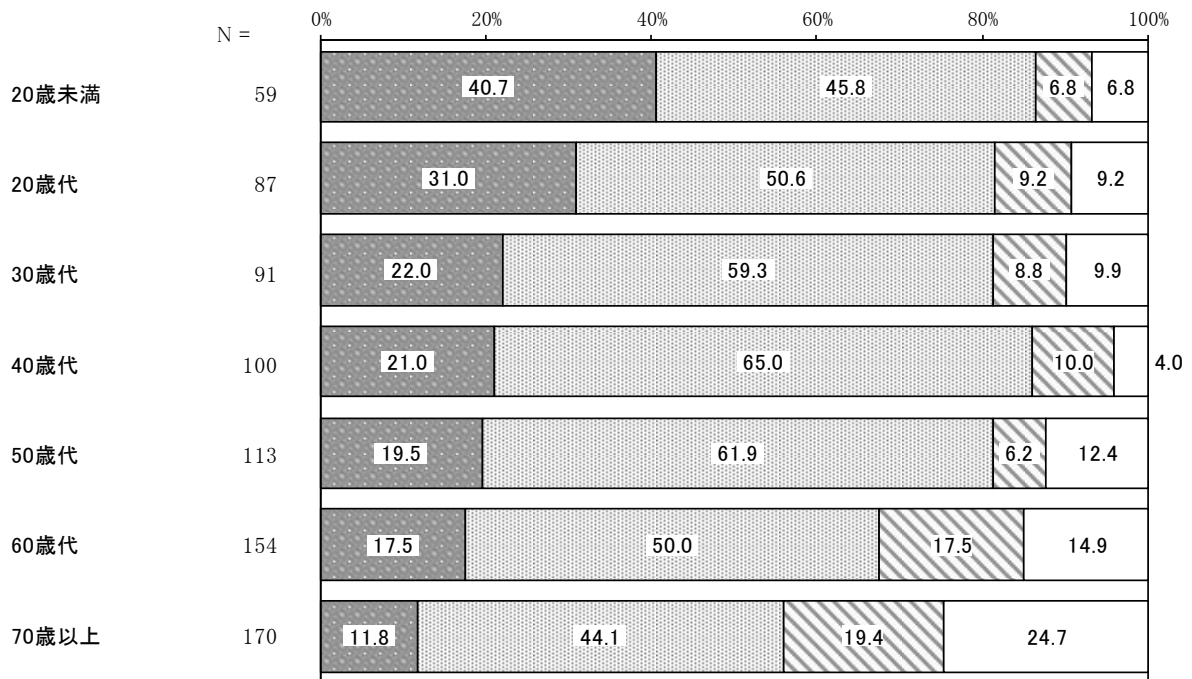
問 56 ペットとの同行避難についてどのようにお考えですか。(〇は1つだけ)

「住み分けで賛成」の割合が53.0%と最も高く、次いで「賛成」の割合が20.7%、「反対」の割合が12.9%となっています。



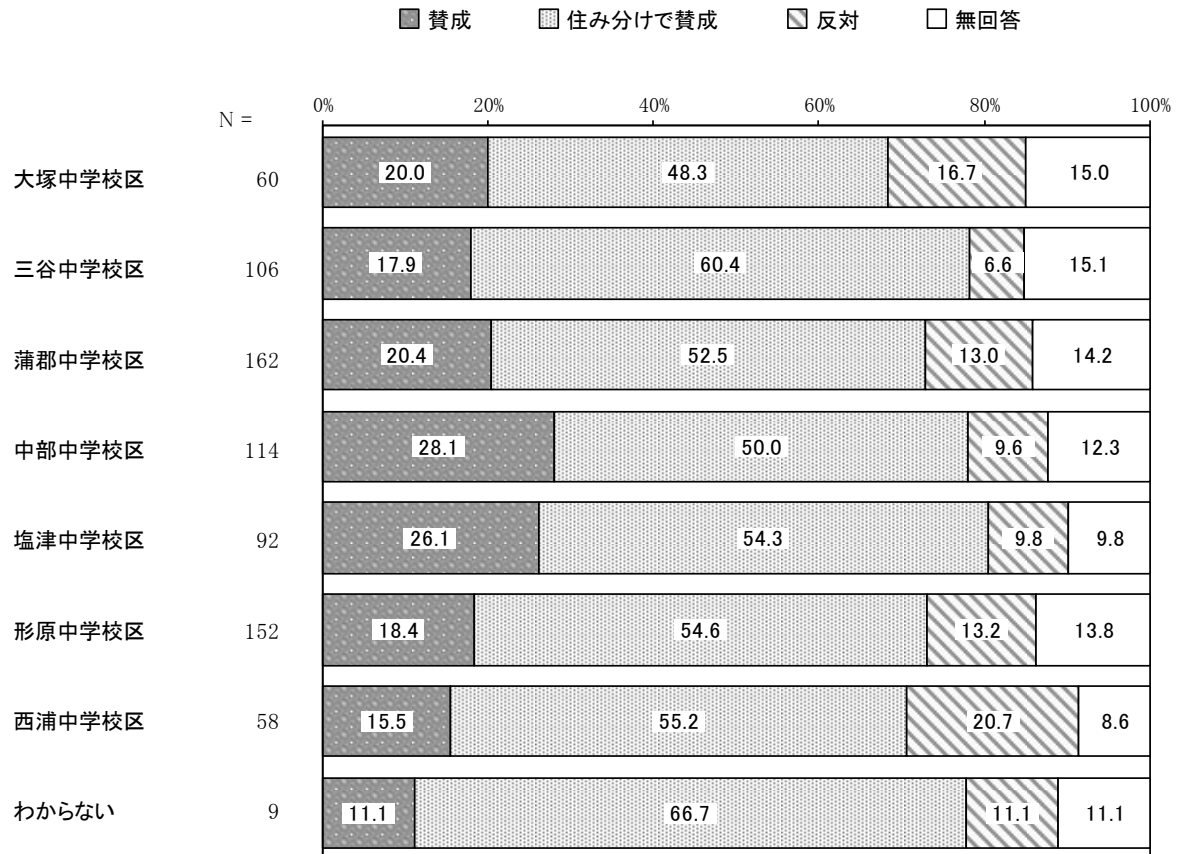
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「賛成」の割合が高くなっています。また、40歳代で「住み分けで賛成」の割合が、60歳代以上で「反対」の割合が高くなっています。



【中学校区別】

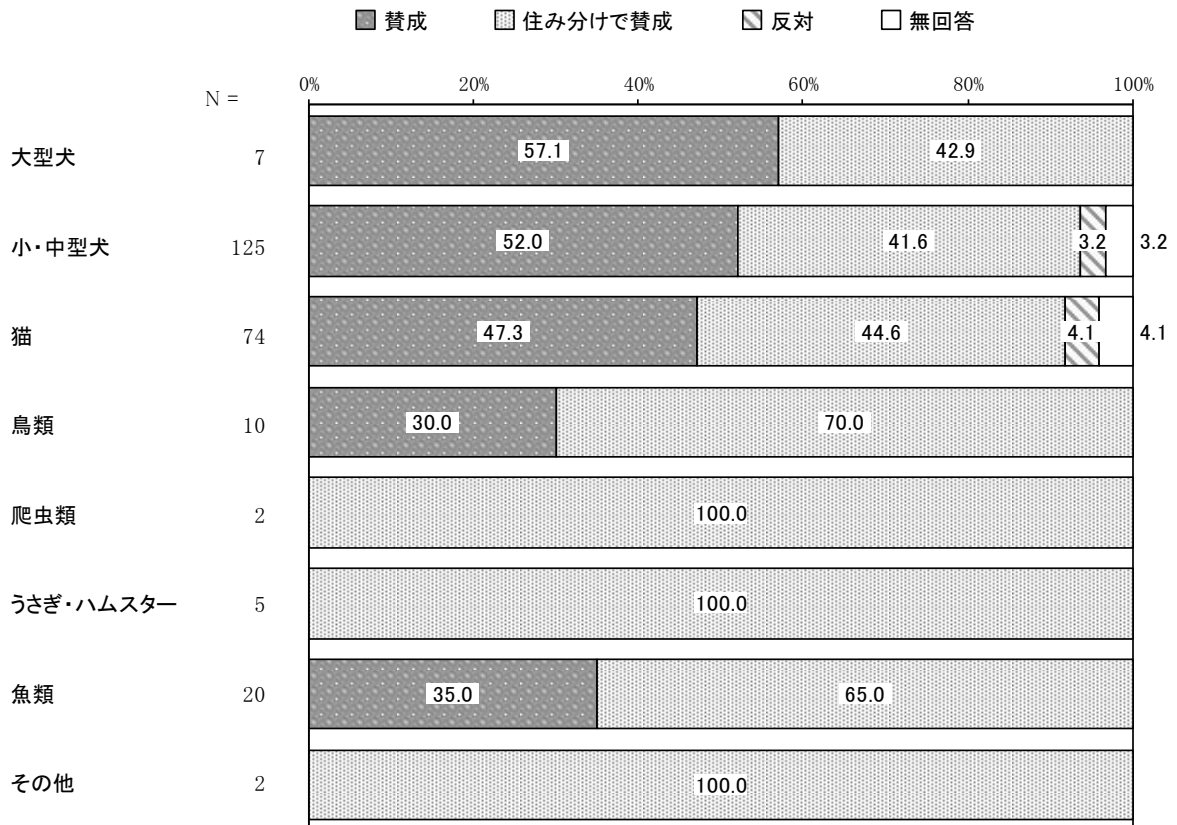
中学校区別でみると、他に比べ、中部中学校区で「賛成」の割合が高く、約3割となっています。また、三谷中学校区で「住み分けで賛成」の割合が、西浦中学校区で「反対」の割合が高くなっています。



【ペットの種類別】

ペットの種類別で見ると、猫に比べ、小・中型犬で「賛成」の割合が高くなっています。

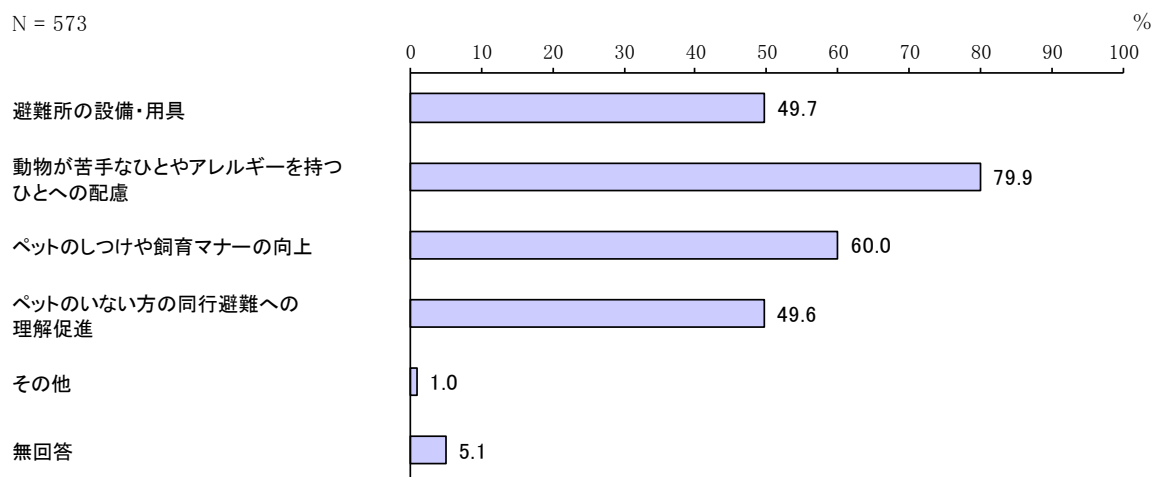
小・中型犬、猫以外のペットについては、回答数が少ないため、単純に比較することはできません。



問 56 で「賛成」、「住み分けで賛成」と答えた方にお聞きします

問 56-1 同行避難に必要なものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「動物が苦手なひとやアレルギーを持つひとへの配慮」の割合が 79.9%と最も高く、次いで「ペットのしつけや飼育マナーの向上」の割合が 60.0%、「避難所の設備・用具」の割合が 49.7%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代で「動物が苦手なひとやアレルギーを持つひとへの配慮」の割合が高く、約9割となっています。また、20歳代で「ペットのいない方の同行避難への理解促進」の割合が高く、約6割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	避難所の設備・用具	動物が苦手なひとやアレルギーを持つひとへの配慮	ペットのしつけや飼育マナーの向上	ペットのいない方の同行避難への理解促進	その他	無回答
20歳未満	51	60.8	84.3	64.7	54.9	—	—
20歳代	71	46.5	85.9	63.4	59.2	4.2	1.4
30歳代	74	45.9	89.2	62.2	52.7	1.4	2.7
40歳代	86	43.0	76.7	53.5	40.7	1.2	8.1
50歳代	92	51.1	79.3	65.2	42.4	1.1	4.3
60歳代	104	51.0	78.8	55.8	54.8	—	4.8
70歳以上	95	52.6	70.5	58.9	46.3	—	10.5

【ペットの種類別】

ペットの種類別でみると、他に比べ、小・中型犬で「避難所の設備・用具」の割合が、猫で「動物が苦手なひとやアレルギーを持つひとへの配慮」の割合が高くなっています。

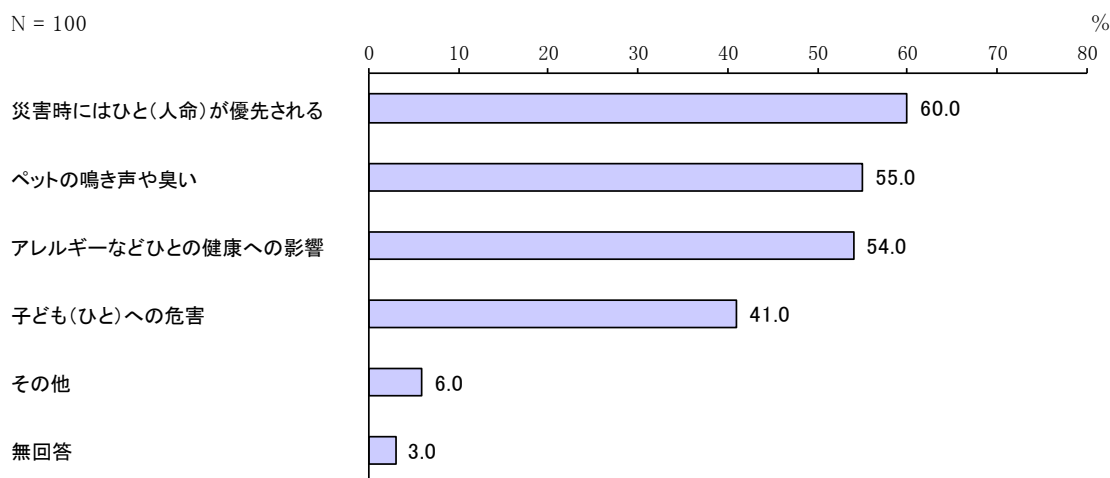
単位：％

区分	有効回答数 (件)	避難所の設備・用具	動物が苦手なひとやアレルギーを持つひとへの配慮	ペットのしつけや飼育マナーの向上	ペットのいない方の同行避難への理解促進	その他	無回答
大型犬	7	42.9	85.7	57.1	42.9	—	—
小・中型犬	117	70.1	77.8	54.7	53.8	—	1.7
猫	68	57.4	80.9	41.2	60.3	1.5	1.5
鳥類	10	50.0	60.0	40.0	60.0	—	—
爬虫類	2	—	50.0	50.0	100.0	50.0	—
うさぎ・ハムスター	5	20.0	80.0	60.0	80.0	—	—
魚類	20	60.0	60.0	55.0	55.0	—	5.0
その他	2	—	100.0	—	—	—	—

問 56 で「反対」と答えた方にお聞きします

問 56-2 反対する理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「災害時にはひと（人命）が優先される」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「ペットの鳴き声や臭い」の割合が 55.0%、「アレルギーなどひとの健康への影響」の割合が 54.0%となっています。



【ペットの種類別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	災害時にはひと 命)が優先される	ペットの鳴き声や 臭い	アレルギーなどひ との健康への影響	子ども ひと)への 危害	その他	無回答
大型犬	—	—	—	—	—	—	—
小・中型犬	4	100.0	25.0	25.0	25.0	—	—
猫	3	—	33.3	100.0	33.3	—	—
鳥類	—	—	—	—	—	—	—
爬虫類	—	—	—	—	—	—	—
うさぎ・ハムスター	—	—	—	—	—	—	—
魚類	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—

問 57 市の災害対策について、ご意見があればご記入ください。

(いただいた意見をまとめさせていただきました。)

【情報伝達】

- ・ 「安心ひろめーる」の情報が早く確かなので一番頼りにすると思う。
- ・ 地域の放送があまり聞こえないので、スピーカーを増やして欲しい。
- ・ 防災ラジオが受信しにくい。
- ・ 各世帯への情報伝達の確立と、早めの避難勧告及び避難指示の発令。
- ・ 災害対策用にと防災ラジオの購入を考えていましたが 7,000 円程かかると以前聞きました。親元から独立した場合でも新規購入者という所は同じなのに補助されない点が残念。
- ・ 日頃から関心が持てるよう誰でも使えるアプリがあると良いと思います。インターネットでも情報は得ることはできますが、必要な情報が得られるか不安に思います。
- ・ 災害対策として情報がすぐ入るように、ケーブルテレビなどでも日頃から大規模地震対策に向けて活用して欲しい

【設備・資機材】

- ・ 避難所の設備や備蓄品など（収容人数なども）の状況を定期的に情報発信して欲しい。
- ・ いつ災害が来ても良いように、避難所の設備や用具は地区別に備えて、毎年確認、見直しを。
- ・ 非常用の食料や水など、少しでも用意して災害の時に備えたいです。必要なもの、その時の行動などがまとめて書いてあるもの（防災準備）があればと思う。

【啓発】

- ・ 訓練が少なすぎると思います。防災地区ごとの訓練も必要。
- ・ 年一度の防災訓練は形式的な消化作業である。
- ・ 迅速な対応をすることのできるリーダーの育成、チームをお願いします。
- ・ 何に対してどのような対策がされているのか一覧を各家庭へ、そして必ず自助はこれがあるというものを指示しておくことも重要。
- ・ 中学校では恒例として避難訓練を行っているようだが、なんとなくやる訓練では意味がない。子どもの防災意識は低い。
- ・ 防災活動に市民（特に若い人）がより参加しやすい方法を考えていただきたいです。
- ・ 先日、蒲郡市のハザードマップが配布されたが、土砂災害警戒区域に住んでいると不安。

【その他】

- ・ 津波想定をしっかりとって欲しい。堤防の工事も必要ではないのか。
- ・ 川底をきれいにし、水がスムーズに流れるよう草や木、土砂を取り除いて欲しい。
- ・ 「想定外でした」ですませないように対応をお願いしたい。
- ・ 市役所や公民館、警察署等建物が劣化している。いざという時機能するのか。特にライフライン施設の耐震の向上を。
- ・ 災害発生時には、ハード（施設）の被害状況に応じた柔軟な活用が必要だと思います。計画やマニュアルに縛られずに行政が持つ情報を活発に開示して、避難住民との協働を進めていくようにお願いします。
- ・ 避難所から1日も早く出られるように対策を。
- ・ 地震・津波、川の氾濫による水害、土砂災害など、蒲郡市としての災害対策強化をお願いします。
- ・ 周りの人に「助けて」と言えるよう地域のコミュニティが大切。若者と高齢者が関われるような環境づくりをして欲しい。
- ・ 避難、物資輸送のための幹線道路の整備。
- ・ 災害後のケア（心身、金銭面）をしっかりとって欲しい。

これからのまちづくりに関する主な意見

(1) 自然・環境について

- ・ こじんまりとしていて、とてもいい街。
- ・ まちは発展してほしいが環境のため、緑はちゃんと残してほしい。
- ・ 海と森をきれいにしていってほしい。
- ・ 良いものが多くある市だと思う。良いものを守りながら、よりよい市にしてほしい。
- ・ 居住区に店舗が出来たのは良い事だが（ドラッグストア、コンビニ）それに伴い、ゴミを捨てていく人がいる。
- ・ 道路脇にポイ捨てのカン、ペットボトル、レジ袋が多い。ゴミを拾う習慣捨てない習慣が市民皆にできるといい。
- ・ 災害が少なくとても住み良い町。
- ・ “海の街蒲郡”を盛り上げて欲しい。

(2) 基盤整備・交通について

- ・ 子供を遊ばせる場所が少ない。無料でたくさん遊べる施設を増やしてほしい。
- ・ 早期の道路の整備。
- ・ 競艇場西から形原北浜までの交通渋滞の緩和。
- ・ 高齢者がもっと外へ出てコミュニケーションをとれるよう足の確保が大事。
- ・ 形原・西浦地区の道がせまい。
- ・ 空き家、空き地対策。
- ・ 高齢者が多くなっているのに、高齢者が不自由しないような、交通整備(手段)を整えてほしい。
- ・ コミュニティバス及びタクシーを安く利用できるようにしてほしい。
- ・ 各地区へのコミュニティバスの充実。
- ・ 道路やインフラ関係の整備、企業誘致、宅地造成を進めてほしい。
- ・ 名鉄電車を残してほしい。
- ・ 駅前、幹線道路から見える景観などは、蒲郡の印象を大きく与えるところだと思うので、ある程度の整備が必要。
- ・ 公園の充実化。
- ・ 下水道の整備を進めてほしい。
- ・ 利用したくなる様な公共施設を増やしてほしい。
- ・ 案内標識が不十分で来訪者が道に迷いやすい。主要交差点には案内標識の設置を。

(3) 安全・安心について

- ・ 市民が安全に暮らせる、まちづくりを目指して、将来像の設計をお願いしたい。
- ・ 医療設備の充実。
- ・ 喫煙者のマナー向上と受動喫煙防止対策を考えていただきたい。
- ・ 犯罪のない住みやすい町だと思う。
- ・ 大地震に備えて公共設備等の対策をしてほしい。
- ・ 子ども達の登下校時の見守りが、もう少ししっかりするといい。
- ・ 交通量の多い交差点の交通安全の強化。

- ・ 高齢者が暮らしやすい町に。
- ・ 防犯カメラの設置を積極的に行なってほしい。
- ・ 災害が起きた時は、具体的にどのように何をおこなうのか、もう少し細かくはっきりと教えてほしい。

(4) 教育・子育てについて

- ・ 子育て世代への支援、安心して子育てできる町にしてほしい。
- ・ 女性が結婚出産後も仕事を続けやすいような環境作りを行ってほしい。
- ・ 若者たちに住んでもらえる蒲郡を目指してほしい。
- ・ 若い世代が増える政策を。
- ・ 名古屋への通勤に便利な町として若い人にアピールをして人口の増加を図ってほしい。少しでも蒲郡に若い人達が住みやすい町を作っていく事が大切。
- ・ 学生も市政について、いろんなことを思っており、面白いアイデアをたくさんもっている。是非活用してあげてほしい。
- ・ 子育てしやすい町にしてほしい。
- ・ 世代を超えて気軽に集まることができる総合施設があったらよい。

(5) 産業について

- ・ 観光資源が豊富にあるため、観光に力を入れ蒲郡を知ってもらえるようにしてほしい。
- ・ 観光立市に相応しい「まちづくり」に重点を置いて推進して頂きたい。
- ・ 観光を資源に福祉に力を入れることができると人も集まってくるのではないかと。
- ・ 観光情報発信のため「道の駅」を市内に設置してほしい。
- ・ 買い物をする所、飲食店が少ない。大型のショッピング施設などがあるとよい。
- ・ 子育て世帯が増加するように商業施設の充実。
- ・ 大企業誘致。
- ・ 人口減少傾向の中で働く場所の確保は最重要だと思う。
- ・ 若者が働ける産業の誘致に力を入れてほしい。若者が帰ってくるまちにしてほしい。
- ・ 若者が働きやすく住みやすい町になってほしい。
- ・ 駅周辺に活気がないように感じる。お土産やイベントなど蒲郡の良さをアピールすることに力を入れてほしい。
- ・ 蒲郡駅はすごく綺麗だが駅の北口はやっていない店が目立ち、活気がなく見えてしまう。
- ・ インフラ整備や企業誘致、産業の発展を図り個人の住居と企業が併存できる体制が必要。蒲郡の立地環境を活かし「観光・レジャー」・「住居」・「工業」・「農業」など各エリアを整備して行くことで魅力ある街にしてほしい。
- ・ 観光より産業を優先してほしい。
- ・ 住みやすい町であると思うが若者にとって魅力のある町かという疑問。活気がある町になっていくと人口増にもつながっていくのではないかと思う。
- ・ 広告、宣伝、アピールが不足している。積極的にアピールし蒲郡に住みたい、遊びに行きたいと思う街にしてほしい。
- ・ 定住してもらおう事により税収を増やし市の活性化につなげる。

- ・ 夜が賑わうような対策を考えて欲しい。
- ・ 竹島水族館周りのお土産・食事処のストリートの改善。

(6) その他

- ・ 住民が主体的に関わるまちづくりが大切。
- ・ 市全体（職員・住民）でまちづくりをしていくべき。
- ・ 市だけで考えていても限界がある。
- ・ 市と協力してやれるシステムがあるとよい。
- ・ 町内に住みながら、町内費を収めない家庭が増えている。地域・町内としての交流が薄れる。
- ・ スマホの普及で広報の紙での配布は必要な人だけでいいと思う。
- ・ 市民への広報が下手だと思う。もっと広く知らせるべき。
- ・ 自治会の負担を減らす工夫をして欲しい。共働き世帯が多くなり、今までのやり方では無理が生じてきている。
- ・ 地域のコミュニティが少ないと感じる。（昔から住んでいる方と新しく住む方との距離感）
- ・ 市のまちづくりに、各町、地区で参加できるものがあるとよい。
- ・ 家族の暮らし方が大家族（三世代）から小家族になり、一つ屋根の下でという感覚が無くなってきた。
- ・ 高齢者が輝くことができる場を作ること（観光、子育て支援など）で若者の負担が少しでもなくなる工夫が必要。地域のコミュニティが広がる。
- ・ 地域でかたまり、外部との交流がなかなかなく、特に、子どもたちが中学を卒業後に壁に当たるように感じる。積極的な交流ができるようになるとよい。
- ・ 市民とのきずなを大切にしてください。
- ・ 住民ファーストで考えて頂きたい。蒲郡市民が快く過ごせる市にしてほしい。
- ・ 今回のアンケートで、自分自身は全く市について考えたことがなかったことに気づいた。
- ・ 市政に無関心の方が減っていくといいと思う。
- ・ この先もずっと住み続けるために魅力ある蒲郡市であってほしい。

平成 30 年度

蒲郡市 市民意識調査

市民の皆様には日頃から市政の運営につきまして、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

蒲郡市では、平成 23 年度にスタートした「第四次蒲郡市総合計画」に基づき「三河湾に輝く人と自然が共生するまち 蒲郡」を目指すべく都市像としてまちづくりを進めてきております。取組みを進めていくには、皆様のご意見を積極的に伺いすることが重要であると考えております。

そこで、市民の皆様にはこれまでの取り組みに対する評価をいただき、現在の生活環境や今後のまちづくりについてのご意見などをお伺いするため、市民意識調査を実施することといたしました。調査結果は、市民の皆様にご満足していただける市政の実現に向けて活用してまいります。

このアンケート調査は、市内にお住まいの 18 歳以上の方の中から、無作為に 2,000 人の方を選ばせていただきお願いするものです。ご回答は無記名の上、全て統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 30 年 8 月

蒲郡市長 稲葉 正吉

【ご回答にあたってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・ 封筒の宛名のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。
- ・ 尚、ご本人様が記入できない場合は、ご本人様と相談のうえご家族の方がご記入ください。
- ・ 回答にあたっては、設問によって選択する項目の数が異なりますので、設問に従い〇印をつけてください。ただし、「その他」を選択された場合は、()内に具体的にその内容を記入ください。

◇調査票の回収について

回答されたアンケート用紙は、**8月27日(月)**までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、ポストに投函してください。

◇調査についての不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください。

蒲郡市 企画部 企画政策課
 電話:0533-66-1162 FAX:0533-66-1190
 E-mail:kikaku@c.ty.gamagori.lg.jp

1 あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別は (○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問2 あなたの年齢は (平成 30 年 8 月 1 日現在の満年齢) (○は1つだけ)

1. 20 歳未満 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代
 5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳以上

問3 あなたの家族構成は (○は1つだけ)

1. 単身世帯 2. 夫婦のみの世帯 3. 親と子の世帯
 4. 三世以上世帯 (親と子と孫) 5. その他 ()

問4 あなたに 18 歳未満の子どもはいますか (該当する項目に○)

1. 0～2 歳 2. 3～5 歳 3. 小学生 4. 中学生 5. 高校生等 6. いらない

問5 あなたの職業は (○は1つだけ)

1. 社員・団体職員 (常勤) 2. 公務員・教職員 (常勤)
 3. パートタイマー・アルバイト・内職 4. 自営業
 5. 農林水産業 6. 学生
 7. 専業主婦・主夫 8. 無職

問5で「1」～「6」と答えた方にお聞きます

問5-1 あなたの通勤 (就業) ・通学先は (○は1つだけ)

1. 蒲郡市内 2. 豊橋市 3. 豊川市 4. 岡崎市
 5. 幸田町 6. 西尾市 7. 名古屋市内
 8. 愛知県内 (1～7以外の愛知県内) 9. 愛知県外

問5-2 あなたの通勤・通学の際の主な交通手段は (○は1つだけ)

1. 電車 2. バス 3. 自動車、二輪車 (バイク・スクーター)
 4. 自転車 5. 徒歩 6. その他 ()

問6 あなたの居住地区 (中学校区) は

(※地域がわからない方は、住所 (町名) をご記入ください。) (○は1つだけ)

1. 大塚中学校区 2. 三谷中学校区 3. 蒲郡中学校区
 4. 中部中学校区 5. 塩津中学校区 6. 形原中学校区
 7. 西浦中学校区 8. わからない (町名:)

問7 蒲郡市に住むことになったきっかけは (○は1つだけ)

1. 蒲郡で生まれたから 2. 就学、就業 3. 結婚
 4. 親族がいるから 5. 魅力を感じたから 6. その他 ()

問8 蒲郡市における居住歴は (○は1つだけ)

1. 1 年未満 2. 1 年以上 5 年未満 3. 5 年以上 10 年未満
 4. 10 年以上 20 年未満 5. 20 年以上 30 年未満 6. 30 年以上

2 蒲郡市の住みやすさ・印象についておたずねします

問9 あなたは、蒲郡市に住みやすさや印象をどうお感じですか。(○は1つだけ)

1. 住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい
5. 住みにくい

問10 あなたは、知人に住む場所として蒲郡市を薦めますか。(○は1つだけ)

1. 薦めたい
2. どちらかといえば薦めたい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば薦めたくない
5. 薦めたくない

問11 あなたは、これからも蒲郡市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. ずっと住み続けたい
2. 当分の間は住み続けたい
3. いずれは市外へ引っ越したい
4. すぐにも市外へ引っ越したい

問11で「3」、「4」と答えた方にお聞きします

問11-1 どちらへ引っ越したいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 豊橋市
2. 豊川市
3. 岡崎市
4. 幸田町
5. 西尾市
6. 名古屋
7. 愛知県内(1～6以外の愛知県内)
8. 愛知県外
9. その他()
10. わからない

問12 あなたは、蒲郡市に対しどのような良い印象をお持ちですか。(○は3つまで)

1. 交通が便利である
2. 住宅地の環境が良い
3. 商業施設が立地して、生活に便利である
4. 働く場が多い
5. 文化やスポーツなどの公共施設が充実している
6. 福祉・医療施設や福祉サービスが充実している
7. 子育てしやすい環境が整っている
8. 学校教育などの教育環境が整っている
9. 畑や山林などの自然が残っており、環境が良い
10. 災害などの心配が少ない
11. 交通事故や犯罪などの危険が少ない
12. 道路の整備が進んでいる
13. 公園や緑地が多い
14. 上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている
15. 近所つきあいが多く、人情味が感じられる
16. その他()
17. 特に良い印象はない

問13 あなたは、蒲郡市に対しどのような悪い印象をお持ちですか。(○は3つまで)

1. 鉄道やバスなどの交通の便が悪い
2. 住むと工場の臭いがする
3. 買い物に不便である
4. まちの賑わいが少ない
5. 文化施設やスポーツ施設が少ない
6. 医療・福祉施設が不十分である
7. 子育て環境が整っていない
8. 教育環境が整っていない
9. 農地や山林が多く田舎の雰囲気である
10. 災害の危険がある
11. 交通事故や犯罪が多い
12. 道路の整備が遅れている
13. 公園や緑地が少ない
14. 騒音、悪臭などの問題がある
15. 近所つきあいが少なく、人情味が欠ける
16. その他()
17. 特に悪い印象はない

3 日常生活や地域活動等の実態についておたずねします

問14 あなたの日常生活や地域活動等への参加状況についてお答えください。

(1)～(15)それぞれの項目について、あなたのお考えや行動に最も近いものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

記入例) ○○○○○○について	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	全く取組んでいない
(1) 日ごろから健康増進に取り組んでいる	4	3	2	1	1
(2) 身近な高齢者や障がい者を支援している	4	3	2	1	1
(3) 子育て世帯を支援している	4	3	2	1	1
(4) 再生品やエコマーク商品を購入している	4	3	2	1	1
(5) コミの減量化・リサイクルに取り組んでいる	4	3	2	1	1
(6) コミ拾い等の身近な環境美化に取り組んでいる	4	3	2	1	1
(7) 学校や地域で子ども達の活動を見守っている	4	3	2	1	1
(8) 生涯学習活動や文化活動に取り組んでいる	4	3	2	1	1
(9) 災害に対する家庭内の備えができていない	4	3	2	1	1
(10) 地域の防災・防犯活動に参加している	4	3	2	1	1
(11) 町内会や隣地区等の地域の自治活動に参加している	4	3	2	1	1
(12) ボランティア活動に参加している(お住まいの地域以外)	4	3	2	1	1
(13) 外国人との交流に参加したことがある	4	3	2	1	1
(14) 男女が平等に生活や仕事に取り組んでいる	4	3	2	1	1
(15) 地元の商店でできるだけ買い物している	4	3	2	1	1

4 浦郡市の暮らしの満足度と今後のまちづくりの重要度についておうかがいします

問15 あなたは、これまでの浦郡市における(1)～(39)の現状について、どの程度満足していますか。また、今後の浦郡市のまちづくりにおいて、どれくらい重要だと思いますか。各項目の「満足度」と「重要度」それぞれの欄に、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

	現状の満足度			今後の重要度							
	満足	やや満足	やや不満足	重要	やや重要	重要でない					
記入例) ○○○○○○について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
1. 自然・環境について											
(1) 海や山などの自然環境の保護	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(2) 海とふれあいまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(3) ごみの減量化、リサイクル活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(4) 騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(5) 省エネ対策や自然エネルギー活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
2. 基盤整備・交通について											
(6) 駅前などの市街地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(7) 景観・まちなみへの配慮	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(8) 幹線道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(9) 生活道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(10) 公園・緑地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(11) 公共交通の利便性	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(12) 住宅・宅地の環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(13) 下水処理対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
3. 安全・安心について											
(14) 健康づくり・疾病対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(15) 地域医療体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(16) 地域での支え合い・福祉活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(17) 子育てに対する支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(18) 高齢者への福祉施策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(19) 障がい者への福祉施策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(20) 低所得者の自立支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(21) 災害に強いまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(22) 消防・救急体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(23) 交通安全・防犯対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	

	現状の満足度			今後の重要度							
	満足	やや満足	やや不満足	重要	やや重要	重要でない					
4. 教育・文化について											
(24) 小中学校の教育内容や環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(25) 生涯学習活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(26) 図書館、ホールなどの施設の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(27) 文化活動や文化の継承	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(28) スポーツ施設の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(29) 国際化、外国人との交流・共生	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
5. 産業について											
(30) 農業や水産業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(31) 工業の振興や企業誘致	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(32) 商業やサービス業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(33) 観光の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(34) ポートレースの円滑な運営や活性化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
6. その他											
(35) 男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(36) コミュニティ活動の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(37) ボランティア育成や市民活動支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(38) 市政の情報提供や市民の声の広聴	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
(39) 周辺市町村との連携	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	

5 これからのまちづくりについておうかがいします

問 16 あなたは、蒲郡市の魅力を高めるために、どのような将来像を目指すべきだと思いますか。(○は2つまで)

1. 住環境が整い暮らしやすい快適なまち
2. 観光、レジャー施設の充実したまち
3. 緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち
4. 史跡や文化財、伝統などを大切にすまち
5. 事故や災害、犯罪のない安全なまち
6. まちなみの美しい景観にすぐれたまち
7. 産業が盛んで活力とにぎわいのあるまち
8. 障がい者や子ども、高齢者などを大切にすまち
9. スポーツに親しみ、健康づくりに取り組むまち
10. 芸術や教育が充実した文化があるまち
11. 地域や市民の自主的な活動が盛んなまち
12. その他()

問 17 あなたは、「協働」という言葉を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っており、興味がある
2. 知っているが、あまり興味がない
3. 聞いたことはあるが、意味がよくわからない
4. 知らない

※「協働」とは、住民や行政などの複数の主体が目標を共有し、それぞれに果たすべき責任と役割をもって、ともに力を合わせて活動すること

問 18 あなたは、地域をより良くするために、住民と行政がどのように役割を果たしたらよいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 住民が主体となって取り組み、行政は側面から支援する
2. 行政が主体となって取り組み、住民は参加・協力する
3. 住民と行政が話し合い、お互いに役割分担をしながら協力して取り組む
4. わからない
5. その他()

問 19 あなたは、地域をより良くするために、今後、どのような活動であれば参加したいと思いますか。(○は2つまで)

1. 自治会や老人クラブ、女性会、子ども会などの地区の活動
2. 福祉(介護、医療、子育て)に関わる活動
3. 教育・文化に関わる活動
4. 環境(自然保全、ごみ対策など)に関わる活動
5. 防災・防犯・交通安全に関わる活動全般
6. 地域のまちづくりに関わる活動全般
7. その他()
8. 特に参加したいとは思わない

問 20 お住まいの地域をより住みやすくするために、あなたは、地域活動を行うことは大切だと思いますか。(○は1つだけ)

1. そう思う
2. どちらかといえば思う
3. どちらかといえば思わない
4. そう思わない

問 20で「1」、「2」と答えた方にお聞きします

問 20-1 特にどのような分野の活動が大切だと思いますか。(○は3つまで)

1. 防犯
2. 子育て支援
3. 高齢者・障がい者福祉
4. 環境美化
5. 防災
6. ごみの減量・リサイクル
7. 住民同士の交流
8. 青少年の健全育成
9. 交通安全
10. 健康づくり

問 21 高齢化などにより町内会運営が難しい状況のなか、今後の町内会運営のあり方を検討するうえで、町内会の統合・再編について、どのように思いますか。(○は1つだけ)

1. 統合・再編が必要である
2. 統合・再編は必要だが、歴史的要因、町内会費や活動の違いから難しい
3. 統合・再編は必要ない
4. わからない
5. その他()

問 22 自治会の役員への女性の就任が少ないことについて、どのような理由によるものと思わますか。(○はいくつでも)

1. 家事、育児等のため役員との両立が困難である
2. 男性の役員ばかりなので、女性が就任しにくい
3. 女性自身があまり関心がない、消極的である
4. 今までの慣例による
5. その他()

問 23 今後の蒲郡市の地域経済の発展に向けて、どのような産業振興策が必要であるとお考えですか。(○は1つだけ)

1. 市内の既存中小企業の支援
2. 創業・ベンチャーの育成
3. 成長が期待される新たな産業の誘致
4. 観光交流関連産業の振興
5. 農林水産業の振興
6. 産業基盤(道路・産業用地・情報通信等)の整備
7. 従業者が安心して定住できる生活環境の整備・充実
8. その他()

6 子育て支援について

問 24 蒲城市は子育てしやすいまちだと思いますか。(○は1つだけ)

1. 子育てしやすいまちだと思う
2. どちらかといえば子育てしやすいまちだと思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば子育てしにくいまちだと思う
5. 子育てしにくいまちだと思う

問 24 で「4」、「5」と答えた方にお聞きします

問 24-1 子育てしにくいところはどこですか。(○は2つまで)

1. 子どもが安全に遊べる場所が少ない
2. 子育てに関する情報が少ない
3. 地域や近所の子育て支援が少ない
4. 保育園・放課後児童クラブなどの環境が十分でない
5. 医療費の助成や経済的な支援が少ない
6. 子育ての相談窓口が少ない
7. その他 ()

問 25 少子化対策として、どのような子育て支援策が有効だと思いますか。(○は5つまで)

1. 出産や子育てに関する知識を得たり、相談ができる機会の増加・充実
2. 出産し退院後に宿泊で母体や赤ちゃんのケアや子育ての支援が受けられる機会
3. 子育て中の家事支援（ヘルパー派遣や食事の宅配サービスなど）
4. 必要な時に便利な場所で保育、預かり等が受けられる環境の整備
5. 短時間勤務など多様・柔軟な働き方が選択可能な社会の実現
6. 育児休業期間の延長、賃金保護等待遇改善
7. 子育てに理解のある職場環境の整備（育児休業や子どもの病気等で休暇が取りやすい等）
8. 保育園や幼稚園などの保育料の軽減
9. 子どもが安全、安心して遊べる場の確保
10. 医療費の助成や教育費用の軽減など、経済的な負担軽減のための支援
11. その他 ()
12. わからない

問 26～問 29 については子育てしている方もしくは、子育てしていた方のみご回答ください。

問 26 あなたが子育てや子どもに関することで悩みや不安を抱えたとき、相談できる人は誰ですか。またそれはどんな場所ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者
2. 親など、配偶者以外の親戚
3. 友人や知人、職場の人
4. 民生委員・児童委員
5. 保育園や幼稚園・学校の先生
6. 保健センターの保健師
7. かかりつけ医師や医療機関
8. 子育てコンシェルジュ
9. 市役所・家庭児童相談室
10. インターネットやメールでの相談
11. その他 ()
12. 相談しない

問 27 子育てに関する情報に満足していますか。(○は1つだけ)

1. 満足している
2. どちらかという満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかという満足していない
5. 満足していない
6. わからない

問 28 子育てに関する情報として、信頼して活用しているものを、どこから入手していますか。(○は3つまで)

1. 友人や知人、職場の人
2. 配偶者や親などの親戚
3. 子育てに関するホームページ
4. 保健師等育児の専門家
5. 育児書、育児雑誌
6. 保育園や幼稚園、学校の先生
7. テレビやラジオの育児番組
8. 広報
9. その他 ()
10. 活用していない

問 29 予防接種や健診の記録ができ、子育ての情報可以自己管理できるアプリ（パソコンや携帯電話等で利用できる電子システム）があったら、利用したいと思いますが、(○は1つだけ)

1. 利用したい
2. 利用したくない
3. わからない

7 健康づくりについて

問 30 あなたは普段、健康だと感じていますか。(○は1つだけ)

1. 健康である
2. まあまあ健康である
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

問 31 問 30 で健康感を判断する際に、重視した事項は何ですか。(○は3つまで)

1. 病気がないこと
2. 美味しく飲食できること
3. くつろぎと眠れること
4. 不安や悩みがないこと
5. 幸せを感じることに
6. 生きがいを感じることに
7. 家族・人間関係がうまくいくこと
8. 経済的に安定していること
9. 他人から認められること
10. その他 ()

問 32 あなたの健康にとって、最もリスクとなることはどれだとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 食生活
2. 運動不足
3. お酒
4. たばこ・受動喫煙
5. インフルエンザなどの感染症
6. ストレス
7. 大気汚染、水質汚濁などの環境汚染
8. 食中毒などの食品汚染
9. 花粉症、アトピーなどのアレルギー
10. 災害や交通事故といった不慮の事故
11. 加齢や遺伝
12. 医療事故
13. その他 ()

問 33 健康に関してどのような情報が必要だとお考えですか。(〇は3つまで)

1. からだの動きや病気になる情報
2. 医療・医療施設についての情報
3. 運動についての情報
4. 休養・ストレスについての情報
5. お酒と健康についての情報
6. タバコと健康についての情報
7. 食事・栄養についての情報
8. 健康診断についての情報
9. 健康づくりのための国・自治体等の目標値
10. 持たない

問 34 健康診査(特定健診、後期高齢者医療健診、その他の健康診断など)・がん検診を受けていますか。(〇は1つだけ)

- 【健康診査】
1. 毎年受けている 2. 時々受けている 3. 受けていない 問34-2へ
- 【がん検診】
1. 毎年受けている 2. 時々受けている 3. 受けていない 問34-2へ

問 34 で「1」、「2」と答えた方にお聞きします

問 34-1 どこで受診しますか。(あてはまるものすべてに〇)

- 【健康診査】
1. 医療機関 2. 職場の健診 3. 人間ドック 4. その他
- 【がん検診】
1. 市のがん検診 2. 職場のがん検診 3. 人間ドック 4. その他

問 34-2 健康診査またはがん検診を「3. 受けていない」と答えた方にお聞きします。

問 34-1 と答えた理由は何ですか。(〇は1つだけ)

1. 時間が合わない
2. 健康だから
3. 費用がかかる
4. 病院に行っているから必要ない
5. 受け方がわからない
6. どこで受けたらよいかわからない
7. その他()

問 35 蒲郡市保健医療センター内にある運動サポートセンターを利用したことがありますか。(〇は1つだけ)

1. 利用したことがある
 2. 利用したことはないが知っている
 3. 知らない
- 問 36 外出する際の主な移動手段について、最も多いものは何ですか。(〇は1つだけ)
1. 公共交通機関
 2. 自家用車
 3. バイク
 4. 自転車
 5. 徒歩
 6. その他()

8 災害対策について

問 37 身近で不安に感じる災害は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 地震
2. 津波
3. 火災
4. 台風などによる風水害
5. 土砂災害
6. 高潮
7. 液状化現象
8. 大規模災害(航空機事故、列車事故等)
9. その他()

問 38 災害があったとき、不安に感じるは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 食料や飲料水が不足すること
2. 家屋が損壊すること
3. 家族の安否が確認できないこと
4. 情報不足になること
5. 避難の方法がわからないこと
6. 医師が不足すること
7. その他()

問 39 災害が発生した場合、どの情報源を活用しますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. テレビ
2. ラジオ
3. 防災行政無線(こまごま放送)の放送
4. 防災ラジオ
5. インターネット(ホームページ、SNS)
6. メール配信(安心ひろめーる)
7. 家族や隣近所、知人の方々の話
8. その他()

問 40 防災対策全般について、県、市、ライフライン事業者に力を入れて欲しい対策は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 食料、飲料水、医薬品、毛布、仮設トイレなど防災資機材の備蓄
2. 電気、ガス、水道などライフライン施設の耐震性の向上
3. 災害時における迅速な被害状況の把握と情報提供(通信網の整備)
4. 超高級住宅の速やかな手配
5. 災害時の心得や地震など防災知識の普及、防災訓練の充実
6. ボランティアの受け入れ、活用体制の整備
7. 建築物(住宅を含む)の耐震化の促進
8. 消防力(消防車、レスキュー車など)の増強
9. 災害時要援護者対策
10. その他()

問 41 自宅近くの避難所を知っていますか。(〇は1つだけ)
(避難場所の名称がわかる場合は記入してください。)

1. 知っている(名称:)
2. 知らない

問 42 災害用伝言ダイヤル17171及び災害用伝言板を知っていますか。(〇は1つだけ)

1. 知っており、利用したことがある(体験利用含む)
2. 知っているが、利用したことはない(体験利用含む)
3. 知らない

問 43 自宅が被災（全壊）した場合、どこで避難生活を送りたいですか。（〇は1つだけ）

1. 避難所（屋内）
2. 避難所（屋外）でのテント生活
3. 避難所以外（自宅周辺）でのテント生活
4. 避難所周辺での車中生活
5. 避難所以外（自宅周辺）での車中生活
6. 親戚、知人の家
7. その他（ ）

問 44 普段ご近所のお付き合いをどの程度していますか。（〇は1つだけ）

1. とても親しく付き合っている
2. わりと親しく付き合っている
3. あいさつ程度の付き合い
4. ほとんど付き合いがない

問 45 自主防災会活動に参加したことがありますか。（〇は1つだけ）

1. ほとんど参加している（参加するよう努めている）
2. 年に1度くらいは参加している（参加するよう努めている）
3. 過去に参加したことはある
4. 自主防災活動は行われているが参加したことはない
5. 自主防災活動があるかどうかかわからないので参加したことがない
6. 参加したいと思わない

問 46 自主防災組織の活動に、どのような活動を期待しますか。（〇は3つまで）

1. 防災訓練の実施
2. 地域の災害危険の把握
3. 防災資機材の備蓄
4. 情報の収集、伝達
5. 避難所の運営
6. 給食、給水活動
7. 応急救護、救出活動
8. 初期消火活動
9. 避難誘導の指示
10. 特に期待することはない
11. その他（ ）

問 47 南海トラフ地震の発生が危惧されていますが、南海トラフ地震に関心がありますか。（〇は1つだけ）

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

問 48 地震に備えて家具や冷蔵庫、テレビなどを固定していますか。（〇は1つだけ）

1. 大部分固定している
2. 一部分固定している
3. 全く固定していない

問 48 で「3. 全く固定していない」と答えられた方にお聞きします

問 48-1 固定しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 固定しても無駄だ（被害は免れない）と思うから
2. 手間がかかると
3. 家具類を置いていない安全な部屋があるから
4. 固定の方法がわからないから
5. 借家、賃貸マンションのためできないから
6. 固定をしなくても大丈夫だと思うから
7. 費用がかかると
8. 部屋や家具をいためるから
9. その他（ ）

問 49 非常用の食料は、可能な限り1週間程度、最低でも3日分程度が必要です。非常用の食料を何日分用意していますか。（〇は1つだけ）

1. 1日分
2. 2日分
3. 3日分
4. 4日以上1週間未満
5. 1週間以上
6. 用意していない

問 50 非常用の飲料水も、可能な限り1週間程度、最低でも3日分程度が必要です。非常用の飲料水を何日分用意していますか。1人あたり1日3リットルとしてお答えください。（〇は1つだけ）

1. 1日分
2. 2日分
3. 3日分
4. 4日以上1週間未満
5. 1週間以上
6. 用意していない

問 51 家庭や職場で地震対策をする上で、参考になっている情報は何ですか。

（あてはまるものすべてに〇）

1. テレビ
2. ラジオ
3. 新聞
4. 県や市の広報やパンフレット、ポスター
5. 学校、地域、職場での学習
6. 防災や災害に関する本や雑誌
7. 家族や隣近所、知人などの話
8. 防災訓練、防災講演会などのイベント
9. インターネット（国、県、市町村、防災関係機関のホームページやSNS）
10. その他（ ）

問 52 その他に大規模地震に備えていることはありますか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品、飲料水、非常食、衣類、毛布などを準備している
2. 近くの学校や公園など避難する場所や避難経路を確認している
3. 風呂に水をためおきしている
4. 貴重品などをすぐ持ち出せるようにしている
5. カラスの飛散防止対策をしている
6. 家族との連絡方法、離ればなれになったときの落ち合う場所を決めている
7. 防災について家族の役割を決めている
8. 特に何もしていない
9. その他（ ）

問 53 お住まいの耐震についてお伺いします。お住まいの家屋の構造は何ですか。

（〇は1つだけ）

1. 昭和56年5月31日以前に建てた木造住宅
2. 昭和56年6月1日以降に建てた木造住宅
3. 鉄骨造住宅
4. 鉄筋コンクリート造住宅
5. その他（ ）
6. わからない

問 53 で「1. 昭和 56 年 5 月 31 日以前に建てた木造住宅」と答えた方にお聞きします。

問 53-1 市では昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工した、空き家を除く木造戸建て住宅を対象に、無料で耐震診断を行っていますか、この制度を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている 2. 知らない

問 53-2 耐震診断を受けましたか。受けてない場合は受けたかと思いませんか。(○は1つだけ)

1. すでに耐震診断を受けた
2. 耐震診断は受けていないが、受けたと思う
3. 耐震診断は受けていない、受けたと思わない

問 53-2 で「3. 耐震診断は受けていない、受けたと思わない」と答えた方にお聞きします。

問 53-2-1 耐震診断を受けたいと思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地震はこないと思うから
2. 耐震補強しても地震の被害は避けられないと思うから
3. 診断の結果、補強が必要になっても費用が出せないから
4. 診断の受け方がわからないから
5. 住家だから
6. 手間がかかるから
7. 診断を受けなくても地震には十分耐えられると思うから
8. その他 ()

問 54 環境省発行の「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」において、「ペットの同行避難が奨励されていることを知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている 2. 知らない

問 55 ご家庭でペットを飼っていますか。(○は1つだけ)

1. はい 2. いいえ

問 55 で「1. はい」と答えた方にお聞きします

問 55-1 ペットの種類を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 大型犬 2. 小・中型犬 3. 猫
4. 鳥類 5. 爬虫類 6. うさぎ・ハムスター
7. 魚類 8. その他 ()

問 55-2 災害に備えたペットに対する対策(しつけや健康管理、ペット用の避難用品・備品の確保、所有者明示等)を行っていますか。(○は1つだけ)

1. はい 2. いいえ

問 55-3 ペットに対してどのような対策をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ペット用の食事や衛生用品等を備蓄している
2. 安全な飼育場所を確保している
3. 避難所生活ができるようしつけを行っている
4. 動物用マイクログリップを装着している
5. その他 ()

問 56 ペットとの同行避難についてどのようなお考えですか。(○は1つだけ)

1. 賛成 2. 仕分けで賛成 3. 反対

問 56 で「1. 賛成」と答えた方にお聞きします

問 56-1 同行避難で必要なものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 避難所の設備・用具
2. 動物が苦手なひとやアレルギーを持つひとへの配慮
3. ペットのしつけや飼育マナーの向上
4. ペットのいない方の同行避難への理解促進
5. その他 ()

問 56 で「3. 反対」と答えた方にお聞きします

問 56-2 反対する理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 災害時にはひと(人命)が優先される 2. ペットの鳴き声や臭い
3. アレルギーなどひとの健康への影響 4. 子ども(ひと)への危害
5. その他 ()

問 57 市の災害対策について、ご意見があればご記入ください。

問 58 最後に、蒲郡市のこれからのまちづくりに関するご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。

回答されたアンケート用紙は、8月27日(月)までに同封の返信用封筒

〈切手不要〉に入れて、ポストに投函してください。